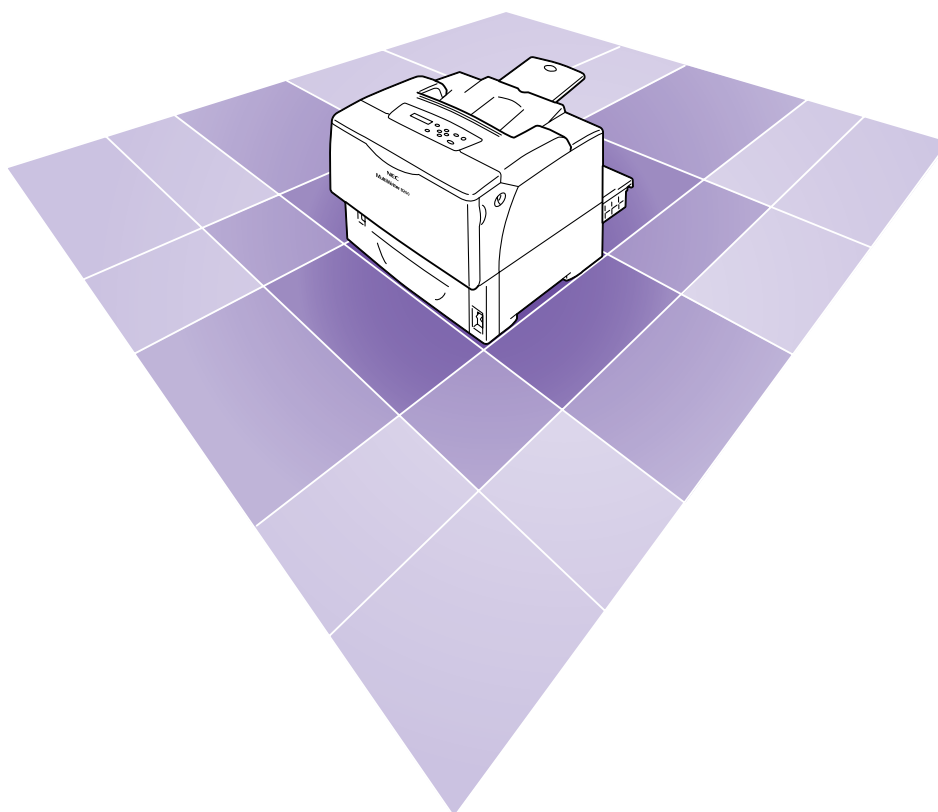
MultiWriter 8500N/8400N/8200N/8200

レーザプリンタ

活用マニュアル

ME3805J9-3
第1版

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は、「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起	注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		爆発するおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止	行為の禁止は、「⊘」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		

行為の強制	行為の強制は、「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。		アース線を接続してください。感電や発火のおそれがあります。

ライセンスについては、「ライセンスについて」(P. 21) に記載してあります。

「Printing Force FUJI XEROX ロゴマーク」が適用された商品は、富士ゼロックスのプリンター技術を活用して製造し、安心と信頼のプリント環境を提供します。

この取扱説明書のなかで ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

平成明朝体 ™W3、平成角ゴシック体 ™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場合のお客様のデータの消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意
①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは MultiWriter 8500N/8400N/8200N/8200 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。

製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に必ず本書をお読みのうえ、正しくご利用ください。

本書は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。

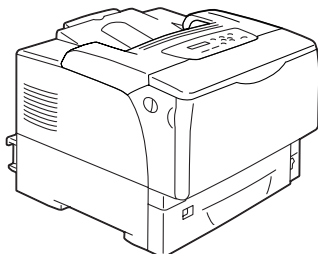
また、読み終わったあとも大切に保管し、本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

[お願い] ☆保証書は大切に保管してください。

日本電気株式会社

MultiWriter 8500N/8400N/8200N/8200 の特長

■ハイスピード、高画質

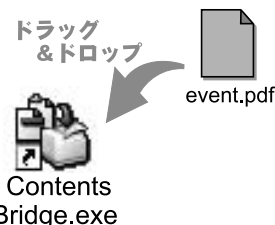
- MultiWriter 8500N/8400N の場合は毎分 35 ページ、MultiWriter 8200N/8200 の場合は毎分 26 ページの印刷スピード。
（同一原稿、A4 サイズ、片面連続で印刷時）
- オイルレス定着技術の採用で、書き込みや捺印、付箋も貼りやすい。
- 写真や図 / 表 / グラフ、文字など、原稿の内容に合った画質で印刷

■さまざまな紙質やサイズに対応

- 従来、手差しトレイで出力していた厚紙や OHP などの特殊紙や、定形外の用紙も用紙カセットにまとめてセットすることが可能。
- 手差しトレイだけでなく、用紙カセットで、はがきや封筒など、多くの用紙種類、サイズに対応。

■インストールや設定を簡単に

- 付属の CD-ROM からプリンタードライバーを簡単インストール。
- Web からプリンターの状況を確認、各種設定が可能（CentreWare Internet Services）。*1

■豊富な印刷機能

- **まとめて 1 枚 (N アップ)**
  複数ページを 1 枚に割り付けて印刷します。
- **両面印刷** *2
- **製本** *2*3
- **ポスター** *3
  ポスター作製で使用します。
- **スタンプ**
  「社外秘」などの文字を重ねて印刷します。
- **お気に入り**
  よく使う印刷設定を登録できます。
- **サンプルプリント** *4
  1 部だけ印刷して内容を確認してから、残りの部数を印刷します。
- **PDF Bridge 機能**
  ContentsBridge Utility を使えば、PDF ファイルをドラッグ & ドロップするだけで、直接、簡単に、速く印刷できます。

■各種セキュリティー機能も搭載

- **コンピューターとプリンター間の通信経路の暗号化** *5
  ネットワーク上で不正アクセスによる情報漏洩を抑止します。
- **操作パネルのロック**
  パスワードの入力によって、操作パネルでの操作を制限し、管理者以外のユーザーが勝手に設定を変更できないようにします。
- **プリントユーザー制限**
  本機の認証機能によって、印刷できるユーザーを限定できます。
- **受信制限**
  LPD または Port9100 ポートを使用して印刷する場合、印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。
- **セキュリティープリント** *4
  出力データを本体内に一時蓄積し、あらためて本体の操作パネルでパスワードを入力して出力させます。そのため、他のドキュメントと混ざることも、回収し忘れることもなく、機密性の高い出力ができます。

*1：MultiWriter 8200 の場合は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。
*2：MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニット（オプション）が必要です。
*3：NPDL ドライバーの場合は、この機能はありません。
*4：ハードディスク（オプション）が必要です。
*5：マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。

目次

マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアル

設置手順書	本機の設置手順を説明しています。
ユーザーズマニュアル	プリンターの基本的な使い方と、お客様からよくある質問を取り上げ、1 冊にまとめました。トラブルで困ったときの解決方法も紹介しています。また、増設メモリ（オプション）やハードディスク（オプション）の取り付け手順も説明しています。 このマニュアルで紹介しきれない内容や、もっと詳しい情報が知りたい場合は、活用マニュアルを参照してください。
活用マニュアル（PDF） （本書）	本機の設置が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、および日常の管理方法について、説明しています。 ・ このマニュアルは、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。
マニュアル（HTML 文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバーのインストール方法を説明しています。 ・ このマニュアルは、プリンターソフトウエア CD-ROM 内に収録されています。
エミュレーション設定ガイド（PDF）	ART IV、201H、ESC/P、HP-GL および HP-GL/2、PCL の各エミュレーションについて説明しています。 ・ このマニュアルは、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。

オプション品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

設置手順書	別売りのオプション品には、必要に応じて、設置手順書が同梱されています。
PostScript® Driver Library CD-ROM 内のマニュアル（PDF）	PostScript プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目を説明しています。 ・ このマニュアルは、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内に収録されています。
日本語ページプリンタ言語 NPDL（Level2）リファレンスマニュアル （型番　PC-PRNPDL2-RM）	ページプリンタの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

注記
・ 本機搭載のエミュレーション機能（ESC/P、PCL）については、すべての機能を満たすものではありません。ご承知のうえ、ご使用ください。

補足
・ PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Acrobat® Reader®、または Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。

本書の使い方

本書の構成

本書は、次のような章で構成されています。各章の概要を説明します。

1　プリンター環境の設定	本機の設置が終わってから、本機を使用できるようにするための設定方法について説明しています。
2　プリンターの基本操作	各部の名称と働きや、基本的な機能（電源の入 / 切、印刷の中止など）の操作方法について説明しています。
3　印刷する	主な印刷方法について説明しています。
4　用紙について	使用できる用紙や用紙のセット方法について説明しています。
5　操作パネルでの設定	操作パネルで設定できる項目とその設定方法について説明しています。
6　困ったときには	トラブル（紙づまり、エラーメッセージなど）が発生したときの対処方法について説明しています。
7　日常管理	消耗品の交換方法やレポート / リストの印刷方法、日常の管理について説明しています。 また、機械管理者を対象に、コンピューターから本機の状態を確認したり、設定をしたりすることができるツールや、本機のセキュリティー機能、認証 / 集計管理機能について説明しています。
8　NPDL の設定	本機を NPDL モードで使用するときの、プリンターの設定について説明しています。
A　付録	主な仕様や、オプション品の紹介、消耗品の寿命、注意 / 制限事項などを説明しています。

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2. 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

   注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

   補足　補足事項を記述しています。

   参照　参照先を記述しています。

3. 本文中では、次の記号を使用しています。

   参照「　」：参照先は、本書内です。

   参照『　』：参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。

   [　] ：コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示されるメニュー、項目、メッセージを表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。

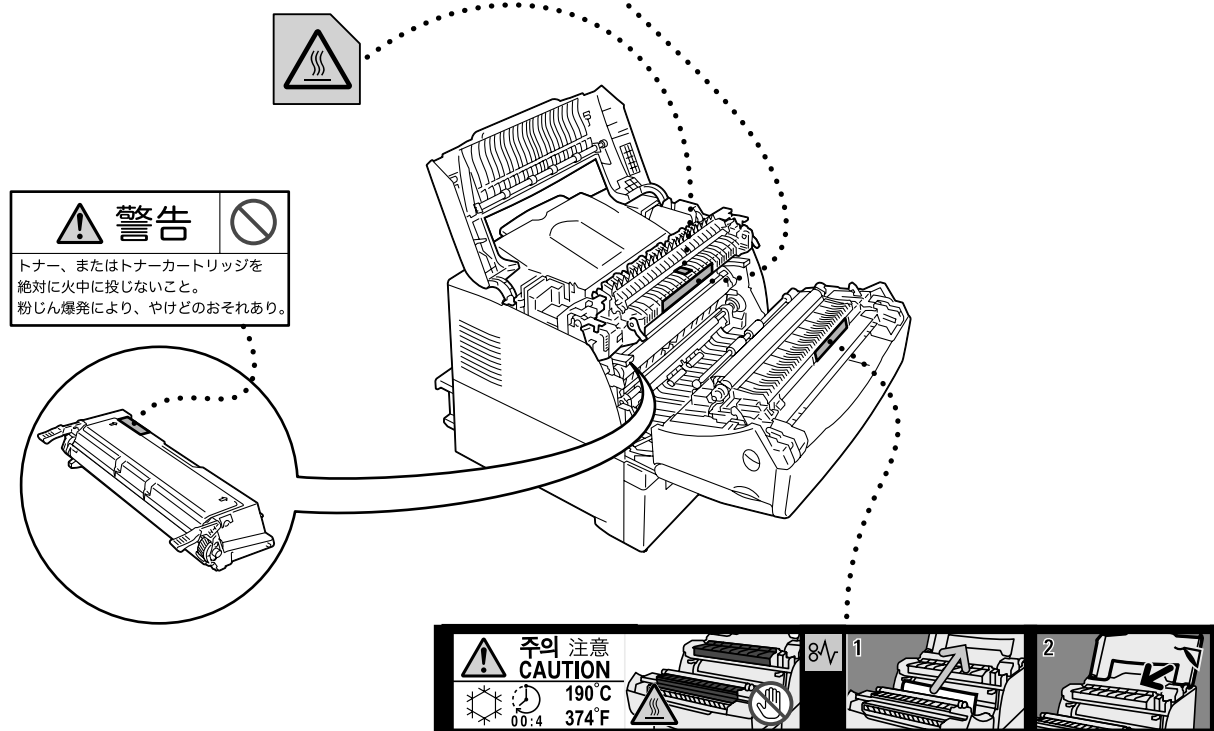
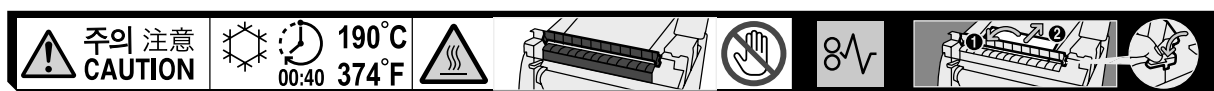
   〈　〉：キーボード上のキーや、プリンターの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。

   ＞ ：操作パネルのメニューや CentreWare Internet Services のメニューの階層を表します。

4. 本文中で使用しているイラストは、MultiWriter 8500N を例にしています。

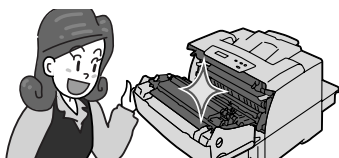
安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 8500N/8400N/8200N/8200 には、警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。
もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない状態でしたら販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

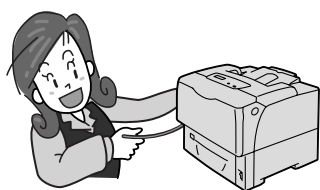
ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」を参照してください。

⚠ 警告

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。（このプリンターは、IEC60852-1規格に基づくクラス1レーザー製品です。）

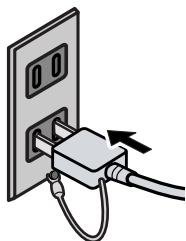
分解・修理・改造はしない

マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

電源コードのアース線を取り付ける

万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

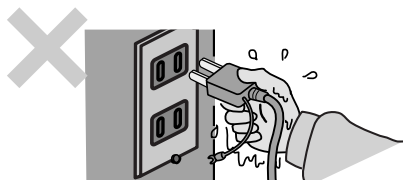
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、接地接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースがとれない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

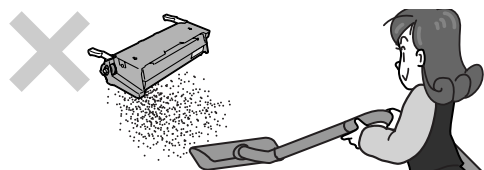
ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

カートリッジを火の中に投げ入れない

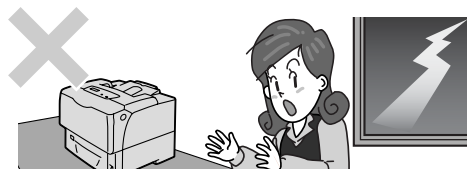
EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

掃除機でトナーを吸い取らない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固くしぼった布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

⚠ 注意

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

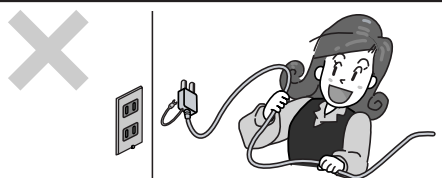
落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがありますが、この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときはすぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

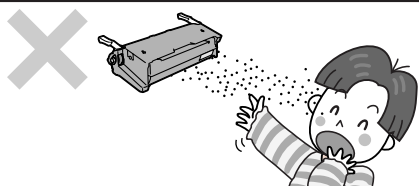
電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

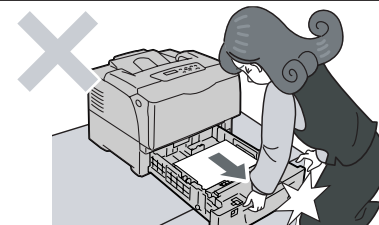
高温注意

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない

EPカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

用紙カセットを勢いよく引き出さない

用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

直射日光が当たるところには置かない

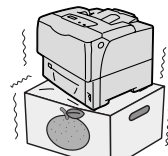
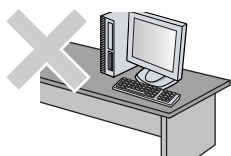
プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンターを運ぶときは2人以上で

機械の重さ(本体のみ、消耗品を含む)は、次のとおりです。
必ず、2人以上で持ち運んでください。

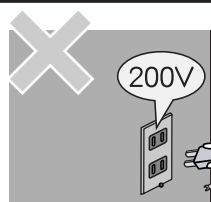
MultiWriter 8200	20.8kg
MultiWriter 8200N	21.8kg
MultiWriter 8400N	21.8kg
MultiWriter 8500N	23.5kg

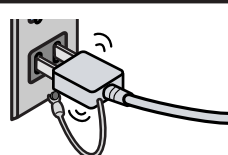
機械を持ち上げるときは、1人は機械正面(操作パネル側)、もう1人は機械背面に向かって立ちます。左右両側の下方にあるくぼみに2人で手をかけ、しっかりと持ってください。指示した場所以外を持って持ち上げることは、絶対にしないでください。

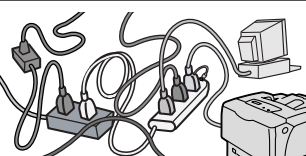
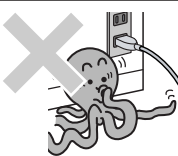
不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

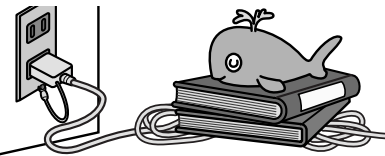
専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

延長コードを使わない

添付の電源コードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
・装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがる場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

添付の電源コードを他の装置や用途に使わない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

環境について

- 本機は電源スイッチを切った状態でも、0.1W 以下の電力を消費しています。この消費電力を回避（または節約）するためには、機械の電源プラグをコンセントから外してください。
- 回収した EP カートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となった EP カートリッジは適切な処理が必要です。EP カートリッジの容器は、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。
- 本書は、地球環境への負担軽減を目的として再資源化（リサイクル）に配慮して製本しています。製品本体の使用を終了したら、本書は回収業者などによる再資源化にご協力ください。

規制について

電磁波障害対策自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合せて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波対策自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

ライセンスについて

RSA BSAFE について

本機（マルチプロトコル LAN カード（オプション））は、RSA Security Inc. の RSA BSAFE ソフトウェアを搭載しています。

JPEG コードについて

本プリンターのソフトウエアには、the Independent JPEG Group で作成されたコードの一部を利用しています。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - ❑ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
   - ❑ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - ❑ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
   - ❑ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
   - ❑ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
   - ❑ 役所または公務員の印影、署名、記名。
   - ❑ 私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
   - (1) 複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
   - (2) 改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
   - (3) 送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

   権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。
   - ❑ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
   - ❑ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
   - ❑ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
   - ❑ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
     ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
   - ❑ 学校教科書への掲載。
     ただし、権利者への補償金が必要です。
   - ❑ 学校その他教育機関における複製。
     ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
   - ❑ 試験問題としての複製。
     ただし、権利者への補償金が必要です。

1 プリンター環境の設定

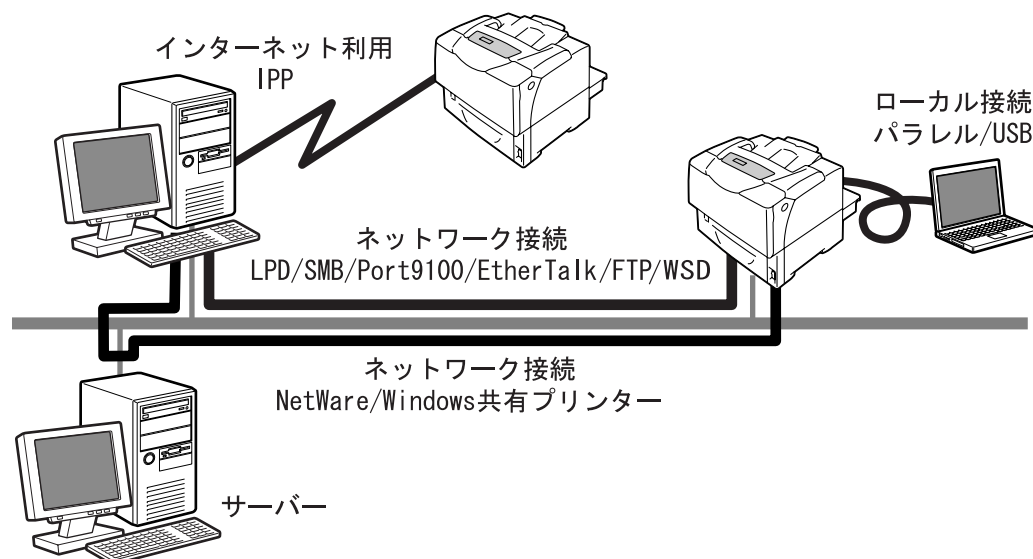
設置手順書に従って、プリンター本体の設置が終わったら、続けてプリンター環境を設定します。

1.1 使用できる環境について

本機は、直接コンピューターと接続するとローカルプリンターとして、ネットワークを経由するとネットワークプリンターとして使用できます。

使用するポートは、操作パネルで [キドウ] に設定してください。

補足

・ MultiWriter 8200 をネットワークプリンターとして使用する場合は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。

■ ローカルプリンターとして使用する場合

ローカルプリンターとして使用する場合は、次の接続形態があります。

・ パラレル接続 ： 本機とコンピューターをパラレルケーブルで接続して使用します。（工場出荷時：キドウ）

・ USB 接続 ： 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続して使用します。（工場出荷時：キドウ）

■ ネットワークプリンターとして使用する場合

ネットワークプリンターとして使用する場合は、次の環境で使用できます。

・ LPD ： TCP/IP プロトコルを使用し、本機と直接通信できる場合に使用します。（工場出荷時：キドウ）

・ Port9100 ： ポートとして Port9100 を利用している場合に使用します。（工場出荷時：キドウ）

・ FTP ： FTP サービスを利用して印刷する場合に使用します。（工場出荷時：キドウ）

マルチプロトコル LAN カード（オプション）を装着すると、さらに次の環境で使用できるようになります。

- NetWare® ：NetWare サーバーを使用し､本機を共有管理する場合に使用します。（工場出荷時：キドウ）
- SMB ：Windows® ネットワークを使用して印刷する場合に使用します。（工場出荷時：キドウ）
- IPP ：インターネットを経由して印刷する場合に使用します。（工場出荷時：キドウ）
- EtherTalk® ：Macintosh® から印刷する場合に使用します。（工場出荷時：キドウ）
- WSD ：Windows Vista™ から印刷する場合に使用できます。（工場出荷時：キドウ）

■ コンピューターの OS と使用できる環境

補足
- 対象 OS は予告なく変更されることがあります。

接続形態	ローカル		ネットワーク*1									
ポート名	パラレル	USB*3	LPD	NetWare*2		SMB*2		IPP*2	Port 9100	Ether Talk*2	FTP	WSD*2
プロトコル	-	-	TCP / IP	TCP / IP	IPX/ SPX	Net BEUI	TCP / IP	TCP /IP	TCP/ IP	Apple Talk	TCP / IP	WSD
Windows® 95	○		○*5	○	○	○	○		○*5		○	
Windows® 98	○	○*4	○*5	○	○	○	○		○*5		○	
Windows® Me	○	○	○*5	○	○	○	○	○	○*5		○	
Windows NT® 4.0	○		○	○	○	○	○		○		○	
Windows® 2000	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
Windows® XP	○	○	○	○	○		○	○	○		○	
Windows Server® 2003	○	○	○	○	○		○	○	○		○	
Windows Vista ™	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○

接続形態	ローカル		ネットワーク*1									
ポート名	パラレル	USB*3	LPD	NetWare*2		SMB*2		IPP*2	Port 9100	Ether Talk*2	FTP	WSD*2
プロトコル	-	-	TCP / IP	TCP / IP	IPX/ SPX	Net BEUI	TCP / IP	TCP /IP	TCP/ IP	Apple Talk	TCP / IP	WSD
Mac OS® *6 8.6 ～ 9.2		○*7								○		
Mac OS X 10.2.8*6/ 10.3.9/ 10.4*7		○	○					○*9		○		

*1：MultiWriter 8200 の場合は、標準ではネットワークに対応していません。ネットワーク環境で使用するには、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。
*2：マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。
*3：接続するコンピューターに USB ポートが必要です。また、Windows 98/Me の場合は、USB Print Utility を使用します。USB Print Utility は、同梱されているプリンターソフトウエア CD-ROM からインストールできます。
*4：Windows 98 Second Edition 以降をサポートします。
*5：Windows 95/98/Me の場合は、TCP/IP Direct Print Utility を使用します。TCP/IP Direct Print Utility は、プリンタードライバーをインストールすると自動的にインストールされます。
*6：PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けると、Macintosh から、PostScript データを印刷できるようになります。
*7：Mac OS 9.2 以降でサポートします。
*8：Mac OS X 10.3.9 以降は、Macintosh 用プリンタードライバーを使用して印刷できます。対応用紙サイズは、A3、B4（JIS）、A4、B5（JIS）、A5、レター、リーガル、タブロイドです。ほかの用紙サイズおよびユーザー定義用紙サイズは、使用できません。PostScript ドライバー（オプションの PostScript ソフトウエアキット装着時）で印刷してください。Macintosh 用プリンタードライバーは、弊社のホームページからダウンロードできます。詳しくは、ドライバーと同じホームページ上にあるマニュアルを参照してください。
*9：Mac OS X 10.3.9 以降でサポートします。

補足

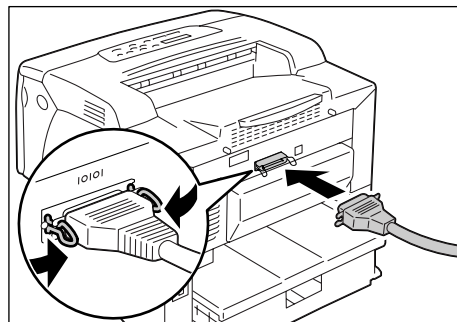
・ Macintosh からの印刷については、PostScript ソフトウエアキット（オプション）に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。
・ PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けた場合は、256MB 以上のメモリーを増設することをお勧めします。

1.2 ケーブルを接続する

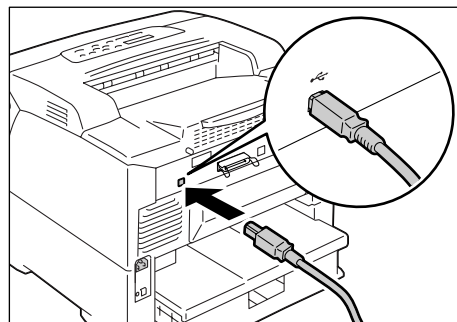
接続形態に合ったインターフェイスケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。

インターフェイスケーブルは、本製品に添付されていません。別途、購入してください。

パラレル接続の場合

1. 本機の電源を切ります。
2. パラレルケーブルを本体のインターフェイスコネクターに差し込みます。
   そのあと、両側の金具で固定します。
3. パラレルケーブルの他方のコネクターをコンピューターに接続します。
4. 本機の電源を入れます。

USB 接続の場合

USB 接続の場合は、ケーブルで接続する前に、コンピューターにプリンタードライバーをインストールしてください。インストール方法は、「1.6 プリンタードライバーをインストールする」(P. 40) および、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の『マニュアル (HTML 文書)』を参照してください。

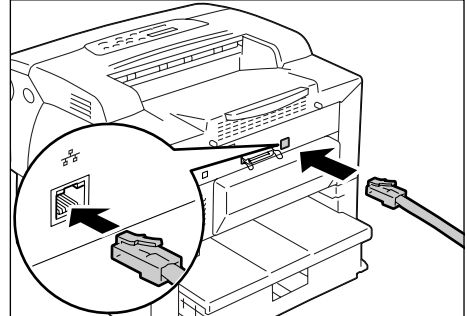
1. 本機の電源を切ります。
2. USB ケーブルを、本体のインターフェイスコネクターに差し込みます。
3. USB ケーブルの他方のコネクターを、コンピューターに接続します。
4. 本機の電源を入れます。

ネットワーク接続の場合

ネットワークケーブルは、100BASE-TX または 10BASE-T に対応したストレートケーブルを用意してください。

1. 本機の電源を切ります。

2. ネットワークケーブルを本体のインターフェイスコネクターに差し込みます。

3. ネットワークケーブルの他方のコネクターをハブなどのネットワーク機器に接続します。

4. 本機の電源を入れます。

1.3 ネットワーク環境を設定する

ここでは、TCP/IP プロトコルを使用するための設定を説明します。その他の環境で使用する場合は、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の『マニュアル（HTML 文書)』を参照して、ネットワーク環境を設定してください。

補足
- 本機は、IPv6 ネットワーク環境の場合は、IPv6 アドレスを使用できます。IPv6 アドレスの設定については、「IP アドレス（IPv6）を設定する」(P. 31) を参照してください。

IP アドレス（IPv4）を設定する

TCP/IP プロトコルを使用するためには、IP アドレスの設定が必要です。

工場出荷時の本機は、［IP アドレスシュトクホウホウ］が［DHCP/Autonet］に設定されています。そのため、DHCP サーバーがあるネットワーク環境では、本機をネットワークに接続すると、自動的に IP アドレスが設定されます。

［プリンター設定リスト］を印刷して、IP アドレスがすでに設定されているかどうかを確認してください。

IP アドレスが何も設定されていない場合は、［IP アドレスシュトクホウホウ］を［パネル］に変更し、IP アドレスを設定する必要があります。

ネットワーク

ファームウェアバージョン	94.06
MACアドレス	08:00:37:78:a0:49
Ethernet設定	自動(100M（全二重))
TCP/IP	
IP動作モード	デュアルスタック
IPv4	
IPアドレス取得方法	DHCP/Autonet
IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.254
ステータス	正常
IPv6	
IPアドレスの手動設定	しない
自動設定	
リンクローカルアドレス	::
自動設定アドレス1	::
自動設定アドレス2	::
自動設定アドレス3	::
自動設定ゲートウェイアドレス	::
ステータス	正常

IP アドレスが
設定されていれば OK。

設定されていない、
または、変更したい場合は、
次のページの手順に従って、IP
アドレスを設定してください。

補足
- ［プリンター設定リスト］の印刷方法については、「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 178) を参照してください。
- 本機は、BOOTP サーバーまたは RARP サーバーを使用してアドレス情報を自動的に取得することもできます。この場合は、操作パネルで、［IP アドレス シュトクホウホウ］の項目を［BOOTP］または［RARP］に変更してください。
- DHCP で運用する場合は、IP アドレスが変更されていることがあるので、定期的に IP アドレスを確認して使用する必要があります。
- WINS（Windows Internet Name Service）環境下で DHCP を使用する場合は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。

ここでは、操作パネルで IP アドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

■ IP アドレスを設定する

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

ﾒﾆｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾄｹﾞﾝｺﾞﾉ ｾｯﾃｲ

2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾒﾆｭｰ
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ

補足
・ 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
［ネットワーク / ポート セッテイ］が表示されます。

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ

補足
・ 間違って、違う項目で〈▶〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉ボタンで前の画面に戻ります。
・ 最初からやり直したい場合は、〈メニュー〉ボタンを押します。

4. 〈▶〉ボタンで選択します。
［パラレル］が表示されます。

5. ［TCP/IP］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

6. 〈▶〉ボタンで選択します。
［IP ドウサ モード］が表示されます。

7. ［IPv4］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

8. 〈▶〉ボタンで選択します。
［IP アドレスシュトクホウホウ］が表示されます。

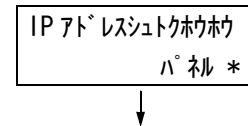
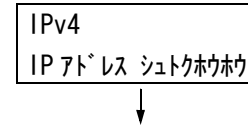
9. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

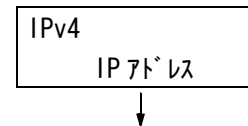
10. ［パネル］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

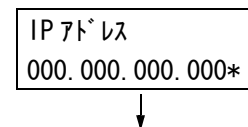
11. 〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。
[デンゲンノ キリ／イリデ セッテイガ ユウコウニナリマス] と 3 秒間表示されたあと、設定画面に戻ります。
プリンターの電源は、ゲートウェイアドレスを設定終了後に入れ直します。このまま先に進んでください。

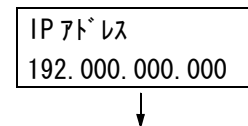
IP ｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
ﾊﾟﾈﾙ *

12. 〈◀〉ボタンで、[IP アドレスシュトクホウホウ] に戻ります。

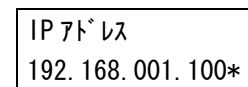
IPv4
IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ

13. 〈▼〉ボタンで、[IP アドレス] を表示します。

IPv4
IP ｱﾄﾞﾚｽ

14. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在の IP アドレスが表示されます。

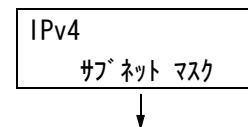
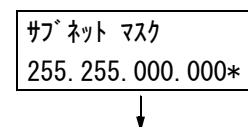
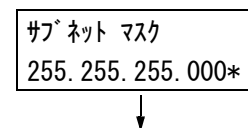
IP ｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000*

15. 〈▲〉〈▼〉ボタンで最初のフィールドに値を入力し、〈▶〉ボタンを押します。

IP ｱﾄﾞﾚｽ
192.000.000.000

補足
- 変更の必要がない場合は、〈▶〉ボタンを押すと次のフィールドに移動します。
- 〈▲〉〈▼〉ボタンを押し続けると、値が 10 ずつ変わります。
- 前のフィールドに戻る場合は、〈◀〉ボタンを押します。

16. 他のフィールドも同様に入力し、最後の 4 つめのフィールドを入力したら、〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。

IP ｱﾄﾞﾚｽ
192.168.001.100*

17. 続けて、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを設定する場合は、〈◀〉ボタンを押して、手順 18 に進みます。
これで、操作を終了する場合は、手順 25 に進みます。

■ サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの設定

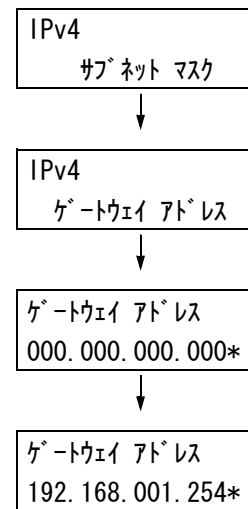
18. [サブネット マスク] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

19. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在のサブネットマスクが表示されます。

20. IP アドレスと同様に、サブネットマスクを入力し、〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。

21. 〈◀〉ボタンで、［サブネット マスク］に戻ります。

22. 〈▼〉ボタンで、［ゲートウェイ アドレス］を表示します。

23. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

24. IP アドレスと同様にゲートウェイアドレスを入力し、〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。

25. これで、すべての設定が終了です。
プリンターの電源を切り、入れ直します。

26. ［プリンター設定リスト］を印刷して、設定した内容を確認します。

IP アドレス（IPv6）を設定する

本機は、IPv6 アドレスに対応しています。IPv6 ネットワーク環境では、IPv6 アドレスを使用できます。

補足
・ IPv6 を使用するには、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。また、マルチプロトコル LAN カードのファームウエアのバージョンが IPv6 に対応している必要があります。

工場出荷時の本機は、［IP ドウサ モード］が［デュアル スタック］（IPv4/IPv6 を自動的に検知して動作するモード）に設定されています。IPv6 のネットワーク環境で、本機をネットワークに接続すると、自動的に IPv6 アドレスが設定されます。

IPv6 アドレスだけをお使いの環境で、本機を固定アドレスで使用する場合は、IPv6 の固定アドレスを手動で設定できます。

本機に IPv6 の固定アドレスを割り当てる手順は、次のとおりです。

■ CentreWare Internet Services で固定アドレスを設定する

1. ［プリンター設定リスト］を印刷し、自動で割り当てられている IP アドレスを確認します。
   IP アドレスは、リストの［IPv4］または［IPv6］の欄に印刷されています。

ネットワーク	
ファームウェアバージョン	94.06
MACアドレス	08:00:37:78:a0:49
Ethernet設定	自動(100M (全二重))
TCP/IP	
IP動作モード	デュアルスタック
IPv4	
IPアドレス取得方法	DHCP/Autonet
IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.254
ステータス	正常
IPv6	
IPアドレスの手動設定	しない
自動設定	
リンクローカルアドレス	::
自動設定アドレス1	::
自動設定アドレス2	::
自動設定アドレス3	::
自動設定ゲートウェイアドレス	::
ステータス	正常

現在の IP アドレスが確認できます。

参照
- ［プリンター設定リスト］の印刷方法については、「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 178) を参照してください。

2. 確認した IP アドレスを使って、CentreWare Internet Services を起動します。

参照
- 起動方法は、「CentreWare Internet Services を使用する」(P. 39) を参照してください。
- 使用方法は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「CentreWare Internet Services を使用する」(P. 39) を参照してください。

3. ［プロパティ］タブをクリックします。

4. 左側のメニューから［プロトコル設定］>［TCP/IP］をクリックします。

工場出荷時は、[IP 動作モード] が [デュアル スタック] に設定されています。[IPv4] に設定されている場合は、お使いのネットワーク環境に応じて、[デュアル スタック] または［IPv6］に設定します。

5. ［IPv6］の［IP アドレスの手動設定］にチェックを付け、［手動設定アドレス］に IP アドレスを入力します。
   アドレスは、途中の 0 を省略できます。
   例）「2001:0db8:0000:0000:0000:0000:0000:0001」の場合、
   　　「2001:db8::1」と指定できます。
   プレフィックス長は、0 ～ 128 の範囲で入力します。通常は、64 を指定してください。

6. 必要に応じて、ほかの項目を設定します。

7. 右側フレームの下部に表示されている［新しい設定を適用する］をクリックします。

補足
- 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、［元に戻す］をクリックします。
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、［OK］をクリックしてください。

8. これで、設定は終了です。プリンターの電源を切り、入れ直します。

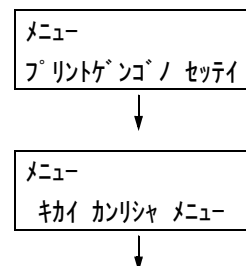
■ 操作パネルで IPv6 モードを設定する

TCP/IP の IP 動作モードは、Centreware Internet Services の［プロパティ］タブの［プロトコル設定］>［TCP/IP］>［IP 動作モード］で設定できるほか、操作パネルで設定できます。

補足
- 工場出荷時は、［IP 動作モード］が［デュアル スタック］に設定されています。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足
- 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [ネットワーク / ポート セッテイ] が表示されます。

補足

- 間違って、違う項目で〈▶〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉ボタンで前の画面に戻ります。
- 最初からやり直したい場合は、〈メニュー〉ボタンを押します。

4. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [パラレル] が表示されます。

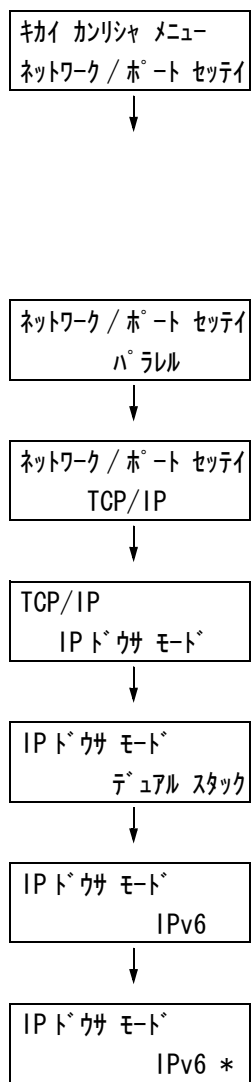
5. [TCP/IP] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

6. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [IP ドウサ モード] が表示されます。

7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [デュアル スタック] が表示されます。

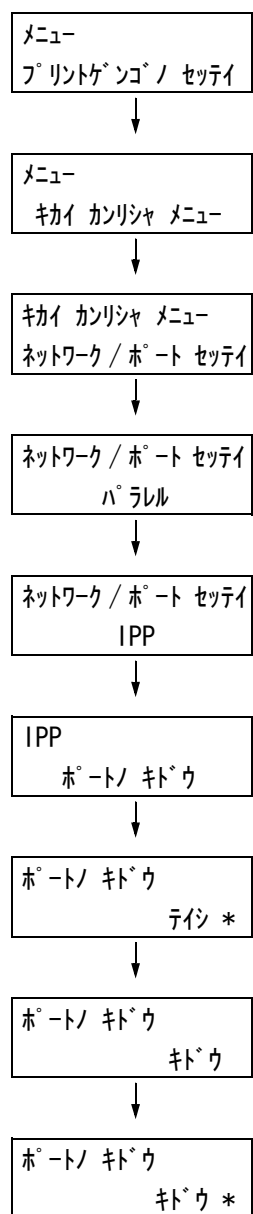
8. [IPv6] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

9. 〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。
   [デンゲンノ キリ / イリデ セッテイガ ユウコウニナリマス] と 3 秒間表示されたあと、設定画面に戻ります。

10. これで、設定は終了です。
    プリンターの電源を切り、入れ直します。

1.4　使用するポートを起動する

使用するポートは、操作パネルで［キドウ］に設定しておく必要があります。

使用するポートが [テイシ] に設定されている場合は、以下の手順に従って、設定を変更してください。
ここでは、IPP の例で説明します。

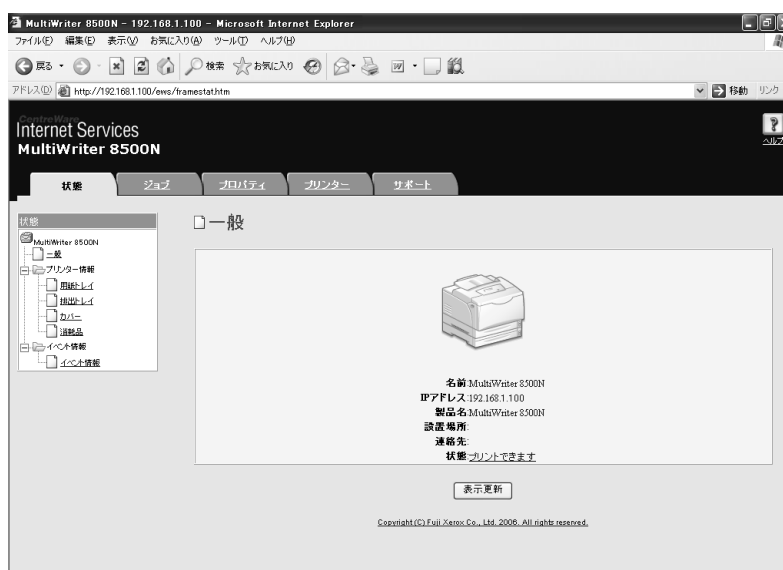
1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［ネットワーク / ポート セッテイ］が表示されます。
4. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［パラレル］が表示されます。
5. 設定するプロトコルが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。（例：IPP）
6. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［ポート ノ キドウ］が表示されます。
7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   現在の設定値が表示されます。
8. 〈▼〉ボタンで［キドウ］を表示します。
9. 〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。
   ［デンゲンノ キリ／イリデ セッテイガ ユウコウニナリマス］と 3 秒間表示されたあと、設定画面に戻ります。
10. これで、設定は終了です。
    プリンターの電源を切り、入れ直します。

1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する

CentreWare Internet Services の概要

CentreWare Internet Services は、TCP/IP 環境が使用できる場合に、Web ブラウザーを使用して、プリンターの状態や印刷ジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。

操作パネルで設定する項目のいくつかは、本サービスの［プロパティ］タブでも設定できます。

補足

・ 本機をローカルプリンターとして使用している場合は、CentreWare Internet Services は使用できません。

使用できる環境と設定について

■ 使用できる Web ブラウザー

CentreWare Internet Services は、以下の Web ブラウザーで動作することを確認しています。

Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista の場合

・ Microsoft® Internet Explorer 6.0

・ Mozilla Firefox 2.0

Mac OS X 10.4 の場合

・ Mozilla Firefox 2.0

・ Safari 2.0

■ Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Services を使用する場合、Web ブラウザーで次のように設定することをお勧めします。

- プロキシサーバーを経由しないで直接本機のアドレスを指定する
- JavaScript を有効にする

補足

- プロキシサーバーを経由して本機のアドレスを指定すると、応答が遅くなったり画面が表示されないことがあります。
- JavaScript　が動作しない、または停止している場合、表示されないボタンがあります。その場合は、ボタンの代わりに、URL リンクが表示されます。
- 設定方法については、お使いの Web ブラウザーのヘルプを参照してください。

また、Web ブラウザーで表示言語の設定を変更すると、CentreWare Internet Services の操作画面を各国語表示に切り替えることができます。

補足

- 設定方法については、お使いの Web ブラウザーのヘルプを参照してください。

■ プリンター側の設定

CentreWare Internet Services を使用する場合は、本機の IP アドレスが設定されていることと、［インターネットサービス］が［キドウ］（工場出荷時：［キドウ］）に設定されている必要があります。［インターネットサービス］を［テイシ］に設定している場合は、操作パネルで［キドウ］にしてください。

参照

・「[インターネットサービス]」(P. 121)
・「1.4 使用するポートを起動する」(P. 35)

CentreWare Internet Services で設定できる項目

各タブで設定できる主な機能は、次のとおりです。

タブ名	主な機能
状態	・一般 製品名や IP アドレス、プリンターの状態などが表示されます。 ・プリンター情報 ホッパにセットされている用紙のサイズや残量、排出トレイの状態、および EP カートリッジといった消耗品の残量が表示されます。 ・イベント情報 プリンターの操作パネルの状態や、イベント情報（エラー情報）の発生箇所、内容などが表示されます。
ジョブ	・ジョブ一覧、およびジョブ履歴一覧が表示されます。
プロパティ	・本体説明 製品名やシリアル番号が表示されます。また、名前 * や設置場所 *、連絡先 *、機械管理者メールアドレス * などを設定できます。 ・本体構成 プリント機能の主な仕様やページ記述言語、メモリーの情報が表示されます。 ・カウンター表示 総プリントページ数が表示されます。 ・初期化 NV メモリーの初期化やプリンターの再起動を実行します。 ・セキュリティー * 自己証明書の生成 / 管理 / 削除、SSL/TLS サーバー通信の設定、および IPsec の設定ができます。 この項目は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。 ・StatusMessenger* 本機では、プリンターの状態を指定されたあて先にメールで通知することができます。このときの通知先や、通知する項目などを設定します。 ・Internet Services 設定 * CentreWare Internet Services の画面をブラウザーで自動更新させるかどうか、更新させる場合は更新する間隔（秒）を設定できます。また、機械管理者モードを使用するかどうか、使用する場合は機械管理者名やパスワードも設定できます。 工場出荷時の機械管理者名は「admin」、パスワードは「NECPRADMIN」です。 運用時には、工場出荷時のパスワードを必ず変更してください。 ・ポート起動 各ポートの起動、停止を設定できます。 ・ポート設定 Ethernet に関する設定ができます。 ・プロトコル設定 * 各プロトコルの詳細を設定できます。
プリンター	・プリントユーザー制限 * 認証機能を使用して、本機を利用するユーザーを制限できます。この機能を使用する場合は、ここで本機を利用するユーザー情報を入力します。 ・論理プリンター設定 * PostScript、ESC/P、201H、HP-GL/2、TIFF の論理プリンターを設定できます。PostScript は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
サポート	・サポート情報が表示されます。カストマーサポートへのリンクがあります。

*：CentreWare Internet Services でしか設定できない項目です。操作パネルでは設定できません。

CentreWare Internet Services を使用する

本サービスを使用する手順は、次のとおりです。

1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、または URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。

・IP アドレスの入力例

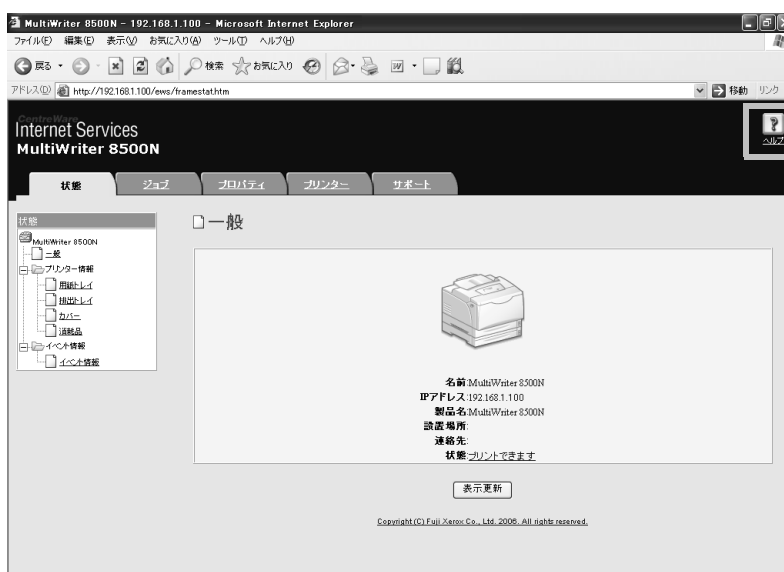
・URL の入力例

補足

- ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、［プリンター設定リスト］で確認できます。
- ポート番号は [プロパティ] タブ>［プロトコル設定］>［HTTP］で変更できます。ポート番号を変更した場合は Web ブラウザーから接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。

- 通信を暗号化するために、SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。
- IPv6 アドレスの場合は、途中の 0 を省略できます。
  例）「2001:0db8:0000:0000:0000:0000:0000:0001」の場合、
  [ ] で IPv6 アドレスを囲み、次のように指定してください。
  http://[2001:db8::1]/
- 認証 / 集計管理機能、および通信の暗号化については、「7.6 セキュリティー機能について」(P. 186)、「7.8 認証と集計管理機能について」(P. 196) を参照してください。

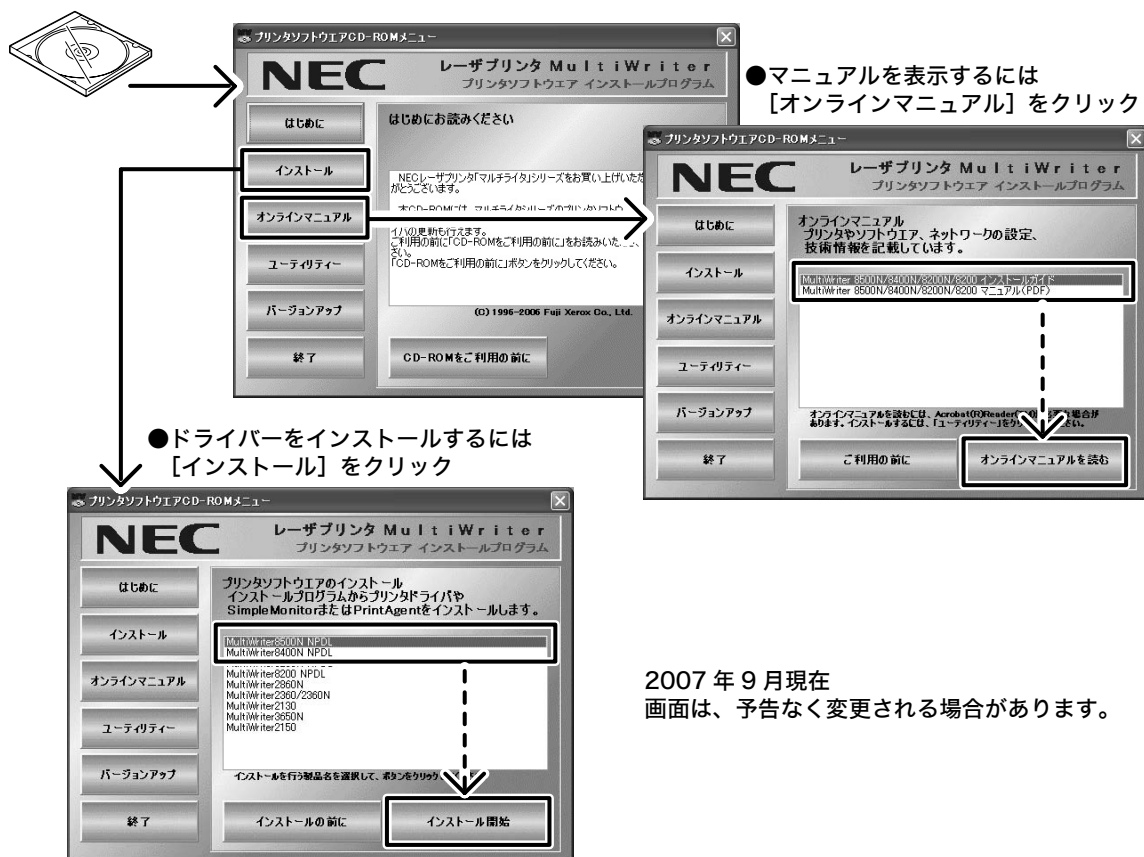
ヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、[ヘルプ] ボタンを押して、参照してください。

1.6　プリンタードライバーをインストールする

コンピューターから印刷するために、プリンターソフトウエア CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

プリンタードライバーのインストール方法は、コンピューターと本機の接続方法によって異なります。

CD-ROM 内の『マニュアル（HTML 文書）』で、手順を確認してから、実行してください。

2007 年 9 月現在
画面は、予告なく変更される場合があります。

補足
・ ContentsBridge Utility などのソフトウエアをインストールする場合は、［ユーティリティー］をクリックします。

アンインストールについて

■ プリンタードライバーのアンインストール（削除）

プリンタードライバーは、［プリンタと FAX］からプリンターアイコンを削除し、［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］-［ドライバ］タブでプリンタードライバーを削除すると、アンインストールできます。詳しくは、CD-ROM 内の『マニュアル（HTML 文書）』を参照してください。

■ その他のソフトウエアのアンインストール

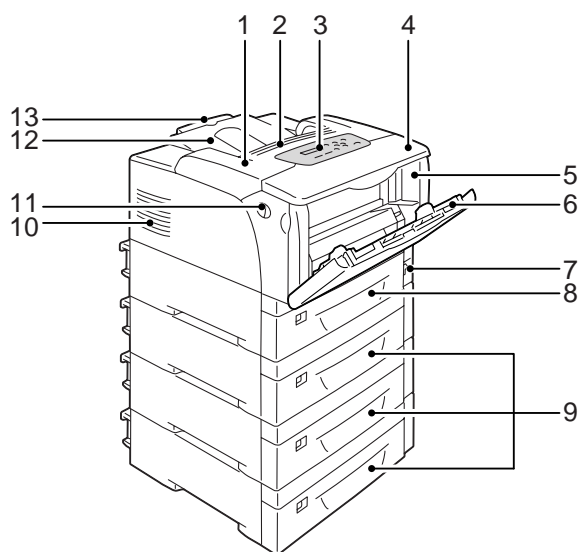
プリンターソフトウエア CD-ROM からインストールした、その他のソフトウエアをアンインストールする場合は、各ソフトウエアの Readme ファイルを参照してください。

2 プリンターの基本操作

2.1 各部の名称と働き

プリンター本体

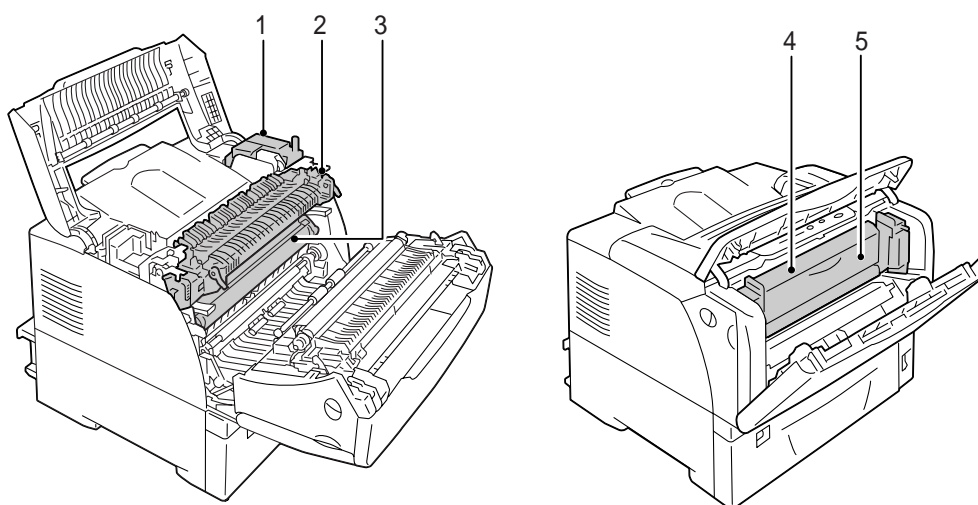
補足
・ 説明に使用しているイラストは、MultiWriter 8500N を例にしています。オプションの増設ホッパ 4 を取り付けることができるのは、MultiWriter 8500N/8400N です。
・ MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。

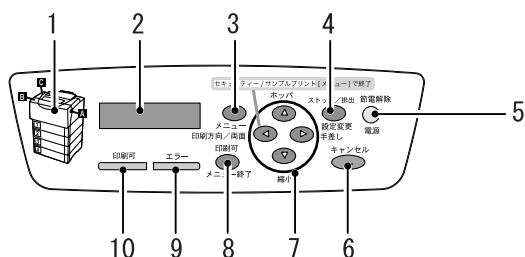
前面と左側面

No.	名称	説明
1	トップカバー	EP カートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに開けます。
2	通気口	プリンター内部の加熱を防ぐため、熱が放出されます。 **注記** ・ この上に物を置かないでください。内部に熱がこもり、機械が故障する可能性があります。
3	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、ディスプレイがあります。詳細は、「操作パネル」(P. 44) を参照してください。
4	上部カバー	両面印刷ユニットを取り付けるときや、ピックローラを清掃するときに開けます。
5	フロントカバー	EP カートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに開けます。
6	手差しトレイ	手差し印刷時に用紙をセットします。普通紙だけでなく、はがきや封筒といった特殊紙もセットできます。必要に応じて、2 段階延長できます。
7	電源スイッチ	電源を入 / 切するスイッチです。〈｜〉の側に押すと電源が入り、〈○〉の側に押すと電源が切れます。
8	ホッパ 1 (標準のホッパ)	用紙をセットします。標準のホッパです。
9	ホッパ 2、3、4 (増設ホッパ(オプション))	増設ホッパ(オプション)を取り付けた場合は、ここに用紙をセットします。上の図は、増設ホッパ(オプション)を 3 段、取り付けた例です。
10	通気口	プリンター内部の加熱を防ぐため、熱が放出されます。

No.	名称	説明
11	フロントカバー開閉レバー	EP カートリッジの交換や紙づまりの対処などをするときに、このレバーを引きながらフロントカバーを開けます。
12	排出トレイ	印刷された用紙が、印刷面を下にして排出されます。
13	排出延長トレイ	印刷された用紙が本機からすべり落ちる場合は、引き出して排出トレイを延長します。

右側面と背面

No.	名称	説明
1	後部カバー	オプションのハードディスクやメモリー、各種 ROM を取り付ける場合に、このカバーを取り外します。 後部カバー、金属板カバーを開けた図 増設メモリ用スロット マルチプロトコル LAN カード用コネクター PostScript ROM 用スロット ハードディスク用コネクター
2	通気口	プリンター内部の加熱を防ぐため、熱が放出されます。 **注記** ・ 通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、機械が故障するおそれがあります。
3	USB コネクター	USB ケーブルを差し込みます。
4	パラレルコネクター	パラレルケーブルを差し込みます。
5	ネットワークコネクター	本機をネットワークに接続して使用するときに、ネットワークケーブルを差し込みます。
6	トレイカバー	用紙カセットの背面カバーです。
7	電源コードコネクター	電源コードを差し込みます。
8	漏電ブレーカー	漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断します。

内部

No.	名称	説明
1	両面印刷ユニット （EXIT ユニット）	両面印刷ユニットを構成している装置です。両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、用紙の両面に印刷できます。
2	フューザーユニット	熱と圧力でトナーを溶かし、用紙に定着させる部分です。 **注記** ・ 使用時には高温になっているので、手を触れないように注意してください。
3	EP カートリッジ	印刷をするためのトナー、感光体（ドラム）、現像ユニットなどが一体化されたものです。印刷が薄くなったり、印字品質が悪くなった場合に交換します。
4	両面印刷ユニット	両面印刷ユニットを構成している装置です。
5	内部カバー	両面印刷ユニットのカバーです。詰まった用紙を取り除くときに開けます。

操作パネル

No.	名称	説明
1	表示部	エラーが発生した場合に、メッセージに表示されるボタンの位置を、ここで確認します。
2	LCD ディスプレイ	設定項目、本機の状態、メッセージなどが表示されます。 参照 ・「ディスプレイの表示について」(P. 45)
3	〈メニュー〉ボタン	メニュー画面に移行します。
4	〈ストップ / 排出〉ボタン	メニュー画面のとき、メニューの候補値を設定します。レポート / リストを印刷するときにも使用します。
5	〈節電解除〉ボタン / ランプ	節電中にこのボタンを押すと節電モードを解除します。 また、節電中はランプが点灯します。
6	〈キャンセル〉ボタン	印刷を中止します。
7	〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈▶〉ボタン	メニュー画面のとき、ディスプレイに表示されたメニュー、項目、候補値の間を移行します。 また、セキュリティー / サンプルプリントをするときは、〈◀〉ボタンを押します。 補足 ・〈▲〉〈▼〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。 ・ セキュリティー / サンプルプリントをするには、ハードディスク（オプション）が必要です。
	オフライン状態の場合 〈ホッパ〉、〈縮小〉、〈印刷方向 / 両面〉、〈手差し〉ボタン	〈メニュー終了〉ボタンを押して、オフライン状態にした場合には、これらのボタンを使って、NPDL データを印刷するときの給紙トレイや用紙サイズ、縮小・拡大モード、印刷方向 / 両面、手差しトレイの用紙サイズの設定を切り替えることができます。 参照 ・「8.3 各ボタンで設定できる項目」(P. 215)
8	〈メニュー終了〉ボタン	〈メニュー終了〉ボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、〈印刷可〉ランプが消灯し、印刷処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン終了状態（印刷可能な状態）に移行します。また、ブザー音が鳴っているときにこのボタンを押すと、音が停止します。
9	〈エラー〉ランプ	本機に異常があるときに、ランプが点滅、または点灯します。
10	〈印刷可〉ランプ	点灯中は、印刷が可能です。

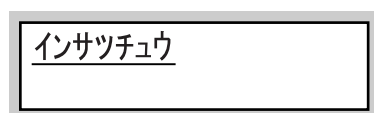
ディスプレイの表示について

本機の状態を表す「プリント画面」と、本機に関する設定をするための「メニュー画面」があります。

補足
・ 本機に取り付けられているオプションや、設定の状態によって表示されるメッセージは異なります。

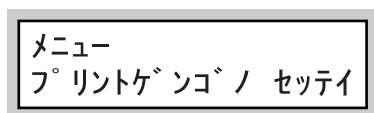
プリント画面

印刷しているときやデータを待っているときは、ディスプレイはプリント画面になっています。コンピューターからのデータを印刷しているときのプリント画面では、次のような内容が表示されます。

```
インサツチュウ
```

メニュー画面

本機に関する設定をする画面です。

メニュー画面は、〈メニュー〉ボタンを押して表示します。メニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。

```
メニュー
プ゜リントゲ゛ンコ゛ノ セッテイ
```

参照
・ メニュー画面で設定できる項目：「5 操作パネルでの設定」(P. 102)

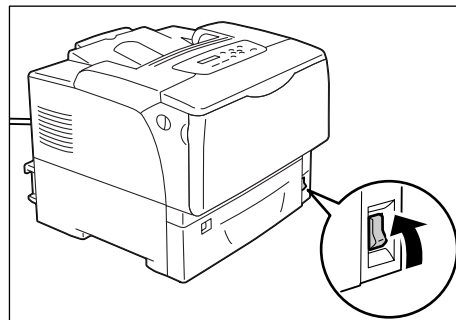
2.2 電源を入れる / 切る

電源を入れる

1. プリンターの電源スイッチの〈｜〉側を押します。

2. 電源を入れると、操作パネルのディスプレイに［オマチクダサイ］と表示されます。この表示が変わり、〈印刷可〉ランプが点灯することを確認します。

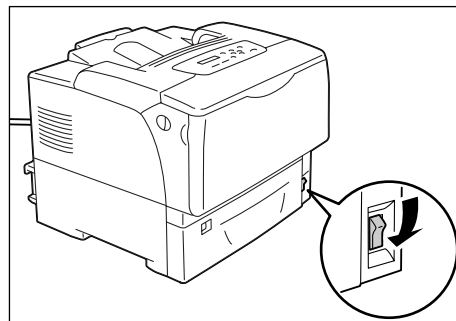
補足

・［オマチクダサイ］の表示になっているときは、本機がウオームアップ中です。この間は、印刷できません。
・エラーメッセージが表示された場合には、「主なエラーメッセージ（50 音順）」(P. 162) を参照して対処をしてください。

電源を切る

注記

・ハードディスク（オプション）アクセス中は、電源スイッチを切らないでください。節電中にハードディスク（オプション）にアクセスしている場合は、〈節電解除〉ランプが点滅しています。
・操作パネルのディスプレイに、[オマチクダサイ] が表示されているときは、電源を切らないでください。
・印刷中は本機の電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。
・電源を切ると、本機内に残っている印刷データや本機のメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

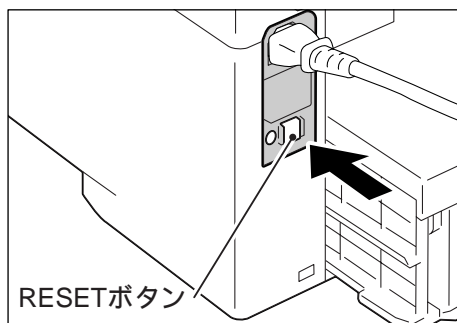
1. 操作パネルのランプやディスプレイ表示などで、プリンターが処理中でないことを確認します。

2. プリンターの電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。

2.3 漏電ブレーカーについて

本機の背面左側には、漏電ブレーカーがあります。

機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などを防ぐためのものです。

漏電ブレーカーが動作したときは、機器の絶縁状態を点検したあと、RESET ボタンを押してください。

機器の絶縁状態が改善されないと、またすぐに漏電ブレーカーが動作します。このような場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

また、1ヶ月に 1 度は機械の電源スイッチを切り、漏電ブレーカーが正常に働くか確認してください。正常に動作しない場合、感電のおそれがあります。

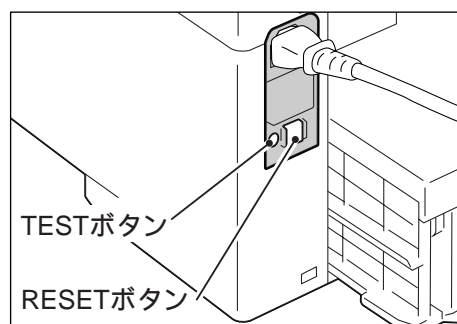
漏電ブレーカーの確認手順は、以下のとおりです。

漏電ブレーカーに異常などがある場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

1. 機械の電源スイッチを切ります。

2. 機械の本体背面左側にある漏電ブレーカーの TEST（切）ボタンを、先の細い棒などで押します。

3. 漏電ブレーカーの RESET（入）ボタンが上がったことを確認します。

4. 確認後、漏電ブレーカーの RESET（入）ボタンを押します。（テストが解除されます。）

2.4　節電モードを設定 / 解除する

本機は、待機しているときの電力消費を抑えるために、低電力モード（消費電力 20W 以下）と、さらに CPU が節電に入るスリープモード（消費電力 5W 以下）の 2 つのモードを備えています。

工場出荷時は、3 分間印刷データを受信しないと、低電力モードに移行し、さらに 5 分間データを受信しないと、スリープモードに移行する設定になっています。

低電力モードになると、操作パネルの下段に「セツデンチュウ」と表示されます。

スリープモードになると、〈節電解除〉ランプだけが点灯し、他のランプは消灯します。ディスプレイも消灯し、何も表示されません。

低電力 / スリープモードに切り替わるまでの時間は、操作パネルのメニューで変更できます。設定できる範囲は、低電力モードが 1 ～ 60 分、スリープモードが 1 ～ 120 分です。スリープモード時の消費電力は、5W 以下で、スリープモードから印刷できる状態になるまでの時間は、約 16 秒です。

補足
- スリープモードは、移行しないように設定できます。
- 低電力 / スリープモードの詳細および設定の変更手順については、「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 105) を参照してください。

節電モードを解除する

節電モードは、コンピューターからのデータを受信すると、自動的に解除されます。

また、手動で解除するには、低電力モードの場合は操作パネルのいずれかのボタンを、スリープモードの場合は〈節電解除〉ボタンを押します。

補足
- 低電力モードの場合は、カバーを開閉したときにも、自動的に節電モードが解除されます。
- スリープモード中は、操作パネルの〈節電解除〉ボタン以外は機能しません。
  まず、〈節電解除〉ボタンを押して、スリープモードを解除してください。

2.5 印刷を中止する / 確認する

印刷を中止する

印刷を中止するには、コンピューター側で印刷の指示を取り消す方法とプリンター側で印刷の指示を取り消す方法があります。

コンピューターで処理中のデータの印刷を中止する

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコン をダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウから、中止したいドキュメント名をクリックし、削除（〈Delete〉キーを押す）します。ウィンドウ内に中止したいドキュメントがなかった場合は、プリンター側で印刷を中止してください。

プリンターで印刷中 / 受信中データの印刷を中止する

操作パネルの〈キャンセル〉ボタンを 2 秒以上押します。ただし、印刷中のページは印刷されます。

印刷指示したデータの状態を確認する

Windows での確認方法

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコン をダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウから、［状態］を確認します。

CentreWare Internet Services を使用した確認方法

CentreWare Internet Services の［ジョブ］タブで、プリンターに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

参照
・ CentreWare Internet Services のヘルプ

2.6 オプション品の構成やホッパの用紙設定などを取得する

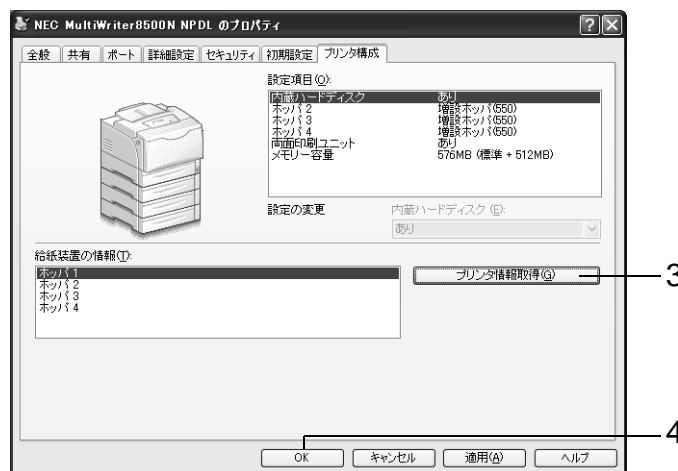
本機をネットワークプリンターとして使用している場合は、SNMP プロトコルを使って、本機のオプション構成やホッパの用紙サイズ、用紙種類などを、プリンタードライバーに読み込むことができます。この設定は、[プリンタ構成] タブで行います。ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足

- 本機をローカルプリンターとして使用している場合は、この機能は使用できません。プリンタードライバーの該当項目を手動で設定してください。また、ローカルプリンターとして使用している場合は、ホッパにセットされている用紙種類や用紙サイズを表示できません。
  ローカルプリンターの場合でも、オプション構成などをプリンター設定リストで確認できます。プリンター設定リストについては、「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 178) を参照してください。
- この機能を使用する場合は、操作パネルを使って、プリンター側の SNMP ポートを起動（初期値：[キドウ]）しておく必要があります。
- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista では、管理者の権利があるユーザーの場合にだけ設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。

1. [スタート] メニューから、[プリンタと FAX] をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。

2. [プリンタ構成] タブをクリックします。

3. [プリンタ情報取得] をクリックします。

本機の情報が、プリンタードライバーに読み込まれます。

4. [OK] をクリックします。
   本機から取得した情報に従って、[プリンタ構成] タブの内容が更新されます。

補足

- [給紙装置の情報] の用紙種類は、操作パネルで設定されている用紙種類が読み込まれます。

3　印刷する

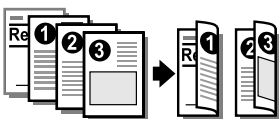
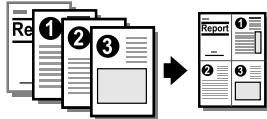
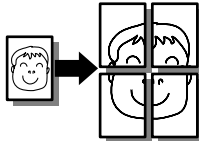
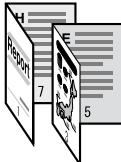
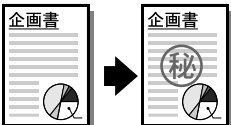
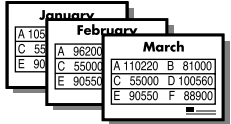
3.1　コンピューターから印刷する

Windows環境のアプリケーションから印刷するための基本的な流れは、次のとおりです。ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

（ご使用になるコンピューターやアプリケーションによって、手順が異なる場合があります。）

1. アプリケーションの［ファイル］メニューから、［印刷］をクリックします。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、プロパティダイアログボックスを表示します。この例では、［詳細設定］をクリックすると、プロパティダイアログボックスを表示できます。

3. 各タブを切り替えて印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。各機能の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘルプを表示するには

(1) [?] をクリックして知りたい機能の項目をクリックします。
項目の説明が表示されます。

(2) ［ヘルプ］をクリックします。
［ヘルプ］ウィンドウが表示されます。

4. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利な印刷機能

各タブで設定できる代表的な機能を紹介します。各機能の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

タブ	機能
基本	・両面印刷 用紙の両面に印刷できます。 ・まとめて1枚（Nアップ） 1枚の用紙に、複数のページを割り付けて印刷します。 ・ポスター ポスターなどを作製するときに使用します。 ・製本 正しいページ順の小冊子になるように、両面印刷とページ配分を組み合わせて印刷します。 ・お気に入り よく使う印刷設定を登録できます。 ・セキュリティープリント あらかじめ送っておいて、操作パネルから印刷を指示します。 ・サンプルプリント まず、1部だけサンプルを印刷して、結果を確認します。
給紙 / 排出	・OHP合紙 OHPフィルムを1枚印刷するごとに、自動的に用紙を挿入します。 ・表紙付け 表紙だけ、色紙や厚紙を使って印刷できます。
グラフィックス	・おすすめ画質タイプ 写真や図/表/グラフ、文字など、印刷する原稿の内容に合わせて画質を調整できます。
スタンプ / フォーム	・スタンプ 印刷データに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせて印刷します。 ・フォーム 使用頻度の高い印刷フォームは、フォーム機能を利用するとデータ転送の時間が短縮できます。

補足

・印刷機能は、［プリンタとFAX］（OSによっては［プリンタ］）ウィンドウのプリンターアイコンから、プロパティダイアログボックスを表示して設定することもできます。
ここで設定した内容は、アプリケーションからプロパティダイアログボックスを表示したときの初期値になります。
・MultiWriter 8500N/8200で両面印刷をする場合は、両面印刷ユニット（オプション）が必要です。
・NPDLドライバーの場合は、製本、ポスター機能はありません。

3.2 はがき / 封筒に印刷する

はがきや封筒に印刷する方法を説明します。

はがき / 封筒は、すべてのホッパおよび手差しトレイにセットできます。

参照

・ 手差しトレイに用紙をセットする詳しい手順については、「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 90)を、ホッパに用紙をセットする詳しい手順については、「ホッパ 1 ～ 4 に用紙をセットする」(P. 93)を参照してください。

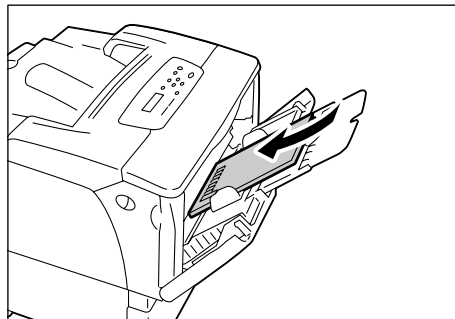
はがきをセットする

注記

・ 多色刷りのはがき、インクジェット用のはがきは使用できません。

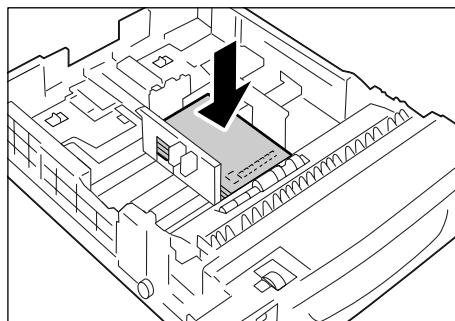
手差しトレイにセットする場合

1. 印刷する面（例：白紙面）を下にし、たて置きにセットします。このとき、郵便番号記入欄は奥（本機側）にします。

2. 用紙ガイドを、セットしたはがきのサイズに合わせます。

ホッパ 1 ～ 4 にセットする場合

1. 印刷する面（例：白紙面）を上にし、たて置きにセットします。このとき、郵便番号記入欄は手前にします。

2. 用紙ガイドを、セットしたはがきのサイズに合わせます。

3. 用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に合わせます。

封筒をセットする

封筒は、あて名面のみ、印刷できます。うら面には印刷できません。
また、本機で使用できる封筒のサイズは、次のとおりです。

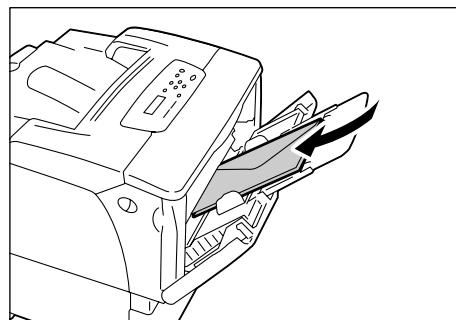
- 洋形４号（105x234mm）
- 長形３号（120x235mm）
- COM-10（241.3x104.8mm）
- モナーク（190.5x98.4mm）
- DL（220x110mm）
- C5（162x229mm）

注記
- きれいに印刷するためには、次のような封筒は使用しないでください。
  - カールやよじれのある封筒
  - 貼り付いていたり破損している封筒
  - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスのある封筒
  - ひもや金属製の留め金が付いていたり、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
  - 切手が貼ってある封筒
  - フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
  - ふちがギザギザであったり、隅が折れている封筒
  - 表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒

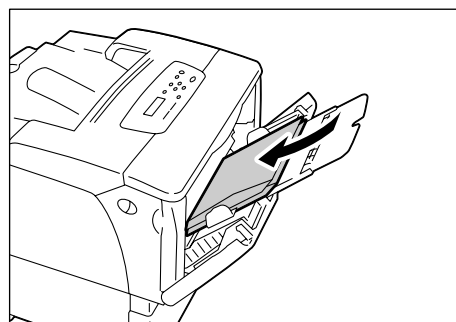
手差しトレイにセットする場合

■のり付き封筒の場合

1. あて名面を下にします。
   フラップを閉じ、フラップ部分を本機に向かって右側にくるように、セットします。

2. 用紙ガイドを、セットした封筒のサイズに合わせます。

例）洋形４号

■のりなし封筒の場合

1. あて名面を下にします。
   フラップを開け、フラップ部分を本機に向かって左側にくるように、セットします。

2. 用紙ガイドを、セットした封筒のサイズに合わせます。

補足
- フラップは完全に開いてから、セットしてください。
- フラップ側の余白量は、アプリケーションで設定されている余白量にフラップの長さ（フラップ先端から折り曲げ部までの長さ）の 1/2 の長さを加えた余白量で印刷してください。

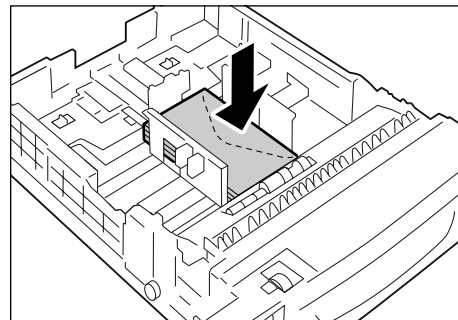
例）C5

ホッパ 1 〜 4 にセットする場合

■のり付き封筒の場合

1. あて名面を上にします。
   フラップを閉じ、フラップ部分を本機に向かって右側にくるように、セットします。

2. 用紙ガイドを、セットした封筒のサイズに合わせます。

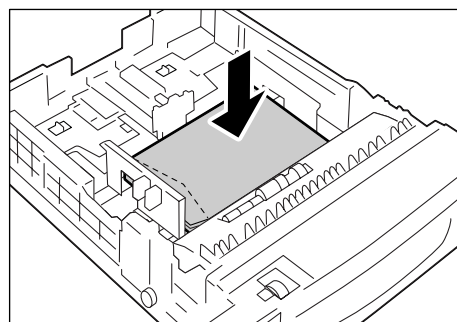
3. 用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に合わせます。

例）洋形 4 号

■のりなし封筒の場合

1. あて名面を上にします。
   フラップを開け、フラップ部分を本機に向かって左側にくるように、セットします。

2. 用紙ガイドを、セットした封筒のサイズに合わせます。

補足
- フラップは完全に開いてから、セットしてください。
- フラップ側の余白量は、アプリケーションで設定されている余白量にフラップの長さ（フラップ先端から折り曲げ部までの長さ）の 1/2 の長さを加えた余白量で印刷してください。

3. 用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に合わせます。

例）C5

はがき / 封筒に印刷する

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足
・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

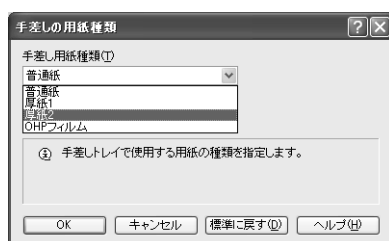
2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［給紙 / 排出］タブをクリックします。

4. ［給紙選択］から［手差しトレイ］を選択します。

5. ［手差しの用紙種類］をクリックして［手差しの用紙種類］ダイアログボックスを表示します。

6. ［手差し用紙種類］から用紙種類を選択します。

補足
・ はがきや封筒に印刷するときは、［厚紙 2］を選択してください。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［基本］タブをクリックします。

9. ［原稿サイズ］から、任意の原稿サイズを選択します。

10. ［出力用紙サイズ］から、セットした用紙のサイズを選択します。

補足

- 封筒の場合は、［出力用紙サイズ」では、あらかじめユーザー定義サイズを登録しておき、選択します。フラップを開いて印刷する場合、ユーザー定義サイズには、封筒にフラップの長さを加えたサイズを登録します。

参照

- 封筒のセット方法：「4.2 用紙をセットする」(P. 90)
- ユーザー定義サイズの登録方法：「定形外サイズを登録する」(P. 61)

11. 封筒の場合は、必要に応じて［原稿 180°回転］にチェックをつけます。

12. ［OK］をクリックします。

13. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

3.3 OHP フィルムに印刷する

OHP フィルムに印刷する方法を説明します。

OHP フィルムをセットする

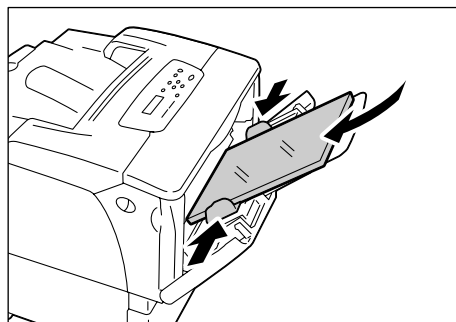
OHP フィルムは、すべてのホッパおよび手差しトレイにセットできます。

補足
・ 手差しトレイに用紙をセットする詳しい手順については、「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 90) を、ホッパに用紙をセットする詳しい手順については、「ホッパ 1 ～ 4 に用紙をセットする」(P. 93) を参照してください。

■手差しトレイにセットする場合

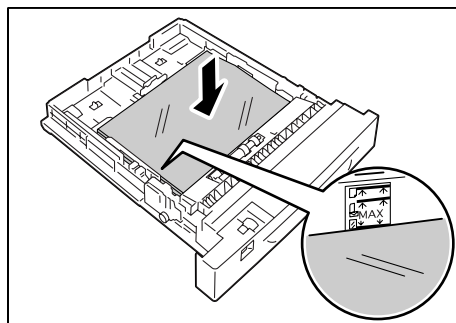
注記
・ フルカラー用 OHP フィルムは、使用できません。

1. OHP フィルムの印刷する面を下に向け、少量ずつ、よくさばいてからセットします。

2. 用紙ガイドを、OHP フィルムのサイズに合わせます。

■ホッパ 1 ～ 4 にセットする場合

1. 用紙カセットをプリンター本体から取り外し、用紙ガイドを OHP フィルムのサイズに合わせます。

2. 印刷する面を上にして、OHP フィルムをセットします。
このとき、OHP フィルムが OHP フィルムの用紙上限線を超えていないことを確認してください。

3. 用紙カセットをプリンター本体に戻します。

注記
・ 用紙カセットを押し込むとき、用紙カセットとプリンター本体、または用紙カセットと用紙カセット（オプションの増設ホッパ装着時）の間に指を挟まないように注意してください。

4. 用紙サイズ設定ダイヤルを、セットした用紙に合わせます。

補足
・ 操作パネルで用紙種類を変更する手順は、「ホッパの用紙種類を変更する」(P. 98) を参照してください。
・ 用紙種類は、印刷時にプリンタードライバーから設定することもできます。詳しくは、「ホッパおよび手差しトレイの用紙種類を変更して印刷する」(P. 65) を参照してください。

OHP フィルムに印刷する

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足
・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。
・ 連続して OHP フィルムに印刷すると、排出された OHP フィルムどうしが貼り付いてしまうおそれがあります。約 20 枚を目安に排出トレイから取り出し、よくさばいて温度を下げてください。

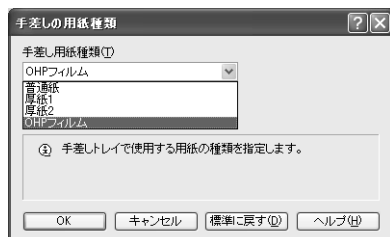
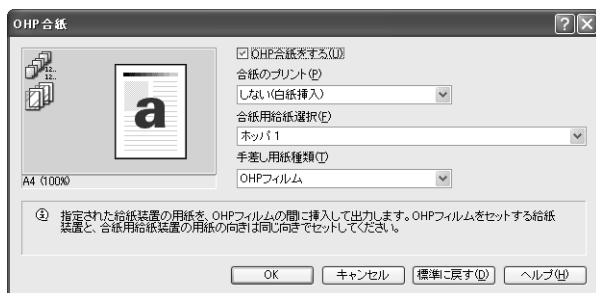
1. ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［給紙 / 排出］タブをクリックします。

4. OHP フィルムを手差しトレイにセットした場合は、［給紙選択］から［手差しトレイ］を選択します。

OHP フィルムをホッパ 1 ～ 4 にセットした場合は、［給紙選択］からセットしたホッパを選択するか、［給紙選択］は［自動］のままで［ホッパの用紙種類］ダイアログボックスを表示し、［OHP フィルム］を選択します。

5. ［給紙選択］で［手差しトレイ］を選択した場合は、［手差しの用紙種類］をクリックして、［手差しの用紙種類］ダイアログボックスを表示します。
［手差し用紙種類］を設定し、［OK］をクリックします。

6. OHP 合紙機能を使用する場合は、［OHP 合紙］をクリックして、［OHP 合紙］ダイアログボックスを表示します。［OHP 合紙をする］にチェックをつけたあと、各項目を設定し、［OK］をクリックします。

7. ［基本］タブをクリックします。
［原稿サイズ］から、任意の原稿サイズを選択します。

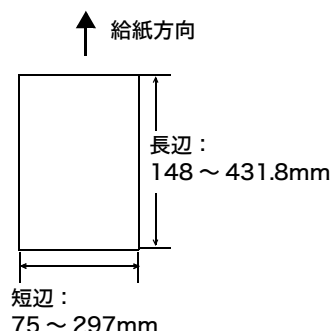
8. ［出力用紙サイズ］から、セットした用紙のサイズを選択します。

9. ［OK］をクリックします。

10. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

3.4　定形外サイズの用紙に印刷する

定形外サイズの用紙に印刷する方法を説明します。

本機で使用できる用紙サイズは、次のとおりです。

定形外サイズの用紙をセットする

定形外サイズの用紙をセットする方法は、定形サイズの用紙をセットする方法と同じです。「4.2 用紙をセットする」(P. 90) を参照してください。

定形外サイズを登録する

印刷をする前に、プリンタードライバーで定形外サイズを登録します。ここでは、Windows XP を例に、説明します。

定形外サイズの用紙をホッパまたは手差しトレイにセットした場合は、あらかじめ操作パネルでホッパまたは手差しトレイの用紙サイズを設定してください。操作パネルでの設定については、「ホッパおよび手差しトレイの用紙サイズを設定する」(P. 99) を参照してください。

注記

・ プリンタードライバーおよび操作パネルで用紙サイズを設定するときは、必ず実際に使用する用紙のサイズと同じにしてください。用紙と異なるサイズを設定して印刷すると、機械の故障の原因になることがあります。

補足

・ Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista では、管理者の権利があるユーザーの場合にだけ、設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。
・ [ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの設定は、Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista の場合、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。

1. ［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］をクリックします。

2. 使用するプリンターのアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］を選択します。

3. ［用紙］タブをクリックします。

4. ［新しい用紙を作成する］にチェックを付けます。

5. 用紙名を入力します。

6. 用紙サイズを入力します。

補足
・ 用紙のサイズの範囲について：
長尺用紙対応のため、高さが 148 ～ 900mm で設定できます。ただし、プリンター側の制限により、印刷できるのは、次の設定の用紙サイズだけです。
1. 幅 75 ～ 297mm、高さ 148 ～ 431.8mm のサイズ
2. 幅 297mm、高さ 900mm のサイズ

7. ［用紙の保存］をクリックします。

8. ［用紙］ボックスに指定した用紙名が追加されたことを確認します。

9. ［閉じる］をクリックします。

これでユーザー定義の用紙サイズが登録できました。

定形外サイズの用紙に印刷する

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

注記
・ 正しい用紙サイズを設定しないで印刷すると、機械が故障する場合があります。

補足
・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［給紙 / 排出］タブをクリックします。

4. ［給紙選択］から、定形外サイズの用紙がセットされているホッパまたは手差しトレイを選択します。

5. ［給紙選択］で [手差しトレイ] を選択した場合で、用紙種類を変更するときは、［手差しの用紙種類］をクリックして［手差しの用紙種類］ダイアログボックスを表示します。
［手差し用紙種類］を設定し、［OK］をクリックします。

6. ［基本］タブをクリックします。

7. ［原稿サイズ］から、任意の原稿のサイズを選択します。

8. ［出力用紙サイズ］から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選択し、［OK］をクリックします。

9. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

3.5 ホッパおよび手差しトレイの用紙種類を変更して印刷する

本機の手差しトレイ、およびホッパ 1 〜 4 には、普通紙だけでなく、厚紙や OHP フィルムなど、さまざまな種類の用紙をセットできます。

使用する用紙種類を変更する場合は、用紙種類の設定も変更します。

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足

・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

ホッパおよび手差しトレイの用紙種類を変更して印刷する

次の 2 つの方法で、ホッパおよび手差しトレイの用紙種類を変更して印刷できます。

・ 操作パネルでホッパおよび手差しトレイの用紙種類を設定して印刷する

・ プリンタードライバーで用紙種類を設定して印刷する

■ 操作パネルでホッパおよび手差しトレイの用紙種類を設定して印刷する

ここでは、ホッパ 1 にセットされている、A4 たて置きの OHP フィルムに印刷する場合を例に説明します。

あらかじめ、操作パネルでプリンターのホッパの用紙種類を設定してください。

また、プリンターの設定を変更したら、プリンタードライバーにプリンターの設定を読み込んでおくと、印刷時に各ホッパおよび手差しトレイの設定がプリンタードライバーから確認できます。

参照

・ 操作パネルで用紙種類を設定する方法：「ホッパおよび手差しトレイにセットする用紙のサイズと種類について」(P. 96)、「[ヨウシ シュルイ]（用紙種類）」(P. 135)

・ 用紙設定をプリンタードライバーに読み込む方法：「2.6 オプション品の構成やホッパの用紙設定などを取得する」(P. 50)

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［給紙 / 排出］タブをクリックします。

4. ［給紙選択］で［ホッパ 1］を選択し、［OK］をクリックします。

補足

・ プリンターの用紙設定を読み込んでいる場合は、ホッパ名の横に用紙のサイズが表示されます。

5. ［基本］タブをクリックします。

6. ［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］を設定して、［OK］をクリックします。

7. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

■ プリンタードライバーで用紙種類を設定して印刷する

ここでは、ホッパ 1 に OHP フィルムをセットし、プリンターには普通紙の設定がされている場合を例に説明します。

プリンターに設定されているホッパの用紙種類に関係なく、プリンタードライバーで指定した内容で印刷されます。

注記

・ プリンタードライバーで設定する用紙の種類が、ホッパにセットされている用紙と合っていない場合、画像が正しく処理されません。トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりして、印字品質が悪くなります。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

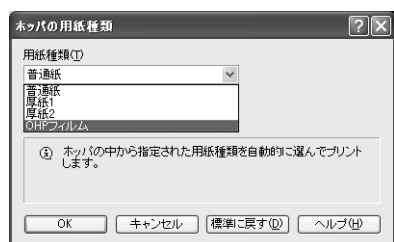
3. ［給紙 / 排出］タブをクリックします。

4. ［給紙選択］で、［ホッパ 1］を選択します。

5. ［ホッパの用紙種類］をクリックして［ホッパの用紙種類］ダイアログボックスを表示します。

6. ［用紙種類］から［OHP フィルム］を選択し、［OK］をクリックします。

補足

・ ここで選択した用紙種類は、そのジョブだけに有効です。プリンターに設定されているホッパの用紙種類は変更されません。

7. ［基本］タブをクリックし、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］を設定して、［OK］をクリックします。

8. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

ホッパの用紙種類を変更して自動印刷する

操作パネルで正しく用紙種類が設定されている場合は、プリンタードライバーでホッパを直接指定しなくても、設定した用紙種類から、適切なホッパを自動的に選択して印刷できます。

この方法を利用すると、どのホッパにどの用紙がセットされているかを意識しなくても印刷できます。

あらかじめ、操作パネルでプリンターのホッパの用紙種類を設定してください。

参照

・ 操作パネルで用紙種類を設定する方法：「ホッパおよび手差しトレイにセットする用紙のサイズと種類について」(P. 96)、「［ヨウシ シュルイ］（用紙種類）」(P. 135)

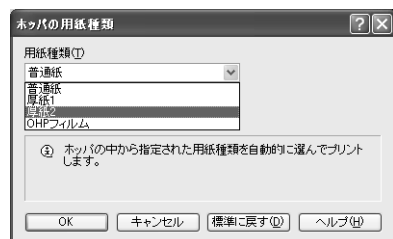
1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［給紙 / 排出］タブをクリックします。

4. ［給紙選択］で、［自動］を選択します。

5. ［ホッパの用紙種類］をクリックして［ホッパの用紙種類］ダイアログボックスを表示します。

6. ［用紙種類］から用紙種類を選択し、［OK］をクリックします。

7. ［基本］タブをクリックし、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］を設定して、［OK］をクリックします。

8. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

補足

・ 指定された用紙のホッパがない場合、用紙補給のメッセージが表示されます。用紙を補給すると、用紙種類の設定はプリンタードライバーから指定した用紙種類に自動的に更新して印刷します。厚紙など、用紙を入れ替えて印刷したあとは、用紙種類の設定がホッパにセットされている用紙種類と合っていることを、操作パネルで確認してください。

参照

・ 操作パネルで用紙種類を確認 / 設定する方法：「ホッパの用紙種類を変更する」(P. 98)

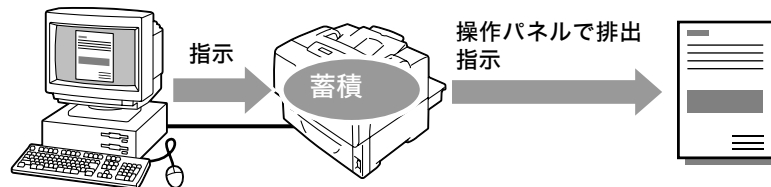
3.6 機密文書を印刷する
- セキュリティープリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、セキュリティープリント機能を使用できます。

注記

- ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。

セキュリティープリント機能について

セキュリティープリントとは、コンピューター上で、印刷データにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけて本機に印刷を指示し、印刷データをプリンター内に一時的に蓄積させたあと、操作パネルで印刷を開始する機能です。また、セキュリティーをかけないで印刷データをプリンターに蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書をプリンターに蓄積しておけば、コンピューターから何度も印刷を指示しなくても、本機側の指示だけで印刷できます。

補足

- 印刷後セキュリティープリントデータを削除するかどうかは、セキュリティープリントを印刷する手順の中で選択します。「操作パネルでの操作」(P. 71) を参照してください。
- 操作パネルの［セキュリティープリントソウサ］が［ムコウ］に設定されている場合は、セキュリティープリントを出力できません。

セキュリティープリントをする

セキュリティープリントをする方法を説明します。

まず、セキュリティープリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足

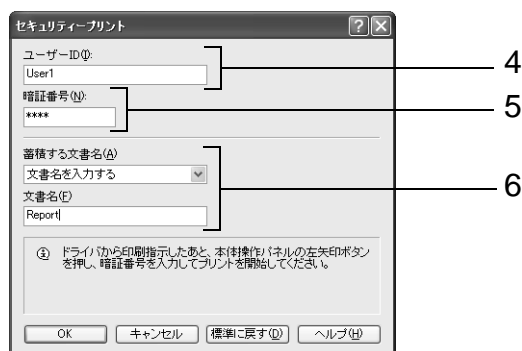
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［基本］タブの［プリント種類］から、［セキュリティー］を選択します。

［セキュリティープリント］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［ユーザー ID］にユーザー ID を入力します。
   ユーザー ID は、半角英数字カナで 8 文字まで入力できます。

5. 暗証番号を付ける場合は、［暗証番号］に暗証番号を入力します。
   半角数字で 12 文字まで入力できます。

6. ［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］、または［自動取得］を選択します。
   ［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を、12 バイト相当（半角で 12 文字）で指定します。
   ［自動取得］の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［基本］タブで［OK］をクリックします。

9. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。
   文書が本機内に蓄積されます。

操作パネルでの操作

セキュリティープリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順を説明します。

補足

- 本機内に蓄積したセキュリティープリントデータを、印刷しないで削除する場合は、下記の手順 8 のあと、[サクジョ スル] を選択してください。
- メニュー画面は、何も操作しない時間が 3 分間継続すると、メニュー操作を中断し、プリント画面に戻ります。その場合、中断されたメニュー操作は無効です。

1. 操作パネルの〈◀〉ボタンを押します。

2. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ユーザー ID が表示されます。

3. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ユーザー ID は、プリンタードライバーの［セキュリティー プリント］ダイアログボックスで設定した［ユーザー ID］が表示されます。

4. 〈▶〉ボタンで選択します。
   暗証番号を入力する画面が表示されます。

ｱﾝｼｮｳｦ ｲﾚ [ｾｯﾄ]
[_]

5. 〈▶〉ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉〈▼〉ボタンで暗証番号を入力します。

ｱﾝｼｮｳｦ ｲﾚ [ｾｯﾄ]
[****]

補足

- 暗証番号は、プリンタードライバーの［セキュリティー プリント］ダイアログボックスで設定した［暗証番号］を入力します。［暗証番号］を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。

6. 〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。
   文書名が表示されます。

ﾌﾞﾝｼｮｦ ｾﾝﾀｸ
Report

7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- 文書名は、プリンタードライバーの［セキュリティープリント］ダイアログボックスで設定した［蓄積する文書名］が表示されます（12 バイトまで)。
- 複数文書が格納されている場合は、[スベテノ ブンショ] を選択することもできます。

8. 〈▶〉ボタンで選択します。
印刷後の処理を選択する画面が表示されます。

補足
- 印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[サクジョスル] を表示し、〈▶〉ボタン、〈ストップ / 排出〉ボタンの順に押します。
- 印刷後も、データをハードディスクに残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して、[プリントゴ ホゾンスル] を表示し、手順 9 に進んでください。

9. 〈▶〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。

ﾌﾞｽｳﾉ ｼﾃｲ
1 ﾌﾞ *

10. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈ストップ / 排出〉ボタンで印刷します。
印刷が開始されます。

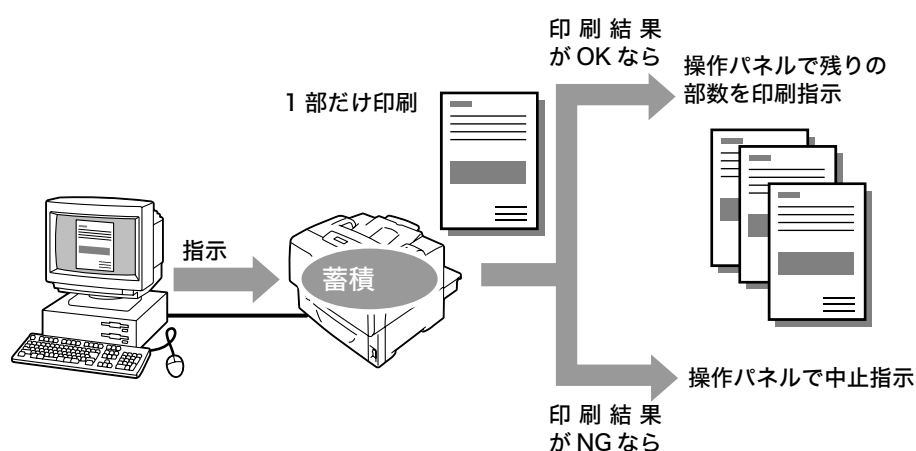
3.7 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、サンプルプリント機能を使用できます。

注記

- ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。

サンプルプリント機能について

サンプルプリントとは、複数部数を印刷する場合に、ハードディスクに印刷データを蓄積し、まず 1 部だけ印刷し、印刷結果を確認してから、残りの部数の印刷開始を操作パネルで指示する機能です。

補足

- 不要になったサンプルプリントデータは、印刷する場合と同様の手順で削除できます。「操作パネルでの操作」(P. 74) を参照してください。
- 操作パネルの [セキュリティープリントソウサ] が [ムコウ] に設定されている場合は、サンプルプリントを出力できません。

サンプルプリントをする

サンプルプリントをする方法を説明します。

まず、サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足

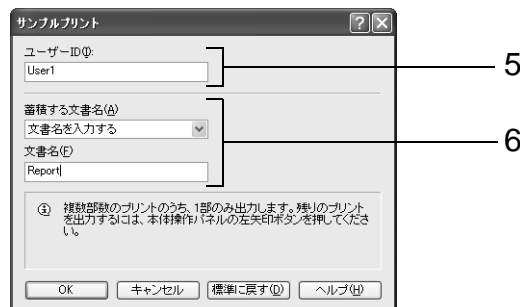
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。
3. ［基本］タブで、［部数］を 2 部以上に設定します。

4. ［プリント種類］から［サンプル］を選択します。

補足
・ 印刷部数を 2 部以上に設定すると、［サンプル］が選択できます。

［サンプルプリント］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［ユーザー ID］にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角英数字カナで 8 文字まで入力できます。

6. ［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］または［自動取得］を選択します。
［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を、12 バイト相当（半角で 12 文字）で指定します。
［自動取得］の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. ［OK］をクリックします。

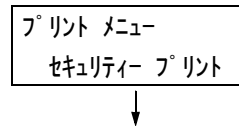
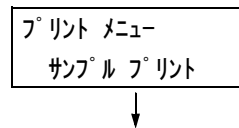
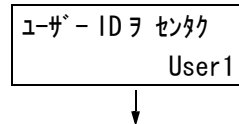
8. ［基本］タブで［OK］をクリックします。

9. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

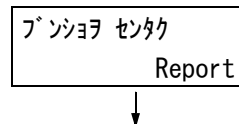
操作パネルでの操作

サンプルプリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順、および削除する手順を説明します。

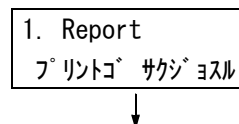
補足
・ メニュー画面は、何も操作しない時間が 3 分間継続すると、メニュー操作を中断し、プリント画面に戻ります。その場合、中断されたメニュー操作は無効です。

1. 操作パネルの〈◀〉ボタンを押します。

2. ［サンプル プリント］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ユーザー ID が表示されます。

4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

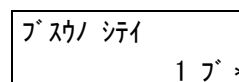
補足
- ユーザー ID は、プリンタードライバーの［サンプル プリント］ダイアログボックスで設定した［ユーザー ID］が表示されます。

5. 〈▶〉ボタンで選択します。
   文書名が表示されます。

6. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足
- 文書名は、プリンタードライバーの［サンプルプリント］ダイアログボックスで設定した［蓄積する文書名］が表示されます（12 バイトまで）。
- 複数文書が格納されている場合は、[スベテノ ブンショ] を選択することもできます。

7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   印刷後の処理を選択する画面が表示されます。

1. Report
ﾌﾟﾘﾝﾄｺﾞ ｻｸｼﾞｮｽﾙ

補足
- 印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、［サクジョスル］を表示し、〈▶〉ボタン、〈ストップ / 排出〉ボタンの順に押します。
- 印刷後も、データをハードディスクに残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して、［プリントゴ ホゾンスル］を表示し、手順 8 に進んでください。

8. 蓄積したデータを印刷する場合は、〈▶〉ボタンで選択します。

9. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈ストップ / 排出〉ボタンで印刷します。
   印刷が開始されます。

3.8 PDF ファイルを直接印刷する

本機では、PDF ファイルをプリンタードライバーを使用しないで直接プリンターに送信して印刷できます。印刷データが直接プリンターに送信されるので、プリンタードライバーを使用して印刷するときよりも簡単で高速に印刷されます。

■ PDF Bridge 機能

PDF Bridge は、本機が標準で搭載している機能です。PDF Bridge 機能を使用して PDF ファイルを印刷するには、ContentsBridge Utility を使用する方法と、lpr や ftp コマンドなどを使って直接プリンターに送信して印刷する方法があります。

補足

- ContentsBridge Utility は、プリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。
- lpr や ftp コマンドなどを使用する場合は、「ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する」(P. 77) を参照してください。
- PDF Bridge の機能を使って正しく印刷するためには、増設メモリ（オプション）が必要な場合があります。

印刷できる PDF ファイル

印刷できる PDF ファイルは、Adobe Acrobat 4、Adobe Acrobat 5（PDF1.4 で追加された一部機能は除く）、および Adobe Acrobat 6（PDF1.5 で追加された一部機能は除く）です。

補足

- PDF ファイルの作成方法によって、プリンターに直接印刷できないことがあります。その場合は、PDF ファイルを開き、プリンタードライバーを使って印刷してください。

ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する

ContentsBridge Utility を使用しないで、PDF ファイルを直接 lpr や ftp コマンドなどを使ってプリンターに送信し、印刷します。この場合、次の項目は操作パネルの［PDF］の設定に従って印刷されます。

- 部数
- 両面
- 印刷モード
- パスワード
- ソート
- 用紙サイズ
- レイアウト

参照
・「[PDF]」(P. 108)

補足
・[リョウメン] は、両面印刷ユニットが取り付けられている場合に表示されます。MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニット（オプション）が必要です。
・lpr コマンドを使って印刷する場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの［ブスウ］の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。

lpr や ftp コマンドを使って PDF ファイルを印刷する場合は、操作パネルまたは CentreWare Internet Services を使って、プリンター側の LPD ポートまたは FTP ポートを起動しておく必要があります（工場出荷時：起動）。

参照
・「[LPD]」(P. 113)
・「[FTP]」(P. 122)

対象 OS

Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista

PDF ファイルを印刷する

次に、lpr コマンドと ftp コマンドを使って PDF ファイルを印刷する場合の、コンピューター側の指定例を示します。

補足
・ここでは、入力する文字を太字で表します。
・空白（スペース）は、△で表します。

■ lpr コマンドの場合

対象 OS

Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista

指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力します。

例：プリンターの IP アドレスが 192.168.1.100 で、event.pdf ファイルを印刷する

C:¥>**lpr △ -S △ 192.168.1.100 △ -P △ lp △ event.pdf** 〈Enter〉キー

■ ftp コマンドの場合

対象 OS

Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Windows 2000/
Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista

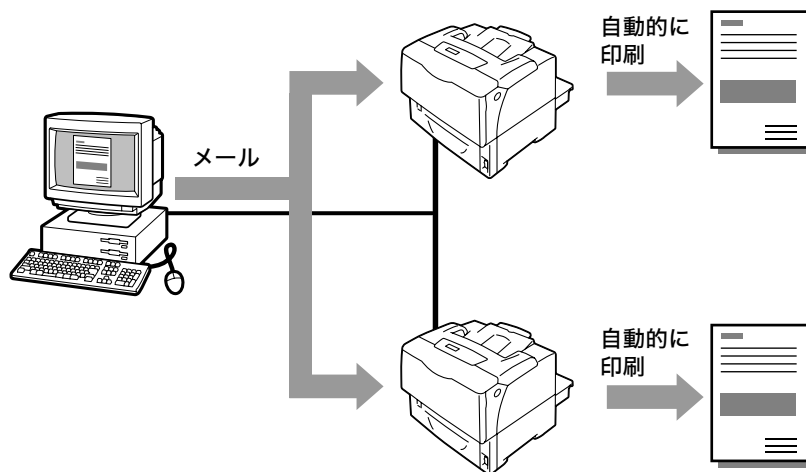
指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力します。
例：プリンターの IP アドレスが 192.168.1.100 で、event.pdf ファイルを印刷する
（表示されるメッセージの例は、MultiWriter 8500N の場合です。）

```
C:¥>ftp △ 192.168.1.100 〈Enter〉キー
Connected to 192.168.1.100.
220 FUJI XEROX MultiWriter 8500N
User (192.168.1.100:(none)): 〈Enter〉キー
331 Password required
Password: 〈Enter〉キー
230 Logged is
ftp>bin 〈Enter〉キー
200 Command successful
ftp>put △ event.pdf 〈Enter〉キー
200 Command successful
150 Opening data connection
226 Transfer complete
ftp: xxxxx bytes sent in xxxSeconds xxxxxkbytes/sec.
ftp>
```

3.9 電子メールを使って印刷する - E メールプリント -

プリンターがネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの送受信ができる環境が用意されている場合には、コンピューターから本機あてにメールを送信できます。

コンピューターから送信されたメールの本文、およびメールに添付された PDF 形式または TIFF 形式の文書が、本機から印刷されます。この機能を、E メールプリントと呼びます。

E メールプリントをするための環境設定

E メールプリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー (SMTP サーバーや POP3 サーバーなど) にも設定が必要です。

補足

- メール環境を誤って設定すると、ネットワーク内に多大な迷惑をかける可能性があります。メール環境の設定は、ネットワーク管理者が行ってください。

ネットワーク環境の設定

- メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

メール環境に合わせて、CentreWare Internet Services の［プロパティ］で、次の項目を設定します。

補足
- 設定後は、必ず［新しい設定を適用する］をクリックしてから、本機を再起動してください。
- 各項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

項目	設定項目	説明
ポート起動	E メールプリント	［起動］を選択します。
プロトコル設定 >メール	本体メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。ここで設定したメールアドレスが、メールの[From]欄に表示されます。
	SMTP サーバー - アドレス	SMTP プロトコルを使用して接続する、送信用メールサーバーの IP アドレス、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。
	SMTP サーバー - ポート番号	SMTP サーバーで使用しているポート番号を設定します。
	送信時の認証方式	SMTP サーバーの認証方式を設定します。
	SMTP AUTH - ログイン名	SMTP サーバーの認証用のユーザー名を設定します。
	SMTP AUTH - パスワード	SMTP サーバーの認証用パスワードを設定します。
	POP3 サーバー - アドレス	POP3 プロトコルを使用して接続する、受信用メールサーバーの IP アドレス、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。
	POP3 サーバー - ポート番号	POP3 サーバーで使用しているポート番号を設定します。
	POP3 サーバー - ログイン名	POP3サーバーに接続するためのユーザー名を設定します。
	POP3 サーバー - パスワード	POP3サーバーのユーザー名に対するパスワードを設定します。
	POP3 サーバー - 受信間隔	POP3 サーバーに、新着メールがあるかどうかを確認する間隔を設定します。
	APOP 設定	POP3 サーバーが APOP に対応する場合は、[有効] を選択します。
	受信許可メールアドレス	メールの受信を制限する場合、受信を許可するメールアドレスを入力します。何も指定しない場合は、すべてのユーザーからのメールを受け付けます。
	パスワード	本体へのメール送信時にパスワードを使用する場合は、［プリント用パスワード］の［パスワードを使用する］にチェックを付け、パスワードを設定します。

メールを送信する

送信できる添付ファイル

添付文書として送信できるのは、次のファイルだけです。

・ PDF ファイル

メールを送信する

E メールプリントをする場合は、コンピューターのメールソフトを使用して、メールのあて先にプリンターの本体メールアドレスを指定します。

そして、メールの件名または本文に、次に示す特定のコマンド、印刷したい文章を記述して、添付文書（PDF ファイルまたは TIFF ファイル）がある場合は、添付します。

補足
・ メールの送信方法は、使用しているメールソフトによって異なります。各メールソフトの説明書を参照してください。
・ 送信メールの形式は、テキスト形式にしてください。HTML 形式（HTML メール）は対応していません。

■ メールの本文にコマンドを指定する場合

メール本文に記述できるコマンドは、次のとおりです。

この場合は、メールの件名は何でもかまいません。任意に付けてください。

コマンド	パラメーター	説　明
#Password	パスワード	プリント用パスワードが設定されている場合は、必ず先頭にこのコマンドを記述します。パスワードが設定されていない場合は、省略できます。
#Print	（なし）	#Print コマンドの次行からのテキストを印刷します。添付文書（PDF ファイル）がある場合は、添付文書を印刷します。

記述例

コマンドは、次のような規則に従って記述します。

・ コマンドの大文字・小文字は区別しません。

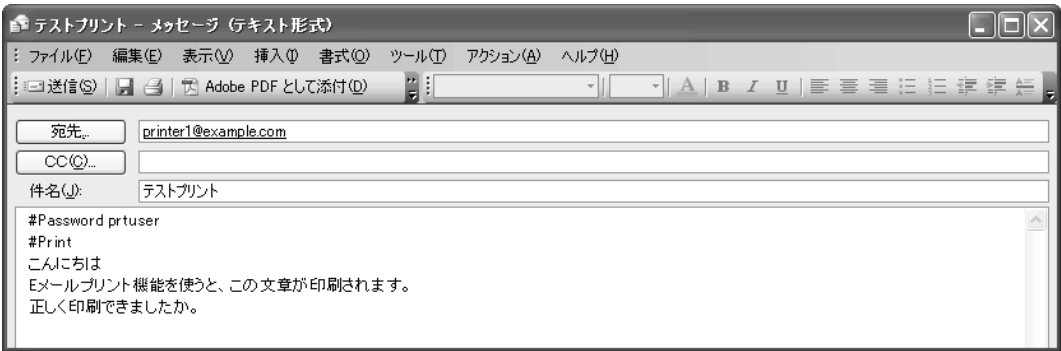
・ コマンドは、必ず「#」で始め、パスワードが設定されている場合は、メールの本文の先頭は必ず #Password コマンドを記述します。

・「#」以外で始まる行は無視されます。

・ メール本文 1 行に 1 コマンドを記述し、コマンドとパラメータは、スペースまたはタブで区切ります。

・ メール内に複数の同一コマンドがある場合は、2 度め以降のコマンドは無視されます。

次に Outlook Express での記述例を示します。ここでは、本体メールアドレスが「printer1@example.com」、プリント用パスワードに「prtuser」と設定されていると仮定します。

1. メール本文のテキストを印刷する場合

2. 添付文書を印刷する場合

補足
・ #Print コマンド以降にテキストが記述されていない場合は、テキストは印刷されません。
・ 添付文書（PDF ファイル）は複数指定できます。

■ メールの件名にコマンドを指定する場合

メールの件名に記述できるコマンドは、次のとおりです。

コマンド	説 明
#Print パスワード	プリント用パスワードが設定されている場合は、#Print のあとにスペースで区切り、パスワードを指定します。 パスワードが設定されていない場合は、「#Print」とだけ指定します。 記述例） #Print #Print prtuser
#Print[パスワード]	プリント用パスワードが設定されている場合は、#Print のあとに [] で囲んで、パスワードを指定することもできます。 #Print と [の間には、スペースは入れないでください。 記述例） #Print[prtuser]

メールの件名に #Print コマンドを指定した場合は、メールの本文全文、および添付文書（PDF ファイル）が印刷されます。

ただし、メール本文の先頭行にテキストが記述されていない場合 (改行だけ、またはスペースだけの場合も含む) は、本文のテキストは印刷されません。

■ 本機からの確認メール

本機は、#Print コマンドが記述されたメールを受信すると、次のような返信メールを返します。ユーザーは、この返信メールで、プリント指示が正常に受け付けられたかどうかを確認できます。

注記

・ この機能は、CentreWare Internet Servcies の［プロパティ］タブ＞［メール］で、［送信時の認証方式］を［無効］（初期値）に設定している場合にだけ、有効です。認証方式を使用している場合は、本機から確認メールは送信されません。［送信時の認証方式］については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

・ 件名に #Print コマンドを指定した場合は、パスワードの指定にかかわらず、返信メールの件名は「Re:#Print」になります。

```
Subject  : Re: テストプリント
   Date  : Wed, 20 Dec 2006 16:11:39 +0900 (JST)
   From  : printer1@example.com
     To  : user1@example.com

[E-Mail Printing]
 -  Command received.
```

メールによる文書送信時のご注意

セキュリティーに関するご注意

メールは、世界中のコンピューターとつながったインターネットを伝送経路として使用します。そのため、第三者に盗み見られたり、改ざんされたりしないよう、セキュリティーに関しての注意が必要です。

したがって、重要情報はセキュリティーが確保されているほかの方法を利用することをお勧めします。また、不用メールの受信を防止するため、本機のメールアドレスを、不用意に第三者に開示しないことをお勧めします。

受信許可ドメインの設定

本機では、特定のドメインからだけのメールを受信するように設定できます。

受信許可ドメインの設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

インターネットプロバイダーと本機を接続してメール機能を使用するときのご注意

- インターネットプロバイダーとの契約が定額制、常時接続でない場合、本機がメールサーバーに受信データを定期的に取りに行くため、その都度電話料金がかかります。
- IP マスカレードされた環境で接続してください。本機にグローバル IP アドレスを割り当てて接続した場合の動作は保証しません。
- POP 受信を行う場合には、必ず本機専用のメールアカウントを申請してください。ほかのユーザーと共通のメールアカウントを使用すると、トラブルの原因になります。
- インターネットの回線速度が遅い場合、画像データなど容量の多いデータの受信に時間がかかることがあります。
- プライベートセグメントに MTA を立てて運用している環境への設置は、運用形態に合わせてください。

メールプリント時のジョブ履歴について

メールプリントの場合、CentreWare Internet Services でジョブ履歴を表示したとき、[ジョブ名]、[所有者名]、[ホスト名]、[ホスト I/F]、[ホスト送信時間] は空欄になります。
また、[ジョブ履歴レポート] を印刷した場合も、同様の項目が空欄になります。
[ジョブ履歴レポート] の [ポート] には、[POP3] と印刷されます。

4　用紙について

4.1　用紙について

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機の性能を効果的に使用するために、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。

なお、推奨の用紙以外を使用するときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

使用できる用紙

用紙のサイズと用紙種類

各ホッパと手差しトレイにセットできる用紙のサイズ、用紙種類、最大収容枚数は、次のとおりです。

補足

・ メートル坪量とは、1m^2 の用紙 1 枚の質量をいいます。

ホッパ / 手差しトレイ	サイズ	用紙種類（メートル坪量）	最大収容枚数
手差しトレイ	A3、B4、A4、 A4、B5、A5、 11×17"、8.5×13"、 8.5×14"、8.5×11"、 5.5×8.5"、7.25×10.5"、 はがき、往復はがき、 封筒（洋形４号、長形３号、 COM-10、モナーク、DL、 C5）、 長尺紙（297×900mm）、 ユーザー定義（幅 75 ～ 297mm、 長さ 148 ～ 431.8mm）	普通紙（60 ～ 80g/m^2）、 厚紙1（106～163g/m^2）、 厚紙2（164～216g/m^2）、 OHP フィルム	坪量 64g/m^2 の普通紙 約 150 枚 郵便はがき　約 50 枚 封筒（洋形４号）約 10 枚 ラベル紙　約 75 枚 OHP フィルム　約 75 枚 または 17.5mm 以下
ホッパ 1（標準)、 ホッパ 2 ～ 4 （オプション）	A3、B4、A4、 A4、B5、A5、 11×17"、8.5×13"、 8.5×14"、8.5×11"、 5.5×8.5"、7.25×10.5"、 はがき、往復はがき、 封筒（洋形４号、長形３号、 COM-10、モナーク、DL、 C5）、 ユーザー定義（幅 75 ～ 297mm、 長さ 148 ～ 431.8mm）	普通紙（60 ～ 80g/m^2）、 厚紙1（106～163g/m^2）、 厚紙2（164～216g/m^2）、 OHP フィルム	用紙カセット（250 枚） 坪量 64g/m^2 の普通紙 約250枚 郵便はがき　約100枚 封筒（洋形４号)約 20 枚 ラベル紙　約180枚 OHP フィルム　約100枚 または 27.6mm 以下 用紙カセット（550 枚） 坪量 64g/m^2 の普通紙 約550枚 郵便はがき　約230枚 封筒（洋形４号)約 60 枚 ラベル紙　約250枚 OHP フィルム　約100枚 または 59.4mm 以下

注記

- プリンタードライバーや操作パネルでは、正しい用紙サイズ、用紙種類、ホッパ / 手差しトレイを選択して印刷してください。
  用紙のセットや、設定方法が適切でないと、紙づまりの原因になります。
- 再生紙は、用紙種類を指定する場合、普通紙を選択します。ラベル紙は、用紙種類を指定する場合、厚紙 1 を選択します。推奨のラベル紙、再生紙については、「弊社が推奨または使用確認済みの用紙」(P. 87) を参照してください。
- 水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくはお買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

■ 両面印刷ができる用紙

両面印刷ユニットを使って、両面印刷ができる用紙のサイズ、用紙種類は、次のとおりです。

サイズ	用紙種類
A3、B4、A4、A4、B5、A5、11×17"、8.5×13"、8.5×14"、8.5×11"、5.5×8.5"、7.25×10.5"、はがき、往復はがき、ユーザー定義（幅 100 ～ 297mm、長さ 148 ～ 431.8mm）	普通紙（60 ～ 80g/m^2)、厚紙 1（106 ～ 163g/m^2)、厚紙 2（164 ～ 190g/m^2)

使用できる用紙の規格

一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は、下表の規格に合った用紙を購入してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、次ページで紹介する標準紙の使用をお勧めします。

ホッパ / 手差しトレイ	規格（メートル坪量）
手差しトレイ	60 ～ 216g/m^2
ホッパ 1	60 ～ 216g/m^2
ホッパ 2 ～ 4（オプション）	60 ～ 216g/m^2

弊社が推奨または使用確認済みの用紙

次に、弊社が推奨、または使用できることを確認している用紙の一部を紹介します。

これ以外の用紙については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

商品名	メートル坪量	用紙種類の設定	用紙の特長と使用上の注意
P 紙 ＊標準紙（白黒印刷用）	64g/m^2	普通紙	社内配布資料や一般のオフィス用の中厚口用紙
C2（シー・ツー）紙	70g/m^2	普通紙	一般のオフィス用で、うら写りの少ない用紙
C2r（シー・ツー・アール）紙	70g/m^2	普通紙	古紙パルプ 70% 配合の再生紙
EPR	67g/m^2	普通紙	古紙パルプ 70%以上配合の再生紙
Green 100 紙	67g/m^2	普通紙	古紙パルプ 100% で必要最小限の白色度の再生紙
P 紙厚口	78g/m^2	普通紙	社内配布資料や一般のオフィス用で、うら写りが少なく両面印刷に適した厚口用紙
P 紙厚口	78g/m^2	普通紙	
OHP フィルム（クリア） 商品コード：GAAA5224	-	OHP フィルム	枠なしの OHP フィルム
ラベル用紙 （A4　20 面カット）	-	厚紙 1	全面シールで、カットされていないラベル紙
はがき （100×148mm）	190g/m^2	はがき	郵便はがき、往復はがき
往復はがき （200×148mm）			
封筒 E506 ハート社製初芝 山形　YS-14	-	封筒	市販の封筒 使用できるサイズは、「用紙のサイズと用紙種類」(P. 85)を参照してください。

使用できない用紙

次のような用紙は、使用しないでください。紙づまりや故障、および装置破損の原因になります。

- 上質紙
- コート紙
- FUJI XEROX フルカラー OHP フィルム（例：V556、V558、V302）のように、推奨していない OHP フィルム
- インクジェット専用紙､インクジェット用 OHP フィルム､インクジェット用郵便はがき
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 他のプリンターやコピー機で、一度印刷された用紙
- しわや折れ、破れのある用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 波打っている用紙、反っている（カールしている）用紙
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 絵入りのはがき
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- うら写り防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙
- ミシン目のある用紙
- 熱で変質するインクを使った用紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは、中性紙に替えてください。
- テープ付きの封筒や、凹凸や止め金のある封筒
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないものや、カットされているラベル用紙
- タックフィルム
- 水転写紙
- 布地転写紙
- 穴あき用紙

注記
- 絵入りのはがきを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉がピックローラに付着し、給紙できなくなることがあります。

用紙の保管と取り扱い

適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、紙づまりやカール、印字品質の低下、故障の原因になります。用紙を保管するときは、次のことに気をつけてください。

用紙の保管場所

- 温度：10 〜 30℃
- 相対湿度：30 〜 65%

保管上の注意

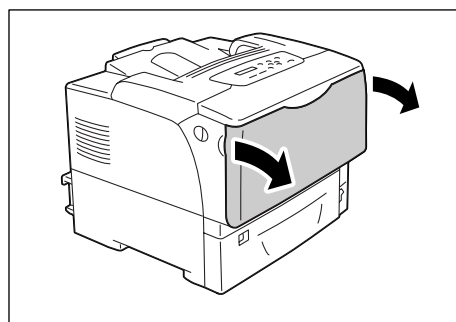
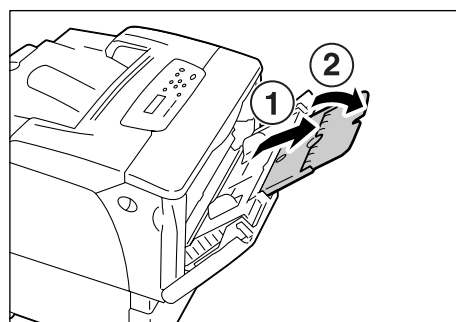
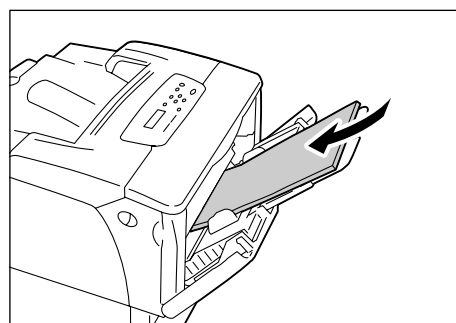
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- しわ、折れ、カールなどが付かないように保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。

4.2　用紙をセットする

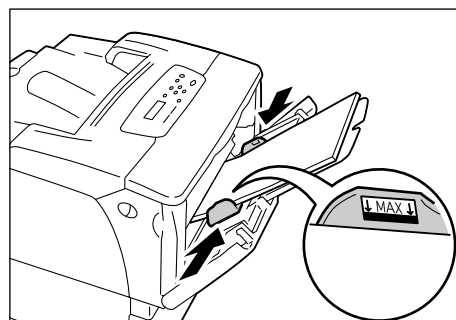
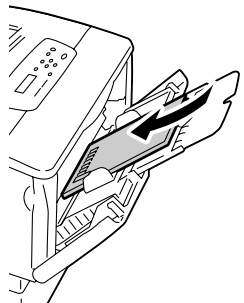
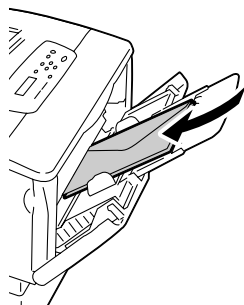
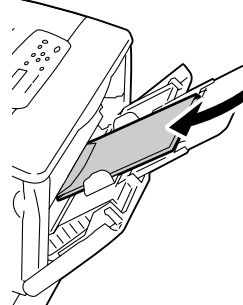
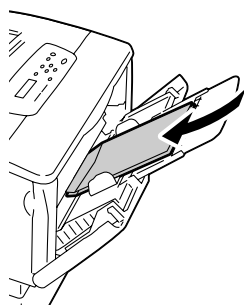
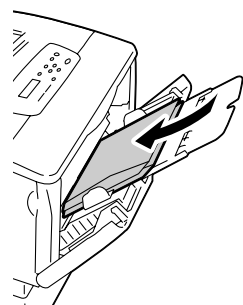
ここでは、手差しトレイ、およびホッパ１～４に用紙をセットする方法を説明します。

手差しトレイに用紙をセットする

注記
- 本機では、電源を入れた状態で用紙をセットしてください。
- 種類が違う用紙を同時にセットしないでください。
- 印刷動作中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙づまりの原因になります。
- 手差しトレイには、用紙以外のものを置かないでください。また、無理な力を加えて、手差しトレイを押し下げないでください。

1. 手差しトレイカバーを、手前に引いて開けます。

2. 長い用紙をセットするときは、延長トレイを、止まるところまで（カチッと音がするまで）、しっかりと引き出します。トレイの長さが足りないときは、さらに延長トレイを引き出します。

3. 印刷する面を下にして、用紙をセットします。

4. 用紙ガイドを動かして、用紙の端に合わせます。

注記
- 用紙ガイドは、軽く当ててください。強すぎたり、ゆるいと紙づまりの原因になります。

補足
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。

補足
・ 手差しトレイの用紙に印刷する場合は、印刷時にプリンタードライバーで、セットした用紙のサイズと種類を設定する必要があります。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
・ 操作パネルの［テザシ セッテイ モード］が［ソウサ パネル カラ シテイ］（初期値：［ドライバーセッテイユウセン］）に設定されている場合や、［ヨウシ サイズ］の設定を［ドライバー］（初期値）から変更している場合は、あらかじめ操作パネルで、ホッパの用紙種類やサイズを設定しておく必要があります。
この場合、印刷時にプリンタードライバーで設定したサイズと用紙種類が、操作パネルでの設定と一致しているときだけ、印刷されます。詳しくは、「［テザシ セッテイ モード］（手差し設定モード）」(P. 135) を参照してください。

手差しトレイに封筒やはがきをセットする場合の向き

手差しトレイに、はがきや封筒をセットする場合は、セットする用紙の向きに注意してください。

はがきの場合	例）白紙面に印刷する場合 印刷面を下にして、たて置きにセットします。 郵便番号記入欄は、奥（本機側）にします。	
のり付きの封筒	例）洋形４号 あて名面を下にし、フラップを閉じて、フラップ部分を本機に向かって右側になるように、セットします。	例）長形３号 あて名面を下にし、フラップを閉じて、フラップ側から給紙口に入るように、セットします。
のりなしの封筒	例）長形３号 あて名面を下にし、フラップを開いて、フラップ部分を本機に向かって奥側になるように、セットします。 補足 ・ フラップは、完全に開いてからセットしてください。 ・ フラップ側の余白量は、アプリケーションで設定されている余白量にフラップの長さ（フラップ先端から折り曲げ部までの長さ）を加えた余白量で印刷してください。	例）C5 あて名面を下にし、フラップを開いて、フラップ部分を本機に向かって左側になるように、セットします。 補足 ・ フラップは、完全に開いてからセットしてください。 ・ フラップ側の余白量は、アプリケーションで設定されている余白量にフラップの長さ（フラップ先端から折り曲げ部までの長さ）の 1/2 の長さを加えた余白量で印刷してください。

補足
・ 長形３号の封筒の場合は、次の設定で印刷することをお勧めします。

設定		対応方法
給紙口に対する置き方		給紙口に対して、封筒の短辺をセットします。
のりなし	給紙口の入れ方	フラップ側
	フラップ	たたまない（開く）
	プリンタードライバーの用紙サイズの設定	ユーザー定義サイズ なお、フラップ部分も、用紙長に含まれます。
	プリンタードライバーの原稿の 180 度回転	しない
	プリンタードライバーの印字位置調整	必要 フラップ部分も、用紙長に含まれるため、その部分を考慮して位置を調整します。
のり付き	給紙口の入れ方	フラップ側
	フラップ	たたむ
	プリンタードライバーの用紙サイズの設定	長形３号
	プリンタードライバーの原稿の 180 度回転	しない
	プリンタードライバーの印字位置調整	不要

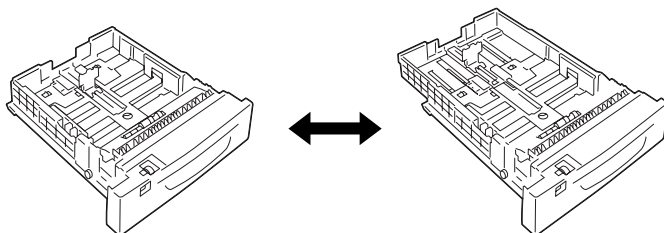
注記
・ はがきの場合、両面印刷時は、郵便場号記入欄が裏にくるようにセットしてください。
・ きれいに印刷するためには、次のような封筒は使用しないでください。
  ・ カールやよじれのある封筒
  ・ 貼り付いていたり破損している封筒
  ・ 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスのある封筒
  ・ ひもや金属製の留め金が付いている封筒や、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
  ・ 切手が貼ってある封筒
  ・ フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
  ・ ふちがギザギザの封筒や、隅が折れている封筒
  ・ 表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒

ホッパ１～４に用紙をセットする

本機では、B4、A3、11x17" など、用紙の縦が A4（297mm）よりも長い用紙をホッパにセットする場合は、用紙カセットを引き伸ばします。この場合、本体の奥行きよりも用紙カセットの長さが長くなるため、用紙カセットが背面から突き出た状態になります。

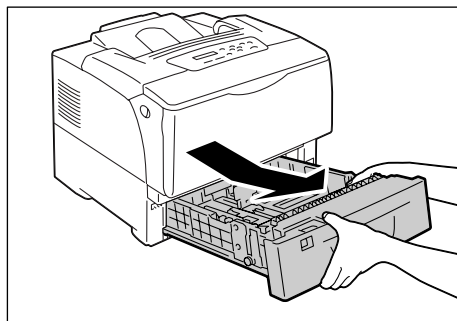
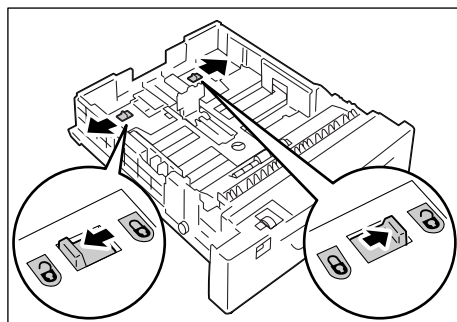
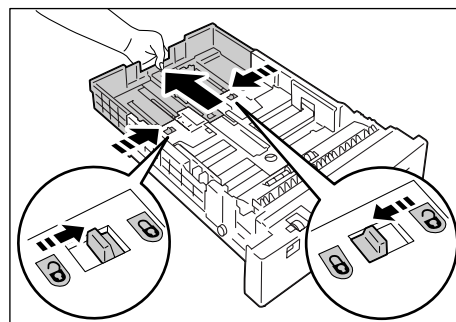
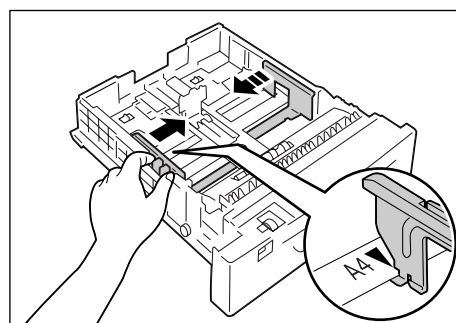
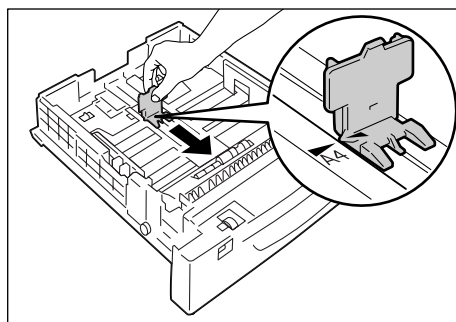
また、A5、B5、A4、8.5x11" サイズの用紙をよこ置きでセットする場合は、用紙カセットが伸びているとセットできません。その場合は、用紙カセットの長さを元に戻します。

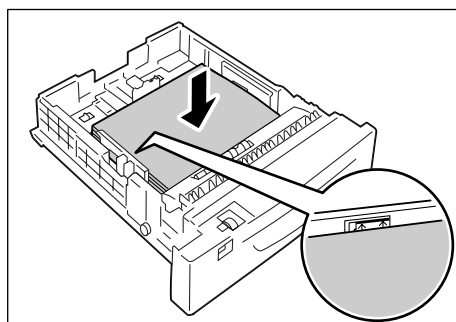
用紙カセットを引き伸ばす（縮小する）手順は、次の手順２～３で説明しています。

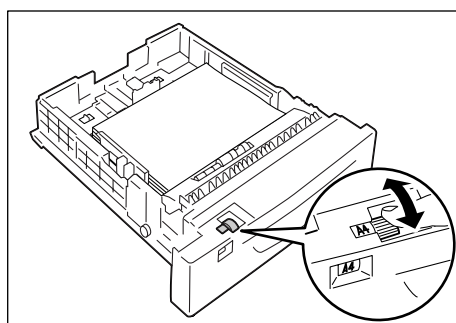
用紙カセットの長さを変更する必要がない場合は、手順２～３は不要です。

ここでは、ホッパ１に用紙をセットする例で説明します。用紙をセットする方法は、どのホッパでも同じです。

注記

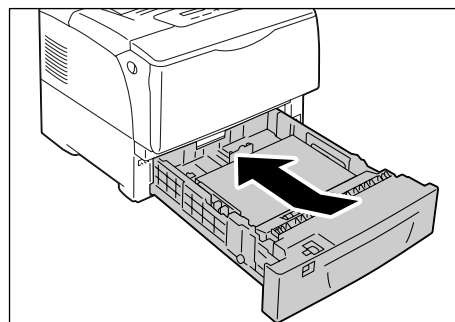
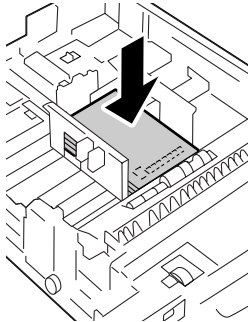
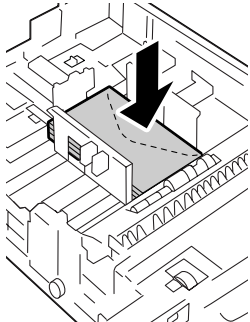
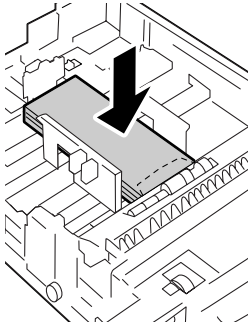
- 印刷動作中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙づまりの原因になることがあります。
- 本機は、電源を入れた状態で用紙をセットしてください。

1. 用紙カセットを、止まるまで手前に引き出します。用紙カセットを両手で持ち、正面を少し持ち上げて、プリンターから取り外します。

2. 用紙カセットの長さを変更する必要がない場合は、手順４に進んでください。
   用紙カセットの長さを変更する場合は、用紙カセットの左右の突起部を外側に動かして、ロックを解除します。

3. 用紙カセットを引き出し（縮め）ます。
手順 2 で解除したロックが自動的にかかるまで、引き出し（縮め）てください。（例：用紙カセットを引き出す場合）

4. 左の用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙のサイズまで動かします。（例：A4 サイズをよこ置きにする場合）

5. 縦の用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙のサイズまで動かします。
用紙サイズの ► マークの先端と、用紙ガイドの ◄ マークの先端を合わせてください。

6. 印刷する面を上にして、用紙をセットします。

補足
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。

7. 用紙サイズ設定ダイヤルを、セットした用紙に合わせます。

補足
- はがきや封筒、および定形外サイズの用紙をセットした場合、用紙サイズ設定ダイヤルは、「*」に合わせます。

8. 用紙カセットを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。
用紙カセットを伸ばした場合は、延長部分がプリンターの背面から突き出ます。

注記

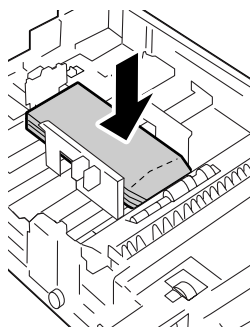
・ 用紙カセットを押し込むとき、用紙カセットとプリンター本体、または用紙カセットと用紙カセット（オプションの増設ホッパ装着時）の間に指を挟まないように注意してください。

9. 操作パネルに用紙種類を設定する画面が表示された場合は、セットした用紙の種類を設定します。

補足

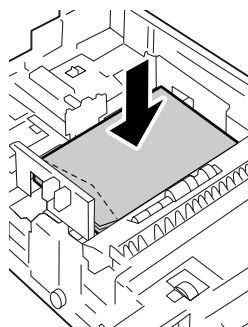
・ 用紙の種類を操作パネルで設定する場合は、〈▲〉または〈▼〉ボタンで項目を選択し、〈ストップ / 排出〉ボタンで選択を確定します。操作パネルの操作方法については、「 設定を変更する」(P. 104) を参照してください。

ホッパに封筒やはがきをセットする場合の向き

ホッパに、はがきや封筒をセットする場合は、セットする用紙の向きに注意してください。

はがきの場合	例）白紙面に印刷する場合 印刷面を上にして、たて置きにセットします。 郵便番号記入欄は、手前側にします。	
のり付きの封筒	例）洋形４号 あて名面を上にし、フラップを閉じて、フラップ部分を本機に向かって右側になるように、セットします。	例）長形３号 あて名面を上にし、フラップを閉じて、フラップ部分を本機に向かって手前側になるように、セットします。

<table>
<tr><td rowspan="2">のりなしの封筒</td><td>例）長形３号

あて名面を上にし、フラップを開いて、フラップ部分を本機に向かって手前になるように、セットします。</td><td>例）C5

あて名面を上にし、フラップを開いて、フラップ部分を本機に向かって左側になるように、セットします。</td></tr>
<tr><td>補足
・ フラップは、完全に開いてからセットしてください。
・ フラップ側の余白量は、アプリケーションで設定されている余白量にフラップの長さ（フラップ先端から折り曲げ部までの長さ）を加えた余白量で印刷してください。</td><td>補足
・ フラップは、完全に開いてからセットしてください。
・ フラップ側の余白量は、アプリケーションで設定されている余白量にフラップの長さ（フラップ先端から折り曲げ部までの長さ）の 1/2 の長さを加えた余白量で印刷してください。</td></tr>
</table>

補足
- はがきや封筒をホッパにセットした場合、用紙サイズ設定ダイヤルは、「*」に合わせます。

注記
- はがきの場合、両面印刷時は、郵便番号記入欄が裏にくるようにセットしてください。
- きれいに印刷するためには、次のような封筒は使用しないでください。
  - カールやよじれのある封筒
  - 貼り付いていたり破損している封筒
  - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスのある封筒
  - ひもや金属製の留め金が付いている封筒や、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
  - 切手が貼ってある封筒
  - フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
  - ふちがギザギザの封筒や、隅が折れている封筒
  - 表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒

ホッパおよび手差しトレイにセットする用紙のサイズと種類について

ホッパに用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きを、用紙サイズ設定ダイヤルで設定します。定形外サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「*」に設定します。
また、手差しトレイおよびホッパに定形外サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルでサイズを設定します。

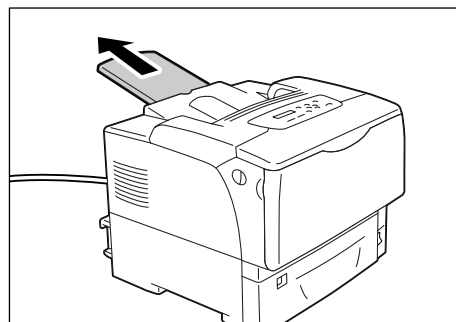
また、用紙の種類も自動的に検知できないため、設定が必要です。用紙の種類の設定が、ホッパにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が悪くなったりすることがあります。正しく、用紙種類を設定してください。

補足
- 用紙の種類は、操作パネルの［ヨウシ シュルイ］で変更できます。また、印刷時にプリンタードライバーから設定することもできます。
- 操作パネルの［ヘンコウ ガメン ヒョウジ］で、用紙種類を設定するメッセージを表示しないようにすることもできます。

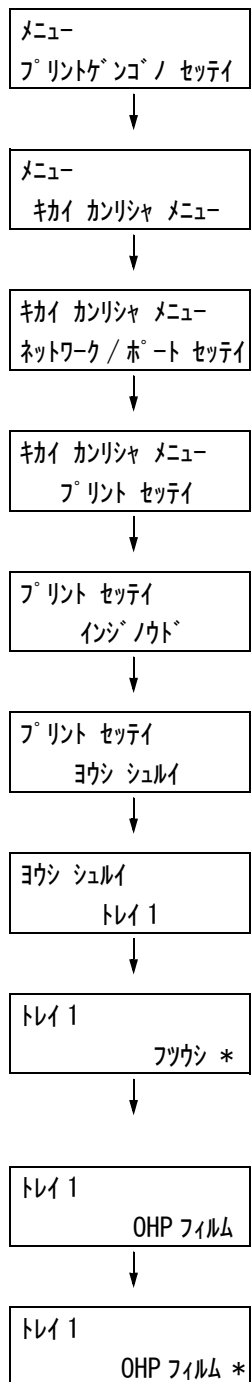
参照

- 操作パネルで用紙種類を設定する方法：「ホッパの用紙種類を変更する」(P. 98)
- 操作パネルで用紙サイズを設定する方法：「ホッパおよび手差しトレイの用紙サイズを設定する」(P. 99)
- ［ヨウシ シュルイ］や［ヘンコウ ガメン ヒョウジ］について：
「［ヨウシ シュルイ］（用紙種類）」(P. 135)、「［ヘンコウ ガメン ヒョウジ］（変更画面表示）」(P. 134)
- プリンタードライバーから用紙種類を設定する方法：「ホッパおよび手差しトレイの用紙種類を変更して印刷する」(P. 65)

排出延長トレイを引き出す

排出延長トレイは、印刷された用紙がプリンターからすべり落ちるのを防ぎます。
原稿を印刷する前に、排出延長トレイを引き出してください。

ホッパの用紙種類を変更する

ここでは、操作パネルでホッパ 1 〜 4 の用紙種類を変更する方法を説明します。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［ネットワーク / ポート セッテイ］が表示されます。
4. ［プリント セッテイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［インジノウド］が表示されます。
6. ［ヨウシ シュルイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［トレイ 1］が表示されます。
8. 設定したいホッパが表示されるまで〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉ボタンで選択します。
   現在の設定値が表示されます。
9. 設定したい用紙種類が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
   （例：OHP フィルム）
10. 〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。
11. 〈メニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

ホッパおよび手差しトレイの用紙サイズを設定する

ここでは、操作パネルで手差しトレイ、およびホッパ 1 〜 4 の用紙サイズを定形外サイズに設定する方法を説明します。

補足
・ 定形外サイズから定形サイズの用紙に変更した場合は、用紙サイズ設定ダイヤルで設定してください。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

ﾒﾆｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾄｹﾞﾝｺﾞﾉ ｾｯﾃｲ

2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾒﾆｭｰ
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
［ネットワーク / ポート セッテイ］が表示されます。

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ

4. ［プリント セッテイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ

5. 〈▶〉ボタンで選択します。
［インジノウド］が表示されます。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
ｲﾝｼﾞﾉｳﾄﾞ

6. ［ヨウシ　サイズ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ

7. 〈▶〉ボタンで選択します。
［トレイ 1］が表示されます。

ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
ﾄﾚｲ1　8.5x11" *

8. 設定したいホッパまたは手差しトレイが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉ボタンで右のフィールドに移動してから、〈▼〉ボタンを押します。
［テイケイガイ］が表示されます。

ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
ﾄﾚｲ1　ﾃｲｹｲｶﾞｲ

9. 〈ストップ / 排出〉ボタンで選択します。
［タテ（Y）ホウコウ ノ サイズ］が表示されます。

ﾄﾚｲ1ﾉ ﾃｲｹｲｶﾞｲ
ﾀﾃ(Y) ﾎｳｺｳ ﾉ ｻｲｽﾞ

10. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

ﾀﾃ(Y) ﾎｳｺｳ ﾉ ｻｲｽﾞ
148mm *

11. 〈▲〉〈▼〉ボタンで、たて方向のサイズを入力し、〈ストップ / 排出〉ボタンを押します。（例：431mm）

ﾀﾃ(Y) ﾎｳｺｳ ﾉ ｻｲｽﾞ
431mm

12. たて方向のサイズの設定が終わったら、次によこ方向のサイズを設定します。
〈◀〉ボタンで、[タテ（Y）ホウコウ ノ サイズ] に戻ります。

13. 〈▼〉ボタンを押します。
[ヨコ（X）ホウコウ ノ サイズ] が表示されます。

14. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

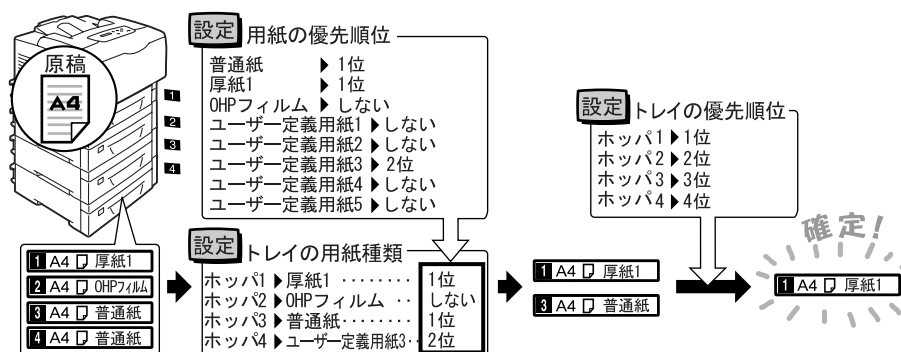
15. 〈▲〉〈▼〉ボタンで、よこ方向のサイズを入力し、〈ストップ / 排出〉ボタンを押します。（例：297mm）

16. ほかのホッパも設定する場合は、手順 8 の画面が表示されるまで〈◀〉ボタンを押して、同様に設定します。
設定を終了する場合は、〈メニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

自動給紙選択について

プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで、[給紙 / 排出]タブの[給紙選択]を[自動]にして印刷を指示すると、機械は印刷する原稿のサイズと向きから、該当するホッパを選択します。これを、自動給紙選択と呼びます。

この自動給紙選択で、該当するホッパが複数ある場合は、操作パネルの[トレイノ ヨウシシュルイ]に設定されている値を[ヨウシノ ユウセン ジュンイ]にあてはめ、優先順位が高いホッパを選択します。このとき、[ヨウシノ ユウセン ジュンイ]を[セッテイシナイ]に設定しているホッパは、自動給紙選択の対象にはなりません。また、[ヨウシノ ユウセン ジュンイ]がまったく同じ場合は、[トレイノ ユウセン ジュンイ]で決定されます。

たとえば‥‥

補足

- 手差しトレイは、自動給紙選択の対象外です。
- 自動給紙選択で該当するホッパがなかったときには、用紙補給を促すメッセージが表示されます。このメッセージを表示しないで、原稿サイズに近いサイズの用紙か、大きい用紙に印刷するように設定することもできます(用紙の置き換え機能)。
- 印刷中に用紙がなくなったときは、印刷していた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったホッパを選択して、印刷を続けます(自動給紙切り替え機能)。このとき、[ヨウシノ ユウセン ジュンイ]を[セッテイシナイ]に設定している種類の用紙が入ったホッパには、切り替えません。
- 同じ種類の用紙でも、用紙に名前を付けて、ユーザー定義用紙として設定することもできます。たとえば、青色の普通紙をセットしている場合に、「フツウシ Blue」といった名前を付けると、他の普通紙と区別できます。

参照

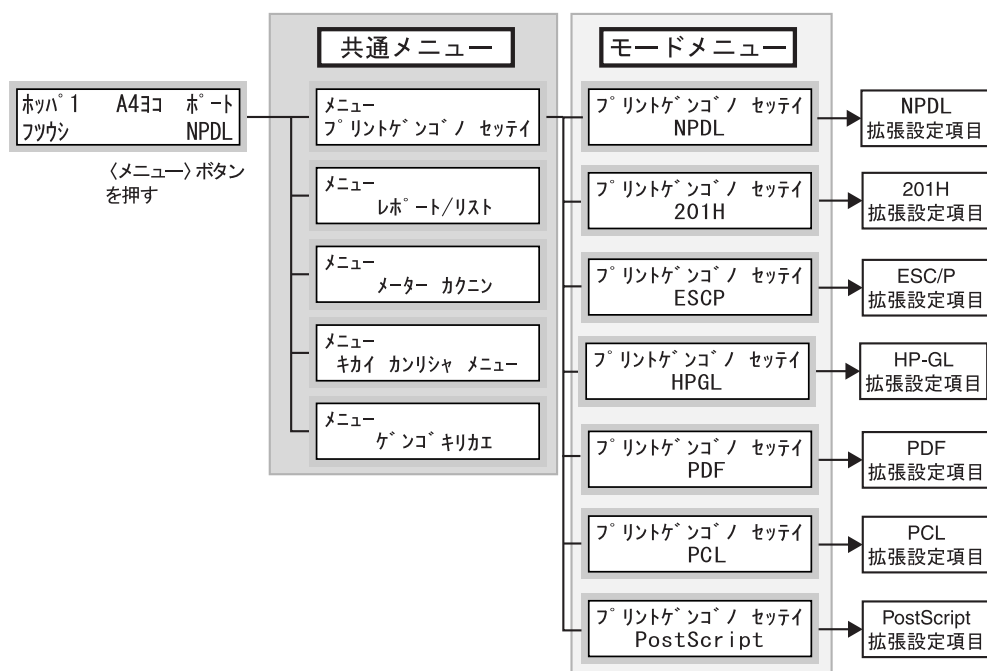
・「[プリント セッテイ](プリント設定)」(P. 133)

5　操作パネルでの設定

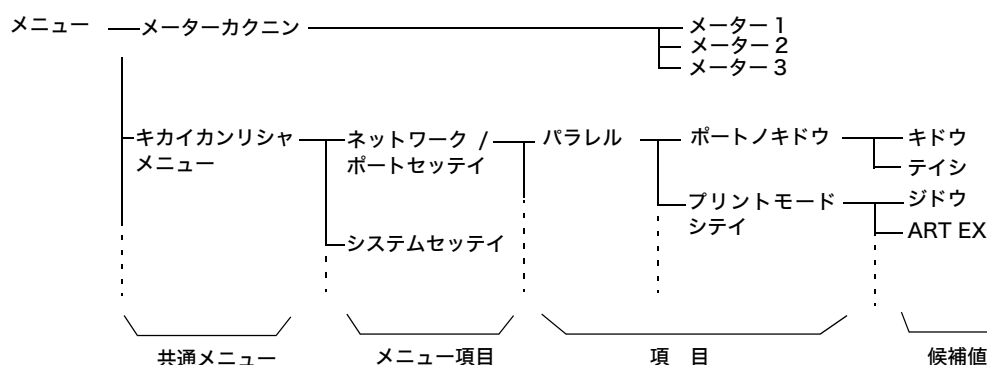
5.1　共通メニューの概要

メニューの構成

メニューは、5 つの共通メニューから構成されます。また、その中の［プリントゲンゴノセッテイ］メニューの中には、プリント言語固有の項目を設定するための、モードメニューがあります。

補足
・[PostScript] は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
・増設ホッパ（オプション）を取り付けていない場合は、[ホッパ 1] は［ホッパ］と表示されます。

共通メニューは、次のような階層で構成されています。

・共通メニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値

下の図は、共通メニューの階層の一部を示したものです。

共通メニューの各メニューの概要は、次のとおりです。

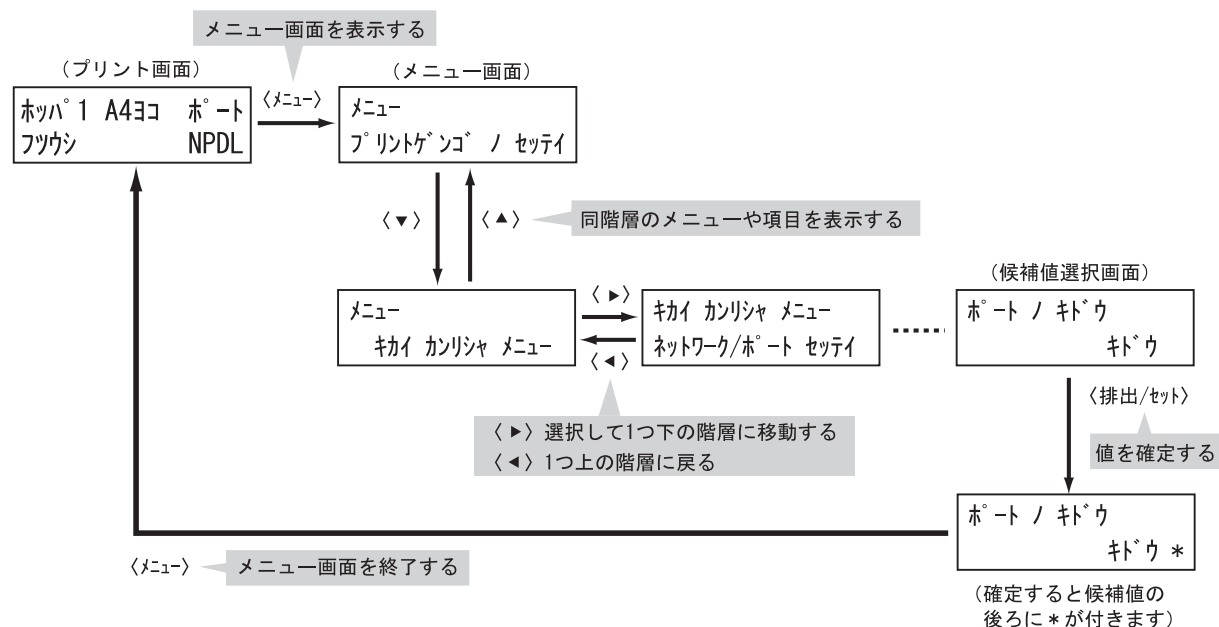
共通メニュー	内容	詳細説明の参照先
プリントゲンゴノセッテイ （プリント言語の設定）	[NPDL] NPDL モードの設定をします。	「8.4 NPDL モードメニューで設定できる項目」(P. 217)
	[201H] 201H エミュレーションモードの設定をします。	本機に同梱されているプリンターソフトウエア CD-ROM 内の各エミュレーションガイド
	[ESCP] ESC/P エミュレーションモードの設定をします。	
	[HPGL] HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定をします。	
	[PCL] PCL エミュレーションモードの設定をします。	
	[PDF] PDF ファイルを直接印刷するための設定をします。	「[PDF]」(P. 108)
	[PostScript] PostScript に関する設定をします。	「[PostScript]」(P. 110)
レポート / リスト	各種レポート / リストを印刷します。	「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 178)
メーター カクニン （メーター確認）	印刷した枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。	「総印刷枚数を確認する（メーター）」(P. 194)
キカイ カンリシャメニュー （機械管理者メニュー）	[ネットワーク / ポート セッテイ] コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。	「[ネットワーク / ポート セッテイ]（ネットワーク / ポート設定）」(P. 111)
	[システムセッテイ]（システム設定） 節電モードや異常警告音の設定など、プリンター本体の基本的な動作に関する設定をします。また、メニュー項目の設定が誤って変更されることを防ぐために、メニュー項目の設定操作に対し、暗証番号を設定します。	「[システム セッテイ]（システム設定）」(P. 126)
	[プリント セッテイ]（プリント設定） 自動給紙選択やホッパについて設定します。	「[プリント セッテイ]（プリント設定）」(P. 133)
	[メモリー セッテイ]（メモリー設定） ART EX、ART IV用フォームメモリー、ART IVユーザー定義メモリー、HPGL オートレイアウトメモリーの容量を変更します。	「[メモリー セッテイ]（メモリー設定）」(P. 142)
	[メンテナンス モード] 機械を調整するための各種項目があります。	「メンテナンスモード」(P. 143)
	[ショキカ / データ サクジョ]（初期化 / データ削除） プリンターの設定値やハードディスクの初期化、フォームデータの削除を行います。	「[ショキカ / データサクジョ]（初期化 / データ削除）」(P. 144)
ゲンゴ キリカエ （言語切り替え）	操作パネルの表示言語を切り替えます。	「[ゲンゴ キリカエ]（言語切り替え）」(P. 145)

参照

・ メニュー項目を設定するための基本的な操作方法：「 基本的な操作方法」(P. 104)

設定を変更する

基本的な操作方法

メニュー画面を表示したり、各メニューで階層を移りながらプリンターの設定をしたりするには、操作パネルの次のボタンを押します。

補足
- 一度〈ストップ / 排出〉ボタンを押して確定した値（* が付きます）を変更するときは、はじめから設定し直してください。
- メニュー画面は、何も操作しない時間が 3 分間継続すると、メニュー操作を中断し、プリント画面に戻ります。その場合、中断されたメニュー操作は無効です。

設定した値を、初期値に戻すには

初期値に戻したい項目を表示させて、〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押します。

変更処理が終了すると工場出荷時の値が表示されます。〈ストップ / 排出〉ボタンを押すと、値が確定されます。

操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する

共通メニューの操作を、スリープモードを無効にし、低電力モードへの移行時間を 60 分後に設定する場合を例に説明します。

補足
・ この例は、プリンターが節電状態になるまでの時間を、最も遅らせるようにするための設定です。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押してメニューを切り替えます。

補足
・ 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
下の階層に移動します。

補足
・ 間違って、違う項目で〈▶〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉ボタンで前の画面に戻ります。
・ 最初からやり直したい場合は、〈メニュー〉ボタンを押します。

4. ［システム セッテイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

5. 〈▶〉ボタンで選択します。
下の階層に移動します。

6. ［スリープ モード］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

7. 〈▶〉ボタンで選択します。
最下の階層に移動した場合は、現在の設定値が表示されます。

8. ［ムコウ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

9. 〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。
値が確定されると、右側に＊が付きます。

これで、スリープモードに移行しなくなりました。
続けて、低電力モードへの移行時間を変更します。

10. 〈◀〉ボタンで、1 つ上の階層（手順 6 の画面）に戻ります。

11. [テイデンリョクイコウジカン] が表示されるまで、〈▲〉ボタンを押します。

12. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

13. 〈▲〉〈▼〉ボタンを押して、[60 フンゴ] を表示します。

補足
・〈▲〉〈▼〉ボタンを押し続けると、連続的に値を変えることができます。

14. 〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。
値が確定されます。

15. これで設定が完了です。
〈メニュー〉ボタンを押すと、プリント画面に戻ります。

5.2 共通メニュー項目の説明

ここでは、共通メニューで設定できる項目について説明します。

補足
- メニューの設定方法については、「設定を変更する」(P. 104) を参照してください。
- CentreWare Internet Services でも、一部操作パネルと同様の項目を設定できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- 共通メニューの全体については、巻末の「操作パネルメニュー一覧」を参照してください。

[プリントゲンゴノ セッテイ]（プリント言語の設定）

[プリントゲンゴノ セッテイ] は、[NPDL]、[201H]、[ESCP]、[HPGL]、[PDF]、[PCL]、[PostScript] の 7 つのサブメニューで構成されています。

[NPDL]

このメニューで設定できる項目については、「8.4 NPDL モードメニューで設定できる項目」(P. 217) を参照してください。

[201H]

このメニューで設定できる項目については､本機に同梱されている CD-ROM 内の『201H エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[ESCP]

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されている CD-ROM 内の『ART Ⅳ、ESC/P エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[HPGL]

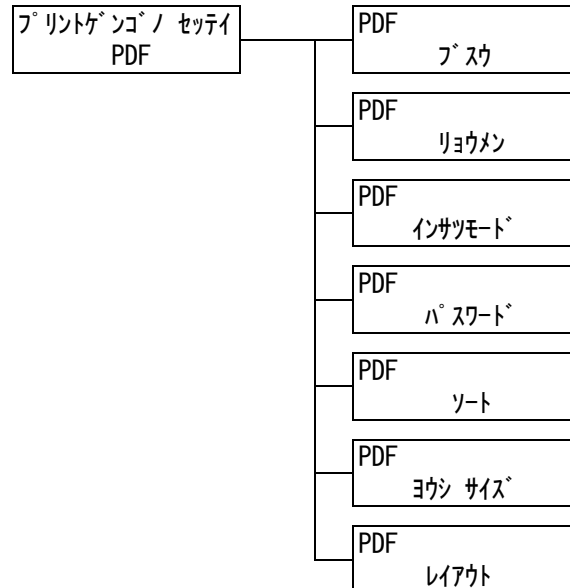
このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されている CD-ROM 内の『HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[PDF]

PDF ファイルを直接プリンターに送信して印刷する場合の設定をします。

PDF ファイルの印刷処理を、本機搭載の PDF Bridge を使って行います。

ここでの設定は、ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する場合に有効になります。

参照
・「3.8 PDF ファイルを直接印刷する」(P. 76)

設定項目	説　明
ブスウ（部数）	印刷する部数を設定します。 ・［1 ブ］～［999 ブ］（初期値：1 ブ） 補足 ・ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。
リョウメン（両面）	両面印刷について設定します。 ・［シナイ］（初期値） 両面印刷を行いません。 ・［チョウヘントジ］ 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。 ・［タンペントジ］ 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。 補足 ・この項目は、両面印刷ユニットを取り付けている場合に表示されます。MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。
インサツモード（印刷モード）	画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。 ・［ヒョウジュン］（初期値） 標準的な速度、画質で印刷します。 ・［コウガシツ］ 印刷速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいに印刷します。 ・［コウソク］ 速度を優先して印刷します。

設定項目	説　明
パスワード	PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。印刷する PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけ印刷できます。 設定できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 （参照 P.144 の *4 No.1、3、4、5）
ソート	複数部数を、1 部ごとにソート（1、2、3...1、2、3...）して印刷するかどうかを設定します。 ・［シナイ］（初期値） ・［スル］
ヨウシサイズ （用紙サイズ）	出力する用紙サイズを設定します。 ・［ジドウ］ 印刷する PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。 ・［A4］または［8.5 x 11"］（初期値） ［キカイ カンリシャ メニュー］＞［プリント セッテイ］＞［キホン ノ ヨウシ サイズ］の設定によって、A4または8.5 x 11"のどちらかが表示されます。
レイアウト	印刷するときのレイアウトについて設定します。 ・［ジドウ バイリツ］（初期値） 印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。PDF ファイルの原稿サイズに応じて、A4 またはレターサイズのどちらかを自動的に判別し、印刷されます。 ・［100%（トウバイ）］ 印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。 ・［カタログ（ショウサッシ）］ 印刷する PDF ファイルのページ構成に応じて、カタログのようにページを割り付けて両面印刷します。ただし、ページ構成によっては、カタログ印刷ができない場合があります。その場合は、［ジドウ バイリツ］で印刷されます。また、［ヨウシ サイズ］で［A4］を設定している場合は、A4 サイズの用紙に印刷されます。［ヨウシ サイズ］で［ジドウ］を設定している場合は、A3 または A4 サイズの用紙に印刷されます。 ・［2 アップ］ 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。 ・［4 アップ］ 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。 補足 ・［カタログ（ショウサッシ）］は、両面印刷ユニットが必要です。両面機能がない場合は、片面に印刷されます。MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。

［PCL］

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されている CD-ROM 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[PostScript]

PostScript に関する設定をします。

補足
・ このメニューは、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

設定項目	説　明
PS エラーレポート	PostScript エラー時に、エラーの内容を出力するかどうかを設定します。 ・［スル］（初期値） ・［シナイ］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。
PS ジョブ タイムアウト	プリントデータ受信中に継続して次のデータが受信されない場合、受信中のジョブを終了させて印字を開始します。 そのときの経過時間を 1 分単位に設定します。 ・［シナイ］（初期値） 　ジョブ タイムアウトをしません。 ・［1 フン］～［900 フン］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。
PS ディスク ショキカ	ハードディスク（オプション）内の PostScript が保持する情報を初期化します。 補足 ・ ハードディスク（オプション）を取り付けている場合に表示されます。
ヨウシ センタク モード（用紙選択モード）	PostScript の DMS（Deferred Media Selection）機能を有効にするかどうかを設定します。 ・［ジドウ］（初期値） 　DMS 機能を有効にします。 ・［トレイ カラ センタク］ 　DMS 機能を無効にします。ホッパから選択されます。 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。

[レポート / リスト]

各種レポート / リストを印刷します。レポート / リストの詳細、および印刷方法は、「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 178) を参照してください。

補足
・ 本機に取り付けられているオプション品によって、印刷できるレポート / リストが異なります。詳細は、「レポート / リストの種類」(P. 178) を参照してください。

[メーター カクニン](メーター確認)

印刷した枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。メーターの詳細、および確認手順は、「総印刷枚数を確認する(メーター)」(P. 194) を参照してください。

[キカイ カンリシャ メニュー](機械管理者メニュー)

[キカイ カンリシャ メニュー] は、[ネットワーク / ポート セッテイ]、[システム セッテイ]、[プリント セッテイ]、[メモリー セッテイ]、[メンテナンス モード]、[ショキカ / データサクジョ] の 6 つのサブメニューで構成されています。

[ネットワーク / ポート セッテイ](ネットワーク / ポート設定)

[ネットワーク / ポート セッテイ] は、コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定するためのメニューです。

[パラレル]

パラレルポートを使う場合に設定します。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ（ポートの起動）	電源を入れたときに、パラレルポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・［キドウ］（初期値） ・［テイシ］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。
プリントモード シテイ（プリントモード指定）	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・［ジドウ］（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。（参照 P. 145 *1） ・［ART EX］、［ART4］、［201H］、［ESC/P］、［HP-GL/2］、［TIFF］、［PDF］、［PS］、［PCL］、［NPDL］ コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・［HexDump］ HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。（参照 P. 145 *3） 補足 ・［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。
Adobe ツウシン プロトコル（Adobe 通信プロトコル）	PostScript の通信プロトコルを設定します。 ・［ジドウ］ PostScript の通信プロトコルを自動で判別します。 ・［ヒョウジュン］ 通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。 ・［BCP］ 通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。 ・［TBCP］（初期値） 通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 ・［バイナリー］ データに対して特別な処理を必要としない場合に使用します。 補足 ・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。 ・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 ・ ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にだけ有効です。 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。
ソウホウコウ セッテイ（双方向設定）	パラレルインターフェイスのポートの通信モードを設定します。 ・［ニブル］（初期値） ・［ECP］ ・［ナシ］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。

[LPD]

LPD を使う場合に設定します。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ **（ポートの起動）**	電源を入れたときに、LPD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・[キドウ]（初期値） ・[テイシ] 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。
プリントモード **シテイ** **（プリントモード** **指定）**	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・[ジドウ]（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。（参照 P. 145 *1） ・[ART EX]、[ART4]、[201H]、[ESC/P]、[HP-GL/2]、[TIFF]、[PDF]、[PS]、[PCL]、[NPDL] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・[HexDump] HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。 （参照 P. 145 *3） 補足 ・[PS] は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

[NetWare]

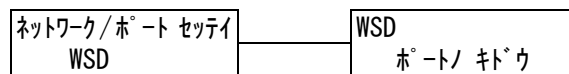
NetWare を使う場合に設定します。

補足
・ この項目は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ **（ポートの起動）**	電源を入れたときに、NetWare ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 TCP/IP を使う場合と IPX/SPX を使う場合の設定があります。 ・［キドウ］（初期値） ・［テイシ］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。
プリントモード **シテイ** **（プリントモード** **指定）**	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・［ジドウ］（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。（参照 P. 145 *1） ・［ART EX］、［ART4］、［201H］、［ESC/P］、［HP-GL/2］、［TIFF］、［PDF］、［PS］、［PCL］、［NPDL］ コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・［HexDump］ HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。 （参照 P. 145 *3） 補足 ・［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

[WSD]

WSD を使う場合に設定します。

補足
・ この項目は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ（ポートの起動）	電源を入れたときに、WSD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・［キドウ］（初期値） ・［テイシ］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。

[SMB]

SMB を使う場合に設定します。

補足
・ この項目は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ（ポートの起動）	電源を入れたときに、SMB ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 TCP/IP を使う場合と NetBEUI を使う場合の設定があります。 ・［キドウ］（初期値） ・［テイシ］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。

設定項目	説　明
プリントモード シテイ (プリントモード指定)	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・［ジドウ］（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。(参照 P. 145 *1) ・［ART EX］、［ART4］、［201H］、［ESC/P］、［HP-GL/2］、［TIFF］、［PDF］、［PS］、［PCL］、［NPDL］ コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・［HexDump］ HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。 (参照 P. 145 *3) 補足 ・［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

［IPP］

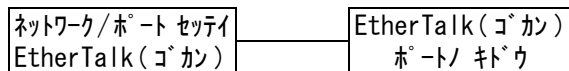
IPP を使う場合に設定します。

補足
・この項目は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ (ポートの起動)	電源を入れたときに、IPP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・［キドウ］（初期値） ・［テイシ］ 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。
プリントモード シテイ (プリントモード指定)	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・［ジドウ］（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。(参照 P. 145 *1) ・［ART EX］、［ART4］、［201H］、［ESC/P］、［HP-GL/2］、［TIFF］、［PDF］、［PS］、［PCL］、［NPDL］ コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・［HexDump］ HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。 (参照 P. 145 *3) 補足 ・［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

[EtherTalk（ゴカン）]

EtherTalk を使う場合に設定します。

補足
・ この項目は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）と PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ（ポートの起動）	電源を入れたときに、EtherTalk ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [キドウ]（初期値） ・ [テイシ] 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。

[USB]

USB ポートを使う場合に設定します。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ（ポートの起動）	電源を入れたときに、USB ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [キドウ]（初期値） ・ [テイシ] 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。
プリントモード シテイ（プリントモード指定）	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・ [ジドウ]（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。（参照 P. 145 *1） ・ [ART EX]、[ART4]、[201H]、[ESC/P]、[HP-GL/2]、[TIFF]、[PDF]、[PS]、[PCL]、[NPDL] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。（参照 P. 145 *3） 補足 ・ [PS] は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

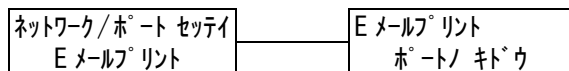
設定項目	説　明
Adobe ツウシン プロトコル (Adobe 通信プロトコル)	PostScript の通信プロトコルを設定します。 ・[ジドウ] PostScript の通信プロトコルを自動で判別します。 ・[ヒョウジュン] 通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。 ・[BCP] 通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。 ・[TBCP]（初期値） 通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 ・[バイナリー] データに対して特別な処理を必要としない場合に使用します。 補足 ・この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。 ・コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 ・ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にだけ有効です。 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。

[Port9100]

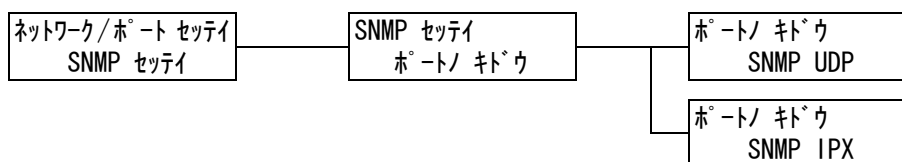
Port9100 を使う場合に設定します。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ (ポートの起動)	電源を入れたときに、Port9100 ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・[キドウ]（初期値） ・[テイシ] 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。
プリントモード シテイ (プリントモード指定)	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・[ジドウ]（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。（参照 P. 145 *1） ・[ART EX]、[ART4]、[201H]、[ESC/P]、[HP-GL/2]、[TIFF]、[PDF]、[PS]、[PCL]、[NPDL] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・[HexDump] HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。 （参照 P. 145 *3） 補足 ・[PS] は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

[E メールプリント]

E メールプリント機能を使うかどうかを設定します。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ **(ポートの起動)**	E メールプリント機能を使うかどうかを設定します。 ・[キドウ](初期値) ・[テイシ] 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。

[SNMP セッテイ](SNMP 設定)

SNMP を使う場合に設定します。SNMP の設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンターの情報を収集します。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ **(ポートの起動)**	電源を入れたときに、SNMP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 UDP を使う場合と IPX を使う場合の設定があります。 ・[キドウ](初期値) ・[テイシ] 補足 ・UDP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。 ・IPX は、マルチプロトコル LAN カード(オプション)を取り付けている場合に表示されます。 ・UDP、IPX のどちらのプロトコルを使うかは、アプリケーションのマニュアルを参照してください。 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。

[TCP/IP]

TCP/IP に関する設定をします。

補足
・[IP ドウサモード]、[IPsec ツウシン カイジョ] は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

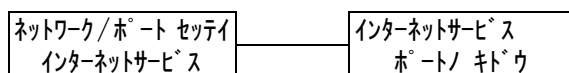
設定項目	説　明
IP ドウサモード **（IP 動作モード）**	TCP/IP を使うために動作モードを設定します。 ・[デュアル スタック]（初期値） IPv4 モード、IPv6 モードの両方を使用できます。本機を IPv4/IPv6 が混在する環境で使用するときのモードです。 ・[IPv4] IPv4 モードに設定します。本機を IPv4 環境で使用するときのモードです。 ・[IPv6] IPv6 モードに設定します。本機を IPv6 環境で使用するときのモードです。 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。

設定項目	説　明
IPv4	IPv4 モードを使うために必要な情報（IP アドレスの取得方法、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）を設定します。 ・［IP アドレス シュトクホウホウ］ TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）を DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー、DHCP/Autonet、BOOTP、または RARP から自動的に取得するか、手動で指定するかを設定します。手動で設定する場合は、［パネル］を選択します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。初期値は［DHCP/Autonet］で、接続できる DHCP サーバーを検索し、DHCP サーバーが存在しない場合は、本機自身で IP アドレスを割り振ります。 ・［IP アドレス］/［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］ アドレスは、xxx、xxx、xxx、xxx の形式で入力します。IP アドレスとゲートウェイアドレスの xxx に設定できるのは 0 〜 255 までの数値です。ただし、先頭の xxx に限り、127 と 224 〜 255 は無効です。また、サブネットマスクの各 xxx に設定できるのは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値です。（参照 P. 28） **注記** ・誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。
IPsec ツウシン カイジョ	IPsec 通信を解除します。 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。 ・IPsec の設定は、CentreWare Internet Services で行います。

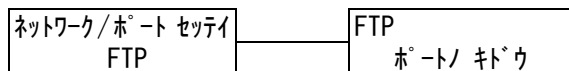
[インターネットサービス]

インターネットサービスを使うかどうかを設定します。

［キドウ］に設定すると、CentreWare Internet Services を利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。

ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｻｰﾋﾞｽ
—
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｻｰﾋﾞｽ
ﾎﾟｰﾄﾉ ｷﾄﾞｳ

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ（ポートの起動）	電源を入れたときに、インターネットサービスポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・［キドウ］（初期値） ・［テイシ］ 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。

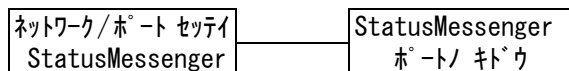
[FTP]

FTP サービスを使うかどうかを設定します。

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ (ポートの起動)	電源を入れたときに、FTP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・［キドウ］（初期値） ・［テイシ］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。

[StatusMessenger]

StatusMessenger 機能を使うかどうかを設定します。

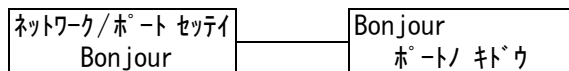
ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
StatusMessenger

StatusMessenger
ﾎﾟｰﾄﾉ ｷﾄﾞｳ

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ (ポートの起動)	電源を入れたときに、StatusMessenger ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・［キドウ］（初期値） ・［テイシ］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。

[Bonjour]

Multicast DNS 機能を使うかどうかを設定します。

補足
・ この項目は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
Bonjour

Bonjour
ﾎﾟｰﾄﾉ ｷﾄﾞｳ

設定項目	説　明
ポート ノ キドウ (ポートの起動)	電源を入れたときに、Bonjour ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・［キドウ］（初期値） ・［テイシ］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。

[Ethernet セッテイ]（Ethernet 設定）

Ethernet インターフェイスに関する設定をします。

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
  Ethernet ｾｯﾃｲ
```

設定項目	説　明
Ethernet セッテイ （Ethernet 設定）	Ethernet インターフェイスの通信速度 / コネクターの種類を設定します。 ・[ジドウ]（初期値） 100M（全二重）、100M（半二重）、10M（全二重）、10M（半二重）を自動的に切り替えます。 ・[10M（ハンニジュウ）] 10M（半二重）に固定して使う場合に選択します。 ・[10M（ゼンニジュウ）] 10M（全二重）に固定して使う場合に選択します。 ・[100M（ハンニジュウ）] 100M（半二重）に固定して使う場合に選択します。 ・[100M（ゼンニジュウ）] 100M（全二重）に固定して使う場合に選択します。 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。

[IPX/SPX フレームタイプ]

IPX/SPX のフレームタイプを設定します。

補足
・この項目は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
IPX/SPX ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
```

設定項目	説　明
IPX/SPX フレームタイプ	IPX/SPX のフレームタイプを設定します。 ・[ジドウ]（初期値） フレームタイプを自動で設定します。 ・[Ethernet II] Ethernet 仕様のフレームタイプを使います。 ・[802.3] IEEE802.3 仕様のフレームタイプを使います。 ・[802.2] IEEE802.2 仕様のフレームタイプを使います。 ・[SNAP] SNAP 仕様のフレームタイプを使います。 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。

[ネットワーク セッテイ]（ネットワーク設定）

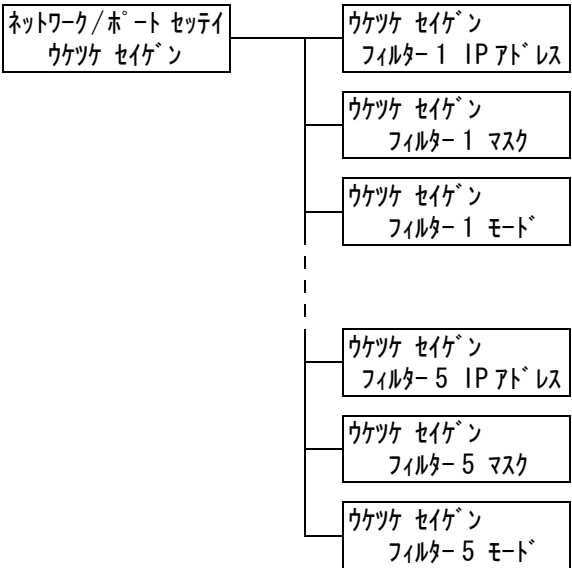
補足
・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ	ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ Adobe ﾂｳｼﾝﾌﾟﾛﾄｺﾙ

設定項目	説　明
Adobe ツウシンプロトコル（Adobe 通信プロトコル）	ネットワーク用の Adobe 通信プロトコルを設定します。 ・ [ジドウ]（初期値） 通信プロトコルを自動で判別します。 ・ [ヒョウジュン] 通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。 ・ [BCP] 通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。 ・ [TBCP] 通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 ・ [バイナリー] データに対して特別な処理を必要としない場合に使用します。 補足 ・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 ・ ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にだけ有効です。 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。

［ウケツケ セイゲン］（受け付け制限）

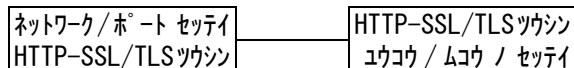
受信制限について設定します。

補足
・ 受信制限は、CentreWare Internet Services でも設定できます。設定例については、「IP アドレスによる受信制限」(P. 191) を参照してください。

設定項目	説　明
フィルター1～5 IP アドレス	受信制限を設定する IP アドレスを 0 ～ 255 の数値で入力します。ただし、先頭の xxx に限り、127 と 224 ～ 255 は無効です。（参照 P.144 *2） 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。
フィルター1～5 マスク	サブネットマスクを、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値で入力します。（参照 P. 145 *2） 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。
フィルター1～5 モード	設定したアドレスに対する制限を設定します。 ・［シナイ］（初期値） 　制限しません。 ・［キョカ］ 　設定したアドレスからの印刷を受け付けます。 ・［キョヒ］ 　設定したアドレスからの印刷を受け付けません。 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。

[HTTP-SSL/TLS ツウシン]（HTTP-SSL/TLS 通信）

SSL/TLS プロトコルを使用して、HTTP の通信データを暗号化する場合に設定します。この項目は、本機に証明書が登録されている場合に表示されます。

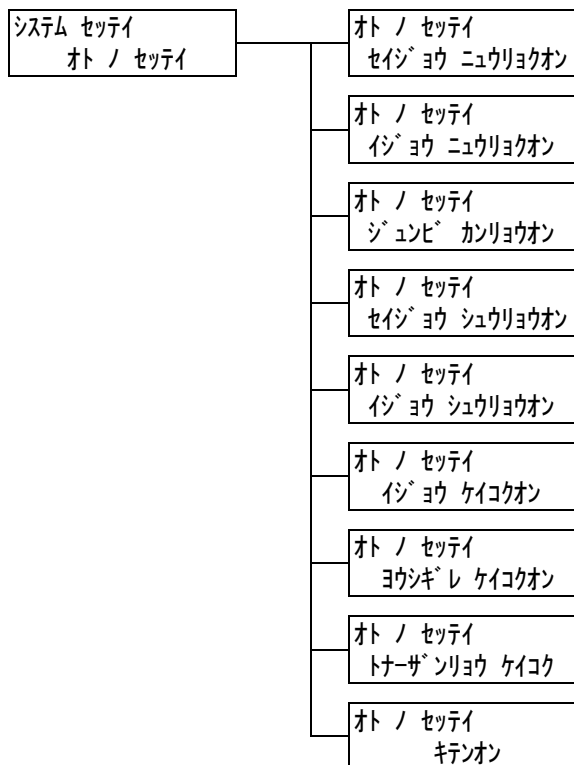
補足
- HTTP の通信の暗号化、および本機に必要な証明書については、「HTTP 通信の SSL 暗号化について」(P. 186) を参照してください。
- SSL/TLS 通信機能を使用するには、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。

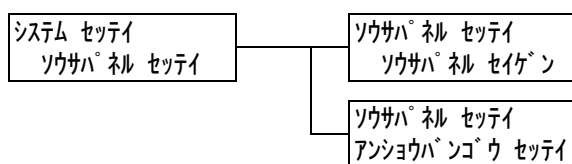
ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
HTTP-SSL/TLSﾂｳｼﾝ
—
HTTP-SSL/TLSﾂｳｼﾝ
ﾕｳｺｳ / ﾑｺｳ ﾉ ｾｯﾃｲ

設定項目	説　明
ユウコウ / ムコウ ノ セッテイ（有効 / 無効の設定）	SSL/TLS 通信を使用するかどうかを設定します。 ・[ムコウ]（初期値） SSL/TLS 通信を使用しません。 ・[ユウコウ] SSL/TLS 通信を使用します。 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。

[システム セッテイ]（システム設定）

[システム セッテイ] は、本機の動作設定を行うためのメニューです。

[オト ノ セッテイ]（音の設定）

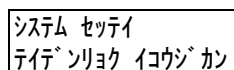
本機に異常が発生したときに鳴る警告音など、各種報知音に関する設定をします。

設定項目	説　明
セイジョウ ニュウリョクオン (正常入力音)	操作パネル上のボタンを正しく操作したときに鳴る音です。鳴らすか鳴らさないかを設定します。 ・[ナラス](初期値) ・[ナラサナイ]
イジョウ ニュウリョクオン (異常入力音)	操作パネルの選択できないボタンを押した場合や、エラーが発生している場合に操作をしたときに鳴る音です。鳴らすか鳴らさないかを設定します。 ・[ナラス](初期値) ・[ナラサナイ]
ジュンビ カンリョウオン (準備完了音)	電源を入れたときなど、機械が印刷できる状態になったときに鳴る音です。鳴らすか鳴らさないかを設定します。 ・[ナラス](初期値) ・[ナラサナイ]
セイジョウ シュウリョウオン (正常終了音)	印刷ジョブが正常に終了したときに鳴る音です。鳴らすか鳴らさないかを設定します。 ・[ナラス](初期値) ・[ナラサナイ]
イジョウ シュウリョウオン (異常終了音)	ジョブが異常終了したときに鳴る音です。鳴らすか鳴らさないかを設定します。 ・[ナラス](初期値) ・[ナラサナイ]
イジョウ ケイコクオン (異常警告音)	紙づまりなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音です。鳴らすか鳴らさないかを設定します。 ・[ナラス](初期値) ・[ナラサナイ]
ヨウシギレ ケイコクオン (用紙切れ警告音)	ホッパの用紙切れによって、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音です。鳴らすか鳴らさないかを設定します。 ・[ナラス](初期値) ・[ナラサナイ]
トナーザンリョウケイコク (トナー残量警告音)	EP カートリッジの交換時期になったときに鳴る音です。鳴らすか鳴らさないかを設定します。 ・[ナラス](初期値) ・[ナラサナイ]
キテンオン (基点音)	操作パネルのメニュー操作で、トグル動作する(繰り返し押すことで設定を切り替えることができる)ときの基点を示す音です。鳴らすか鳴らさないかを設定します。 ・[ナラス] ・[ナラサナイ](初期値)

[ソウサパネル セッテイ]（操作パネル設定）

設定項目	説　明
ソウサパネル セイゲン（操作パネル制限）	メニュー操作に、暗証番号による制限をかけるかどうかを設定します。 ・［シナイ］（初期値） ・［スル］
アンショウバンゴウ セッテイ（暗証番号設定）	操作パネル制限を設定している場合の暗証番号を変更できます。 新しい暗証番号を 4 桁の数字で入力してください。2 回入力した暗証番号が一致した場合に、暗証番号が変更されます。（初期値：[0000]） 補足 ・［ソウサパネル セイゲン］を［スル］に設定しないと、暗証番号を変更できません。 ・［ゲンザイノバンゴウ］の入力画面で暗証番号が合致しないと、新しい暗証番号は設定できません。

補足
・設定した暗証番号を忘れてしまった場合は、本機の電源をいったん切り、次の手順に従って、暗証番号を初期値に戻してください。

1. 〈メニュー〉ボタンを押しながら電源を入れます。〈メニュー〉ボタンは、操作パネルに「アンショウバンゴウショキカ　ショキカシマスカ？」と表示されるまで押し続けてください。
2. 〈メニュー〉ボタンを離し、〈ストップ / 排出〉ボタンを押します。
3. 〈◀〉ボタンで［ハイ］を選択し、〈ストップ / 排出〉ボタンを押します。
暗証番号が初期値に戻ります。

[テイデンリョク イコウジカン]（低電力移行時間）

ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸ ｲｺｳｼﾞｶﾝ

設定項目	説　明
テイデンリョク イコウジカン（低電力移行時間）	低電力モードに移行するまでの時間を 1 分単位に設定します。（参照 P. 145 *2） ・［1 フンゴ］～［60 フンゴ］（初期値：[3 フンゴ]） 参照 ・「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 48) ・「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 105)

[スリープ モード]

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
    ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
```

設定項目	説　明
スリープ モード	スリープモードは、低電力モードよりもさらに機械の消費電力を節約する機能です。 この機能を使用するかどうかを設定します。 ・［ユウコウ］（初期値） ・［ムコウ］ 参照 ・「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 48) ・「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 105)

[スリープモードイコウジカン]（スリープモード移行時間）

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞｲｺｳｼﾞｶﾝ
```

設定項目	説　明
スリープモード イコウジカン （スリープモード 移行時間）	低電力モードに移行してから、スリープモードに移行するまでの時間を 1 分単位に設定します。(参照 P. 145 *2) ・［1 フンゴ］～［120 フンゴ］（初期値：[5 フンゴ]） 補足 ・［スリープモード］が［ムコウ］に設定されている場合は、この設定は無効です。 参照 ・「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 48) ・「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 105)

[タイムアウト]

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
      ﾀｲﾑｱｳﾄ
```

設定項目	説　明
タイムアウト	プリントデータ受信中に継続して次のデータが受信されない場合、受信中のジョブを終了させて印字を開始します。 そのときの経過時間を 1 秒単位に設定します。 ・［オフ］ 　タイムアウトの時間を設定しません。 ・［5 ビョウ］～［300 ビョウ］（初期値：[30 ビョウ]）

[ジドウ ジョブリレキ]（自動ジョブ履歴）

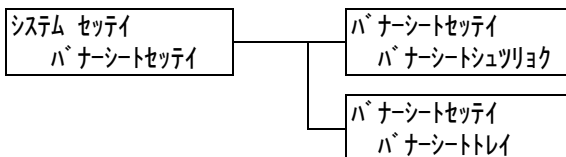
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
 ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷ

設定項目	説　明
ジドウ ジョブリレキ（自動ジョブ履歴）	処理を行った印刷データに関する情報（[ジョブ履歴レポート]）を自動的に印刷するかどうかを設定します。 ・［プリント シナイ］（初期値） 　［ジョブ履歴レポート］を自動的に印刷しません。 ・［プリント スル］ 　処理した印刷ジョブが 22 件になると、自動的に［ジョブ履歴レポート］を印刷します。

[レポート リョウメンプリント]（レポート両面プリント）

ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
ﾚﾎﾟｰﾄ ﾘｮｳﾒﾝﾌﾟﾘﾝﾄ

設定項目	説　明
レポート リョウメンプリント（レポート両面プリント）	レポート / リストを印刷するときに、片面に印刷するか、両面に印刷するかを設定します。 ・［カタメン］（初期値） ・［リョウメン］ 補足 ・この項目は、両面印刷ユニットを取り付けている場合に表示されます。MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。

[バナーシート セッテイ]（バナーシート設定）

設定項目	説　明
バナーシート シュツリョク（バナーシート出力）	バナーシートを出力するかどうかを設定します。 ・［シュツリョク シナイ］（初期値） 　バナーシートを出力しません。 ・［スタートシート］ 　文書の始めに出力します。 ・［エンドシート］ 　文書の終わりに出力します。 ・［スタート ＋ エンドシート］ 　文書の始めと終わりに出力します。
バナーシート トレイ	バナーシート用の用紙を給紙するホッパを設定します。 ・［トレイ 1］～［テザシ トレイ］（初期値：[トレイ 1]） 補足 ・装着していないホッパは表示されません。

[ミリ / インチ キリカエ]（ミリ / インチ切り替え）

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
    ﾐﾘ / ｲﾝﾁ ｷﾘｶｴ
```

設定項目	説　明
ミリ / インチ キリカエ （ミリ / インチ切り替え）	操作パネルで長さを表示 / 入力するときの単位を設定します。 ・［ミリ（m）］（初期値） 数値単位をミリ（mm）表記します。 ・［インチ（"）］ 数値単位をインチ（"）表記します。

[HDD ノ ウワガキ ショウキョ]（HDD の上書き消去）

補足
・ この項目は、内蔵増設ハードディスク（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

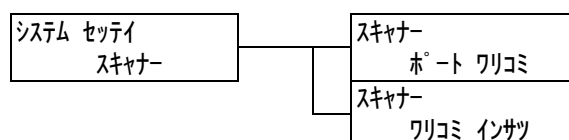
```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
HDD ﾉ ｳﾜｶﾞｷ ｼｮｳｷｮ
```

設定項目	説　明
HDD ノ ウワガキ ショウキョ （HDD の上書き消去）	内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に、内蔵増設ハードディスク内のデータを上書き消去してよいかどうか、消去してよい場合の回数を 1 ～ 3 回までの間で設定します。 ・［3 カイ］（初期値） ・［1 カイ］ ・［シナイ］

[ホンタイニンショウ]（本体認証）

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
    ﾎﾝﾀｲ ﾆﾝｼｮｳ
```

設定項目	説　明
ホンタイニンショウ （本体認証）	本体認証機能を使用するか、使用しないかを設定します。 ・［シナイ］（初期値） ・［スル］ 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。 参照 ・「7.8 認証と集計管理機能について」（P. 196）

[スキャナー]

設定項目	説　明
ポート ワリコミ（ポート割り込み）	ポートの割り込みをするかしないかを設定します。［シナイ］に設定した場合、パラレルまたはネットワークで印刷中は、USB ポートで接続されたスキャナーを使用できません。 ・［シナイ］（初期値） ・［スル］ 補足 ・ 設定変更後は、プリンターを再起動してください。
ワリコミ インサツ（割り込み印刷）	スキャナーから送信された文書について、割り込み印刷をするかしないかを設定します。 ・［シナイ］ ・［スル］（初期値） 補足 ・ この項目は、［ポート ワリコミ］が［スル］に設定されているときに表示されます。

[セキュリティー プリント]

補足
・ この項目は、ハードディスク（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

設定項目	説　明
セキュリティープリントソウサ（セキュリティープリント操作）	セキュリティー / サンプルプリントの印刷を、操作パネルから実行できるかどうかを設定します。 ・［ユウコウ］（初期値） 操作パネルからセキュリティー / サンプルプリントを実行できます。 ・［ムコウ］ 操作パネルからセキュリティー / サンプルプリントを実行できません。
ワリコミ インサツ（割り込み印刷）	セキュリティー / サンプルプリントの文書について、割り込み印刷をするかしないかを設定します。 ・［スル］（初期値） 印刷しているジョブの途中で、割り込み印刷をします。 ・［シナイ］ 印刷しているジョブが終了するまで、印刷をしません。 補足 ・ この項目は、[セキュリティー プリントソウサ］が［ユウコウ］に設定されているときに表示されます。

[ワリコミ ユウセン]（割り込み優先）

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
    ﾜﾘｺﾐ ﾕｳｾﾝ
```

設定項目	説　明
ワリコミ ユウセン（割り込み優先）	[ワリコミ インサツ]（割り込み印刷）が［スル］に設定されている場合の、割り込みレベルを設定します。 ・[ムコウ]（初期値） プリンター内に保持するページ数に制限をつけずに割り込み印刷をします。ただし、割り込み用のデータが入るだけのメモリーの空きができるまで、割り込み印刷は実行されません。 ・[ユウコウ] プリンター内に保持する割り込み用の印刷データを3ページに制限することで、割り込み印刷を早く行えるようにします。

[プリント セッテイ]（プリント設定）

[プリント セッテイ］は、印字濃度や、自動給紙選択、ホッパについて設定するためのメニューです。

[インジノウド]（印字濃度）

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
    ｲﾝｼﾞﾉｳﾄﾞ
```

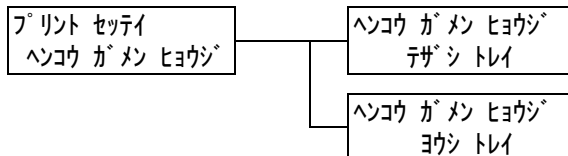
設定項目	説　明
インジノウド（印字濃度）	印字濃度を設定します。 ・[フツウ]（初期値） 標準の濃度で印字します。 ・[ヤヤコイ] やや濃い濃度で印字します。 ・[コイ] 濃い濃度で印字します。 ・[アワイ] 淡い濃度で印字します。 ・[ヤヤアワイ] やや淡い濃度で印字します。

[ヨウシノ オキカエ](用紙の置き換え)

補足
・ この項目は、NPDL モードでは使用できません。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
ﾖｳｼﾉ ｵｷｶｴ

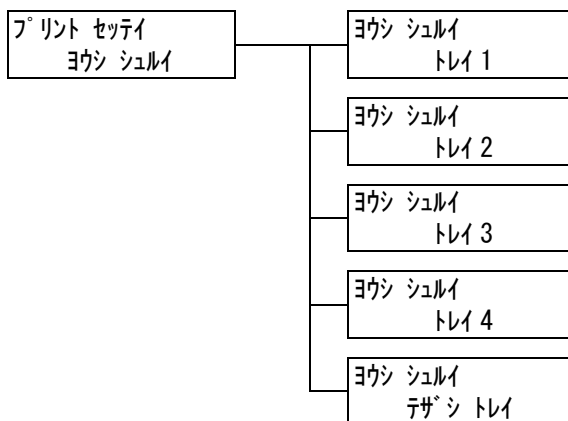
設定項目	説　明
ヨウシノ オキカエ(用紙の置き換え)	自動給紙選択によって選択されたホッパに用紙がない場合に、ほかのホッパにセットされている用紙に置き換えて印刷をするかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを指定します。 ・[シナイ](初期値) 置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。 ・[オオキイサイズヲ センタク] 選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍で印刷します。 ・[チカイサイズヲ センタク] 選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えて印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。 ・[テザシトレイ カラ キュウシ] 手差しトレイにセットされている用紙に印刷します。 補足 ・ コンピューター側から指定があった場合は、コンピューター側の指定が優先されます。

[ヘンコウ ガメン ヒョウジ](変更画面表示)

設定項目	説　明
テザシ トレイ(手差しトレイ)	手差しトレイに用紙をセットするたびに、ディスプレイに用紙種類の入力画面を表示するかしないを設定します。 ・[シナイ] ・[スル](初期値)
ヨウシ トレイ(用紙トレイ)	ホッパに用紙をセットするたびに、ディスプレイに用紙種類の入力画面を表示するかしないを設定します。 ・[シナイ](初期値) ・[スル]

[テザシ セッテイ モード]（手差し設定モード）

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
ﾃｻﾞｼ ｾｯﾃｲ ﾓｰﾄﾞ

設定項目	説　明
[テザシ　セッテイ モード] （手差し設定モード）	手差しの用紙サイズと種類の設定方法を設定します。 ・[ソウサ パネル カラシテイ] 用紙サイズと用紙種類を操作パネルからセットできます。この場合、プリンタードライバーで設定されている値と操作パネルで設定した値が一致したときだけ、印刷されます。 ただし、プリンタードライバーから操作パネルで設定した用紙サイズと異なったサイズで印刷した場合は、手差しから用紙が給紙され、用紙排紙後にエラーメッセージが表示されます。 補足 ・[キュウシモード] の設定が［キョウセイハイシュツ］に設定されている場合、プリンタードライバーで設定している用紙サイズと操作パネルで設定した用紙サイズが、一致しなくても印刷される場合があります。その場合は、[キュウシモード] の設定を［ホキュウカクニンン］に設定してください。 ・[ドライバーセッテイユウセン]（初期値） 操作パネルの［ヨウシ サイズ］と［ヨウシ シュルイ］からは設定できません。また、操作パネルの〈手差し〉ボタンからのサイズ設定は無効です。プリンタードライバーで設定されたサイズと用紙種類で印刷されます。

[ヨウシ シュルイ]（用紙種類）

設定項目	説　明
トレイ 1	ホッパ 1 にセットする用紙の種類を設定します。 ・[フツウシ]（初期値）、[OHP フィルム]、[アツガミ 1]、[アツガミ 2]、[1. ユーザー 1] ～［5. ユーザー 5] 補足 ・装着していないホッパは表示されません。 ・[1. ユーザー 1] ～［5. ユーザー 5］には、[ヨウシ メイショウ セッテイ] で設定した名称が表示されます。

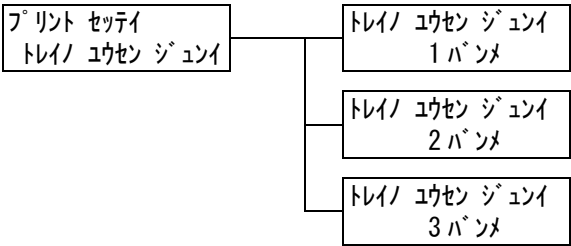
設定項目	説　明
トレイ２〜トレイ４	ホッパ２〜４にセットする用紙の種類を設定します。 ・［フツウシ］（初期値）、［OHP フィルム］、［アツガミ 1］、［アツガミ 2］、［1. ユーザー 1］〜［5. ユーザー 5］ 補足 ・装着していないホッパは表示されません。 ・［1. ユーザー 1］〜［5. ユーザー 5］には、［ヨウシ メイショウ セッテイ］で設定した名称が表示されます。
テザシ トレイ （手差しトレイ）	手差しトレイにセットする用紙の種類を設定します。 ・［フツウシ］（初期値）、［OHP フィルム］、［アツガミ 1］、［アツガミ 2］、［1. ユーザー 1］〜［5. ユーザー 5］ 補足 ・この項目は、［テザシ セッテイ モード］が［ソウサ パネル カラシテイ］に設定されている場合に表示されます。 ・［1. ユーザー 1］〜［5. ユーザー 5］には、［ヨウシ メイショウ セッテイ］で設定した名称が表示されます。

［ヨウシノ ユウセン ジュンイ］（用紙の優先順位）

補足
・この項目は、NPDL モードでは使用できません。

設定項目	説　明
フツウシ、 ユーザー１〜５	自動給紙選択によって選択されるホッパにセットされている用紙の種類の優先順位を設定します。初期値は普通紙［1 バンメ］です。 ・［1 〜６バンメ］ 設定する優先順位を選択します。 ・［セッテイシナイ］ 優先順位を設定しません。 補足 ・［1. ユーザー 1］〜［5. ユーザー 5］には、［ヨウシ メイショウ セッテイ］で設定した名称が表示されます。 ・異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択されるホッパは、［トレイノ ユウセン ジュンイ］によって決定します。 参照 ・「自動給紙選択について」(P. 101)

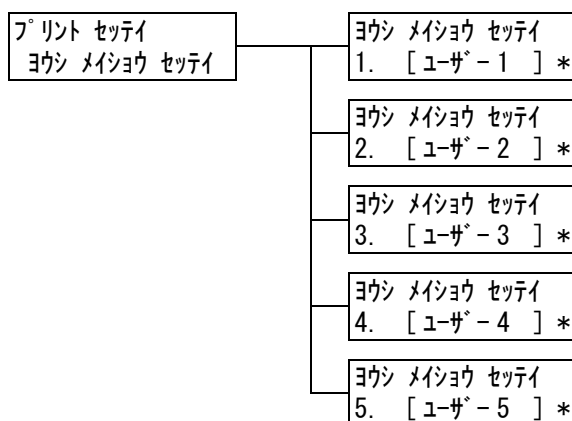
[トレイノ ユウセン ジュンイ]（トレイの優先順位）

補足
・ この項目は、NPDL モードでは使用できません。

設定項目	説　明
1 バンメ～ 3 バンメ（1 番め～ 3 番め）	自動給紙選択によって選択されるホッパの優先順位を設定します。手差しトレイは、自動トレイ選択の対象外です。 ・ [トレイ 1 ～ 4] 任意のホッパを設定します。初期値の優先順位はホッパ 1 ～ 4 の順番です。 補足 ・ 各優先順位に同じホッパは設定できません。[2 バンメ] が設定できるホッパは、[1 バンメ] で設定したホッパ以外で、[3 バンメ] が設定できるホッパは、[1 バンメ] と [2 バンメ] で設定したホッパ以外になります。残りのホッパが優先順位 4 になります。 ・ この項目は、オプションの増設ホッパが取り付けられている場合に表示されます。

[ヨウシ サイズ]（用紙サイズ）

設定項目	説　明
トレイ１〜４	ホッパ１〜４の用紙サイズを設定します。 ・[11x17"]、[8.5x13"]、[8.5x14"]、[7.2x10.5"]、[5.5x8.5"]、[8.5x11"]（初期値）、[フウトウ #10]、[フウトウ モナーク]、[フウトウ DL]、[フウトウ C5]、[ハガキ]、[オウフクハガキ]、[ナガガタ 3]、[ヨウガタ 4] ・[テイケイガイ] 縦方向のサイズと横方向のサイズを任意の数値に設定します。 [テイケイガイ] を選択して表示される [タテ（Y）ホウコウ ノ サイズ] と [ヨコ（X）ホウコウ ノ サイズ] で設定してください。 補足 ・装着していないホッパは表示されません。 ・定形外サイズの設定手順については、「ホッパおよび手差しトレイの用紙サイズを設定する」(P. 99) を参照してください。
テザシ（手差し）	手差しトレイの用紙サイズを設定します。 ・[A3]、[B4]、[A4 タテ]、[A4 ヨコ]、[ドライバー]（初期値）、[B5]、[A5]、[11x17"]、[8.5x13"]、[8.5x14"]、[7.2x10.5"]、[5.5x8.5"]、[8.5x11"]、[フウトウ #10]、[フウトウ モナーク]、[フウトウ DL]、[フウトウ C5]、[ハガキ]、[オウフクハガキ]、[ナガガタ 3]、[ヨウガタ 4] ・[テイケイガイ] 縦方向のサイズと横方向のサイズを任意の数値に設定します。 [テイケイガイ] を選択して表示される [タテ（Y）ホウコウ ノ サイズ] と [ヨコ（X）ホウコウ ノ サイズ] で設定してください。 補足 ・定形外サイズの設定手順については、「ホッパおよび手差しトレイの用紙サイズを設定する」(P. 99) を参照してください。

[ヨウシ メイショウ セッテイ]（用紙名称設定）

補足
・この項目は、NPDL モードでは使用できません。

設定項目	説　明
1. ユーザー１〜 5. ユーザー５	[ヨウシ シュルイ]、[ヨウシ ユウセン ジュンイ] などに表示される [1. ユーザー 1] 〜 [5. ユーザー 5] を、任意の名称に変更できます。 スペース / 英数 / 半角カタカナ文字を使って、１〜８文字の間で設定します。(参照 P. 145 *2、*4 の No.1、2、3、4)

[ID インジ]（ID 印字）

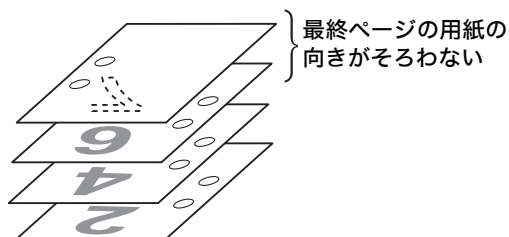
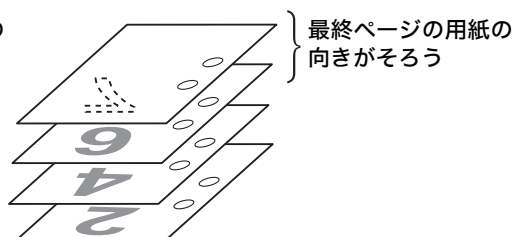
補足
・ この項目は、NPDL モードでは使用できません。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
      ID ｲﾝｼﾞ
```

設定項目	説　明
ID インジ （ID 印字）	特定の位置に、ユーザー ID を印刷します。 ・［シナイ］（初期値） 　ユーザー ID を印刷しません。 ・［ヒダリウエ］ 　ユーザー ID を、用紙の左上部分に印刷します。 ・［ミギウエ］ 　ユーザー ID を、用紙の右上部分に印刷します。 ・［ヒダリシタ］ 　ユーザー ID を、用紙の左下部分に印刷します。 ・［ミギシタ］ 　ユーザー ID を、用紙の右下部分に印刷します。

［キスウページ リョウメンショリ］（奇数ページ両面処理）

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
ｷｽｳﾍﾟｰｼﾞ ﾘｮｳﾒﾝｼｮﾘ
```

設定項目	説　明
キスウページ リョウメンショリ （奇数ページ両面処理）	両面印刷時の、奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。 ・［シナイ］（初期値） 　片面分の最終ページを片面印刷時と同じく、両面印刷を行うための給紙動作をしないで、印刷します。両面の印刷動作をしないため、高速に印刷できます。 ・［スル］ 　最終ページは片面のみのデータですが、両面印刷時と同じく両面印刷を行うための給紙動作を行います。用紙に上下、または左右の区別がある用紙（穴あき用紙など）に印刷する場合は、印刷の向きをそろえることができます。

［ミトウロクフォームヘノ インジ］（未登録フォームへの印字）

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
ﾐﾄｳﾛｸﾌｫｰﾑﾍﾉ ｲﾝｼﾞ
```

設定項目	説　明
ミトウロクフォームヘノ インジ （未登録フォームへの印字）	印刷時に指定されたフォームが未登録だった場合に、印刷を中止するか、データだけ印刷するかを設定します。 ・［スル（データノミ）］（初期値） 　データだけを印刷します。 ・［シナイ］ 　印刷を中止します。

［キホン ノ ヨウシ サイズ］（基本の用紙サイズ）

補足
・ この項目は、NPDL モードでは使用できません。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
 ｷﾎﾝ ﾉ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
```

設定項目	説　明
キホン ノ ヨウシ サイズ （基本の用紙サイズ）	PDF プリントモードの［ヨウシ サイズ］の初期値を設定します。 ・［A4］（初期値） ・［8.5x11"］

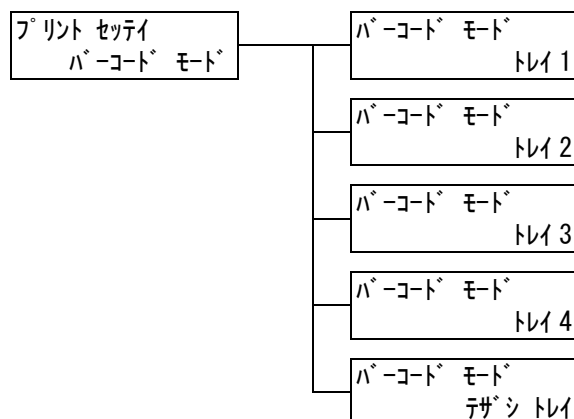
［キュウシモード］（給紙モード）

補足
・ この項目は、NPDL モードでは使用できません。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
     ｷｭｳｼ ﾓｰﾄﾞ
```

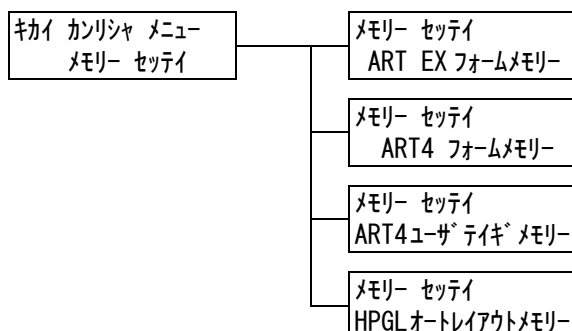
設定項目	説　明
キュウシモード（給紙モード）	直接ホッパを指定して印刷した場合に、指定した出力サイズと指定したホッパにセットされている用紙サイズが異なるときの動作を設定します。 ・［キョウセイハイシュツ］（初期値） 　指定したホッパから強制的に印刷します。 ・［ホキュウカクニン］ 　補給確認を促すメッセージが表示されます。指定された出力サイズの用紙をセットしてください。

[バーコードモード]

[バーコードモード］は、バーコードを印刷するときに使用します。用紙トレイ（ホッパ）ごとに、モードを有効にするか、無効にするかを設定します。

設定項目	説　明
トレイ１	ホッパ１のバーコードモードを有効にするか、無効にするかを設定します。 ・［シナイ］（初期値） ・［スル］
トレイ２〜トレイ４	ホッパ２〜４のバーコードモードを有効にするか、無効にするかを設定します。 ・［シナイ］（初期値） ・［スル］ 補足 ・装着していないホッパは表示されません。
テザシ トレイ（手差しトレイ）	テザシトレイのバーコードモードを有効にするか、無効にするかを設定します。 ・［シナイ］（初期値） ・［スル］

［メモリー セッテイ］（メモリー設定）*2 （参照 P. 145）

［メモリー セッテイ］は、フォームメモリーやユーザー定義用メモリーの容量を変更するためのメニューです。

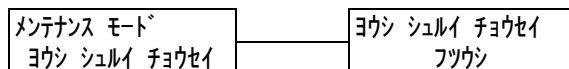
注記
・メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。

設定項目	説　明
ART EX フォームメモリー	ART EX プリンタードライバー用フォームのメモリー容量を指定します。 128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには［ハードディスク］と表示されます。（初期値：[128K]） 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。
ART4 フォームメモリー	ART IV 用フォームのメモリー容量を指定します。 128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには［ハードディスク］と表示されます。（初期値：[128K]） 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。
ART4 ユーザテイギメモリー（ART4 ユーザー定義メモリー）	ART IV 用のユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。 32 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。（初期値：[32K]） 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。
HPGL オートレイアウトメモリー	HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します 64 ～ 5120KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには［ハードディスク］と表示されます。（初期値：[64K]） 補足 ・設定変更後はプリンターを再起動してください。

メンテナンスモード

メンテナンスに関する操作を行うためのメニューです。

[ヨウシ シュルイ チョウセイ](用紙種類調整)

ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾓｰﾄﾞ
ﾖｳｼ ｼｭﾙｲ ﾁｮｳｾｲ

ﾖｳｼ ｼｭﾙｲ ﾁｮｳｾｲ
ﾌﾂｳｼ

設定項目	説　明
フツウシ(普通紙)	普通紙の詳細な用紙種類を設定します。 ・[ウスメ](初期値) ・[アツメ]

[インジ イチ](印字位置)

設定項目	説　明
トレイ1~4ビチョウセイ(トレイ1~4微調整)、テザシビチョウセイ(手差し微調整)、オモテメンビチョウセイ(表面微調整)、ウラメンビチョウセイ(裏面微調整)	各ホッパ、手差しトレイ、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。[ウエ](用紙の走行方向に対して上側のマージン(トップマージン))、[ヒダリ](用紙の走行方向に対して左側のマージン(レフトマージン))を、それぞれ設定します。 ・[-3.9mm]~[+3.9mm](初期値:[0mm]) 補足 ・[オモテメンビチョウセイ]と[ウラメンビチョウセイ]を設定した場合は、両面印刷時に各ホッパでの設定値に加算されます。 ・装着されていないホッパは表示されません。

［ショキカ / データサクジョ］（初期化 / データ削除）

［ショキカ / データサクジョ］は、NV メモリーに記憶されているプリンター設定値、ネットワークポート、ハードディスクの初期化、および本機に登録されているフォームなどのデータを削除するためのメニューです。

補足
・ 初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。

設定項目	説　明
NV メモリー ショキカ（NV メモリー 初期化）	NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。 補足 ・ NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。
ネットワーク ポート ショキカ（ネットワーク ポート初期化）	ネットワーク / ポート設定の設定項目（P. 111）を初期化します。 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。
ハードディスク ショキカ（ハードディスク 初期化）	ハードディスクを初期化します。 補足 ・ 設定変更後はプリンターを再起動してください。 ・ この項目は、ハードディスク（オプション）を取り付けている場合に表示されます。
［フォームノ サクジョ］（フォームの削除）	登録されているフォームを削除します。 ・［ARTEX フォーム サクジョ］ ART EX プリンタードライバー用フォームを削除します。 ・［ART4 フォーム サクジョ］ ART IV 用フォームを削除します。 ・［201H フォーム サクジョ］ エミュレーションの 201H 用フォームを削除します。 ・［ESC/P フォーム サクジョ］ エミュレーションの ESC/P 用フォームを削除します。 補足 ・ 登録されているフォームがない場合は、［フォームトウロク ハ アリマセン］と表示されます。

[ゲンゴ キリカエ]（言語切り替え）

```
ﾒﾆｭｰ
     ｹﾞﾝｺﾞ ｷﾘｶｴ
```

設定項目	説 明
ゲンゴ キリカエ （言語切り替え）	操作パネルの表示言語を設定します。 ・［ニホンゴ］（初期値） 日本語で表示します。 ・［English］ 英語で表示します。

補足
・［English］に設定した場合、プリンタードライバーやソフトウエアは英語版を使用してください。

---

*1 ［ジドウ］設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。

*2 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

*3 ダンププリントの各列は、次の項目が印刷されます。

Count	ジョブの先頭データからのバイト数が印刷されます。
16 進数表記コード	印刷データを 4 バイトごとに区切り、16 進表記形式で印刷されます。
ASCII コード	印刷データを JIS X0201 の 8 単位符号を使用して印刷されます。JIS X0201 で定義されていない文字は、UD と印刷されます。

*4 文字列一覧

No.	文字種	文字
1	空白	スペース
2	半角カナ	ｱｧｲｨｳｩｴｪｵｫｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂｯﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑ ﾒﾓﾔｬﾕｭﾖｮﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝｰﾞ
3	アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdef ghijklmnopqrstuvwxyz
4	数字	0123456789
5	記号	!"#$%&'()*+,-./:;〈=〉?@［¥］^_`

6　困ったときには

プリンターの使用中にトラブルが発生し、どのように対処したらよいかわからないときには、まず、以降の症状の中に該当するものがないかを探してください。

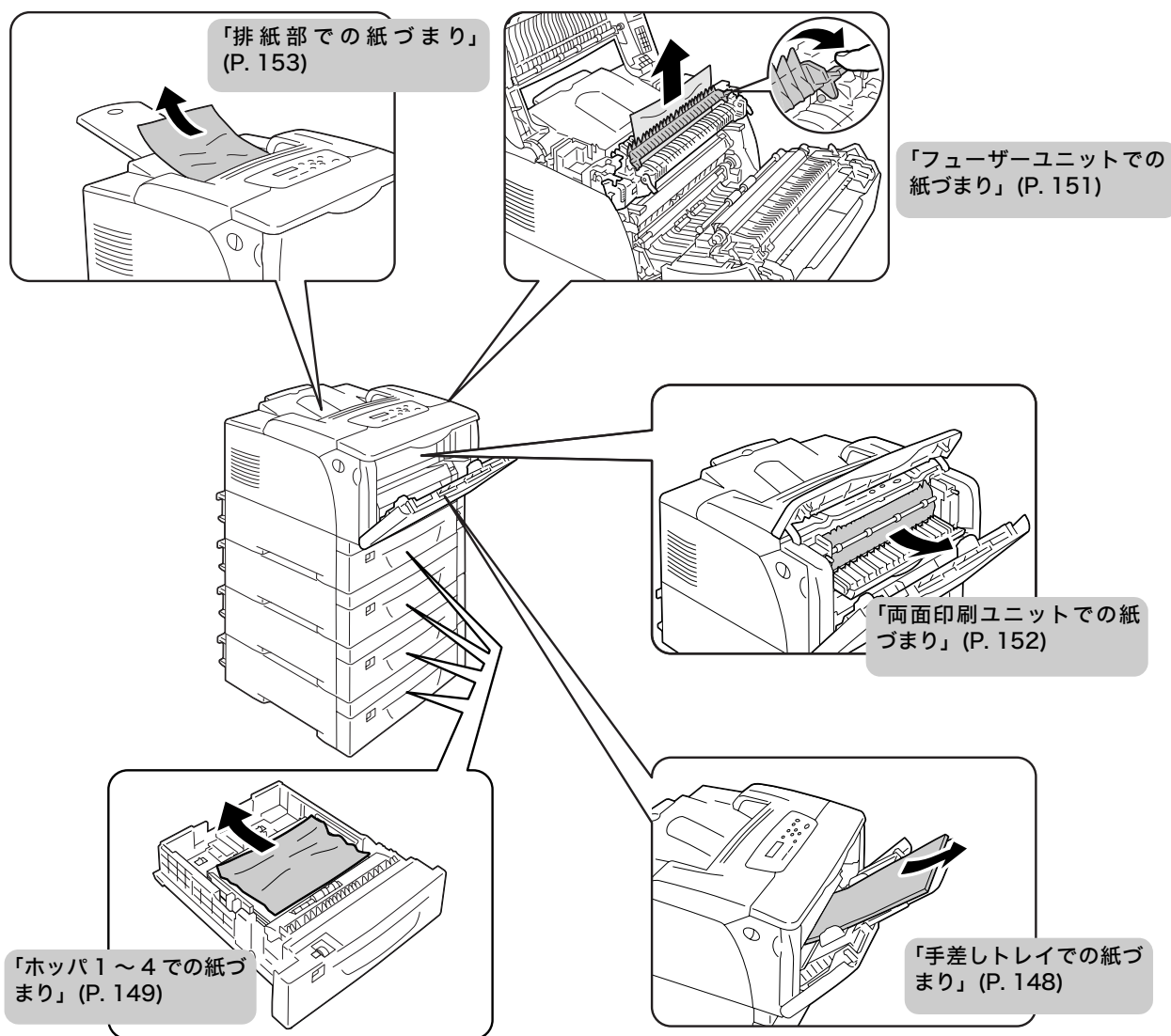
該当する項目があったら、「処置」の説明を参照して対処してください。

該当する項目がない、または該当する処置をしても改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

6.1　紙づまりの処置

用紙が詰まったときには、操作パネルにエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って、カバーを開けたら、下の図で紙づまりの位置を確認します。

手差しトレイに用紙をセットしている場合は、手差しトレイの用紙を取り除き、手差しトレイカバーを閉じてから、フロントカバーを開けてください。

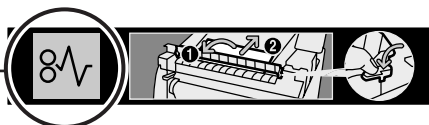
そのあと、次ページから説明している各位置の対処方法を参照して、用紙を取り除いてください。

⚠ 注意

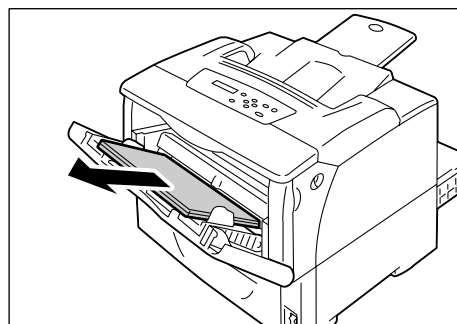
・ 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。
特に、フューザー部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

注記

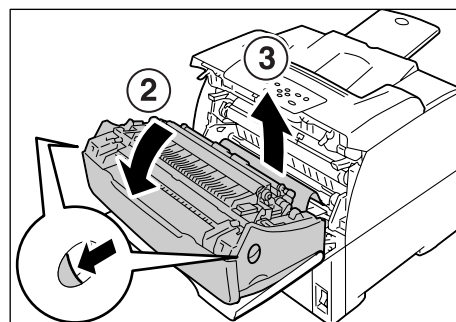
・ フューザーは高温になっています。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺は触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。
・ 手差しトレイに用紙をセットしている場合は、まず、手差しトレイの用紙を取り除き、手差しトレイカバーを閉じてから、フロントカバーを開けたり、用紙カセットを引き出したりしてください。
・ 紙づまりの対処でカバーを閉じるときは、指を挟まないように注意してください。

補足

・ 機械に貼られているラベル中の下図のアイコンは、紙づまり除去方法という意味です。用紙が詰まったときには、このアイコンがついているラベルの指示も参考にしてください。

手差しトレイでの紙づまり

1. プリンターの電源を入れたまま、手差しトレイに詰まっている用紙はそのままにして、残りの用紙を取り除きます。

2. 本体の左右側面にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

注記

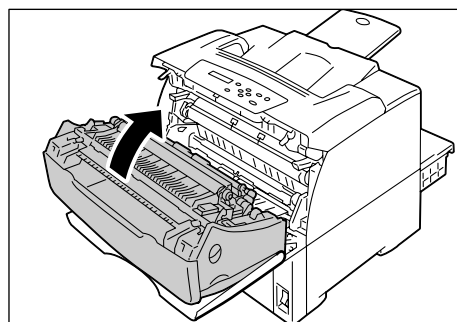
・手差しトレイカバーを開けた状態でフロントカバーを開けるとき、手差しトレイカバー（左右）とフロントカバーの間に指を挟まないように注意してください。

3. 詰まっている用紙を取り除きます。

注記

・フューザーは高温になっています。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺は触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

4. フロントカバーを閉じます。

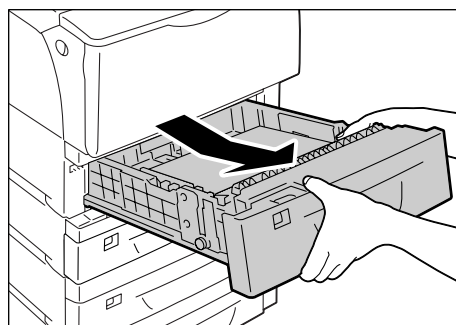
注記

・フロントカバーを閉じるとき、カバー（上下および左右）とプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

ホッパ１～４での紙づまり

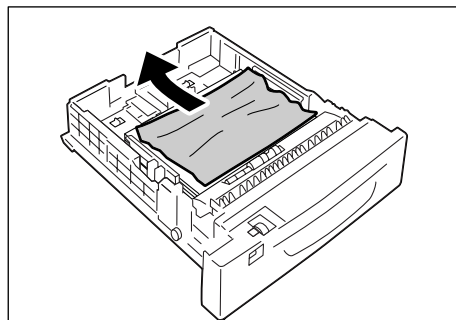
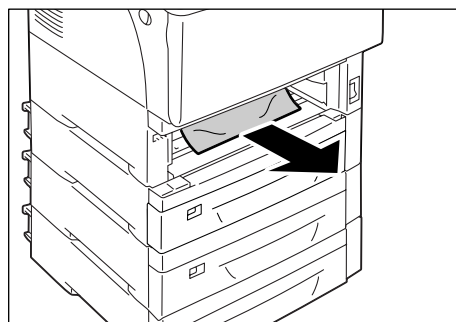
1. プリンターの電源を入れたまま、手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイカバーを閉じます。

注記

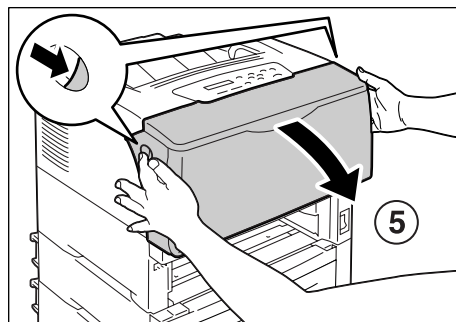
- 手差しトレイカバーを閉じるとき、カバー（左右）とプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

2. 用紙カセットをゆっくりと引き出し、プリンターから取り外します。
   メッセージに複数のホッパまたは用紙カセットが表示されている場合は、下のホッパから順に確認してください。

注記

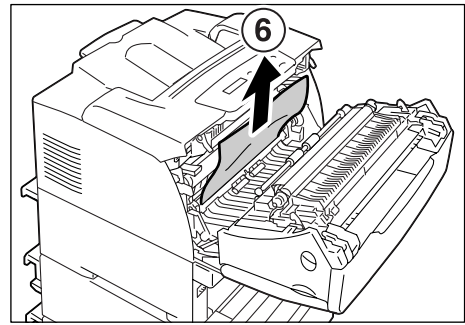
- ホッパにセットされた用紙は、ホッパの手前側を経由してプリンター本体に送られます。この部分に用紙が詰まった場合、下の用紙カセットから順に抜き出さないと上段の用紙カセットが抜き出せないことがあります。
- 用紙カセットは、２つ以上を同時に引き出すことはしないでください。本機が転倒する可能性があります。

3. 詰まっている用紙や、しわになっている用紙を取り除きます。

4. プリンター内部に詰まっている用紙がある場合は、破れないように注意して引き出します。

5. 本体の左右側面にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

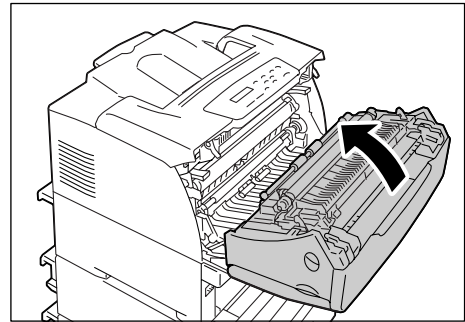
注記

- フロントカバーは、必ず開けてください。プリンター内部に詰まっている用紙がない場合でも、カバーを開閉しないと、エラーは解除されません。

6. 詰まった用紙がある場合は、取り除きます。内部に破れた紙片が残っていないかを確認します。

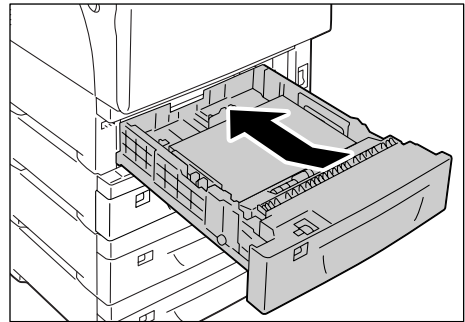
注記

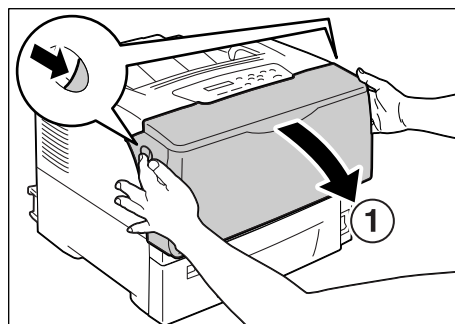
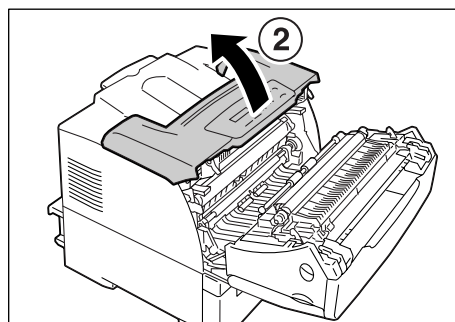
- フューザーは高温になっています。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺は触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

7. フロントカバーを閉じます。

注記

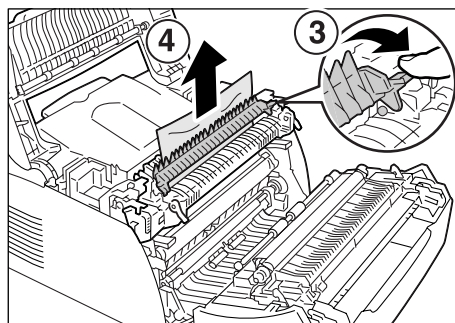
- フロントカバーを閉じるとき、カバー（上下および左右）とプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

8. 用紙カセットをプリンターの奥までしっかり押し込みます。

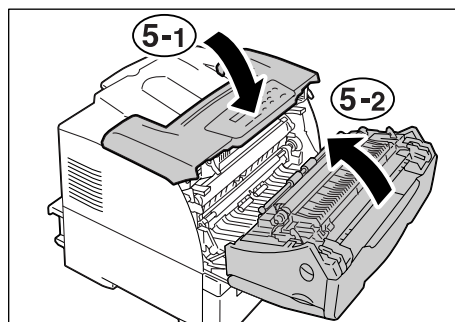
注記

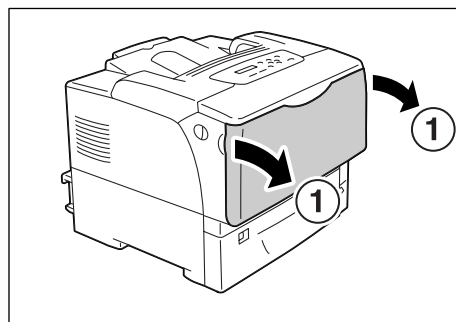
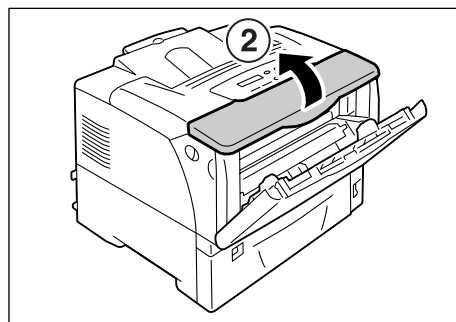
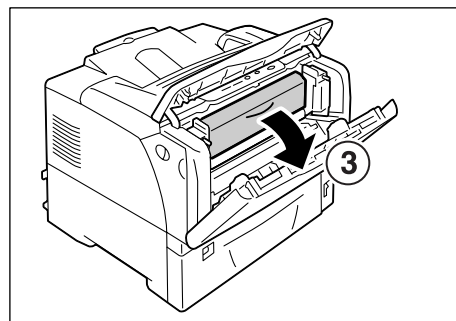
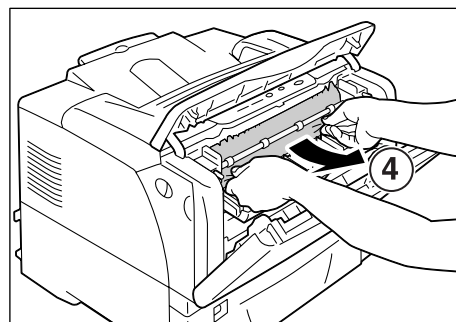
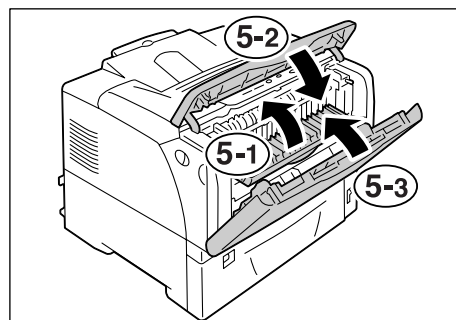
- 用紙カセットを押し込むとき、用紙カセットとプリンター本体、または用紙カセットと用紙カセット（オプションの増設ホッパ装着時）の間に指を挟まないように注意してください。

フューザーユニットでの紙づまり

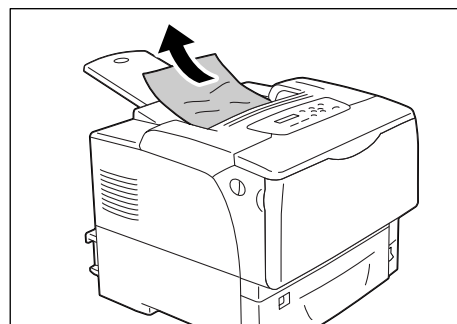
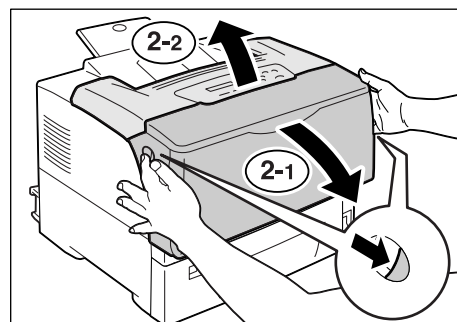
1. プリンターの電源を入れたまま、本体の左右側面にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

2. トップカバーを開けます。

3. 必要に応じて、フューザーカバーを、右側のレバーを持って開けます。

注記
・ フューザーは、高温なので触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

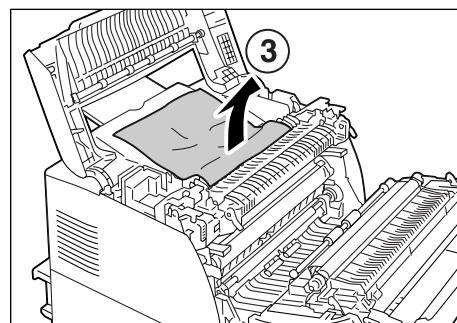
4. もう一方の手で詰まっている用紙を取り除きます。

5. トップカバー、フロントカバーの順で閉じます。

注記
・ フロントカバーを閉じるとき、カバー（上下および左右）とプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

両面印刷ユニットでの紙づまり

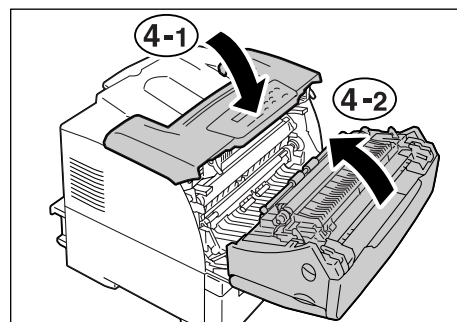
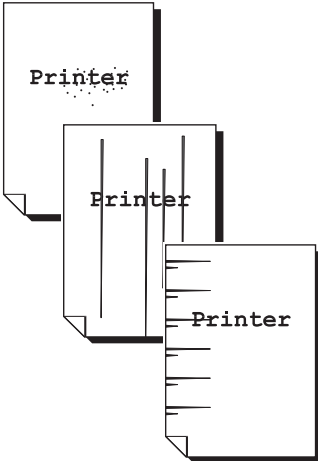
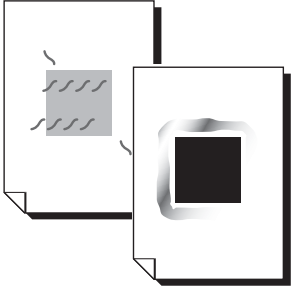
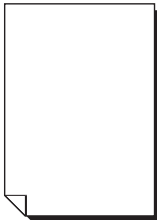
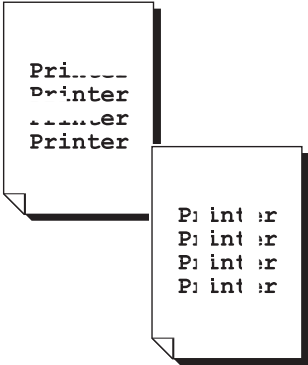
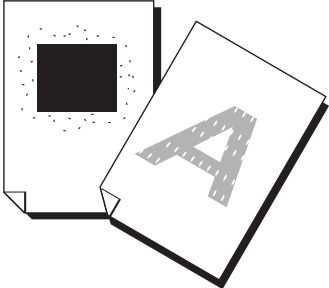
1. プリンターの電源を入れたまま、手差しトレイカバーを開けます。

2. 上部カバーを開けます。

3. 中央の取っ手部分を持って、内部カバーを開けます。

4. 詰まっている用紙を取り除きます。

5. 内部カバー、上部カバー、手差しトレイカバーの順で閉じます。

排紙部での紙づまり

1. プリンターの電源を入れたまま、詰まっている用紙を取り除きます。

2. トップカバーの内部に用紙があるときは、本体の左右側面にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開け、トップカバーを開けます。

3. 詰まっている用紙を取り除きます。

注記

・ フューザーは高温になっています。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺は触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

4. トップカバー、フロントカバーの順で閉じます。

注記

・ フロントカバーを閉じるとき、カバー（上下および左右）とプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

6.2 電源、異常音など、機械本体のトラブル

症状	原因 / 処置
電源が入らない	プリンターの電源が切れていませんか？ 電源スイッチの〈｜〉側を押して、電源を入れてください。
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか？ プリンターの電源を切り、電源コードを電源コンセントとプリンターに差し込み直してください。そのあとで、プリンターの電源を入れてください。
	正しい電圧のコンセントに接続していますか？ プリンターは、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに、単独で接続してください。
パネルに何も表示されない	節電モードに入っている可能性があります。操作パネルの〈節電解除〉ボタンを押して、節電モードを解除してください。 節電モードが解除できない場合は、電源コードがきちんと差し込まれていることを確認し、電源を入れ直します。 それでも改善されない場合は、機械の故障かもしれません。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
異常な音がする	プリンターの設置場所は、水平ですか？ 安定した平面の上に移動してください。
	用紙カセットが外れていませんか？ 用紙カセットをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。
	本機内に異物が入っていませんか？ 電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
プリンター内部に結露が発生した	操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間で水滴がなくなり、正常に使用できます。 参照 ・ スリープモードの移行時間：「[スリープモードイコウジカン]（スリープモード移行時間）」(P. 129)
スリープモードに移行しない	操作パネルでスリープモードへの移行を［ムコウ］に設定していませんか？ 操作パネルで、［スリープ モード］を［ユウコウ］に設定してください。 参照 ・ スリープモード：「[スリープ モード]」(P. 129)

6.3　印刷が正しくできないトラブル

症状	原因 / 処置
〈エラー〉ランプが点滅している	お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
〈エラー〉ランプが点灯している	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか？ 操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。
印刷を指示したのに〈印刷可〉ランプが点滅、点灯しない	インターフェイスケーブルが抜けていませんか？ 電源スイッチをいったん切り、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。
	本機がオフライン状態、またはメニューを設定している状態になっていませんか？ オフライン状態の場合は〈メニュー終了〉ボタンを、メニュー画面が表示されているときは〈メニュー〉ボタンを押して、解除してください。
	使用するプロトコルの設定が正しくされていますか？ 使用するポートが起動されているかを確認してください。また、CentreWare Internet Services でプロトコルの設定が正しくされているかを確認してください。 参照 ・「[ネットワーク / ポート セッテイ]（ネットワーク / ポート設定）」(P. 111) ・ CentreWare Internet Services のヘルプ
	コンピューターの環境が正しく設定されていますか？ プリンタードライバーなどコンピューターの環境を確認してください。
〈印刷可〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	データが本機内部に残っています。印刷の中止、または残っているデータの強制排出をします。 印刷を中止する場合は〈キャンセル〉ボタンを、データを強制排出する場合は、〈ストップ / 排出〉ボタンを押してください。
印刷できない	パラレルケーブルで接続している場合、コンピューターは双方向通信に対応していますか？ 工場出荷時、本機の双方向通信の設定は、[ニブル] になっています。コンピューターが双方向通信に対応していないと、印刷できません。この場合は、操作パネルで、双方向通信の設定を [ナシ] にしてから印刷してください。 参照 ・「[パラレル]」(P. 111)
	ネットワークプリンターの場合、本機の IP アドレスは正しく設定されていますか？ また、受信制限の設定が間違っている可能性もあります。 本機の設定が正しいかどうか確認し、必要であれば変更してください。 参照 ・「IP アドレス（IPv4）を設定する」(P. 28) ・「IP アドレス（IPv6）を設定する」(P. 31) ・「IP アドレスによる受信制限」(P. 191)

症状	原因 / 処置
印刷に時間がかかる	プリンタードライバーの［印刷モード］の設定で、［高精細］が選択されていませんか？［グラフィックス］タブの［印刷モード］の設定を［標準］に変更すると、印刷にかかる時間を短縮できることがあります。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
	TrueType® フォントの印刷方法によっては、印刷に時間がかかることがあります。プリンタードライバーの［詳細設定］タブにある［フォントの設定］で、TrueType フォントの印刷方法を変更してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
	印刷するデータが大きい場合や、印刷を指示してもなかなか出力されない場合には、プリンタードライバーでページ印刷モードを［する］に設定して印刷すると、印刷時間が短縮されることがあります。 ページ印刷モードを使用する場合は、メモリーの増設が必要です。 参照 ・ ページ印刷モード：プリンタードライバーのヘルプ
印字された文書の上部が 欠ける 思った位置に印刷されない	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「4.2 用紙をセットする」(P. 90)
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
両面印刷を指示したのに片面で印刷される	両面印刷ユニットが正しく取り付けられていない可能性があります。 両面印刷ユニットが、正しくプリンターのコネクターに接続されていることを確認してください。 参照 ・ 両面印刷ユニットの設置手順書

6.4 印字品質や画質のトラブル

症状	原因 / 処置
印刷がうすい （かすれる、不鮮明）	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 85)
	EP カートリッジ、またはフューザーユニットが劣化、または損傷しています。EP カートリッジ、およびフューザーユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
	トナーセーブ機能が有効になっていませんか？ プリンタードライバーの [詳細設定] タブで、トナー節約のチェックを外してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
	もっと濃く印刷したい場合は、印刷時にプリンタードライバーで［グラフィックス］タブの［画質調整］で、各設定を変更して印刷してみてください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
	別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。
等間隔に汚れが起きる	用紙搬送路に汚れが付着している場合もあります。数枚印刷してください。
	プリンターの内部が汚れている可能性があります。 プリンターの内部を清掃してください。 参照 ・「 リブプレートの清掃」(P. 202)
	EP カートリッジ、またはフューザーユニットが劣化、または損傷しています。EP カートリッジ、およびフューザーユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
黒のハーフトーンの中や外にヒゲのようなものが印刷される 黒ベタの周りに影のようなものが印刷される	開封したまま長時間放置した用紙を使っている可能性があります（特に湿度が低い場合）。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 85)
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる	選択されているホッパの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 85)
	フューザーユニットが劣化、または損傷しています。フューザーユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
用紙全体がぬりつぶされて印刷される	EP カートリッジが劣化、または損傷しています。EP カートリッジの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
	高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
何も印刷されない	一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	EP カートリッジが劣化、または損傷しています。EP カートリッジの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
	高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
白抜けや白筋が出る	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 85)
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	EP カートリッジやピックローラが正しくセットされていません。 正しくセットし直してください。
	プリンターの内部が汚れている可能性があります。 プリンターの内部を清掃してください。 参照 ・「 リブプレートの清掃」(P. 202)
	プリンター内部に結露が発生している可能性があります。 操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 1 時間以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間で水滴がなくなり、正常に使用できます。 参照 ・ スリープモードの移行時間 :「[スリープモードイコウジカン]（スリープモード移行時間）」(P. 129)
	EP カートリッジ、またはフューザーユニットが劣化、または損傷しています。EP カートリッジ、およびフューザーユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
画像の一部が抜けて白点になる 画像周辺にトナーが飛び散る	別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。
文字がにじむ	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 85)
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	プリンター内部に結露が発生している可能性があります。 操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 1 時間以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間で水滴がなくなり、正常に使用できます。 参照 ・ スリープモードの移行時間 :「[スリープモードイコウジカン]（スリープモード移行時間）」(P. 129)

症状	原因 / 処置
文字化けする 画面表示と印刷結果が一致しない µÊÂ¤ÏßW¤ Ê¤ÃÔU Þ¤»¤ó¡£ ,ªŠ–□²,Ü,· ¡¡¡¡¤³¤Î·½·¨	本機に標準で搭載されていないフォントを使用して印刷しています。アプリケーションで使用しているフォントを確認してください。PostScript（オプション）を使用している場合は、必要なフォントをダウンロードしてください。
	TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっていませんか？ プリンタードライバーの［詳細設定］タブで、TrueType フォントの印刷方法を変更してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
斜めに印刷される Printer Printer Printer	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「4.2 用紙をセットする」(P. 90)
写真などがぼやける	元画像がぼやけていませんか？ 元画像のシャープネスを調整してから印刷してください。 元画像を調整できない場合は、プリンタードライバーの［グラフィックス］タブで画質を調整してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
OHP フィルム / はがき / 封筒にきれいに印刷されない	本機で使用できない種類の OHP フィルム、はがき、封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 85)
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されているか確認してください。 参照 ・「[ヨウシ シュルイ]（用紙種類）」(P. 135) ・ プリンタードライバーのヘルプ
	プリンタードライバーで、トナーセーブ機能（[トナー節約]）が有効になっていたり、解像度が低く設定されています。プリンタードライバーの［詳細設定］タブで、設定を変更してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ

6.5 ホッパや用紙カセット、用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわがつく	用紙は正しくセットされていますか？ 用紙を正しくセットしてください。また、OHP フィルム、はがき、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいませんか？ 新しい用紙と交換してください。
	適切な用紙を使用していますか？ 使用できる用紙をセットしてください。ただし、用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわがつくことがあります。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 85)
	用紙カセットが外れていませんか？ 用紙カセットをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。
	プリンターは水平な場所に設置されていますか？ 安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「4.2 用紙をセットする」(P. 90)
	用紙の継ぎ足しをしています。ホッパにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足すとこのような現象が起こることがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
	絵入りのはがきを使用していませんか？ 絵入りのはがきを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉がピックローラに付着し、給紙できなくなることがあります。ピックローラを清掃してください。 参照 ・「ピックローラの清掃」(P. 204)
	ピックローラが磨耗していませんか？または、寿命に達していませんか？ ピックローラを清掃してください。 それでも状態が改善されない場合は、ピックローラの状態によって、交換が必要なことがあります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・「ピックローラの清掃」(P. 204)
ホッパ 1 ～ 4 からホッパが正しく選択されない	用紙カセットを引き抜いた状態で本機の電源を入れませんでしたか？ その場合、本機は正しくセットされている用紙のサイズを検知できないことがあります。電源を切 / 入してください。
	用紙サイズ設定ダイヤルは、セットされている用紙サイズと合っていますか？ セットされている用紙サイズに合わせてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、ホッパの設定、および用紙サイズ、用紙種類が適切に設定されているかを確認してください。 参照 ・「 ［プリント セッテイ］（プリント設定）」(P. 133) ・ プリンタードライバーのヘルプ
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの［給紙 / 排出］タブで［給紙選択］を［自動］にしていませんか。手差しトレイは自動給紙選択の対象ではありません。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ

6.6 主なエラーメッセージとエラーコード

主なエラーメッセージ（50 音順）

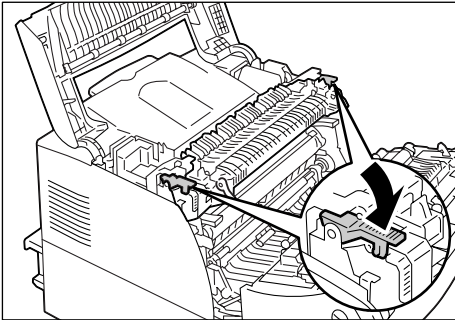
操作パネルに表示される主なエラーメッセージについて説明します。

補足
・ メッセージが 1 画面で表示できない場合は、交互に画面を切り替えて表示します。下表では、↑↓で切り替わるメッセージを表しています。

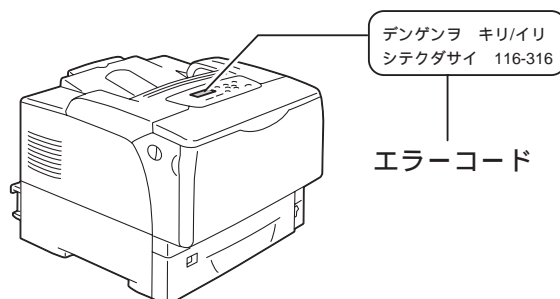
メッセージ	状態 / 原因 / 処置
[A］ヲアケ ヨウシ ジョキョ トレナケレバ トレイ 1 ヲ ↑↓ ヒキヌキ ヨウシヲ ジョキョシ [A］ヲ アケシメシテクダサイ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 フロントカバーを開け、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 取れないときは、ホッパ 1 の用紙カセットを引き出し、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、フロントカバーを開け閉めしてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 146)
PDF インサツキンシデス ↑↓ [ストップ］ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	印刷許可されていない PDF ファイルを印刷しようとしています。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 印刷許可されていない PDF ファイルは印刷できません。
PDF パスワードエラーデス ↑↓ [ストップ］ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	PDF ファイルのパスワードとプリンターに設定されているパスワードが一致していません。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 操作パネルで正しいパスワードを設定して、再度実行してください。 参照 ・「[PDF]」(P. 108)
PDL エラー デス ↑↓ [ストップ］ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	印刷データの処理の途中でエラーが発生しました。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 印刷データが正しいかを確認してください。
インサツメモリーブソク デス [ストップ］ヲ オスト ↑↓ カイゾウド ヲ サゲテ プリントヲ ケイゾク シマス	メモリーが不足して印刷できません。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押すと、印刷できなかったページの解像度を下げて印刷を続けます。〈キャンセル〉ボタンを押すと、印刷を中止します。 同じメッセージが頻繁に表示される場合は、メモリーの増設をお勧めします。
カバー［A］ト［C］ヲアケ [E］カラ ヨウシヲ ジョキョ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 フロントカバーとトップカバーを開け、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 146)
カバー［A］／カバー［C］ヲ トジ゛テ クタ゛サイ	フロントカバー、またはトップカバーが開いています。 フロントカバー、またはトップカバーを閉じてください。 参照 ・「2.1 各部の名称と働き」(P. 41)
カバー［D］ヲ トジ゛テ クタ゛サイ	内部カバーが開いています。 内部カバーを閉じてください。 参照 ・「2.1 各部の名称と働き」(P. 41)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
カミヅマリデス ホッパ 1 ノ カセットヲ ヒキヌキ ↑↓ ヨウシヲ ジョキョシタアト [A] ヲ アケシメシテクダサイ (ホッパ 1:増設ホッパがないときはホッパと表示)	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 ホッパ 1 の用紙カセットを引き出し、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、フロントカバーを開け閉めしてください。フロントカバーの中に詰まった用紙がなくても、カバーを開け閉めするまで、エラーメッセージは解除されません。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 146)
システムエラー デンゲンヲ キリ / イリ スル ***-***	システムエラーが発生しました。 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、ディスプレイに表示されているエラーコード「***-***」を確認してから、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・「エラーコード」(P. 166)
シヨウデキナイ キノウ デス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	認証機能を使用して運用している場合、印刷ができるユーザーとして登録されていません。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 ユーザー登録については、機械管理者に確認してください。
スベテノ ホッパノ ヨウシ カセットヲ ヒキヌイテ ↑↓ ヨウシヲ ジョキョシタアト [A] ヲ アケシメシテクダサイ	<MultiWriter 8500N/8400N の場合 > プリンター内部で紙づまりが発生しています。 すべての用紙カセットを引き出し、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、フロントカバーを開け閉めしてください。フロントカバーの中に詰まった用紙がなくても、カバーを開け閉めするまで、エラーメッセージは解除されません。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 146)
スベテノ ヨウシカセットヲ セット シテクダサイ	用紙カセットを指定した印刷時に、指定した用紙カセットより上にある用紙カセットのどれかが引き出されています。 用紙カセットを押し込んでください。
ディスクガ イッパイデス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	ハードディスク(オプション)の容量がいっぱいです。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 不要なファイルを削除するなどして、ハードディスクの容量を減らしてください。
テサシカラ ヨウシヲジョキョシ [A] ヲ アケテ クダサイ ↑↓ [A] ニ ヨウシガアレバ ジョキョ シテクダサイ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 手差しトレイから、詰まっている用紙を取り除いてください。次に、フロントカバーを開け、詰まっている用紙があれば、取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 146)
テサシ ト [B] ヲアケ [D] カラ ヨウシヲ ジョキョシ ↑↓ [D] ヲトジ [A] ヲ アケテ ヨウシガ アレバ ジョキョ	両面印刷ユニットで紙づまりが発生しています。 手差しトレイと上部カバーを開け、内部カバーを開けて、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 内部カバーを閉じ、フロントカバーを開けて、紙が詰まっていれば、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 146)
テサシ ト [B] ヲアケ [D] カラ ヨウシヲ ジョキョシ ↑↓ [D] ヲトジ [A] [C] ヲ アケ ヨウシガ アレバ ジョキョ	両面印刷ユニットで紙づまりが発生しています。 手差しトレイと上部カバーを開け、内部カバーを開けて、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 内部カバーを閉じ、フロントカバーを開けて、紙が詰まっていれば、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 146)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
テサシニ セット xx xx xxxx	手差しトレイにセットされている用紙サイズが指定と異なります。または、用紙がありません。 手差しトレイにメッセージ（xx xx xxxx）で表示されている用紙をセットしてください。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 90)
テサシノ ヨウシサイズガ チガイマス サイズカクニン	手差しトレイにセットされている用紙のサイズと、プリンタードライバー、または操作パネルの設定が異なります。プリンタードライバー、または操作パネルで設定されているサイズの用紙をセットしてください。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 90)
デンゲンヲ キリ / イリ シテクダサイ（***-***)	本機に故障が発生しています。 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、ディスプレイに表示されているエラーコード「***-***」を確認してから、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・「エラーコード」(P. 166)
ニンショウエラー デス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	認証機能を使用して運用している場合に、本機に印刷できるユーザーとして登録されていません。または、印刷指示時に、プリンタードライバーでユーザー ID やパスワードなどの認証情報が正しく設定されていません。 ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を正しく設定して、再度印刷してください。本機に印刷できるユーザーに登録されているかどうかは、機械管理者に確認してください。 参照 ・「7.8 認証と集計管理機能について」(P. 196)
フォームメモリーブソク デス XXX ハ トウロク デキマセン ↑↓ [ストップ] ヲ オスト ショリヲ ケイゾク シマス	登録番号 XXX のフォームの処理中に、フォームメモリーが不足しました。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押すと、フォーム登録を取り消します。 操作パネルでフォームメモリーの容量を増やしてください。 参照 ・「[メモリー セッテイ]（メモリー設定)」(P. 142)
プリントシジハ ムコウデス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	印刷指示が無効なため、印刷が実行できません。 プリンタードライバーでのオプション構成の設定が、実際のプリンターと合っていない場合、このメッセージが表示されることがあります。たとえば、両面印刷ユニットが装着されていないのに、プリンタードライバーではありに設定し、両面印刷を実行した場合に表示されます。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 正しい印刷指示を設定して、印刷してください。
プリントスウノ ジョウゲンヲ コエマシタ ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	CentreWare Internet Services の［プリントユーザー制限］で設定されたプリント枚数の上限を超えました。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 プリントユーザー制限については、機械管理者に確認してください。
ホッパ 1 A4 ヨコ ポート トナーカートリッジノ ↑↓ ホッパ 1 A4 ヨコ ポート コウカン ジキデス	EP カートリッジの交換の時期が近づいています。新しい EP カートリッジを準備してください。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
ホッパ 2 ト ホッパ 1 ノ ヨウシ カセットヲ ヒキヌイテ ↑↓ ヨウシヲ ジョキョシタアト [A] ヲ アケシメシテクダサイ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 ホッパ 1 とホッパ 2 の用紙カセットを引き出し、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、フロントカバーを開け閉めしてください。フロントカバーの中に詰まった用紙がなくても、カバーを開け閉めするまで、エラーメッセージは解除されません。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 146)
ホッパ 3,2,1 ノ ヨウシ カセットヲ ヒキヌイテ ↑↓ ヨウシヲ ジョキョシタアト [A] ヲ アケシメシテクダサイ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 ホッパ 1、2、3 の用紙カセットを引き出し、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、フロントカバーを開け閉めしてください。フロントカバーの中に詰まった用紙がなくても、カバーを開け閉めするまで、エラーメッセージは解除されません。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 146)
ホッパ N ニ セット xx xx xxxx (N : 増設ホッパがあるとき、1 ～ 4 のホッパナンバーが表示)	ホッパ N にセットされている用紙サイズが指定と異なります。または、用紙がありません。 ホッパ N にメッセージ(xx xx xxxx)で表示されている用紙をセットしてください。 参照 ・「ホッパ 1 ～ 4 に用紙をセットする」(P. 93)
ホッパ N ノ ヨウシカセットヲ セット シテクダサイ (N : 増設ホッパがあるとき、1 ～ 4 のホッパナンバーが表示)	ホッパを指定した印刷時に、指定したホッパの用紙カセットが引き出されています。 用紙カセットを押し込んでください。
ホッパ N ノ ヨウシサイズガ チガイマス ↑↓ ホッパノ ダイヤルト サイズ ガ アッテイルカ カクニン (N : 増設ホッパがあるとき、1 ～ 4 のホッパナンバーが表示)	ホッパ N にセットされている用紙のサイズと、用紙サイズ設定ダイヤルの設定が異なります。用紙カセットを引き出し、用紙のサイズと用紙サイズ設定ダイヤルを確認し、閉めてください。 参照 ・「ホッパ 1 ～ 4 に用紙をセットする」(P. 93)
メモリーブソク デス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	メモリーが不足して印刷できません。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 印刷するファイルの量を減らして印刷してください。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、メモリーの増設をお勧めします。
ヨウシカセットヲ セット シテクダサイ	印刷時に用紙カセットのどれかが引き出されています。 用紙カセットを押し込んでください。
ヨウシシュルイガ フメイデス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	[ヨウシノ ユウセン ジュンイ] で、すべての用紙種類が [セッテイシナイ] に設定されている状態で自動給紙選択による印刷指示が行われました。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押して印刷を取り消します。操作パネルで用紙種類の優先順位を設定するか、給紙するホッパまたは手差しトレイを選択してください。 参照 ・「[ヨウシノ ユウセン ジュンイ] (用紙の優先順位)」(P. 136)

エラーコード

エラーコードとは、エラーが発生して印刷が正常に終了しなかった場合や、本体に故障が発生した場合、プリンターの操作パネルに表示される 6 桁の数字です。

このコードは、エラーの原因を突き止めるための、大切な情報です。エラーメッセージとともに、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

なお、お客様で対処できるエラーコードについて、下表に記載しました。エラーコードが表示された場合は、まず、下表に該当するエラーコードがないかを確認してください。

エラーコードは、番号の小さい順に並んでいます。

エラーコード	原因 / 処置
010-397	フューザーユニットが正しく取り付けられていない、または故障の可能性があります。 電源を切り、フロントカバー開閉レバーを引きながらフロントカバーを開けて、フューザーユニットの左右のレバーが、しっかりとロックされていることを確認し、電源を入れ直してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
010-421	まもなく、有寿命部品（定期交換部品、有償）のフューザーユニットの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・ フューザーユニット（100K キット）の寿命：「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246)
042-401	まもなく、有寿命部品（定期交換部品、有償）のギアユニットの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・ ギアユニット（600K　キット）の寿命：「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246)

エラーコード	原因 / 処置
061-400	まもなく、有寿命部品（定期交換部品、有償）のレーザユニットの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・ レーザユニット（600K キット）の寿命：「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246)
07N-401 （N：増設ホッパがあるとき、1～4のホッパナンバーが表示）	まもなく、ホッパNの有寿命部品（定期交換部品、有償）のピックローラキット（トレイ）の交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・ ピックローラキット（トレイ）の寿命：「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246)
07N-410 （N：増設ホッパがあるとき、1～4のホッパナンバーが表示）	まもなく、ホッパNの有寿命部品（定期交換部品、有償）のカセットシュートキットの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・ カセットシュートキットの寿命：「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246)
075-401	まもなく、手差しトレイの有寿命部品（定期交換部品、有償）のピックローラキット（手差し）の交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・ ピックローラキット（手差し）の寿命：「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246)
077-215	プリンター本体に増設ホッパ（オプション）が正しく取り付けられていません。電源を切り、増設ホッパが正しくプリンター本体に取り付けられていることを確認し、もう一度電源を入れ直してください。 参照 ・ 増設ホッパの設置手順書
077-216	プリンター本体と両面印刷ユニットが正しく接続されていません。電源を切り、両面印刷ユニットのコネクターケーブルが正しくプリンター本体に接続されていることを確認し、電源を入れ直してください。 参照 ・ 両面印刷ユニットの設置手順書
077-401	まもなく、有寿命部品（定期交換部品、有償）のレジユニットの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・ レジユニット（600K キット）の寿命：「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246)

エラーコード	原因 / 処置
094-422	まもなく、有寿命部品（定期交換部品、有償）の転写ローラの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・ 転写ローラ（100K キット）の寿命：「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246)

6.7 ネットワーク関連のトラブル

ネットワーク環境で印刷できないなどのトラブルについては、本機に同梱されているプリンターソフトウエア CD-ROM 内の『マニュアル（HTML 文書）』を参照してください。

ここでは、CentreWare Internet Services と E メールプリント /StatusMessenger 機能を使用している場合に、発生しやすいトラブルについて、原因と処置方法を説明します。操作パネルにエラーメッセージやエラーコードが表示されている場合は、「6.6 主なエラーメッセージとエラーコード」(P. 162) を参照して処置してください。

CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
入力制限文字数まで入力できない（全角文字を 2 バイトとして計算した場合）	このプリンターでは、文字の保存にユニコード文字である UTF-8 を使用しています。UTF-8 では一般的に、英数字以外の表示 1 文字を保存する場合、2 から 4 バイトになります。 したがって、英数字以外の文字が入力可能な場所においては、保存可能な文字数が表示文字数より少なくなる場合があります。
CentreWare Internet Services に接続できない	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ ［プリンター設定リスト］を印刷して確認してください。
	URL は正しく入力されていますか？ URL をもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	HTTP のポート番号は正しいですか？ HTTP のポート番号をもう一度確認してください。ポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例）http://printer1.example.com:80/
	SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合、アドレス欄に正しく入力していますか？ SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合は、Web ブラウザーのアドレス欄に「http」ではなく、「https」から始まるアドレスを入力します。また、SSL/TLS のポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例）https://printer1.example.com:80/
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。 参照 ・ Web ブラウザーのヘルプ
Web ブラウザーに［しばらくお待ちください］などのメッセージが表示されたままになる	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してみてください。状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
最新の情報が表示されない	［更新］をクリックしてください。

症状	原因 / 処置
［表示更新］が機能しない 左側のメニューを選択しても、画面が切り替わらない 表示が遅い	指定されている OS や Web ブラウザーを使用していますか？ 「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 36) を参照して、使用しているOSやWebブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
	プロキシサーバーを使用していると、状態が正しく表示されなかったり、表示が遅くなったりする場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。
	使用している Web ブラウザーに古い状態がキャッシュされている可能性があります。 Web ブラウザーのキャッシュをすべてクリアしてください。
画面の表示が崩れる	Web ブラウザーのウィンドウサイズ、または表示フォントサイズを変更してください。
［新しい設定を適用する］をクリックしても反映されない	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。 入力した値を確認してください。
パスワードを忘れて、設定を変更できない	CentreWare Internet Services の機械管理者のパスワードの初期値は、次のとおりです。 ・ ユーザー名：admin ・ パスワード：NECPRADMIN 初期値からパスワードを変更したあとで、どうしてもパスワードが思い出せない場合は、プリンターの操作パネルの［ショキカ / データサクジョ］＞［ネットワークポート ショキカ］で設定を初期化してください。ただし、この場合は、ネットワークに関する設定がすべて工場出荷時の値に初期化されます。初期化する前に、［プリンター設定リスト］を印刷し、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。
ユーザー名やパスワードを入力する画面でパスワードを入力したが、認証されない	電源を入れたあと、または最後にユーザー認証に成功後、4 回連続でユーザー認証に失敗すると、正しいユーザー名やパスワードを入力しても認証されません。 Web ブラウザーによっては、キャンセルするまで、認証画面が表示されることがあります。 その場合は、プリンターの電源を切 / 入してから、再度認証の操作をしてください。
表示言語が異なる	Web ブラウザーで、表示言語の設定を変更してください。 参照 ・ Web ブラウザーのヘルプ
	複数の言語の Web ブラウザーや StatusMessenger などで、同時にプリンターにアクセスした場合、プリンターから取得する一部の文字列が、Web ブラウザーの設定とは異なる言語で表示されることがあります。その場合は、Web ブラウザーの表示を更新してみてください。
	プロキシサーバーを使用している場合にもこのような現象が発生することがあります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。 参照 ・ Web ブラウザーのヘルプ
CentreWare Internet Services への接続を拒否される、または「ページにデータが含まれていません」といったメッセージが表示される	頻繁に Web ブラウザーの表示を更新すると、このような症状が発生する場合があります。頻繁に Web ブラウザーの表示を更新することは、しないでください。 また、多数の Web ブラウザーで、常時、［状態］画面や［ジョブ］画面を表示し続けることは、しないでください。
ボタンが表示されずに、URL リンクになる	JavaScript を使用しているボタンがあるため、JavaScript が動作しない、あるいは停止された環境では、表示されないボタンがあります。その場合、ボタンの代わりに URL リンクが表示されます。 お使いの Web ブラウザーで、JavaScript を有効に設定することをお勧めします。

E メールプリント /StatusMessenger 機能使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
電子メールで本機の状態が確認できない （StausMessenger） E メールプリントができない	CentreWare Internet Services の［プロパティ］ > ［ポート起動］で、［StatusMessenger］または［E メールプリント］が［起動］に設定されていることを確認してください。
	次の設定を、CentreWare Internet Services の［プロパティ］ > ［メール］で確認してください。 ・ 本体メールアドレスは設定されていますか。 ・ SMTP サーバーや POP3 サーバーなどの各種設定が正しくされていますか。 ・ 受信許可メールアドレスを設定していませんか。自分のメールアドレスが、受信許可メールアドレスを含まれていますか。
	メールに記述した読み取り専用、またはプリント用パスワードは正しいですか（パスワード使用時のみ）。 CentreWare Internet Services の［プロパティ］ > ［メール］で設定されているパスワードを、正しく記述してください。
	メールに記述したコマンドは正しいですか。 正しいコマンドを記述してください。 参照 ・「3.9 電子メールを使って印刷する - E メールプリント -」(P. 79) ・「7.5 電子メールでプリンターの状態を確認する」(P. 183)
	SMTP サーバー、POP3 サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
電子メールでエラーが通知されない（StausMessenger）	CentreWare Internet Services の［プロパティ］ > ［ポート起動］で、［StatusMessenger］が［起動］に設定されていることを確認してください。
	次の設定を、CentreWare Internet Services の［プロパティ］ > ［メール］および、［StatusMessenger］で確認してください。 ・ 本体メールアドレスは設定されていますか。 ・ SMTP サーバーや POP3 サーバーなどの各種設定が正しくされていますか。 ・ 送信する通知項目が正しく設定されていますか。 ・ 送信先メールアドレスは正しく入力されていますか。
	SMTP サーバー、POP3 サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
ジョブ履歴に表示されない項目がある	E メールプリントの場合、CentreWare Internet Services でジョブ履歴を表示したとき、［ジョブ名］、［所有者名］、［ホスト名］、［ホスト I/F］、［ホスト送信時間］は空欄になります。 また、［ジョブ履歴レポート］を印刷した場合も、同様の項目が空欄になります。 ［ショブ履歴レポート］の［ポート］には、［POP3］と印刷されます。

7　日常管理

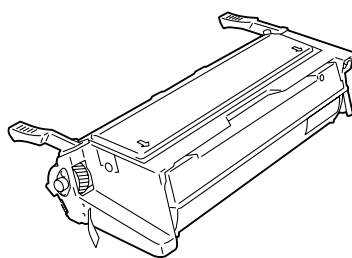
7.1　消耗品を交換する

消耗品の種類と購入について

本製品には、次のような消耗品が用意されています。消耗品のご注文は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

注記
- 本機は、純正消耗品を使用しているときに印刷品質やプリンター性能がもっとも安定するように設計されています。純正品と異なる仕様の消耗品を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合や、プリンター本体が仕様外の消耗品が原因で故障したときに有償修理となる場合があります。純正品をご使用いただけますと、万一のトラブルのときも安心してサポートを受けることができます。本来の性能を得るためにも、純正品の使用をお勧めします。
- 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246) を参照してください。

■ EP カートリッジ

印刷をするためのトナー、感光体（ドラム)、現像ユニットなどが一体化されたものです。印刷が薄くなったり、印字品質が悪くなった場合に交換します。EP カートリッジの交換の目安と交換方法は、「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246)、「EP カートリッジを交換する」(P. 174) を参照してください。

品名	型番	印刷可能ページ数（参考値）
EP カートリッジ（6K）	PR-L8500-11	約 6,000 ページ
EP カートリッジ（14K）	PR-L8500-12	約 14,000 ページ

消耗品の取り扱いについて

- 消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温多湿の場所
  - 火気がある場所
  - 直射日光が当たる場所
  - ほこりが多い場所
- 消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- 消耗品は、予備を置くことをお勧めします。

使用済み消耗品の回収

ご使用済みの NEC 製 EP カートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みの NEC 製 EP カートリッジは捨てずに、トナー回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NEC サービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際は EP カートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

(EP カートリッジ回収に関する Web ページ「EP カートリッジ : 環境活動」

URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/ep_recycle.html)

EP カートリッジを交換する

EP カートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルに次のようなメッセージが表示されます。

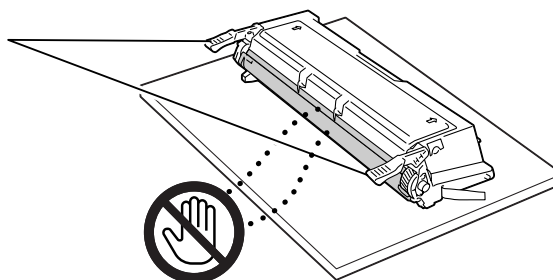
メッセージ	処置
ホッパ 1 A4 ヨコ ポート トナーカートリッジノ ↓ ↑ ホッパ 1 A4 ヨコ ポート コウカン ジキデス	すぐに交換する必要はありませんが、EP カートリッジの予備を用意してください。

補足
- 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 246) を参照してください。

⚠ 警告
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
- 以下のものを絶対に火中に投じないでください。カートリッジや容器内に残っているトナーやデベロッパーの発火または爆発によりやけどのおそれがあります。
  ・トナー、デベロッパー
  ・EP カートリッジ
  ・トナー、デベロッパーの入った容器
  不要な消耗品、または消耗品の入っていた容器は、必ずお買い求めの販売店、またはサービス窓口にお渡しください。弊社にて処理いたします。

⚠ 注意
- EP カートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- EP カートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
  ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
  ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
  ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

注記

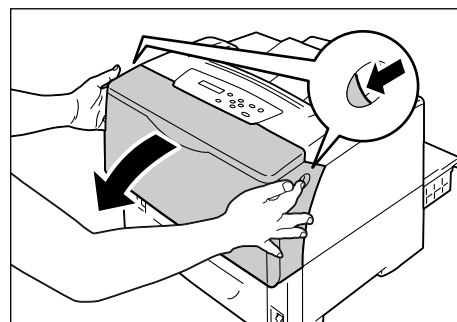
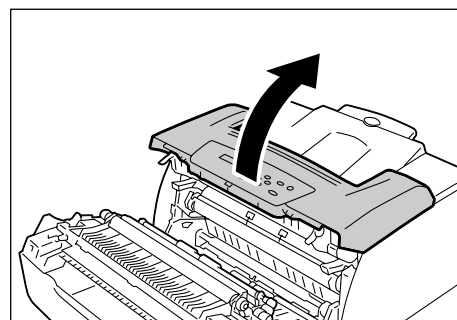
- EP カートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。
- 直射日光や強い光に当てないでください。
- EP カートリッジ取り付け作業は、強い光の当たる場所を避け、1 分以内で終了してください。
- 感光体（ドラム）表面には手を触れないでください。また、EP カートリッジを立てたり、裏返して置いたりしないでください。感光体（ドラム）を傷つけることがあります。
- 感光体（ドラム）保護シャッターは、中の感光体（ドラム）に光が当たらないように保護しています。感光体（ドラム）保護シャッターをむやみに開けないでください。
- EP カートリッジは、開封後、1 年以内で使い切ることをお勧めします。
- EP カートリッジを置く場合は、平らな場所を選んでください。

交換手順

交換手順は、次のとおりです。EP カートリッジを交換するときは、プリンター内部も清掃します。

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイカバーを閉じます。

注記

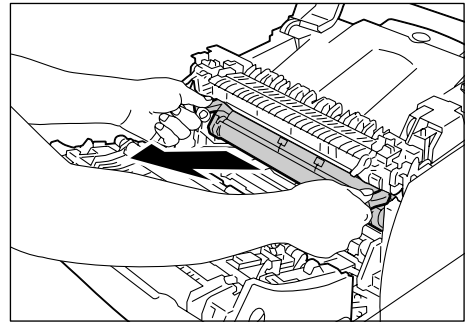
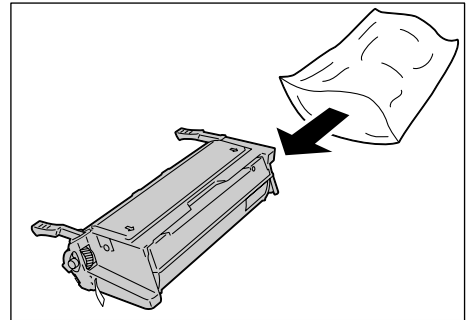
- 手差しトレイカバーを閉じるとき、カバー（左右）とプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

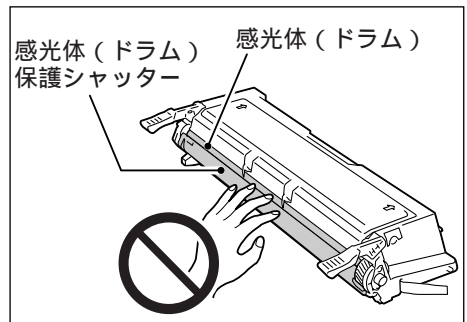
2. フロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

3. トップカバーを開けます。

4. 図のように EP カートリッジの取っ手を持を持ち、EP カートリッジを取り出します。

補足

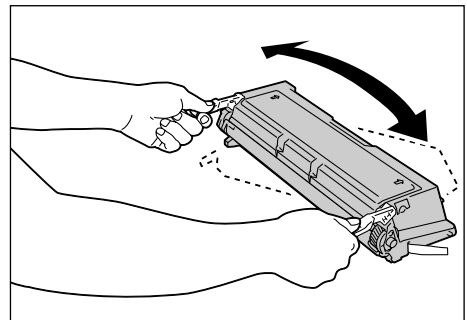
・EP カートリッジは手前にスライドさせて取り出します。

注記

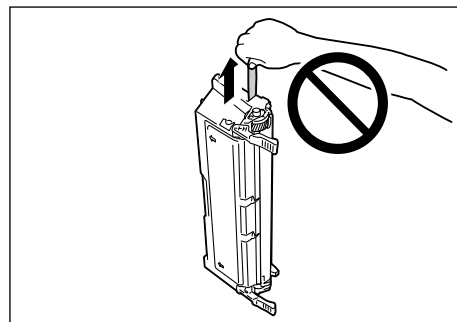
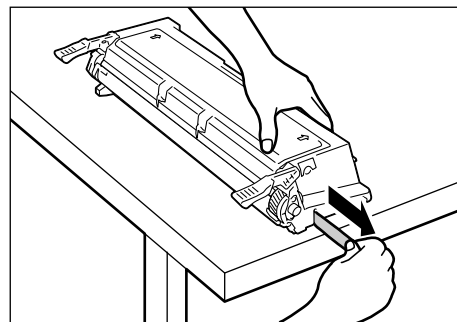
・トナーで手や衣服を汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

5. 新しい EP カートリッジを袋から取り出します。

注記

・EP カートリッジの感光体（ドラム）保護シャッター、および感光体（ドラム）には触らないようにしてください。

6. トナーを均一にするため、EP カートリッジを水平に持ち、10 回程度、図に示す方向にゆっくり振ります。

注記

・EP カートリッジは、図のように両端の取っ手を持ってゆっくり振ってください。

7. EP カートリッジの取っ手を手前にして、机など水平な面に置いて、側面から出ているトナーシールの端を持ち、ゆっくり引き抜きます。

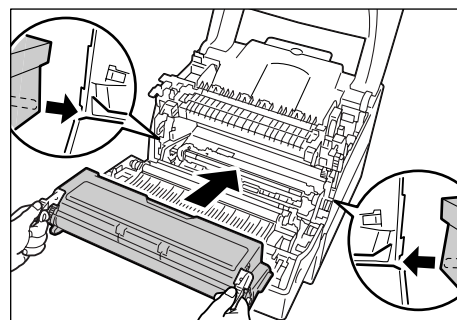
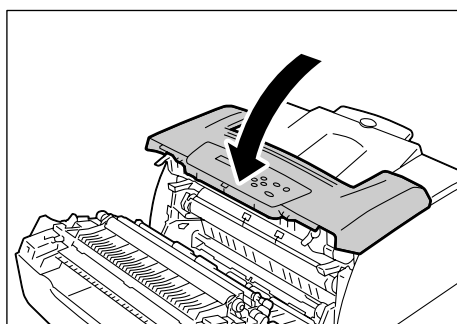
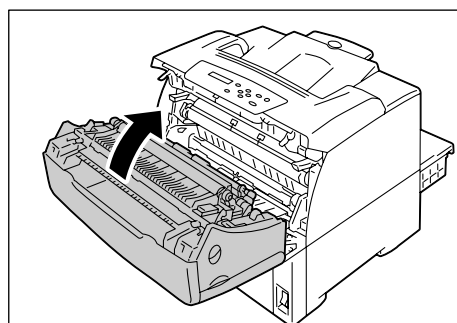
注記

・ トナーシールを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
・ 正常に引き抜くと、トナーシールは約 70cm の長さになります。正常に引き抜けなかったときは、プリンターを購入した販売店に連絡してください。
・ トナーシールを引き抜くときに少量のトナーが出ることがあります。手や衣服などを汚さないように注意してください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。
・ EP カートリッジを立てた状態でトナーシールを引き抜かないでください。EP カートリッジを立てた状態でトナーシールを引くと、途中で引き抜けなくなるか、切れてしまうおそれがあります。
・ トナーシールが途中で引き抜けなくなった状態、または途中で切れた状態のまま EP カートリッジをセットすると、印刷品質が劣化するばかりでなくプリンター本体に障害が生じることがあります。
・ トナーシールを引き抜いたあとは、EP カートリッジを振ったり、EP カートリッジに衝撃を与えたりしないでください。

8. 図のように、EP カートリッジをプリンター正面に向けて、EP カートリッジの取っ手を持ち、EP カートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせて、スライドさせてセットします。

補足

・ EP カートリッジが浮き上がっていたり、斜めになったりせず、確実に奥までセットされていることを確認してください。

注記

・ プリンター内部の部品には、手を触れないでください。
・ EP カートリッジが確実にセットされていることを確認してください。

9. トップカバーを閉じます。

10. フロントカバーを閉じます。

7.2 レポート / リストを印刷する

ここでは、レポート / リストの種類と印刷方法を説明します。

レポート / リストの種類

本機には、コンピューターからの印刷データを印刷するほかに、次のレポート / リストを印刷する機能があります。

レポート名 （操作パネルでの表示名）	印刷に必要なオプション品	説明
ジョブ履歴レポート （ジョブリレキ レポート）	－	コンピューターから送られた印刷データが、正しく印刷されたか、実行結果を印刷します。［ジョブ履歴レポート］には、最新の 22 件までの印刷ジョブが印刷されます。 この［ジョブ履歴レポート］は、22 件を超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを、操作パネルで設定できます。「［ジドウジョブリレキ］（自動ジョブ履歴）」(P. 130) を参照してください。
エラー履歴レポート （エラーリレキ レポート）	－	本機に発生したエラーに関する情報が印刷されます。
プリンター集計レポート （シュウケイ レポート）	－	コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。 なお、認証機能を使用している場合は、本レポートは印刷できません。代わりに、[プリンター集計管理レポート] が印刷されます。 参照 ・「7.7 印刷枚数を確認する」(P. 194)
プリンター集計管理レポート （シュウケイ レポート）	－	認証機能を使用している場合は、［シュウケイ レポート］を選択すると、本レポートが印刷されます。 登録ユーザー別に、今まで印刷した累積ページ数、印刷に使用した用紙の累積枚数が確認できます。 参照 ・ 認証 / 集計管理機能について：「7.8 認証と集計管理機能について」(P. 196)
プリンター設定リスト （プリンター セッテイ リスト）	－	今までに印刷した枚数や、本機のハードウエア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態が印刷されます。オプション品が正しく取り付けられているかどうかを確認するときなどに印刷します。
パネル設定リスト （パネル セッテイ リスト）	－	本機の操作パネルで設定されている値を確認するときに印刷します。
フォントリスト （フォント リスト）	－	ART EX、ART IV、ESC/P、PDF で使用できるフォントの一覧が印刷されます。
PCL フォントリスト （PCL フォント リスト）	－	PCL で使用できるフォントの一覧が印刷されます。
PostScript® フォントリスト （PS フォント リスト）	PostScript ソフトウエアキット	PostScript で使用できるフォントが印刷されます。
ART IV、201H、ESC/P ユーザー定義リスト （ユーザー テイギ リスト）	－	ART IV、201H、ESC/P プリントモードで登録されたフォーム、ロゴ、パターンの登録内容が印刷されます。
ART-EX フォーム登録リスト （ART EX フォーム リスト）	－	オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧が印刷されます。 参照 ・ フォームの登録：プリンタードライバーのヘルプ

レポート名 （操作パネルでの表示名）	印刷に必要なオプション品	説明
PCL マクロ登録リスト （PCL マクロ リスト）	ー	ダウンロードされた PCL マクロに関する情報が印刷されます。
201H 論理プリンター登録リスト （201H トウロク リスト）	ー	201Hプリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 5 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
ESC/P 論理プリンター登録リスト （ESC/P トウロク リスト）	ー	ESC/P プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 5 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
HP-GL/2 論理プリンター登録リスト （HP-GL/2 トウロク リスト）	ー	HP-GL/2 プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 10 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
TIFF 論理プリンター登録リスト （TIFF トウロク リスト）	ー	TIFF プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 10 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
PostScript® 論理プリンター登録リスト （PS トウロク リスト）	PostScript ソフトウエアキット	PostScript で作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている1〜5までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
蓄積文書リスト （チクセキブンショ リスト）	ハードディスク	セキュリティー / サンプルプリント機能で、本機に蓄積された文書の一覧が印刷されます。 参照 ・「3.6 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -」(P. 69) ・「3.7 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -」(P. 73)

レポート / リストを印刷する

レポート / リストは、操作パネルを操作して印刷します。ここでは、[プリンター設定リスト］を印刷する場合を例に説明します。ほかのレポート / リストも同様に印刷を指示してください。

補足
・ 各種レポート / リストは、A4 サイズの用紙に印刷されます。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

ﾒﾆｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾄｹﾞﾝｺﾞﾉ ｾｯﾃｲ

2. ［レポート / リスト］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

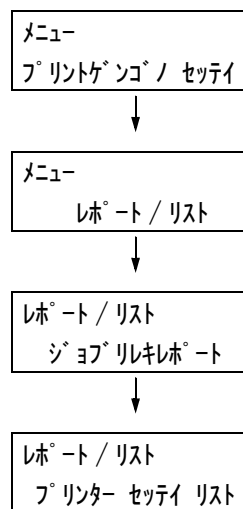
ﾒﾆｭｰ
ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
［ジョブリレキレポート］が表示されます。

ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
ｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷﾚﾎﾟｰﾄ

4. [プリンター セッテイ リスト] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾚﾎﾟｰﾄ / ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀｰ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ

5. 〈ストップ / 排出〉ボタンで印刷します。
レポートが印刷されます。

7.3 Web ブラウザーでプリンターの状態を確認 / 管理する

本機を TCP/IP 環境に設置した場合、ネットワーク上のコンピューターの Web ブラウザーを使用して、本機の状態を確認したり、本機の設定を行ったりできます。

この機能を、CentreWare Internet Services と呼びます。

CentreWare Internet Services では、本機にセットされている消耗品や用紙などの残量も確認できます。

補足

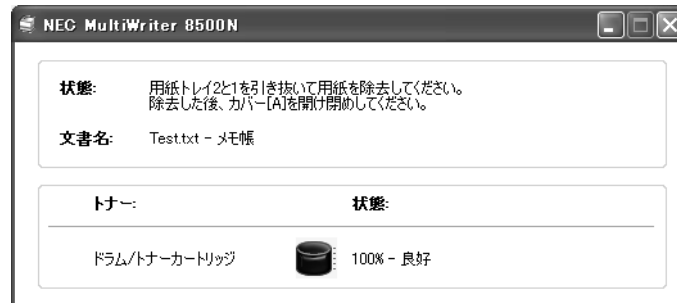
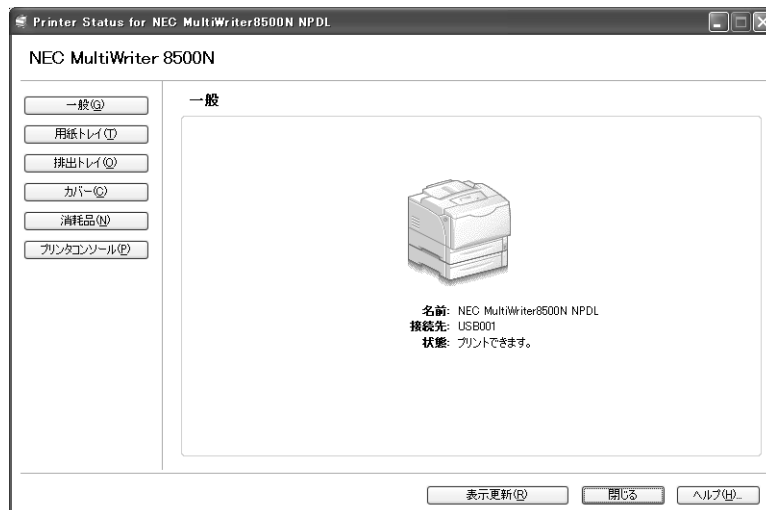
- 詳しい CentreWare Internet Services の使用方法については、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 36) を参照してください。
- 本機をローカルプリンターとして使用している場合は、CentreWare Internet Services は使用できません。ローカルプリンターの状態を確認する方法については、「7.4 SimpleMonitor でプリンターの状態を確認する」(P. 182) を参照してください。

7.4 SimpleMonitor でプリンターの状態を確認する

SimpleMonitor とは、本機をローカルプリンター、または LPD ポートで接続して使用している場合に、コンピューター上で、自分が印刷指示をしたジョブやプリンターの状態を確認するためのツールです。このツールは、Windows OS 上で動作し、同梱されているプリンターソフトウエア CD-ROM からコンピューターにインストールして使用します。

補足
・SimpleMonitor のインストール方法については、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の Readme ファイルを参照してください。

SimpleMonitor では、次のことができます。

・印刷指示をしたジョブの実行中に、プリンターでエラーが発生すると、コンピューターのディスプレイにウィンドウを表示して、エラー内容を通知します。

・次のようなウィンドウを表示して、セットされている用紙のサイズや残量、排出トレイの状態、および EP カートリッジなどの消耗品の残量を確認できます（ローカルプリンターの場合だけ）。

補足
・ネットワークプリンターの状態は、本ツールから CentreWare Internet Services を起動して、確認できます。
・SimpleMonitor の機能の詳細については、ツールのヘルプを参照してください。

7.5 電子メールでプリンターの状態を確認する

プリンターがネットワークに接続され、TCP/IP 通信、およびメールの送受信ができる環境が用意されている場合には、ユーザーとプリンター本体間で次のようなことができます。

この機能を、StatusMessenger 機能といいます。

- ユーザーからネットワークの設定やプリンターの状態を電子メールで問い合わせると、プリンター本体からその結果をメールで返信します。

本機からの送信メール例

```
Subject : Re: test1
   From : printer1@example.com
     To : user1< user1@example.com >

[Printer status]
 - Ready.

[Network Information]
{Network}
  F/W Version            : 8.06
  Ethernet Address       : 08:00:37:11:22:33
  Ethernet Settings      : 10Base-T Half(AUTO)
  TCP/IP Settings        : Manual
```

- プリンター本体でエラーが発生した場合には、あらかじめ設定した内容（消耗品の状態、用紙や紙づまりの状態など）を、指定されたあて先にメールで通知します。EP カートリッジの状態を定期的に通知するので、タイムリーに交換時期を把握できます。あて先は、ネットワーク管理者、または共用のアドレスを登録することをお勧めします。

本機からの送信メール例

```
Subject : Status Message
   From : printer1@example.com
     To : user2< user2@example.com >

[Status Message]
 - ドラムカートリッジの交換時期です
```

StatusMessenger 機能を使用するための設定

StatusMessenger 機能を使用するためには、ネットワーク環境やメール環境の設定が必要です。設定が済んでいるかを、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク環境

・ メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

CentreWare Internet Services を使用して、ポート起動、本体メールアドレス、メールサーバーなどを設定します。

メール環境に合わせて、［プロパティ］の次の項目を設定してください。

補足
・ 設定後は、必ず［新しい設定を適用する］をクリックして、本機を再起動します。
・ 各項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

項目	設定項目	説明
ポート起動	StatusMessenger	［起動］を選択します。
プロトコル設定 ＞メール	本体メールアドレス、 SMTP サーバー - アドレス、 SMTP サーバー - ポート番号、 送信時の認証方式、 SMTP AUTH- ログイン名、 SMTP AUTH- パスワード、 POP3 サーバー - アドレス、 POP3 サーバー - ポート番号、 POP3 サーバー - ログイン名、 POP3 サーバー - パスワード、 POP3 サーバー - 受信間隔、 APOP 設定	本機がメールを送受信するために必要な設定をします。 「メール環境の設定（本機側）」(P. 184) を参照してください。
	受信許可メールアドレス	情報確認をするためのメールの受信を制限する場合、受信を許可するメールアドレスを入力します。何も指定しない場合は、すべてのユーザーからのメールを受け付けます。
	パスワード	本体へのメールによる問い合わせ時にパスワードを使用する場合は、［読み取り専用パスワード］の［パスワードを使用する］にチェックを付け、パスワードを設定します。
プロトコル設定 ＞ StatusMessenger	送信先メールアドレス	エラーが発生した場合など、本体の状態変化を通知する先のメールアドレスを設定します。メールアドレスは、2つまで設定できます。
	送信する通知項目	通知する内容を、あて先別に設定します。 ・ 消耗品の状態 ・ 用紙・ジャムの状態 ・ デバイスの起動 ・ 認証エラー ・ その他

メールで状態を問い合わせる

ここでは、本機の状態を確認するために、ユーザーからプリンター本体にメールを送信する場合の注意事項を説明します。

・ コンピューターのメールソフトを使用して、メールのあて先に本機の本体メールアドレスを指定します。

・ プリンターの状態を確認するときや設定を変更する場合は、メールのタイトルは何でもかまいません。任意に付けてください。

・ メールの本文に、次に説明するコマンドを、規則に従って記述します。

補足
・ メールの送信方法は、使用しているメールソフトによって異なります。各メールソフトの説明書を参照してください。

■ メール本文に記述できるコマンド

コマンド	パラメーター	説　明
#Password	パスワード	読み取り専用パスワードが設定されている場合は、必ず先頭にこのコマンドを記述します。パスワードが設定されていない場合は、省略できます。
#NetworkInfo	-	ネットワーク設定リストの情報を確認したいとき、指定します。
#Status	-	本体の状態を確認したいとき、指定します。

■ コマンドの記述規則

各コマンドは、次のような規則に従って記述します。

・ コマンドは、必ず「#」で始め、メールの本文の先頭は必ず #Password コマンドを記述します。

・「#」以外で始まる行は無視されます。

・ メール本文 1 行に 1 コマンドを記述し、コマンドとパラメーターは、スペースまたはタブで区切ります。

・ メール内に複数の同一コマンドがある場合は、2 度め以降のコマンドは無視されます。

■ 記述例

1. 読み取り専用パスワードが設定されていないときに、本体の状態を確認したい場合

```
#Status
```

2. 読み取り専用パスワードが「 ronly 」で、本体の状態、およびをネットワーク設定を確認したい場合

```
#Password        ronly
#Status
#NetworkInfo
```

7.6 セキュリティー機能について

ここでは、機械管理者を対象に、本機が持っている各種セキュリティー機能とその設定方法を説明します。詳しくは、それぞれの参照先をごらんください。

機能	説明	参照先
HTTP 通信の SSL 暗号化	コンピューターからネットワーク上の本機へデータを送るときに､通信経路を SSL で暗号化して送信することができます。 補足 ・ マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。	「HTTP 通信の SSL 暗号化について」(P. 186)
セキュリティープリント	第三者に見られたくない文書や機密書類などを出力する場合、出力データを本体内に一時蓄積し、あらためて本体の操作パネルでパスワードを入力して出力します。 補足 ・ ハードディスク（オプション）が必要です。	「3.6 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -」(P. 69)
IPアドレスによる受信制限	使用できるコンピューターの IP アドレスを登録して、印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。	「[ウケツケ セイゲン]（受け付け制限）」(P. 125) または、 「IP アドレスによる受信制限」(P. 191)
IPsec によるセキュリティー通信	コンピューターからネットワーク上の本機へデータを送るときに、データをパケット単位で暗号化して送信できます。 補足 ・ マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。	
操作パネルのロック	パスワードによって操作パネルの操作に制限をかけることができます。	「［ソウサパネル セッテイ］（操作パネル設定）」(P. 128)
認証機能によるユーザー制限	本機の認証機能によって、コンピューターから印刷できるユーザーを限定できます。	「7.8 認証と集計管理機能について」(P. 196)

HTTP 通信の SSL 暗号化について

本機にマルチプロトコル LAN カード（オプション）が取り付けられている場合は、SSL/TLS サーバー通信機能を有効にすることで､本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化することができます。

HTTP を利用するポートには、インターネットサービスポートと IPP ポートがあります。

本機能を利用すると、CentreWare Internet Services で設定・変更情報を通信するときや、IPP ポートを使用した印刷のときに通信データを暗号化できます。

通信データの暗号化には、SSL/TLS プロトコルが使用されます。また、暗号化された通信を解読するには、SSL/TLS で利用する証明書が必要です。

証明書は、CentreWare Internet Services で作成することができます。

暗号化のための設定

ここでは、証明書を CentreWare Internet Services で作成し、暗号化通信を行うための設定をする手順を説明します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

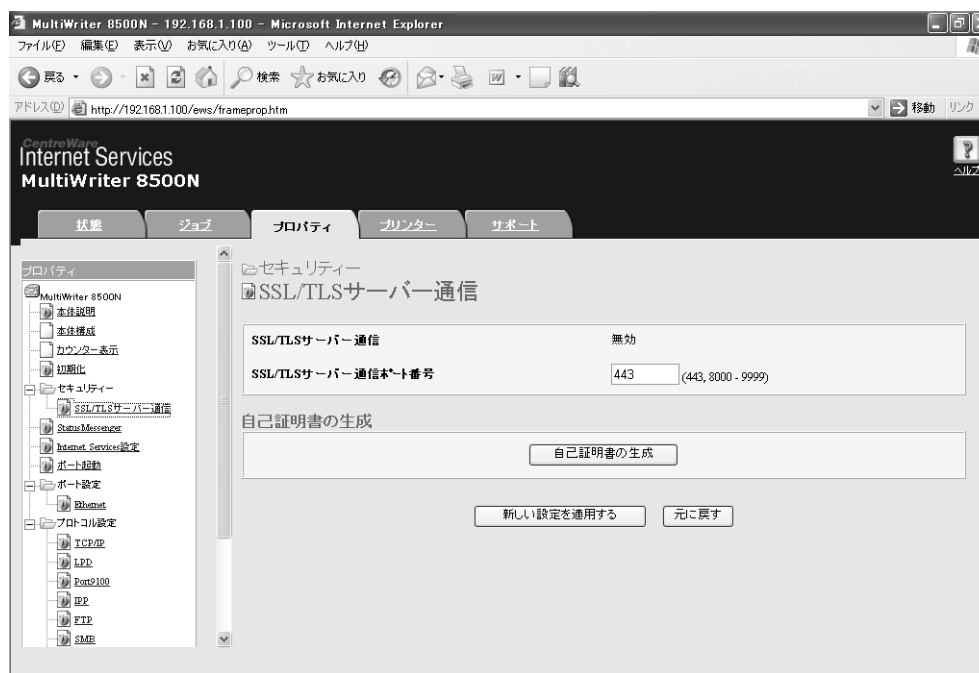
- オプションのマルチプロトコル LAN カードを、ほかのプリンターに装着した場合、証明書は自動的に削除され、SSL/TSL サーバー通信の設定も無効になります。その場合は、再度使用するプリンターで、証明書の作成から行ってください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 36) を参照してください。

2. ［プロパティ］タブをクリックします。

3. 左側のメニューから、［セキュリティー］の下にある［SSL/TLS サーバー通信］をクリックします。
   ［SSL/TLS サーバー通信］画面が表示されます。

4. 証明書を生成します。［自己証明書の生成］をクリックします。

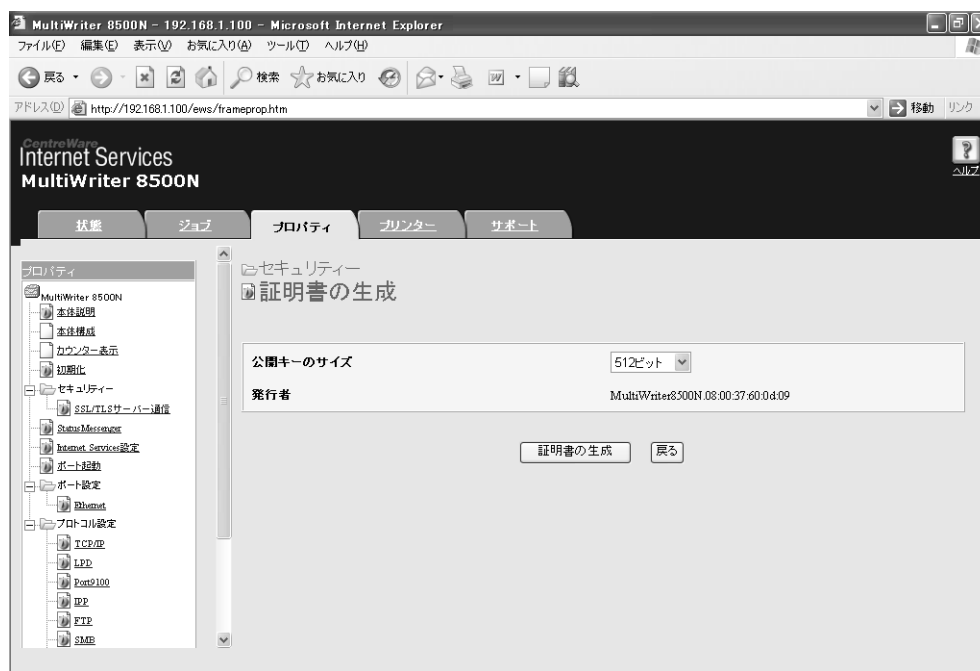
注記

- 証明書の生成には、数秒かかる場合があります。その間は、［自己証明書の生成］をクリックしないでください。

5. ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されるので、機械管理者のユーザーIDとパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

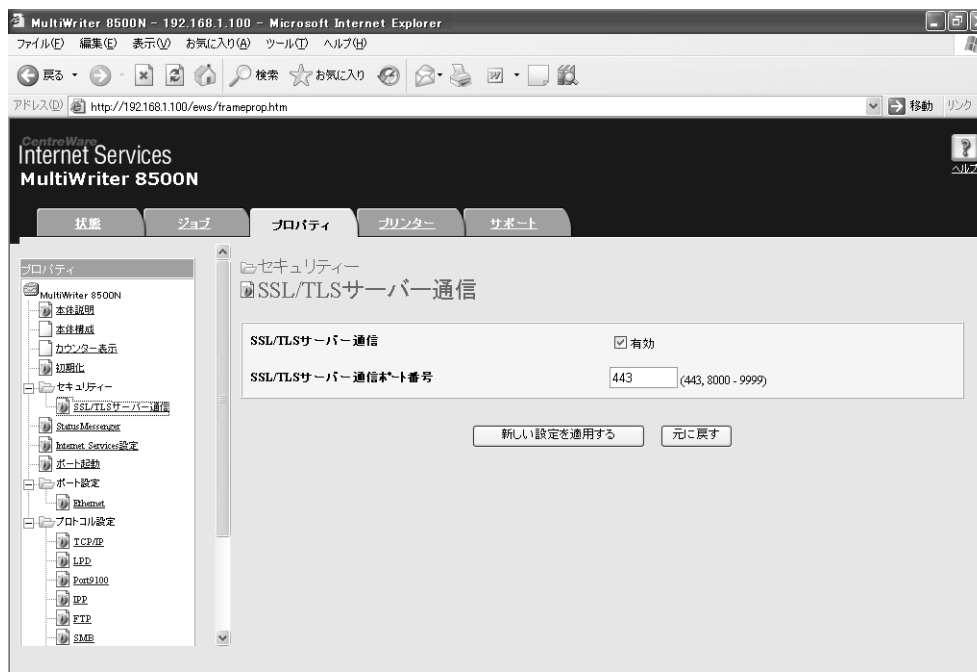
補足

- 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「admin」、パスワードは「NECPRADMIN」です。

6. 表示された画面で、［公開キーのサイズ］を設定し、［証明書の生成］ボタンをクリックします。

7. 本機を再起動する画面が表示されるので、［再起動］ボタンをクリックします。

8. 本機が起動したら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

9. 再度、左側のメニューから［SSL/TLS サーバー通信］をクリックして、［SSL/TLS サーバー通信］画面を表示します。

10. ［SSL/TLS サーバー通信］の［有効］にチェックを付けます。

11. ［SSL/TLS サーバー通信ポート番号］を設定します。

補足
・ HTTP ポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

12. ［新しい設定を適用する］ボタンをクリックし、同様の手順で本機を再起動します。

通信を暗号化した場合の CentreWare Internet Services へのアクセス方法

通信を暗号化した場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザーのアドレス欄に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

・ IP アドレスの入力例

https://192.168.1.100/

・ インターネットアドレスの入力例

https://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足
・ CentreWare Internet Services を起動すると、［プロパティ］画面には、［証明書の管理］の項目が表示されます。証明書の情報を確認したり、削除したりすることができます。
・ ポート番号を変更した場合は、プリンターのアドレスの後ろに、「：」に続けてポート番号を指定してください。
https://（プリンターのアドレス）：ポート番号 /

通信暗号化して印刷するための設定

印刷時に通信データを暗号化するには、IPP ポートを使用します。

プリンター側の設定で、IPP ポートが［キドウ］に設定されていない場合（初期値：［キドウ］）は、「1.4 使用するポートを起動する」(P. 35) を参照して起動してください。

次に、コンピューターにプリンタードライバーをインストールし、出力ポートを IPP ポートに設定します。

以下に、Windows XP の例で、プリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

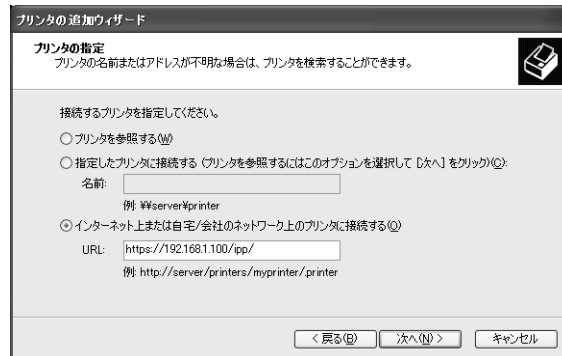
補足
・ インストール手順についての詳細は、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の Readme ファイルを参照してください。

1. ［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］を選択します。

2. ［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］を選択します。

3. ［次へ］をクリックします。

4. ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピューターに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

5. ［インターネットまたは自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、［URL］に次の URL を入力して［次へ］をクリックします。
「https://(お使いの機種の IP アドレス)/ipp/」

6. ［ディスク使用］をクリックします。

7. 表示された画面で「（CD-ROM のドライブ名）: ¥Art_ex¥Win2000_XP」と入力し、［OK］をクリックします。

8. 本プリンターのドライバーを選択して、［OK］をクリックします。

9. 通常使うプリンターに設定する場合は［はい］を、設定しない場合は［いいえ］を選択して、［次へ］をクリックします。

10. ［完了］をクリックします。

IP アドレスによる受信制限

LPD ポート、または Port9100 ポートを使用して印刷する場合、本機では、使用できるコンピューターの IP アドレスを登録して､印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。ここでは、CentreWare Internet Services を使用した設定方法を説明します。設定する前に、LPD および Port9100 以外の印刷ポートを停止してください。

補足
- 操作パネルを使った設定については、「[ウケツケ セイゲン]（受け付け制限）」(P. 125) を参照してください。
- 受信制限の設定は､LPD と Port9100 だけ有効です｡その他のポートを使った印刷の場合は､無効です｡

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足
- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 36) を参照してください。

2. ［プロパティ］タブをクリックします。

3. 左側のメニューから［プロトコル設定］＞［LPD］または［Port9100］をクリックします。

4. ［受信制限の設定］をクリックします。

5. 受信制限をしたい IP アドレス、アドレスマスクを 0 ～ 255 の数値で入力し、アクセス制限の種類 (許可、拒否、しない) を選択します｡ 現在の設定値には、＊が付きます。次項の設定例を参考にしてください。

6. 各項目の設定ができたら、右側フレームの下部に表示されている［新しい設定を適用する］をクリックし、本機を再起動します。

補足
- 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、［元に戻す］をクリックします。
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、［OK］をクリックしてください。

■ 受信制限の設定例

アドレスは、5 件まで設定でき、いちばん上の設定が最も優先されます。複数の制限を設定する場合は、範囲が狭いアドレスに対する制限から順に設定していきます。

1. 特定のユーザーからの印刷を許可する場合

例）
192.168.100.10 からの印刷を許可する

アクセス制限するホスト	IPアドレス：アドレスマスク：オペレーション
1	192.168.100.10 : 255.255.255.255 許可
2	0.0.0.0 : 0.0.0.0 *しない
3	0.0.0.0 : 0.0.0.0 *しない
4	0.0.0.0 : 0.0.0.0 *しない
5	0.0.0.0 : 0.0.0.0 *しない
	上記の設定に一致しないホストは拒否されます

2. 特定のユーザーからの印刷を拒否する場合

例）
192.168.100.50 からの印刷を許可する

アクセス制限するホスト	IPアドレス：アドレスマスク：オペレーション								
1	192	168	100	50	255	255	255	255	拒否
2	0	0	0	0	0	0	0	0	しない
3	0	0	0	0	0	0	0	0	しない
4	0	0	0	0	0	0	0	0	しない
5	0	0	0	0	0	0	0	0	しない

上記の設定に一致しないホストは拒否されます

3. 特定のネットワークアドレスからの印刷は許可、その中の一部のネットワークアドレスからの印刷は拒否、拒否を設定したアドレスの中の、特定のユーザーからの印刷は許可する場合

例）
（1）192.168.200.10 からの印刷は許可する
（2）（1）を除く、192.168.200.xxx からの印刷は拒否する
（3）（2）を除く、192.168.xxx.xxx からの印刷は許可する

アクセス制限するホスト	IPアドレス：アドレスマスク：オペレーション								
1	192	168	200	10	255	255	255	255	許可
2	192	168	200	0	255	255	255	0	拒否
3	192	168	0	0	255	255	0	0	許可
4	0	0	0	0	0	0	0	0	しない
5	0	0	0	0	0	0	0	0	しない

上記の設定に一致しないホストは拒否されます

IPsec によるセキュリティー通信

IPsec は、データをパケット単位で暗号化して通信を行うプロトコルです。本機は、IPsec に対応しています。

補足
・ IPsec を使用するには、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。

本機とネットワークで接続されているコンピューターとの通信に、IPsec を使用する場合は、次の設定が必要です。

・ コンピューター側の設定
  Windows で IPsec の設定を行います。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。
・ 本機側の設定
  CentreWare Internet Services の［IPsec 設定］を設定します。

CentreWare Internet Services で IPsec の設定をする

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足
・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 36) を参照してください。

2. ［プロパティー］タブをクリックします。
3. 左側のメニューから［セキュリティー］＞［IPsec 設定］をクリックします。
4. ［プロトコル］の［有効］にチェックを付けます。
5. ［共通鍵］、［共通鍵の確認］に、IPsec 通信の共通鍵を入力します。
   NULL や空白、およびカンマ（,）は入力できません。
6. ［IKE SA のライフタイム］、［IPsec SA のライフタイム］（分単位）を 5 ～ 28800 の数値で入力します。［IPsec SA のライフタイム］には、［IKE SA のライフタイム］以下の値を入力します。
7. ［DH グループ］で［G1］または［G2］を選択します。
8. ［PFS 設定］で、［有効］にチェックを付けると、PFS 機能を有効にできます。
9. ［相手アドレスの指定［IPv4］］または［相手アドレスの指定［IPv6］］のどちらかで通信する相手先の IP アドレスを入力します。

補足
・ ピリオド（.）またはコロン（:）で区切られた文字列の、英数字より前にある 0 は省略できます。

例） IPv4 「192.168.001.010」の場合、「192.168.1.10」と指定できます。
IPv6 「2001:0db8:0000:0000:0000:0000:0000:0001」の場合、「2001:db8::1」と指定できます。

10. ［IPsec 未対応機器との通信］で、IPsec 未対応機器と通信するかどうかを選択します。
11. 各項目の設定ができたら、右側フレームの下部に表示されている［新しい設定を適用する］をクリックし、本機を再起動します。

補足
・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、［元に戻す］をクリックします。
・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、［OK］をクリックしてください。

7.7　印刷枚数を確認する

印刷の総枚数は、そのカウントの仕方によって確認方法が異なります。

総印刷枚数を確認する（メーター）

操作パネルのディスプレイの表示で、総印刷枚数を確認できます。

メーター 1	白黒印刷
メーター 2	通常は使用しません
メーター 3	通常は使用しません

補足
・ 両面印刷で出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

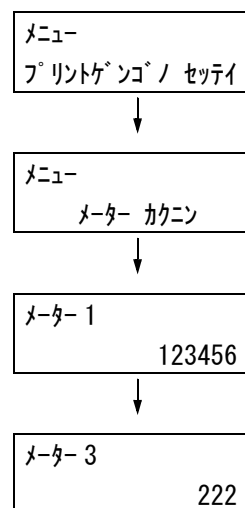
メーターの確認方法は、次のとおりです。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. ［メーター　カクニン］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
［メーター 1］が表示されます。

4. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、確認したいメーターを表示します。

5. 確認が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

コンピューター別に印刷枚数を確認する（プリンター集計レポート）

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数が、プリンター集計レポートで確認できます。

プリンター集計レポートの印刷は、操作パネルから行います。

補足

・ 認証 / 集計管理機能を使用している場合は、[プリンター集計レポート] は印刷できません。代わりに、[プリンター集計管理レポート] が印刷されます。
・ 認証 / 集計管理機能の設定を有効にすると、その時点で、プリンター集計のデータは初期化されます。

参照

・ 印刷方法 :「レポート / リストを印刷する」(P. 180)

プリンター集計レポートの印刷結果について

プリンター集計レポートには、次の項目が印刷されます。

ジョブオーナー名	ページ数	枚数
User1	549	549
User2	2	1
User3	1	1
UnknownUser	1	1
Report/List	0	0
総合計	553	552

ジョブオーナー名	最大 200 ユーザーまでのオーナー名が印刷されます。ジョブオーナーの指定をしない場合、または 201 人め以降のユーザーの印刷ジョブの場合は、最後から 2 つめの「UnknownUser」欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
ページ数	実際に印刷した総ページ数です。1 印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。
枚数	印刷に使用した用紙の総枚数です。1 印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。

7.8 認証と集計管理機能について

本機には、利用できる機能に制限をかける認証機能と、その認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能があります。

ここでは、機械管理者を対象に、認証 / 集計管理機能の概要と、使用する場合に必要な設定について説明します。

認証 / 集計管理機能の概要

本機で認証機能を使用した場合は、本機を使用できるユーザーを限定し、その印刷枚数を管理したり、集計したりできます。

制限される機能

認証 / 集計管理機能を利用することによって、次の機能が制限されます。

■ コンピューターからの印刷

ジョブの種類によって、次のように印刷が制限されます。

ジョブの種類	制限される機能
本機用プリンタードライバーを使用した印刷	プリンタードライバーで、ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を設定する必要があります。本機に送信されたジョブのうち、認証情報が本機に登録された内容と一致する場合だけ、印刷できます。 また、プリント上限ページ数が設定されている場合は、使用量が制限に達すると、以降の印刷はできません。
本機用プリンタードライバーを使用しない場合（ESC/P などエミュレーション利用時や、E メールプリント、ContentsBridge Utilily 使用時など）	本機で、［ユーザー指定無し印刷の許可］が［有効］になっている場合だけ、印刷できます。初期値は無効になっています。

集計機能

認証 / 集計管理機能を利用すると、［プリンター集計レポート］に代わって、［プリンター集計管理レポート］が出力されます。

ユーザー別に、今まで印刷した累積ページ数、印刷に使用した用紙の累積枚数が確認できます。

補足
- 本レポートは、認証 / 集計管理機能の設定を有効にした時点からのカウントになります。
  また、認証 / 集計管理機能の設定を無効にすると、その時点で、データは初期化されます。

参照
- 印刷方法 :「レポート / リストを印刷する」(P. 180)

ユーザーID	ユーザー名	上限ページ数 白黒	上限ページ数 カラー	累積ページ数 白黒	累積ページ数 カラー	累積枚数
1	User01	9999000	999900	0	0	0
2	User01	1000	無効	0	0	0
	Report/List			150	0	150
	総合計			150	0	150

認証 / 集計管理機能を使用するための設定

ユーザーの認証方法

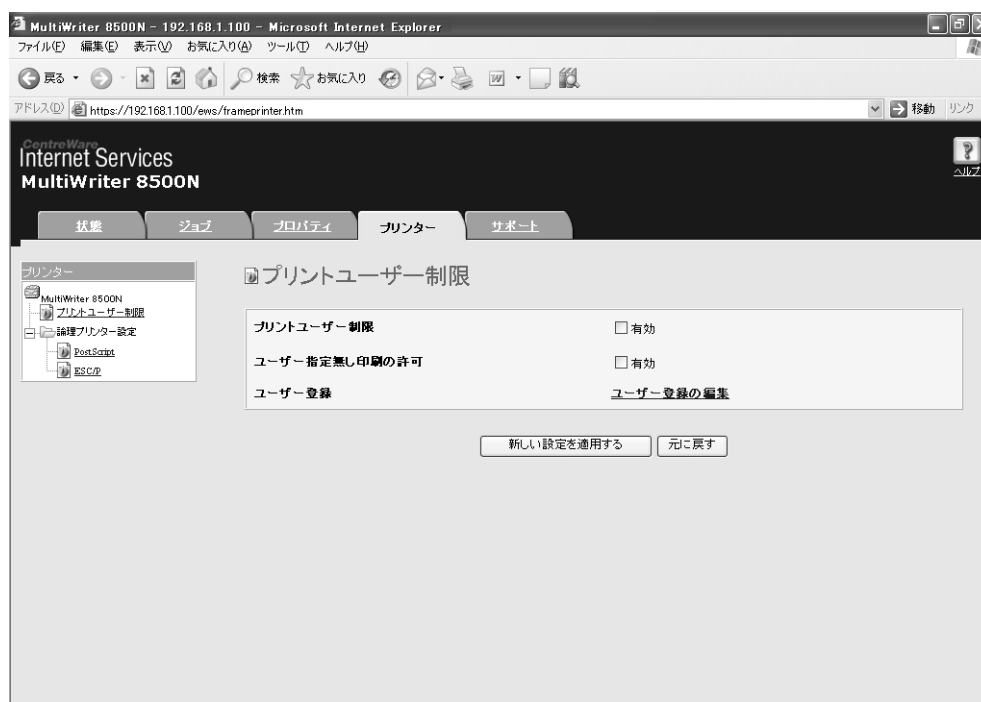
認証機能を有効にするには、操作パネルの［キカイカンリシャメニュー］＞［システムセッテイ］＞［ホンタイニンショウ］で［スル］に設定するか、CentreWare Internet Services で［プリントユーザー制限］を［有効］に設定します。
また、さらに CentreWare Internet Services を使って、本機にあらかじめ利用するユーザーの認証情報を登録しておきます。本機は、そこで設定されたユーザー ID やパスワードによって認証管理をします。

本機への認証情報の登録

ここでは、CentreWare Internet Services で、認証機能を有効にし、利用ユーザーを登録する手順を簡単に説明します。各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足
・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 36) を参照してください。
・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、［OK］をクリックしてください。

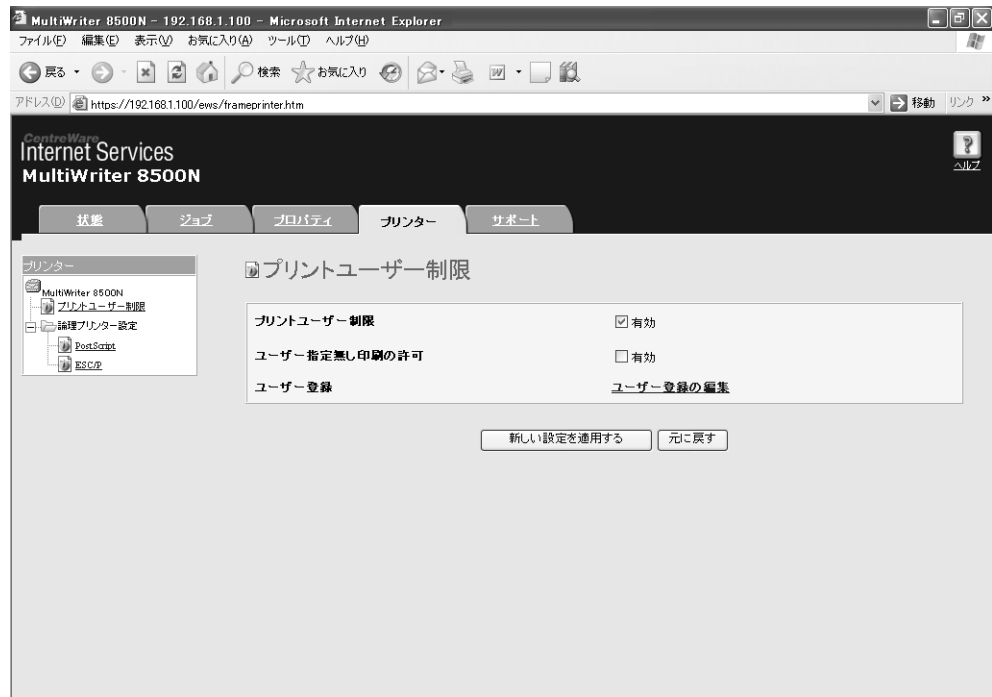
2. ［プリンター］タブをクリックします。
［プリントユーザー制限］画面が表示されます。

3. ［プリントユーザー制限］の［有効］にチェックを付けます。

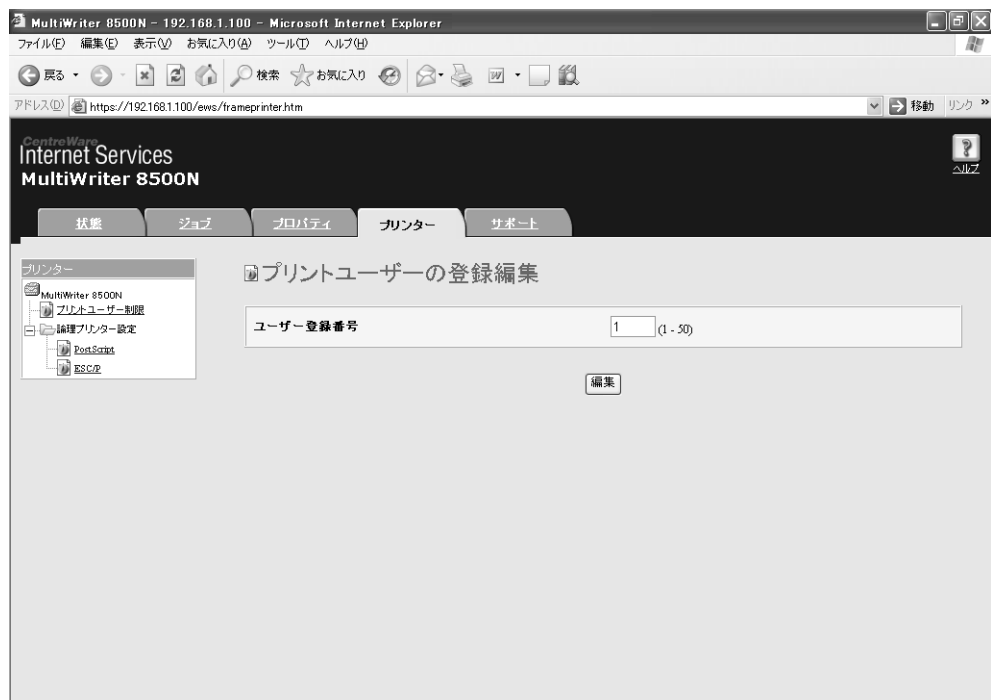
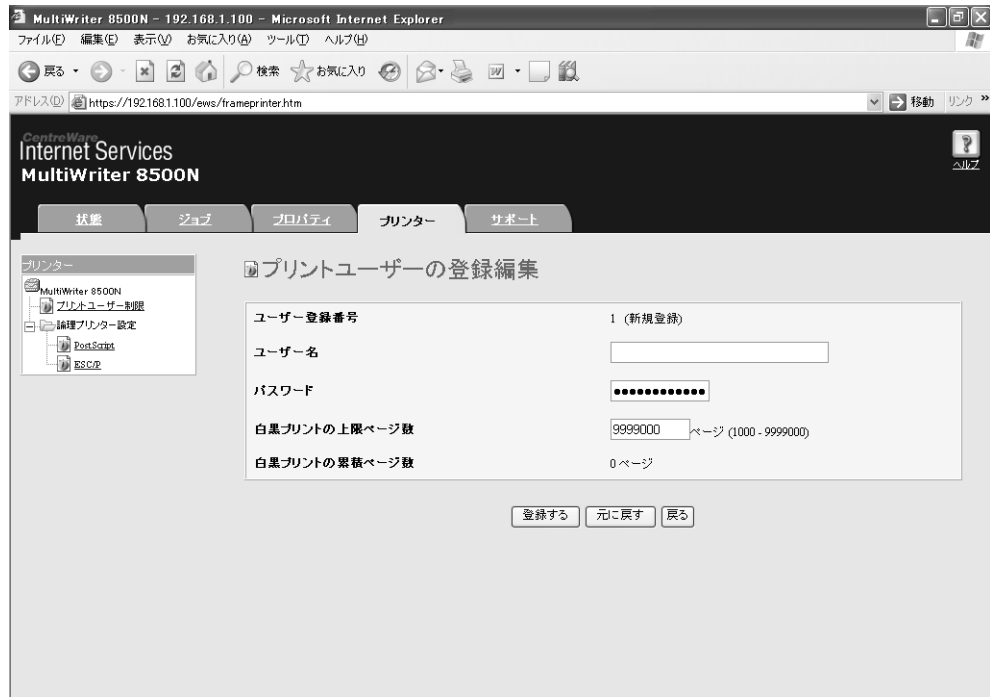
4. 本機用プリンタードライバーを使用しないで送られてきたジョブに対して、印刷を許可する場合は、［ユーザー指定無し印刷の許可］の [有効] にチェックを付けます。

5. ［新しい設定を適用する］をクリックします。

6. 本機を再起動する画面が表示されるので、［再起動］ボタンをクリックします。

7. 本機が起動したら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

8. ［プリントユーザー制限］画面に、［ユーザー登録］が追加されていることを確認してください。

9. ［ユーザー登録の編集］をクリックします。

10. ［プリントユーザーの登録編集］画面で、［ユーザー登録番号］を設定し、［編集］ボタンをクリックします。

11. 表示された画面で各項目を設定し、[登録する] ボタンをクリックします。

補足
・ ここで設定したユーザー ID やパスワードは、プリンタードライバーでも使用します。

12. 複数のユーザーを登録する場合は、[戻る] ボタンを押して、手順 10 〜 11 を繰り返してください。

プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

プリンタードライバーのプロパティで以下の設定をします。このユーザー ID とパスワードが本機に登録されている認証情報と一致しないと印刷できません。ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足
・ プリンタードライバーの各項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. ［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］をクリックします。

2. 本機のプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

3. ［初期設定］タブで［認証情報の設定］をクリックします。

4. ［認証情報の設定］ダイアログボックスで各項目を設定し、［OK］をクリックします。

5. プロパティダイアログボックスの［OK］をクリックします。

7.9 清掃について

ここでは、プリンターを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるようにするため、プリンターの清掃方法について説明します。

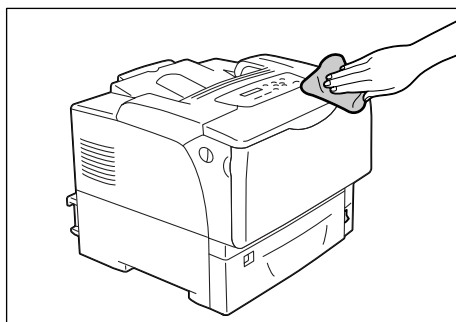
⚠ 注意

- 機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

プリンター外部の清掃

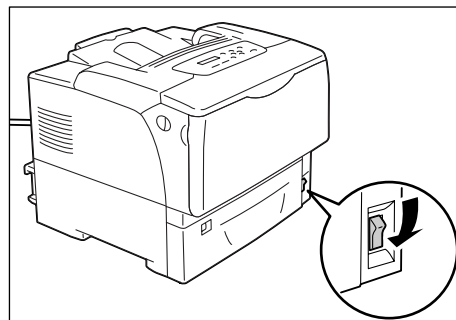
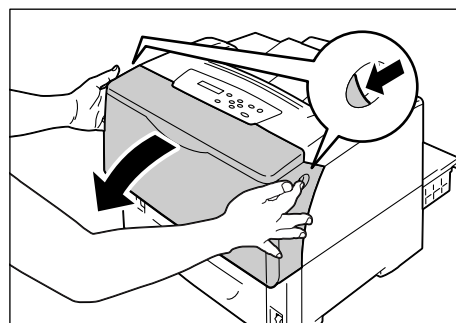
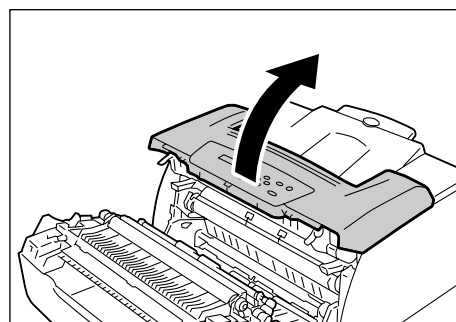
約 1 か月に 1 回、プリンターの外部を清掃してください。プリンターの外側を、水でぬらし固く絞った柔らかい布でふきます。そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。

注記

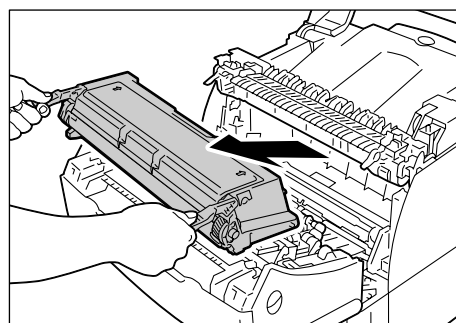
- 洗剤を直接プリンターに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

リブプレートの清掃

リブプレートの清掃は、給紙方向に縦にかすれる、白いスジが入る、文字や黒い部分の輪郭がにじむときに行います。

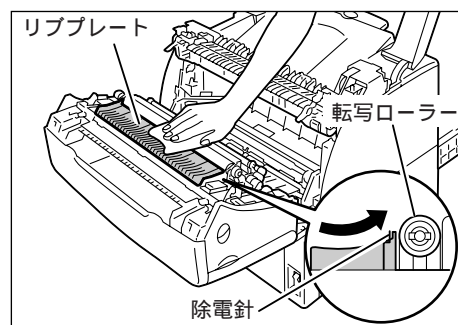
1. プリンターの前面右下にある、電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。

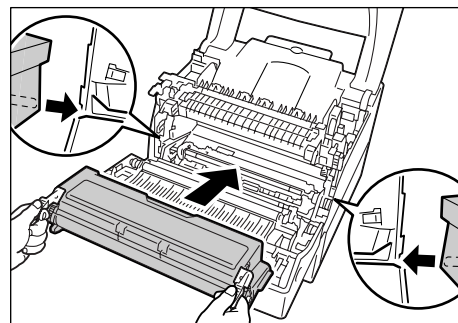
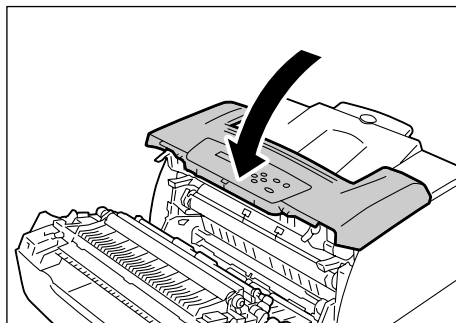
2. 電源コードを外します。

3. 本体前方の左右にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

4. トップカバーを開けます。

5. 図のように EP カートリッジの取っ手を持ち、EP カートリッジを取り出します。

補足
・EP カートリッジは手前にスライドさせて取り出します。

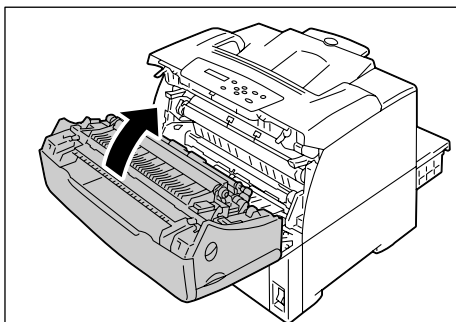
注記
・トナーで手や衣服を汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

補足
・清掃時に取り外した EP カートリッジは、立てたり、裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光が当たる場所や、ほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

6. リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布で拭き取ります。

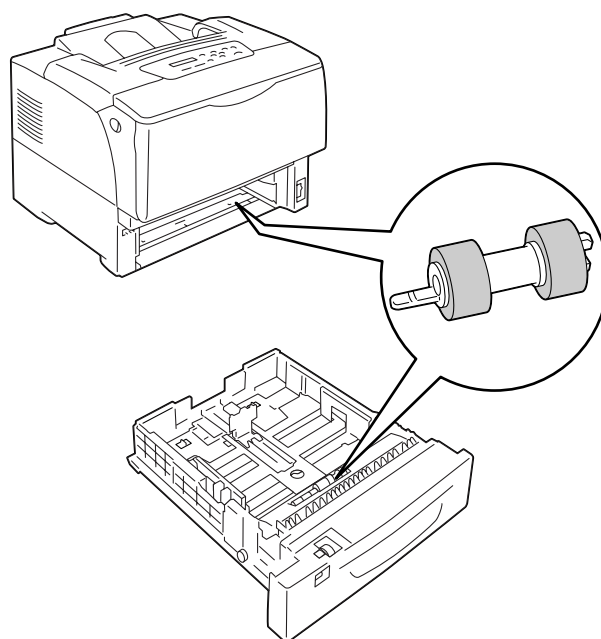
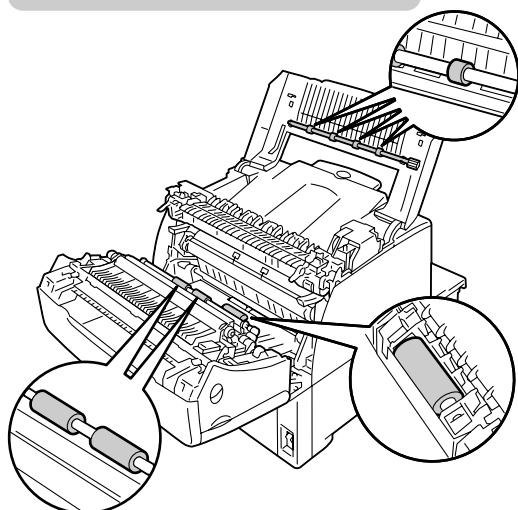
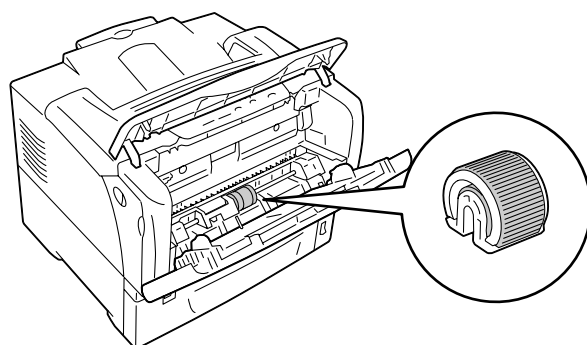
注記
- 転写ローラー、除電針には触らないようにしてください。

7. EP カートリッジをプリンター本体に再びセットします。

補足
- 図のように、EP カートリッジをプリンター正面に向けて、EP カートリッジの取っ手を持ち、EP カートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせて、スライドさせてセットします。
- EP カートリッジが浮き上がっていたり、斜めになったりせず、確実に奥までセットされていることを確認してください。

8. トップカバーを閉じます。

9. フロントカバーを閉じます。

10. プリンター背面の電源コード接続部に電源コードのプラグを差し込み、もう一方を電源コンセントに差し込みます。

11. プリンターの前面右下にある、電源スイッチの〈｜〉側を押し、電源を入れます。

ピックローラの清掃

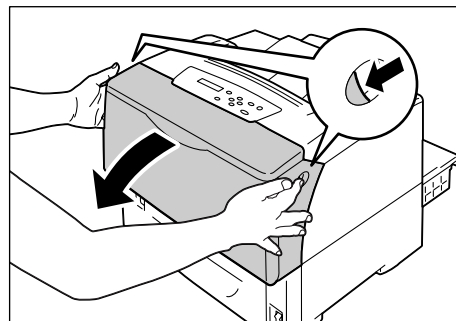
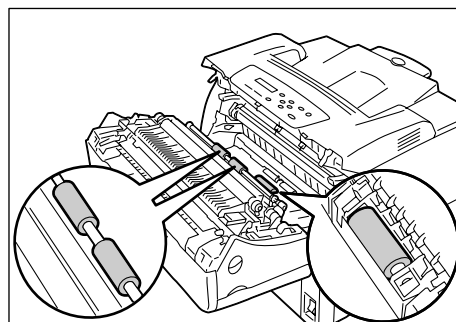
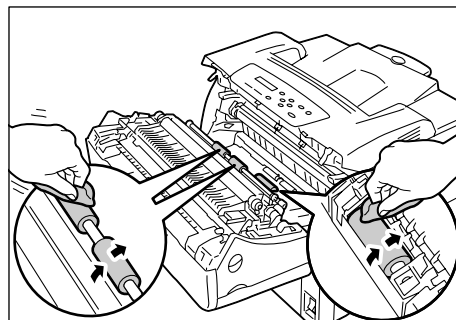
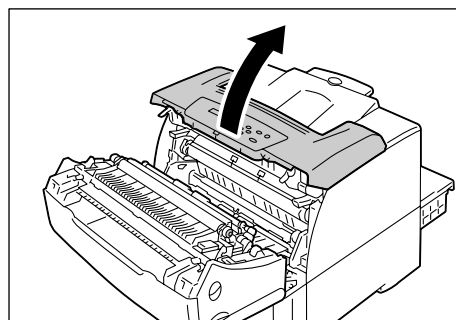
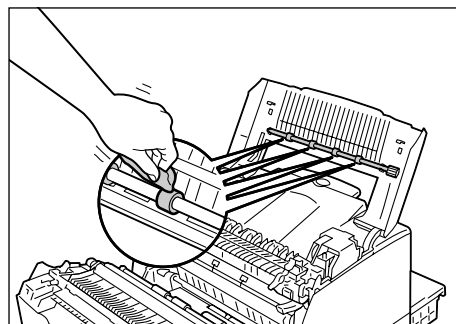
絵入りのはがきを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉がピックローラ（以降、ローラと略します）に付着し、給紙できなくなることがあります。給紙できなくなった場合には、ローラを水でぬらし固く絞った柔らかい布で、丁寧にふきます。

ローラは、次の場所にあります。それぞれの場所に応じた手順に従って、清掃してください。

プリンター内部のローラ

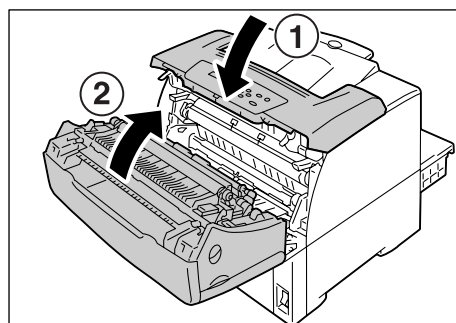
1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイカバーを閉じます。

注記

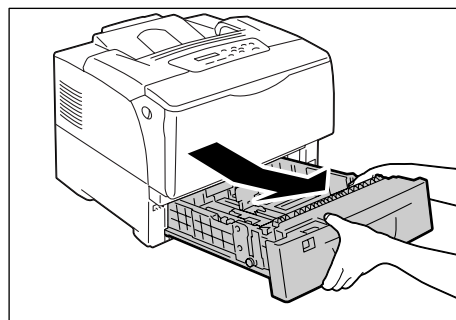
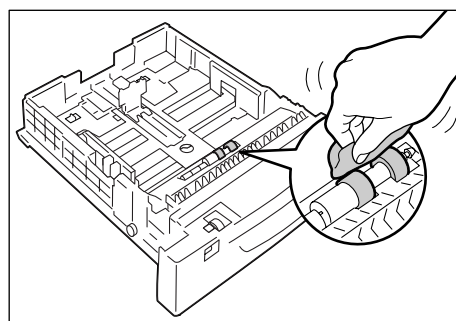
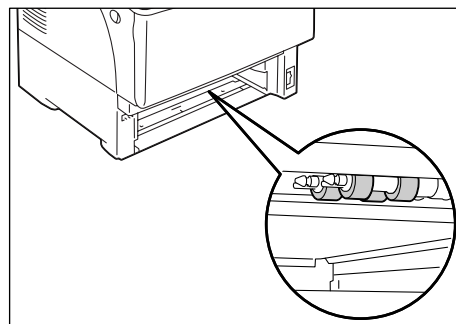
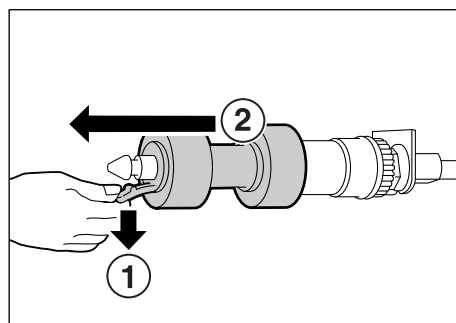
・ 手差しトレイカバーを閉じるとき、カバー（左右）とプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

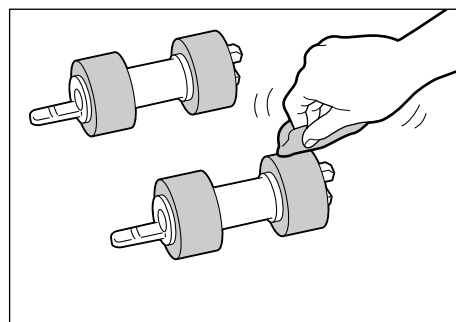
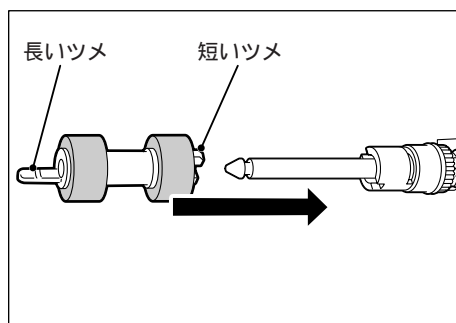
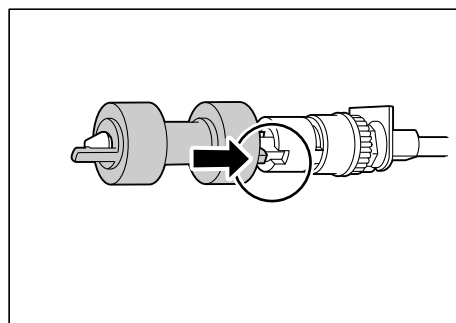
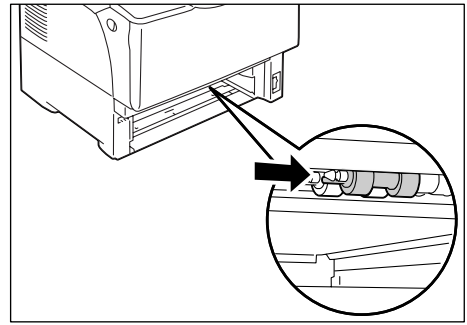
2. 本体前方の左右にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

3. ローラの位置を確認します。

4. 水でぬらし固く絞った柔らかい布で、ローラを回転させながら、ゴム製の部分をふきます。

5. トップカバーを開けます。

6. 水でぬらし固く絞った柔らかい布で、ローラを回転させながら、ゴム製の部分をふきます。

7. トップカバーおよびフロントカバーを閉じます。

注記

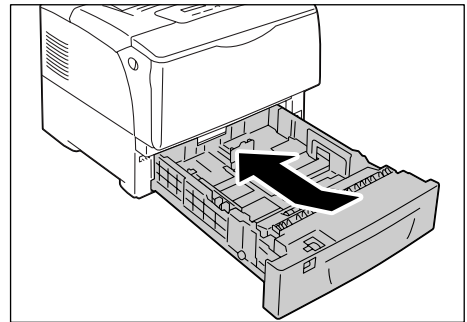
・ フロントカバーを閉じるとき、カバー（上下および左右）とプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

ホッパ１～４の用紙カセットのローラ

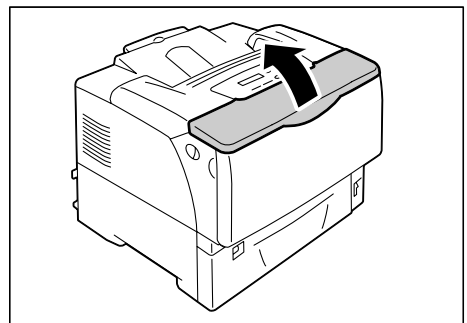
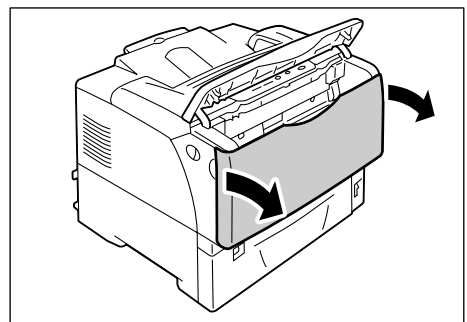
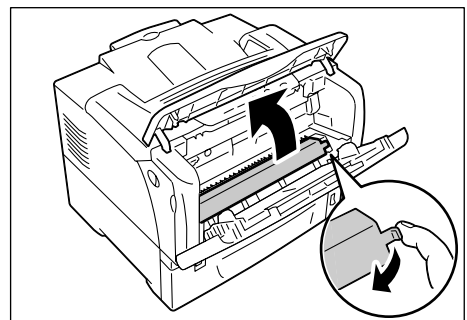
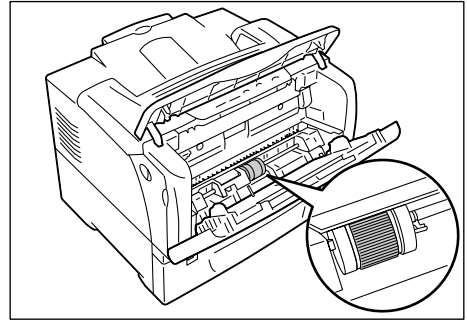
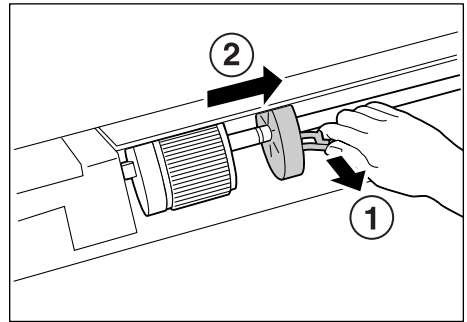
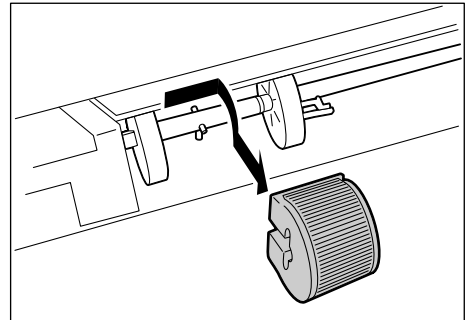
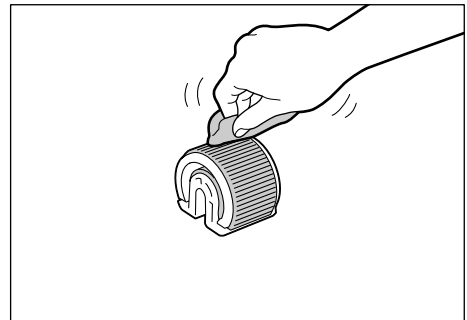
ここでは、ホッパ１の用紙カセットの例で説明します。清掃手順は、どの用紙カセットでも同じです。

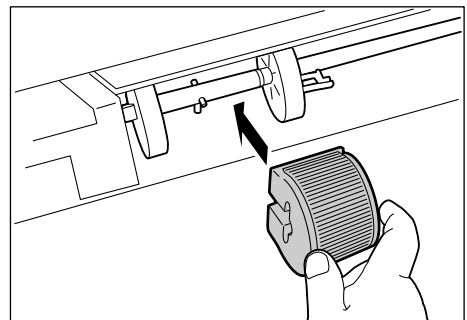
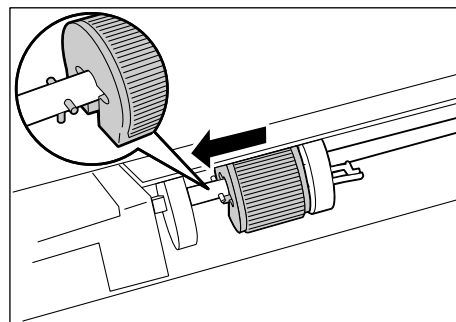
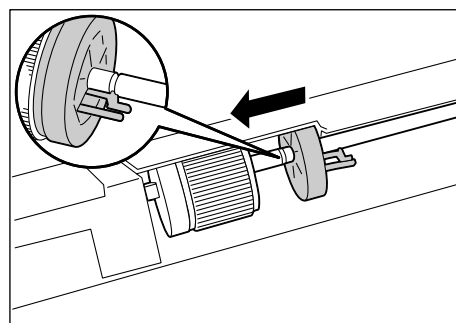
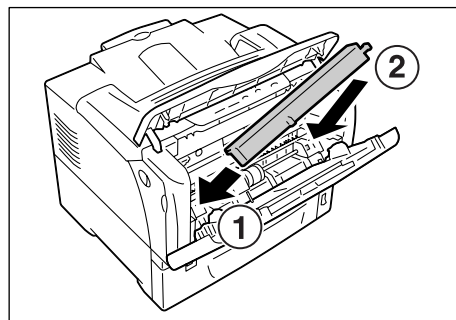
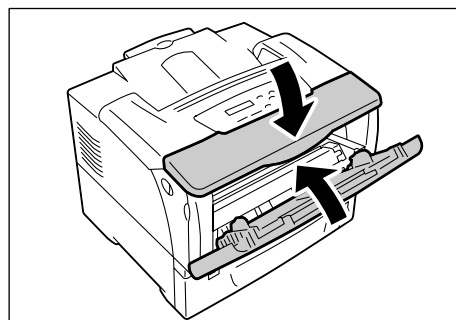
1. 用紙カセットを、止まるまで手前に引き出します。用紙カセットを両手で持ち、正面を少し持ち上げて、プリンターから取り外します。

2. ローラカバーの両側を持って開け、水でぬらし固く絞った柔らかい布で、ローラを回転させながら、ゴム製の部分をふきます。

3. 続けて、プリンター側のローラも清掃します。用紙カセットを引き抜いた箇所の上側を覗き込み、オレンジ色のローラが 2 本あることを確認してください。

4. 手前のローラのツメを広げてロックを外し、軸から引き抜きます。

5. 奥にあるローラも同様に取り外します。

6. 水でぬらし固く絞った柔らかい布で、ゴム製の部分を丁寧にふきます。取り外したローラは、2 本ともふいてください。

7. 清掃後、ローラを短いツメのほうから、プリンター内部の奥側の軸に通して、はめ込みます。

8. ローラの短いツメを軸の溝に合わせて、しっかり奥まで押し込みます。

9. 同様にして、手前のローラも取り付けます。

10. 用紙カセットを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

注記

・ 用紙カセットを押し込むとき、用紙カセットとプリンター本体、または用紙カセットと用紙カセット（オプションの増設ホッパ装着時）の間に指を挟まないように注意してください。

手差しトレイのローラ

1. 上部カバーを開けます。

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除きます。
手差しトレイが開いていない場合は、手差しトレイを開けます。

2. ローラカバーを開けます。

3. プリンター内部にあるローラを確認します。

4. 右端のツメを広げてロックを外し、白い部品だけを右にずらします。とまるところまで、ずらしてください。

5. ローラを白い部品のところまで右にずらしてから、手前に 90° 回転し、引き抜きます。

6. 水でぬらし固く絞った柔らかい布で、ローラをふきます。

7. 清掃後、ローラを元に戻します。
ローラの側面が平らになっているほうを左側にして、水平に軸に押し込みます。

補足
・ローラの側面は、片方が平らで、もう片方には溝があります。軸に押し込むときには、ローラの向きに注意してください。

8. ローラの凹部に軸のピンがはまるように、ローラを奥側に 90°回転させ、左にずらします。

9. 右側の白い部品をローラに寄せます。右端のツメが、しっかりと軸の溝にはまるまで、左にずらします。

10. ローラカバーを元に戻します。

11. 手差しトレイ、上部カバーを閉じます。

7.10　プリンターを移動するときは

プリンターを移動するときは、次の手順で行ってください。

⚠ 注意

- 機械の重さ（本体のみ、消耗品を含む）は、次のとおりです。必ず 2 人以上で持ち運んでください。
  MultiWriter 8200　：20.8kg
  MultiWriter 8200N：21.8kg
  MultiWriter 8400N：21.8kg
  MultiWriter 8500N：23.5kg
- 機械を持ち上げるときは、腰を痛めないよう、ひざを折り、指示された左右両側の下方にあるくぼみを持ってから立ち上がるようにしてください。

注記

- オプションの増設ホッパを取り付けている場合は、プリンター本体から取り外して運搬してください。プリンター本体との固定が不十分な場合、落下によるケガの原因になります。増設ホッパの取り外し方は、オプション品に付属の設置手順書を参照してください。

1. 手差しトレイにある用紙を取り除き、手差しトレイカバーを閉じます。取り出した用紙は梱包して、湿気やホコリのない場所に保管します。

注記

- 手差しトレイカバーを閉じるとき、カバー（左右）とプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

2. EP カートリッジを取り外します。

注記

- プリンターの内部には、手を触れないでください。部品によっては、高温になっているものがあります。
- EP カートリッジは、必ず取り外してください。EP カートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンター内部が汚れることがあります。
- 取り外した EP カートリッジを振らないでください。トナーがこぼれます。

補足

- EP カートリッジの取り外し方の詳細は、「EP カートリッジを交換する」(P. 174) を参照してください。

3. プリンターの前面右下にある、電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。

4. 電源コード、インターフェイスケーブルなど、すべての接続コードを外します。

5. 本体前方の左右にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

6. トップカバーを開けます。

7. EP カートリッジの取っ手を持ち、EP カートリッジを取り出します。

補足
・ EP カートリッジは手前にスライドさせて取り出します。

注記
・ EP カートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンター内部が汚れることがあります。
・ トナーで手や衣服を汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

補足
・ 取り外した EP カートリッジは、立てたり、裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光が当たる場所や、ほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

8. トップカバー、フロントカバーの順で、閉じます。

注記
・ カバーを閉じるとき、カバーとプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

9. プリンターから用紙カセットを引き抜き、用紙カセットにある用紙を取り出します。取り出した用紙は梱包して、湿気やホコリのない場所に保管します。

10. 用紙カセットの長さを延長している場合は、用紙カセットの左右の突起部を外側に動かしてロックを解除し、縮めます。

11. 用紙カセットを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

注記
・ 用紙カセットを押し込むとき、用紙カセットとプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

12. プリンターを持ち上げて、静かに移動します。長距離を移動する場合は、プリンターを梱包して運送してください。

注記
・ プリンターを持ち上げるときは、必ず、⚠注意 (P. 211) の記載に従ってください。

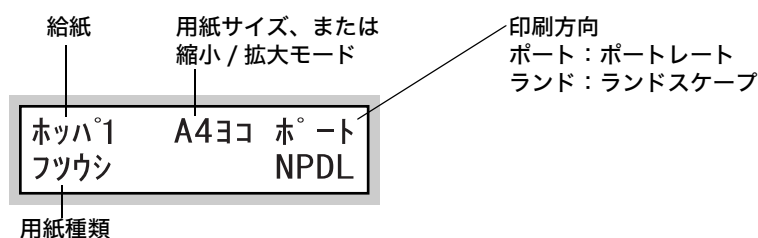
8 NPDL の設定

8.1 NPDL モードを使用するには

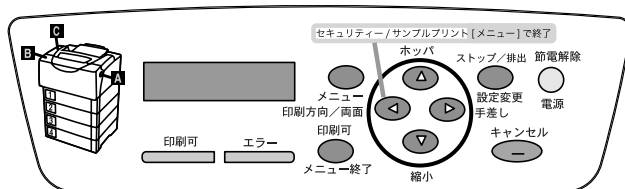
ここでは、本機を NPDL モードで使用するときの、操作パネル上のディスプレイの表示の意味と、プリンターの設定について説明します。

ディスプレイの表示について

本機では、電源を投入後、印刷できる状態になると、NPDL データを印刷するときのプリンターの設定内容が表示されます。

これらの設定は、操作パネルのボタンで切り替えることができます。

補足
・ 増設ホッパ（オプション）を取り付けていない場合は、［ホッパ 1］は［ホッパ］と表示されます。

ボタンによるプリンターの設定

操作パネル上の〈ホッパ〉、〈縮小〉、〈印刷方向 / 両面〉、〈手差し〉ボタンを使って、NPDL データを印刷するときのプリンターの設定ができます。

これらのボタンは、〈メニュー終了〉ボタンを押して、オフライン状態にしたときに、有効になります。

ボタンによるプリンターの設定が終了したら、再度〈メニュー終了〉ボタンを押して、印刷が可能な状態（オンライン状態）に戻してください。

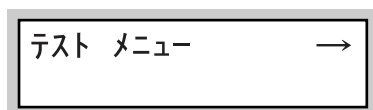
補足
・ オンライン状態は、操作パネルの〈印刷可〉ランプが点灯し、オフライン状態では、〈印刷可〉ランプが消灯します。

参照
・ 各ボタンで設定できる項目：「8.3 各ボタンで設定できる項目」(P. 215)

モードメニュー画面

本機のメニュー画面には、各プリントモード固有の項目を設定するモードメニューと、すべてのプリントモードに共通の項目を設定する共通メニューがあります。

NPDL モードメニュー画面では、NPDL 固有の項目を設定します。

NPDL モードメニュー画面を表示するには、操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押し、[プリントゲンゴノ セッテイ] で、[NPDL] を選択してください。NPDL モードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。

補足
・ メニュー画面で設定した内容が、操作パネルのボタンで変更された場合は、ボタンでの設定が優先されます。

参照
・ NPDL モードメニューで設定できる項目：「8.4 NPDL モードメニューで設定できる項目」(P. 217)

8.2 フォントについて

NPDL では、次のフォントが使用できます。

・ 1 バイト書体：ローマン、イタリック、クーリエ、ゴシック
・ 明朝体 -L アウトラインフォント
・ ゴシック体 -M アウトラインフォント、
・ OCR-B、OCR-K 相当文字

8.3 各ボタンで設定できる項目

各ボタンで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

補足
・ これらのボタンは、オフライン状態で有効です。操作パネルの〈印刷可〉ランプが点灯している場合は、〈メニュー終了〉ボタンを押して、オフライン状態にしてください。

〈ホッパ〉ボタン

手差しトレイから用紙を給紙する状態で、このボタンを押すと、ホッパから用紙を給紙する状態に切り替えます。

また、ホッパから給紙する状態に設定されている場合は、このボタンを押すごとに、ホッパを切り替えます。

［ホッパ 1］→［ホッパ 2］→［ホッパ 3］→［ホッパ 4］→（［ホッパ 1］に戻る）

補足
・ ホッパまたは手差しトレイを切り替えると、そのホッパにセットされている用紙サイズに合わせて、ディスプレイの用紙サイズ表示も変わります。
・ 手差しトレイからホッパに切り替えた場合の初期値は、モードメニューの［ヨウシ］＞［ヨウシトレイ ショキセッテイ］で設定されているホッパになります。
・［ホッパ 2］～［ホッパ 4］は、オプションの増設ホッパが取り付けられている場合に設定できます。
・ モードメニューの［ヨウシトレイ ショキセッテイ］については、「［ホッパ ショキセッテイ］（ホッパ初期設定）」(P. 219) を参照してください。

〈縮小〉ボタン

このボタンを押すごとに、縮小 / 拡大モードを切り替えます。現在設定されている用紙サイズが、A3/A4/B4/B5 の場合に有効です。

補足
・ アプリケーションによっては、縮小 / 拡大が正しく印刷されないものがあります。
・ 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンドによって A3、B4、または帳票サイズが指定されており、トレイに A4 サイズの用紙が入っている場合は、自動的に縮小して印刷します。詳しくは、別売の『NPDL（Level2）リファレンスマニュアル』をごらんください。
・ 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差によって、縮小しない場合と印刷結果が異なることがあります。

各用紙サイズと、選択できる縮小 / 拡大モードは、次のとおりです。

・ A3 サイズに印刷する場合
 ［A3］→［A4 > A3］→［B4 > A3］→（［A3］に戻る）
・ A4 サイズに印刷する場合
 ［A4 タテ］（または［A4 ヨコ］）→［B4 > A4］→［LP > A4］→［A3 > A4］→［A4 × 2］→［B5 > A4］→（［A4 タテ］（または［A4 ヨコ］）に戻る）
・ B4 サイズに印刷する場合
 ［B4］→［LP > B4］→［A3 > B4］→［B5 > B4］→［A4 > B4］→（［B4］に戻る）
・ B5 サイズに印刷する場合
 ［B5］→［A4 > B5］→［B4 > B5］→［B5 × 2］→（［B5］に戻る）

補足
・［LP］は、帳票サイズ（136 桁× 66 行）を意味します。
・［A4 x 2］は、A4 サイズの 2 ページ分のデータを、A4 用紙 1 枚に印刷します。
・［B5 x 2］は、B5 サイズの 2 ページ分のデータを、B5 用紙 1 枚に印刷します。
・ 操作パネルによって給紙トレイが切り替えられた場合や、セットされている用紙のサイズが変更された場合は、縮小 / 拡大なしの設定（用紙サイズ）になります。

〈印刷方向 / 両面〉ボタン

このボタンを押すごとに、印刷方向と片面・両面の設定を切り替えます。

［ポート（カタメン）］→［ランド（カタメン）］→［ポート（リョウメン）］→［ランド（リョウメン）］→（［ポート（カタメン）］に戻る）

補足

・両面印刷は、両面印刷ユニットが取り付けられていて、両面印刷が可能な用紙サイズが設定されている場合に、有効です。MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。

〈手差し〉ボタン

ホッパから用紙を給紙する状態で、このボタンを押すと、手差しトレイから用紙を給紙する状態に切り替えます。

また、手差しトレイから給紙する状態に設定されている場合は、このボタンを押すごとに、用紙サイズを切り替えます。

［A3］→［A4 タテ］（初期値）→［A4 ヨコ］→［A5］→［B4］→［B5］→［11" タテ］→［11" ヨコ］→［ハガキ］→［オウフク］→［フウトウ］→（［A3］に戻る）

補足

・［オウフク］は往復はがきを意味します。
・ここでの設定は、NPDL 以外のプリント言語のデータを印刷する場合にも、有効です。
・操作パネルのメニューや NPDL 以外のデータの印刷によって、NPDL がサポートしない用紙サイズが手差しトレイに設定されている場合は、[テイケイガイ] と表示されます。

8.4　NPDL モードメニューで設定できる項目

次に、NPDL モードメニューで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

NPDL モードメニューについて

NPDL モードメニューは、NPDL 固有の設定をするためのメニューです。

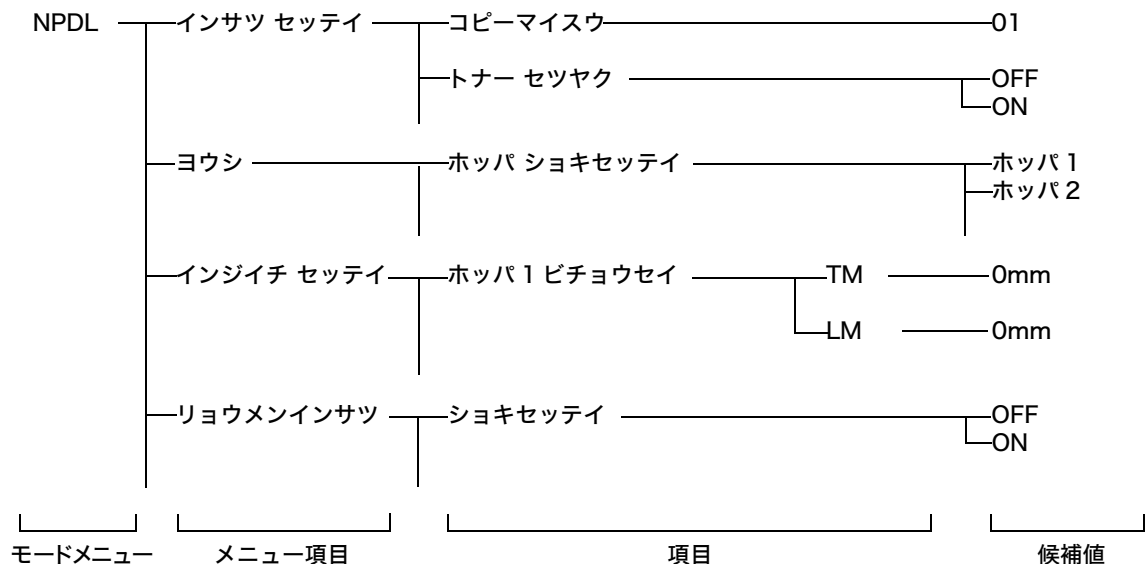
モードメニューの設定内容を、印刷中に変更できます。この場合、変更された設定は、次のジョブから反映されます。

モードメニューは、次のような階層で構成されています。

・ モードメニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値

補足

・ 項目のないメニュー項目もあります。
　項目は、項目 1、項目 2、項目 3 に分けられる場合があります。
　（以降、特に断らないかぎり項目と呼びます。）

下図は、NPDL モードメニューの階層の一部を表したものです。

NPDL 設定項目一覧

[インサツ セッテイ]（印刷設定）メニュー

[コピーマイスウ]（コピー枚数）

印刷のコピー枚数（部数）を設定します。設定できる範囲は、1（初期値）～ 20 です。

補足

・ アプリケーションによっては、ソフトウエアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウエアで設定したコピー枚数が優先されます。

[トナー セツヤク]（トナー節約）

トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。

トナー節約機能はプリンタードライバーから設定することもできます。Windows からプリンタードライバーを使用して印刷する場合には、ドライバー上での設定が優先されます。

[OFF]（初期値）
トナー節約をしません。

[ON]
トナーを節約して、印刷します。

補足
・トナー節約機能を使用するため、[オン] に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCR フォントを印刷した場合には、正常に読み取れないことがあります。本機能は、試し印刷する場合などに使用してください。

[インジノウド]（印字濃度）

印字濃度を設定します。

候補値は、次のとおりです。

[フツウ]（初期値）
標準の濃度で印字します。

[ヤヤコイ]
やや濃い濃度で印字します。

[コイ]
濃い濃度で印字します。

[アワイ]
淡い濃度で印字します。

[ヤヤアワイ]
やや淡い濃度で印字します。

[ヨウシ]（用紙）メニュー

[ホッパ ショキセッテイ]（ホッパ初期設定）

NPDL データを印刷するときに、初期設定値として設定されるトレイを選択します。

候補値は、次のとおりです。

[ホッパ 1]（初期値）

[ホッパ 2]

[ホッパ 3]

[ホッパ 4]

[テサシ]

補足

・［ホッパ 2］～［ホッパ 4］は、増設ホッパ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[ヨウシ シュベツ]（用紙種別）

この設定内容と項目は、共通メニューの［キカイ カンリシャ メニュー］＞［プリント セッテイ］＞［ヨウシシュルイ］と同じです。ここで設定を変更すると、共通メニューの設定も変更されます。

■ [ホッパ 1]、[ホッパ 2]、[ホッパ 3]、[ホッパ 4]、[テサシ]

各ホッパおよび手差しトレイごとに、セットされている用紙の種類を設定します。

初期値は、すべてのホッパおよび手差しトレイで［フツウシ］です。

補足

・［ホッパ 2］～［ホッパ 4］は、増設ホッパ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
・[テサシ] は、共通メニューの [キカイ カンリシャ メニュー] ＞ [プリント セッテイ] ＞ [テザシ セッテイ モード] で [ソウサ パネル カラ シテイ] に設定されている場合だけ、設定できます。

[テイケイガイ ヨウシ]（定形外用紙）

各ホッパおよび手差しトレイごとに、定形外用紙を使用するかどうかを設定します。

[OFF]（初期値）
定形外用紙を使用しません。

[ON]
定形外用紙を使用します。

[ヨウシ サイズ セッテイ]（用紙サイズ設定）

各ホッパおよび手差しトレイごとに、用紙サイズを設定します。

[リレーキュウシ セッテイ]（リレー給紙設定）

■[ホッパ 1]、[ホッパ 2]、[ホッパ 3]、[ホッパ 4]、[テサシ]

リレー給紙設定とは、用紙がなくなったときに、印刷していた用紙とサイズや向き、および用紙種類が同じ用紙がセットされている別のホッパまたは手差しトレイを選択し、印刷を継続する機能です。

各ホッパおよび手差しトレイごとに、[ON]（切り替えて印刷を継続する）、または [OFF]（継続しない）を設定します。

初期値は、すべてのホッパおよび手差しトレイで［OFF］です。

補足
・［ホッパ 2］～［ホッパ 4］は、増設ホッパ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[ショブセパレート]

ジョブセパレート機能の有効 / 無効を設定します。この項目は、ポート切り替えや Windows 用プリンタードライバーを使用した場合に、有効になります。

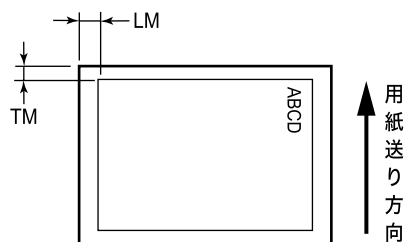
[ユウコウ]
ジョブセパレート機能を有効にします。ただし、この機能を有効にするには、次の条件も満たしている必要があります。
・2 つ以上のホッパに A4 サイズの用紙がセットされている
・2 つ以上のホッパの用紙が、それぞれ A4 タテ、A4 ヨコとしてセットされている
・2 つ以上のホッパの用紙の種類が同じである

[ムコウ]（初期値）
ジョブセパレート機能を無効にします。

[インジイチ]（印字位置）メニュー

[ホッパ X ビチョウセイ]（X:1 ～ 4）（ホッパ X 微調整）、[テサシ ビチョウセイ]（手差し微調整）、[オモテメン ビチョウセイ]（表面微調整）、[ウラメン ビチョウセイ]（裏面微調整）

各ホッパ、手差しトレイ、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整できます。

［オモテメン ビチョウセイ］と［ウラメン ビチョウセイ］を設定した場合は、両面印刷時に、各ホッパおよび手差しトレイでの設定値に加算されます。

■[TM]

用紙の走行方向に対して上側のマージン（TM）を -3.9 ～ +3.9mm の範囲で、0.3mm 刻みに設定できます。初期値は［0mm］です。

■[LM]

用紙の走行方向に対して左側のマージン（LM）を -3.9 ～ +3.9mm の範囲で、0.3mm 刻みに設定できます。初期値は［0mm］です。

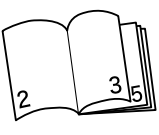
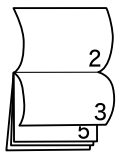
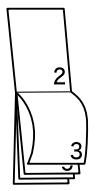
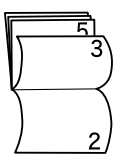
補足
・ 各項目で印字位置を設定するときは、〈▲〉〈▼〉ボタンで［ウエ］または［ヒダリ］を選択したあと、〈▶〉ボタンを押します。カーソルが数値のフィールドに移動し、マージン値を設定できるようになります。マージン値の設定を確定しないで、前のフィールドに戻る場合は、〈◀〉ボタンを押します。
・ ホッパ 2 〜ホッパ 4 は、増設ホッパ（オプション）が取り付けられている場合に設定できます。
・［オモテメン ビチョウセイ］と［ウラメン ビチョウセイ］は、両面印刷ユニットが取り付けられている場合に設定できます。MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。

［リョウメンインサツ］（両面印刷）メニュー

補足
・ 両面印刷は、両面印刷ユニットが取り付けられている場合に設定できます。MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。

［ショキセッテイ］（初期設定）

NPDL データを印刷するときの印刷モードを両面印刷にするかしないかを設定します。

［OFF］（初期値）
両面印刷をしません。

［ON］
両面印刷をします。

［トジシロ］

両面印刷時に、印刷したものをとじるために、とじしろ（余白）の位置を設定します。
候補値と余白の位置の関係は、次のとおりです。

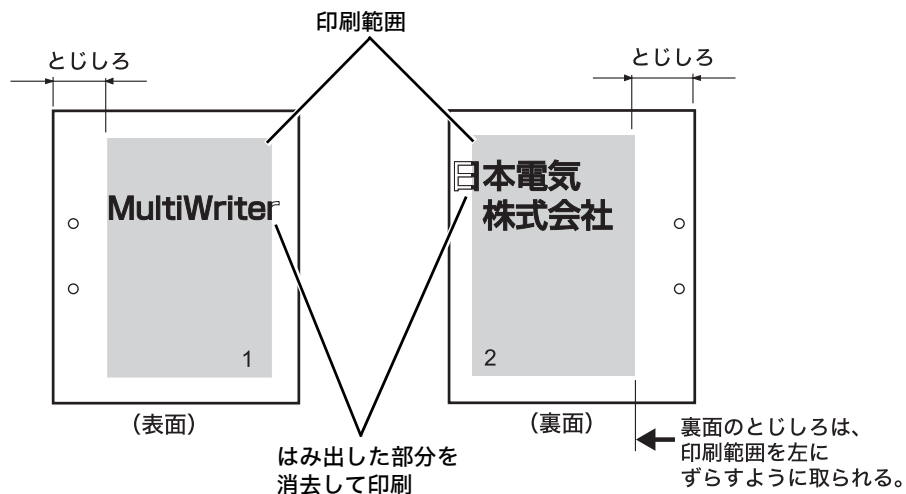
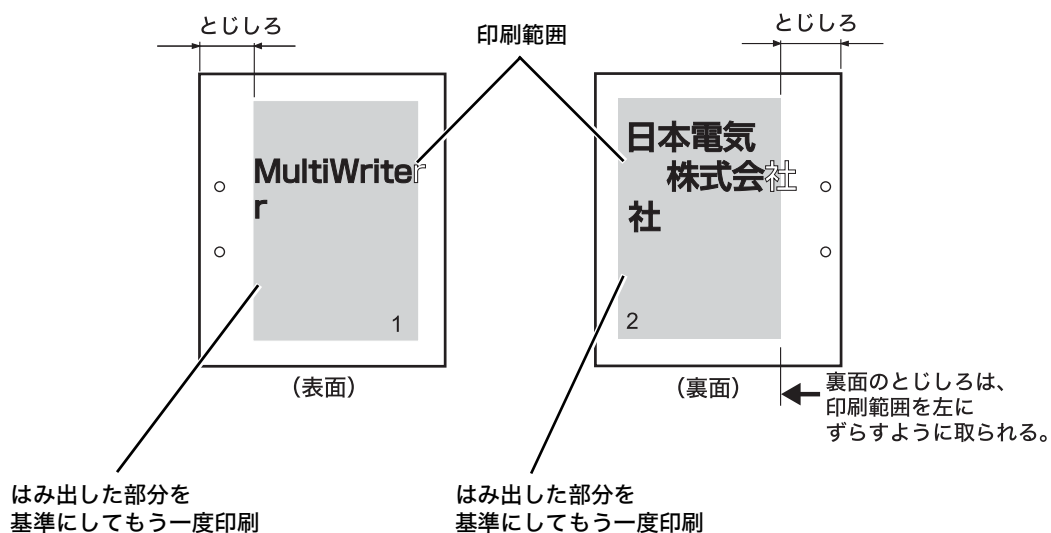
候補値	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング 1 （初期値）	左とじ	上とじ
ショート 1	上とじ	右とじ
ロング 2	右とじ	下とじ
ショート 2	下とじ	左とじ

[ヨハク]（余白）

とじしろの量を設定します。設定範囲は 0 〜 20mm で、1mm 単位で設定できます。初期値は、[0mm] です。

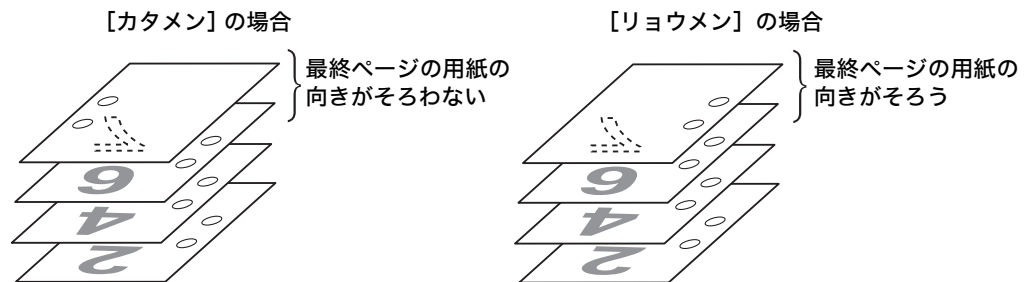
[クリップ]

余白（とじしろ）を多く取りすぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、はみ出した分を消去してそのまま残りの行を印刷する（クリッピングする）か、印刷範囲からはみ出したデータを自動改行 / 改ページするかを選択します。本機能は、両面印刷時のみ有効です。

[OFF]
はみ出した印刷データをクリッピングして、印刷を続けます。

[ON]（初期値）
はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは、1 行ずつずれることになります。（アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります。）

[キスウページ]（奇数ページ）

両面印刷時の、奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。

[カタメン]（初期値）
片面分の最終ページを片面印刷時と同じく、両面印刷を行うための給紙動作をしないで、印刷します。両面の印刷動作をしないため、高速に印刷できます。

[リョウメン]
最終ページは片面のみのデータですが、両面印刷時と同じく両面印刷を行うための給紙動作を行います。用紙に上下、または左右の区別がある用紙（穴あき用紙など）に印刷する場合は、印刷の向きをそろえることができます。

[ウンヨウ]（運用）メニュー

[セツデン キノウ]（節電機能）

本機は、待機しているときの電力の消費を抑えるために、低電力モードとスリープモードの 2 つのモードを備えています。

この設定内容と項目は、共通メニューの［キカイ カンリシャ メニュー］＞［システム セッテイ］内の各項目と同じです。ここで設定を変更すると、共通メニューの設定も変更されます。

■ [スリープ モード]

スリープモードは、低電力モードよりもさらに機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。

[ユウコウ]（初期値）
低電力モードに移行後、一定の時間が過ぎてもプリンターが使用されない場合、スリープモードに移行します。

[ムコウ]
スリープモードには、移行しません。

[セツデンジカン セッテイ]（節電時間設定）

それぞれの節電モードに移行するまでの時間を設定します。

■ [テイデンリョク モード]（低電力モード）

低電力モードに移行するまでの時間を、1 ～ 60 分の範囲で 1 分単位に設定します。初期値は、[3 フンゴ］です。

■ [スリープ モード]

低電力モードからスリープモードに移行するまでの時間を、1 ～ 120 分の範囲で 1 分単位に設定します。初期値は、[5 フンゴ］です。

[ジドウハイシュツ]（自動排出）

データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。

時間は、5 ～ 300 秒の範囲で、1 秒単位に設定できます。初期値は、[30 ビョウ］です。

[ムコウ］に設定すると、自動排出の処理を行いません。

また、この設定内容と項目は、共通メニューの［キカイ カンリシャ メニュー］＞［システム セッテイ］＞［タイムアウト］と同じです。ここで設定を変更すると、共通メニューの設定も変更されます。

[ソウプリント マイスウ]（総プリント枚数）

印刷した枚数を表示します。

ここで表示される枚数は、共通メニューの［メーター カクニン］＞［メーター 1］と同じです。

[カイゾウド セッテイ]（解像度設定）

解像度を、[400dpi]/[600dpi]/[1200dpi]から選択します。初期値は、[600dpi]です。

[フォント] メニュー

[1 バイトケイ ゼロ]（1 バイト系ゼロ）

1 バイトコード系の数字の 0 の字体を選択します。メモリースイッチ 2-1 でも設定できます。

[0]（初期値）
普通の字体（0）を設定します。

[ゼロスラッシュ]
斜線のついた字体（Ø）を設定します。

[2 バイトケイ ゼロ]（2 バイト系ゼロ）

2 バイトコード系の数字の 0 の字体を選択します。

[0]（初期値）
普通の字体（0）を設定します。

[ゼロスラッシュ]
斜線のついた字体（Ø）を設定します。

[ANK]

ANK 文字（アルファベット、数字、カタカナ）のフォントを選択します。

候補値は、次のとおりです。

[ヒョウジュン]（初期値）

[クーリエ]

[イタリック]

[ゴシック]

[カンジ]（漢字）

標準フォント（2 バイト系文字）の書体を、[ミンチョウ]（初期値)、または［ゴシック］から選択します。

[モジセット]（文字セット）

2 バイト系の文字セットを選択します。候補値は、次のとおりです。

[JIS1978]（初期値）

[JIS1983]

[JIS1990]

[クニベツ]（国別）

各国文字セットを選択します。

メモリースイッチ 1-1 ～ 1-3 でも選択できます。候補値は、次のとおりです。

[ニッポン]（初期値）

[アメリカ]

[イギリス]

[ドイツ]

[スウェーデン]

[ドウサエミュレーション]（動作エミュレーション）メニュー

各ポートごとに、プリンターの動作モードを設定します。

この設定項目と内容は、共通メニューの［キカイ カンリシャ メニュー］>［ネットワーク / ポート セッテイ］内の、各ポートに対する［プリントモード シテイ］と同じです。ここで設定を変更すると、［プリントモード シテイ］の設定も変更されます。

補足

- ［IPP］［SMB］［NetWare］は、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が取り付けられている場合に設定できます。
- 次のプリント言語は、対応するオプションが取り付けられている場合に表示されます。
  - ［PS］：PostScript ソフトウエアキット

[インタフェース 1]

パラレルポートを使用する場合の、印刷データの処理方法（使用する言語）を設定します。

［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。

[ART EX]［ART4］［201H］[ESC/P]［HPGL］［TIFF］［PDF］［PS］［PCL］[NPDL]
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。

[HexDump]
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

[インタフェース 2]

■［LPD］［Port9100］［IPP］［SMB］［NetWare］

各ポートを使用する場合の、印刷データの処理方法（使用する言語）を設定します。

［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。

[ART EX]［ART4］［201H］[ESC/P]［HPGL］［TIFF］［PDF］［PS］［PCL］[NPDL]
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。

[HexDump]
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

[USB]

USB ポートを使用する場合の、印刷データの処理方法（使用する言語）を設定します。

[ジドウ]（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。

[ART EX] [ART4] [201H] [ESC/P] [HPGL] [TIFF] [PDF] [PS] [PCL] [NPDL]
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。

[HexDump]
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

[NPDL セッテイ] メニュー（NPDL 設定メニュー）

[A4 ポートレート ケタスウ]（A4 ポートレート桁数）

用紙が A4 サイズ、ポートレート方向で使われるときの、1 行あたりの文字数を、パイカ文字で［78 ケタ］（初期値）にするか、または［80 ケタ］にするかを選択します。

メモリースイッチ 2-7 でも選択できます。

[エミュレーション]

[201 エミュレーション]（初期値）か、[ページプリンタモード] かを選択します。

メモリースイッチ 2-2 でも選択できます。

[136 ケタモード]（136 桁モード）

■ [136 ケタモード セッテイ]（136 桁モード設定）

136 桁モードの［ユウコウ］、または［ムコウ］（初期値）を選択します。

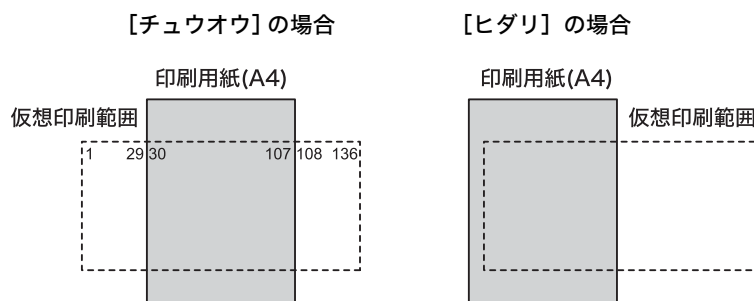
メモリースイッチ 3-7 でも選択できます。

■ [ヨウシイチ]（用紙位置）

136 桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリースイッチ 3-6 でも選択できます。

[ヒダリ]（初期値）
136 桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。

[チュウオウ]

用紙位置を中央合わせにします。A4 サイズの用紙を使用した場合、136 桁の仮想印刷範囲の 30 〜 107 桁めまでが印刷されます。

■［ビチョウセイ］（微調整）

136 桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を、1/10 インチ単位で選択します。

メモリースイッチ 3-1 ～ 3-5 の組み合わせで選択することもできます。

候補値は、次のとおりです。

［0］（初期値）

［ヒダリ 1］～［ヒダリ 15］

［ミギ 1］～［ミギ 15］

［I/F セッテイ］（I/F 設定）メニュー

補足

- このメニューで設定した値を有効にするには、プリンターの再起動が必要です。設定後、必ずプリンターの電源を切り、入れ直してください。

［インタフェース 1 セッテイ］（インタフェース 1 設定）

パラレルインターフェイスに関する設定をします。

■［ソウホウコウ セッテイ］（双方向設定）

パラレルインターフェイスポートの通信モードを設定します。本メニューでの候補値とコンピューター側で一般的に呼ばれているモード名は、次のように対応しています。コンピューターの設定と異なる場合、正しく印刷できないことがあります。

また、この設定は、共通メニューの［キカイカンリシャメニュー］＞［ネットワーク / ポート セッテイ］＞［パラレル］にある項目と同じです。ここで設定を変更すると、共通メニューの設定も変更されます。

候補値	コンピューター側の呼び方	
	PC98-NX（パラレルモード）	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 対応機）
ECP	ECP	Extended Capabilities Port (ECP) Mode
ニブル（初期値）	双方向	Standard and Bidirectional Mode
ナシ	出力のみ	

［インタフェース 2 セッテイ］（インタフェース 2 設定）

ネットワークに関する設定をします。

この設定項目と内容は、共通メニューの［キカイカンリシャメニュー］＞［ネットワーク / ポート セッテイ］メニューにある各項目と同じです。ここで設定を変更すると、共通メニューの設定も変更されます。

■［IP アドレス シュトクホウホウ］（IP アドレス取得方法）

IP アドレスの取得方法を設定します。

［DHCP/Autonet］（初期値）
AutoIP 機能付きの DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使って、自動的に IP アドレスを設定します。

［BOOTP］
BOOTP を使って、自動的に IP アドレスを設定します。

［RARP］
RARP 使って、自動的に IP アドレスを設定します。

［パネル］
操作パネルを使って、手動で IP アドレスを設定します。

■ [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]

これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。

注記

- 手動でアドレスを設定したい場合は、[IP アドレスシュトクホウホウ] を [パネル] に設定してください。
- 誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。割り当てる IP アドレスはネットワーク管理者に確認してください。

■ [Ethernet セッテイ]（イーサネット設定）

Ethernet インターフェイスの通信速度 / コネクターの種類を設定します。

[ジドウ]　（初期値）
100M（全二重）、100M（半二重）、10M（全二重）、10M（半二重）を自動的に切り替えます。

[100M（100BASE フル）]
100M（全二重）に固定して使う場合に選択します。

[100M（100BASE ハーフ）]
100M（半二重）に固定して使う場合に選択します。

[10M（10BASE フル）]
10M（全二重）に固定して使う場合に選択します。

[10M（10BASE ハーフ）]
10M（半二重）に固定して使う場合に選択します。

■ [アクセスセイゲン]（アクセス制限）

受信制限について設定します。

[フィルター n]（n:1 ～ 5）

最大 5 件（フィルター 1 ～フィルター 5）が設定でき、フィルター 1 の設定が最も優先されます。複数の制限を設定する場合は、範囲の狭いアドレスに対する制限から順に設定していきます。

- IP アドレス
  受信制限を設定する IP アドレスを入力します。
- マスク
  サブネットマスクを入力します。
- モード
  設定したアドレスに対する制限を、[ナシ]（初期値）、[キョカ]、[キョヒ] から選択します。

[メモリースイッチ] メニュー

NPDL モードの中で、比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。

メモリースイッチ（MSW）は、[0]（OFF）か [1]（ON）を選択することによって、次の表に示されている項目を、設定することができます。メモリースイッチは 1-1 から 10-8 まであります（未使用のスイッチもあります）。

表中の ＊ が付いた機能は、ほかの NPDL モードメニューを使っても、設定できる項目です。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。

<table>
<tr><th>番号</th><th>機能</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>1-1～
1-3</td><td>各国文字の切り替え*</td><td>3 つのメモリースイッチの組み合わせによって、各国文字を切り替えます。下表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字になります。
<table>
<tr><th>国別文字セット</th><th>1-1</th><th>1-2</th><th>1-3</th></tr>
<tr><td>日本（初期値）</td><td>0
（初期値）</td><td>0
（初期値）</td><td>0
（初期値）</td></tr>
<tr><td>アメリカ</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr>
<tr><td>イギリス</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr>
<tr><td>ドイツ</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td>スウェーデン</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>1-4</td><td colspan="2">未使用（[0] が設定されています）</td></tr>
<tr><td>1-5</td><td>DC1、DC3 の有効 / 無効の切り替え</td><td>DC1 および DC3 の制御コードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2=[0]）時に有効です。
[0]：有効（初期値）
[1]：無効</td></tr>
<tr><td>1-6</td><td>自動復帰改行の切り替え</td><td>バッファフル印刷を行うとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。
[0]：復帰改行（初期値）
[1]：復帰のみ</td></tr>
<tr><td>1-7</td><td>印刷指令の切り替え</td><td>印刷指令を CR のみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b を有効にするかを切り替えます。
[0]：CR のみ（初期値）
[1]：CR ＋その他</td></tr>
<tr><td>1-8</td><td>CR 機能の切り替え</td><td>印刷指令コード CR を受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。
[0]：復帰のみ（初期値）
[1]：復帰改行</td></tr>
<tr><td>2-1</td><td>1 バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え*</td><td>1 バイト（8 ビット）コード系の数字のゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。
本スイッチは、OCR フォントには無効です。OCR フォントは、「0」で印刷されます。
[0]：0（初期値）
[1]：Ø</td></tr>
<tr><td>2-2</td><td>動作モードの切り替え*</td><td>動作モードを 201 エミュレーションにするか、ページプリンターモードにするかを切り替えます。
[0]：201 エミュレーションモード（初期値）
[1]：ページプリンターモード</td></tr>
<tr><td>2-3</td><td>グラフィックモードの切り替え</td><td>横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの 1/2 になります。
201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2=[0]）時に有効です。
[0]：ネイティブモード（初期値）
[1]：コピーモード</td></tr>
<tr><td>2-4、
2-5</td><td colspan="2">未使用（[0] に設定されています）</td></tr>
</table>

番号	機能	説明
2-6	7 ビット /8 ビットデータの切り替え	インターフェイスのデータが 7 ビット有効か、8 ビット有効かを切り替えます。 201 エミュレーション(メモリースイッチ 2-2=[0])時に有効です。ページプリンター（メモリースイッチ 2-2= [1]）時は、8 ビット有効に固定されます。 [0]：8 ビット（初期値） [1]：7 ビット
2-7	印刷桁数の切り替え*	用紙が A4 サイズ、ポートレート方向で使われるときの 1 行あたりの文字数を、パイカ文字で 78 桁にするか、80 桁にするかを設定します。 [0]：78 桁（初期値） [1]：80 桁
2-8	B4 → A4 縮小率の切り替え	操作パネルの〈縮小〉ボタン、または制御コード（FS f）を使って「B4 → A4 縮小モード」を指定したときに、縮小率を 2/3 倍にするか、4/5 倍にするかを切り替えます。 [0]：4/5 倍（初期値 [1]：2/3 倍
3-1～3-4	印刷開始位置の調整* （136 桁モード）	印刷開始位置の調整を行います。 エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ 2-2= [1]）のときには、レフトマージン量の設定になります。 レフトマージン量とは、用紙の最左端印刷位置から第 1 印刷位置までの距離です。 レフトマージン量は、4 つのメモリースイッチの組み合わせによって、16 通りに設定できます。組み合わせについては、下表を参照してください。 また、エミュレーションモードが 201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2= [0]）で、136 桁モード（メモリースイッチ 3-7= [1]）のときには、用紙位置の調整量の設定になります。 印刷位置がずれた場合の、用紙位置調整に使用します。 用紙位置調整量は、4 つのメモリースイッチの組み合わせによって、16 通りに設定できます。組み合わせについては、下表を参照してください。 調整方向は、メモリースイッチ 3-5 で切り替えます。

レフトマージン量 / 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
0 インチ（初期値）	0（初期値）	0（初期値）	0（初期値）	0（初期値）
1/10 インチ	1	0	0	0
2/10 インチ	0	1	0	0
3/10 インチ	1	1	0	1
4/10 インチ	0	0	1	0
5/10 インチ	1	0	1	0
6/10 インチ	0	1	1	0
7/10 インチ	1	1	1	0
8/10 インチ	0	0	0	1
9/10 インチ	1	0	0	1
1 インチ	0	1	0	1
11/10 インチ	1	1	0	1

（次ページに続く）

番号	機能	説明
		（前ページの続き）

レフトマージン量 / 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
12/10 インチ	0	0	1	1
13/10 インチ	1	0	1	1
14/10 インチ	0	1	1	1
15/10 インチ	1	1	1	1

番号	機能	説明
3-5	用紙位置微調整方向 * （136 桁モード）	136 桁モードで、用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。 201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2= [0]）で、136 桁モード（メモリースイッチ 3-7= [1]）時に有効です。 [0]：左（初期値） [1]：右
3-6	用紙位置 * （136 桁モード）	136 桁モードで、用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。 201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2= [0]）で、136 桁モード（メモリースイッチ 3-7= [1]）時に有効です。 [0]：左端合わせ（初期値） [1]：中央合わせ [1] 中央合わせの場合　印刷用紙(A4)　仮想印刷範囲　1　29 30　107 108　136 [0] 左端合わせの場合　印刷用紙(A4)　仮想印刷範囲
3-7	136 桁モードの有効 / 無効の切り替え *	136 桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。 201 エミュレーション(メモリースイッチ 2-2=[0])時に有効です。 [0]（初期値）：無効 [1]：有効
3-8	未使用（[0] に設定されています）	

<table>
<tr><th>番号</th><th>機能</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>4-1、
4-2</td><td>物理解像度の切り替え</td><td>2 つのスイッチの設定の組み合わせによって、プリンターの解像度を切り替えます。
1200dpi が設定できるのは、MultiWriter 8500N/8400N だけです。

MultiWriter 8200N/8200 の場合
<table>
<tr><th>解像度</th><th>4-1</th><th>4-2</th></tr>
<tr><td>400dpi</td><td>1</td><td>0</td></tr>
<tr><td>600dpi（初期値）</td><td>0（初期値）</td><td>0（初期値）</td></tr>
</table>

MultiWriter 8500N/8400N の場合
<table>
<tr><th>解像度</th><th>4-1</th><th>4-2</th></tr>
<tr><td>400dpi</td><td>1</td><td>0</td></tr>
<tr><td>600dpi（初期値）</td><td>0（初期値）</td><td>0（初期値）</td></tr>
<tr><td>1200dpi ※</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td>1200dpi ※</td><td>1</td><td>1</td></tr>
</table>
※ メモリースイッチ 4-2= ［1］のときは、メモリースイッチ 4-1 の設定に関係なく、1200dpi になります。</td></tr>
<tr><td>4-3</td><td>ESC c1 での登録データを初期化する/しないの切り替え</td><td>制御コード ESC c1 による登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1 で初期化をしない（メモリースイッチ 4-3= ［1］）ときは、ESC c8 と同じ機能になります。
［0］：する（初期値）
［1］：しない</td></tr>
<tr><td>4-4</td><td>FF コードのみで白紙を出力する/しないの切り替え</td><td>FF コードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない（メモリースイッチ 4-4= ［1］）ときは、ESC a、ESC b と同じ機能になります。
［0］：する（初期値）
［1］：しない</td></tr>
<tr><td>4-5</td><td>ランドスケープ方向の切り替え</td><td>ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときの、排出トレイ上での積み重なり方を切り替えます。
［0］：反時計回り（初期値）
［1］：時計回り

［0］反時計回りの場合　［1］時計回りの場合
ポートレート
ABCDEF　ABCDEF
ABCDEF　ABCDEF
ランドスケープ</td></tr>
<tr><td>4-6</td><td colspan="2">未使用（［0］に設定されています）</td></tr>
<tr><td>4-7、
4-8</td><td colspan="2">未使用（［0］に設定されています）</td></tr>
</table>

番号	機能	説明
5-1	同期コードの無効/有効の切り替え	同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。本メモリースイッチを変更した場合は、プリンターの再起動が必要です。必ず、プリンターの電源を切り、入れ直してください。 [0]：無効（初期値） [1]：有効
5-2～5-8	未使用（[0]に設定されています）	
6-1	未使用（[0]に設定されています）	
6-2	メモリーオーバー時の動作指定	メモリーオーバーが起きた場合の動作を指定します。 [0]：エラーを表示して印刷を停止（初期値） 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押せば、解像度を落として印刷を再開することができます。 [1]：エラーを表示しないで、解像度を落として印刷を継続
6-3～6-6	未使用（[0]に設定されています）	
6-7	未使用（[0]に設定されています）	
6-8	未使用（[0]に設定されています）	
7-1	データストローブ信号のデータラッチタイミング	パラレルインターフェイスのデータストローブ信号のデータラッチタイミングを、前縁にするか、後縁にするかを切り替えます。 [0]：前縁（初期値） [1]：後縁
7-2	未使用（[0]に設定されています）	
7-3	未使用（[0]に設定されています）	
7-4、7-5	未使用（[0]に設定されています）	
7-6	未使用（[0]に設定されています）	
7-7	FS f コマンドでの指定用紙サイズなしを表示する/しないの切り替え	FS f コマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。 [0]：表示する（初期値） [1]：表示しない
7-8	FS f コマンドでの自動縮小をする/しないの切り替え	FS f コマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。 [0]：自動縮小する（初期値） [1]：自動縮小しない

<table>
<tr><th>番号</th><th>機能</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>8-1、
8-2</td><td>ビジィアクノリッジ(BUSY − $\overline{\text{ACK}}$) のタイミング</td><td>2 つのメモリースイッチの組み合わせによって、パラレルインターフェイスの(BUSY − $\overline{\text{ACK}}$) のタイミングを切り替えます。
<table>
<tr><th>タイミング</th><th>8-1</th><th>8-2</th></tr>
<tr><td>タイミング A（初期値）</td><td>0（初期値）</td><td>0（初期値）</td></tr>
<tr><td>タイミング B</td><td>1</td><td>0</td></tr>
<tr><td>タイミング C</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td>タイミング A</td><td>1</td><td>1</td></tr>
</table>
タイミングA BUSY $\overline{\text{ACK}}$
タイミングB BUSY $\overline{\text{ACK}}$
タイミングC BUSY $\overline{\text{ACK}}$</td></tr>
<tr><td>8-3、
8-4</td><td>アクノリッジ（ACK）の幅の切り替え</td><td>2 つのメモリースイッチの組み合わせによって、パラレルインターフェイスの ACK の幅を切り替えます。
ACK の幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、ACK の幅を長くして使用してください。
<table>
<tr><th>幅</th><th>8-3</th><th>8-4</th></tr>
<tr><td>4μs</td><td>1</td><td>0</td></tr>
<tr><td>1μs（初期値）</td><td>0（初期値）</td><td>0（初期値）</td></tr>
<tr><td>2μs</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td>10μs</td><td>1</td><td>1</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>8-5～
8-7</td><td colspan="2">未使用（[0] に設定されています）</td></tr>
<tr><td>8-8</td><td colspan="2">未使用（[0] に設定されています）</td></tr>
<tr><td>9-1～
9-6</td><td colspan="2">未使用（[0] に設定されています）</td></tr>
<tr><td>9-7</td><td>印刷向き 180 度回転機能</td><td>印刷イメージを 180 度回転させて印刷する機能を、有効にするか、無効にするかを切り替えます。
本スイッチが［1］の場合、メモリースイッチ 4-5 の設定は無効になります。
[0]：無効にする（初期値）
[1]：有効にする</td></tr>
<tr><td>9-8</td><td colspan="2">未使用（[0] に設定されています）</td></tr>
<tr><td>10-1
～
10-8</td><td colspan="2">未使用（[0] に設定されています）</td></tr>
</table>

NPDL モードメニューの設定方法

ここでは、メモリースイッチの設定方法について、136 桁モードを有効（メモリースイッチ 3-7 を［1］）にする場合を例に説明します。

その他のモードメニューの設定方法については、共通メニューと同様です。「設定を変更する」(P. 104) を参照してください。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［NPDL］が表示されます。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［テスト メニュー　→］が表示されます。

4. ［メモリスイッチ　メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［MSW1］が表示されます。
6. ［MSW3］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   メモリースイッチ 3-1 ～ 3-8 までの、現在の設定値が表示されます。
8. カーソルが 7 の設定値にくるまで、〈▶〉ボタンを押します。

9. 〈▼〉ボタンで、［1］を表示します。

10. 〈ストップ / 排出〉ボタンで決定します。
11. これで、設定が終了です。
    〈メニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

補足

- 増設ホッパがない場合は、［ホッパ 1］は［ホッパ］と表示されます。

A　付　録

A.1　主な仕様

製品の仕様

項　目	内　容
形式	デスクトップ
プリント方式	レーザーゼログラフィー **注記** * 半導体レーザー＋乾式電子写真方式
定着方式	ヒートローラー（オイルレス）
ウォームアップ・タイム	16 秒以下（電源投入時、室温 22°C）
連続プリント速度 *1	MultiWriter 8500N/8400N 片面：35 枚 / 分 *2 、両面：25.2 ページ / 分 *3 MultiWriter 8200N/8200 片面：26 枚 / 分 *2 、両面：21.0 ページ / 分 *3 **注記** *1 はがき、OHP フィルム、封筒などの用紙種類、サイズやプリント条件によって、プリント速度が低下する場合があります。また、画質調整のためプリント速度が低下する場合があります。 *2 A4 同一原稿連続プリント時。 *3 A4 連続プリント時。
ドット間隔	データ処理解像度： MultiWriter 8500N/8400N 0.0423x0.0423mm（1/600x1/600 インチ） 0.0846x0.0846mm（1/1200x1/1200 インチ） MultiWriter 8200N/8200 0.0423x0.0423mm（1/600x1/600 インチ） 出力解像度： MultiWriter 8500N/8400N 0.0423x0.0423mm（1/600x1/600 インチ） 0.0846x0.0846mm（1/1200x1/1200 インチ） MultiWriter 8200N/8200 0.0423x0.0423mm（1/600x1/600 インチ）

項　目	内　容
用紙サイズ	手差しトレイ： A3、B4、A4、B5、A5、11x17" (Ledger)、8.5×14" (Legal)、8.5×13"（Legal)、8.5×11"（Letter)、5.5×8.5"、7.25x10.5"（Executive)、往復はがき、はがき、封筒（洋形４号、長形３号、COM-10、モナーク、DL、C5)、長尺紙（297×900mm)、ユーザー定義（幅 75 ～ 297mm、長さ 148 ～ 431.8mm）
	ホッパ１～４（ホッパ２～４はオプション)： A3、B4、A4、B5、A5、11x17" (Ledger)、8.5×14" (Legal)、8.5×13"（Legal)、8.5×11"（Letter)、5.5×8.5"、7.25x10.5"（Executive)、往復はがき、はがき、封筒（洋形４号、長形３号、COM-10、モナーク、DL、C5)、ユーザー定義（幅 75 ～ 297mm、長さ 148 ～ 431.8mm）
	両面印刷： A3、B4、A4、B5、A5、11x17" (Ledger)、8.5×14" (Legal)、8.5×13"（Legal)、8.5×11"（Letter)、5.5×8.5"、7.25x10.5"（Executive)、往復はがき、はがき ユーザー定義（幅 100 ～ 297mm、長さ 148 ～ 431.8mm） **注記** * MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニット（オプション）が必要です。
	像欠け幅：先端 / 後端 / 両端 5mm（NPDL の場合）
用紙種類	手差しトレイ、ホッパ１～４： 普通紙（60 ～ 80g/m^2)、厚紙１（106 ～ 163g/m^2)、 厚紙２（164 ～ 216g/m^2)、 OHP フィルム
	両面印刷： 普通紙（60 ～ 80g/m^2)、厚紙１（106 ～ 163g/m^2)、 厚紙２（164 ～ 190g/m^2) 対応メートル坪量：60 ～ 190g/m^2 **注記** * MultiWriter 8500N/8200 の場合は、両面印刷ユニット（オプション）が必要です。
	注記 * 推奨紙をご使用ください。用紙の種類によっては、正しく印刷できない場合があります。インクジェット専用用紙はご使用にならないようお願いします。年賀状などの再生紙はがきは使用できません。使用済用紙の裏面や事前印刷用紙への印刷では、プリント不良などの品質低下が発生する場合がありますので、ご注意ください。 * 推奨紙については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口までお問い合わせください。
給紙容量 (坪量 64g/m2 の普通紙)	標準： 手差しトレイ　150 枚 MultiWriter 8500N の場合：ホッパ１　550 枚 MultiWriter 8400N/8200N/8200 の場合:ホッパ１　250 枚 オプション： 増設ホッパ　250/550 枚 MultiWriter 8500N の場合： 標準と増設ホッパ３段に手差しを合わせて、最大 2,350 枚 MultiWriter 8400N の場合： 標準と増設ホッパ３段に手差しを合わせて、最大 2,050 枚 MultiWriter 8200N/8200 の場合： 標準と増設ホッパ２段に手差しを合わせて、最大 1,500 枚

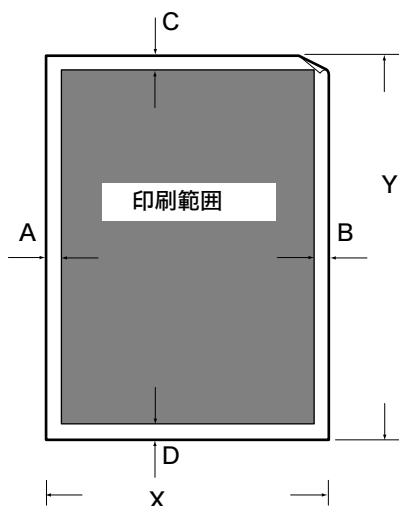
項　目	内　　容
出力トレイ容量 （坪量64g/m2の普通紙、Letter/A4以下）	標準：約250枚（フェイスダウン）
CPU	RM5231A MultiWriter 8500N/8400Nの場合：400MHz MultiWriter 8200N/8200の場合：300MHz
メモリー容量	標準：64MB、メモリースロット1個（空スロット1個） オプション：256/512MB増設メモリ **注記** * 出力データの種類や内容によっては、記載されるメモリー容量でも出力画像を保証できない場合があります。
ハードディスク	オプション：40GB
搭載フォント	標準：アウトラインフォント（平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5、欧文15書体、MMフォント2書体） PCLフォント：欧文81書体 オプション ・PostScriptフォント： 平成2書体、欧文136書体、OCR-Bフォント、バーコードフォント
ページ記述言語	標準：NPDL LEVEL2（201エミュレーション含む） オプション：Adobe® PostScript® 3™ *1 **注記** *1 PostScriptソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。
エミュレーション	標準： ART IV、201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2、PDF、PCL 5e、PCL 6、NPDL
対応OS *1	Windows® 95/98/Me、Windows NT® 4.0(SP4.0以上)、Windows® 2000/ XP、Windows Server® 2003、Windows Vista™、Mac OS*2 **注記** *1 最新対応OSについては販売店、またはサービス窓口までお問い合わせください。 *2 Mac OS 8.6 ～ 9.2.2、Mac OS X 10.2.8/10.3.9/10.4に対応。Mac OS 8.6 ～ 9.2.2、Mac OS X 10.2.8は、PostScriptソフトウエアキット(オプション)が必要です。Mac OS X10.3.9以降は、Macintosh用プリンタードライバーを使用して印刷できます。Macintosh用プリンタードライバーについては、弊社のホームページをごらんください。
インターフェイス	標準：双方向パラレル（IEEE1284準拠）、 Ethernet（100BASE-TX/10BASE-T）、 USB2.0（Hi-Speed）
対応プロトコル	TCP/IP(LPD、Port9100、IPP*1、SNMP、HTML/HTTP、DHCP、FTP)、SMB*1、NetWare*1、EtherTalk*1、WSD*1 **注記** *1 マルチプロトコルLANカード（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。

項　目	内　容
電源	AC 100V±10%、15A、50/60Hz 共用 **注記** * 推奨コンセント容量。機械側最大電流 10.5A
動作音 (本体のみ)	MultiWriter 8500N/8400N 稼動時：7.1B、55dB（A）以下 待機時：5.3B、33dB（A）以下 MultiWriter 8200N/8200 稼動時：6.6B、52dB（A）以下 待機時：4.3B、30dB（A）以下 **注記** * ISO7779 に基づく 単位 B：音響パワーレベル 単位 dB：放射音圧レベル（バイスタンダ位置）
消費電力	MultiWriter 8500N 最大：1230W 以下 スリープモード時：5W 以下 平均：待機時 105W 以下、連続プリント時 690W 以下 MultiWriter 8400N 最大：1230W 以下 スリープモード時：5W 以下 平均：待機時 115W 以下、連続プリント時 700W 以下 MultiWriter 8200N 最大：1150W 以下 スリープモード時：5W 以下 平均：待機時 80W 以下、連続プリント時 600W 以下 MultiWriter 8200 最大：1150W 以下 スリープモード時：5W 以下 平均：待機時 70W 以下、連続プリント時 590W 以下 **注記** * 低電力モード時：20W (本機は電源スイッチを切った状態でも、0.1W 以下の電力を消費しています。この消費電力を回避（または節約）するためには、機械の電源プラグをコンセントから外してください。)
大きさ（本体のみ）	幅459×奥行506*1×高さ375.3mm(MultiWriter 8500N/8400N) 幅 459× 奥行 506*1× 高さ 309mm(MultiWriter 8200N/8200) **注記** *1 手差しトレイは閉じ、用紙カセットは引き伸ばしていない状態
質量	各機種の質量（本体のみ、消耗品を含む）は、以下のとおりです。 ・MultiWriter 8200　：20.8kg ・MultiWriter 8200N ：21.8kg ・MultiWriter 8400N ：21.8kg ・MultiWriter 8500N ：23.5kg

印刷範囲

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

補足
・ 添付のプリンタードライバーの標準設定では、ドライバーの機能により余白量はすべて約 5mm です。

ポートレート

ランドスケープ

ポートレート

用紙	X （用紙幅）	Y （用紙長）	A （左余白）	B （右余白）	C （上余白）	D （下余白）
A3	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A4	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A5	148	210	5.00	5.00	5.00	5.00
B4	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B5	182	257	5.00	5.00	5.00	5.00
11x17"	279.4	431.8	5.00	5.00	5.00	5.00
8.5x11"	215.9	279.4	5.00	5.00	5.00	5.00
はがき	100	148	5.00	5.00	5.00	5.00
往復はがき	200	148	5.00	5.00	5.00	5.00
封筒　洋形４号	105	235	5.00	5.00	5.00	5.00
封筒　長形３号	120	235	5.00	5.00	5.00	5.00
長尺紙	297	900	5.00	5.00	5.00	5.00
ユーザー定義	−	−	5.00	5.00	5.00	5.00

ランドスケープ

用紙	X	Y	A	B	C	D
	（用紙幅）	（用紙長）	（左余白）	（右余白）	（上余白）	（下余白）
A4	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A5	210	148	5.00	5.00	5.00	5.00
B5	257	182	5.00	5.00	5.00	5.00
8.5x11"	279.4	215.9	5.00	5.00	5.00	5.00
7.25x10.5"	266.7	184.2	5.00	5.00	5.00	5.00
封筒　C5	229	162	5.00	5.00	5.00	5.00
ユーザー定義	－	－	5.00	5.00	5.00	5.00

内蔵フォント

標準で以下のフォントを内蔵しています。

補足
- PCL で使用できるフォントについては､プリンター本体に同梱されているプリンターソフトウエア CD-ROM 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。
- オプションの PostScript で使用できるフォントについては、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。
- NPDL で使用できるフォントについては、「NPDL の設定」(P. 213) を参照してください。

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScript では使用できません。

●：装備

	名称	ART EX	ART IV	201H、ESC/P	HP-GL、HP-GL/2	PDF Bridge
和文	平成明朝体 ^{TM}W3	●	●	●	●	●
	平成角ゴシック体 ^{TM}W5	●	●	●	●	●
	平成明朝体 ^{TM}W3P					●
	平成角ゴシック体 ^{TM}W5P					●
	ストロークフォント				●	
	平成明朝体 ^{TM}W3 拡張部		●	●		
	平成角ゴシック ^{TM}W5 拡張部		●	●		
欧文	平成明朝体 ^{TM}W3（ローマン）		●	●		
	平成角ゴシック ^{TM}W5（サンセリフ）		●	●		
	平成角ゴシック ^{TM}W5（FMT）		●			
	ストロークフォント				●	
	Arial	●	●			●
	Arial Bold	●	●			●

	名称	ART EX	ART IV	201H、ESC/P	HP-GL、HP-GL/2	PDF Bridge
	Arial Italic	●	●			●
	Arial Bold Italic	●	●			●
	Courier	●	●			●
	Courier Bold	●	●			●
	Courier Italic	●	●			●
	Courier Bold Italic	●	●			●
	ITC ZapfDingbats					●
	Times New Roman	●	●			●
	Times New Roman Bold	●	●			●
	Times New Roman Italic	●	●			●
	Times New Roman Bold Italic	●	●			●
	Century	●				
	Symbol	●	●			●
	Wingdings	●				
	OCRB		●	●		
	GoldSEMM					●
	GoldSAMM					●

補足
- 以下のフォントは、搭載されていませんが、指定することはできます。それぞれ、（　）内のフォントに置き換わって印刷されます。

欧文	CS Times Roman（Times New Roman）
	CS Times Bold（Times New Roman Bold）
	CS Times Bold Italic（Times New Roman Bold Italic）
	CS Times Italic（Times New Roman Italic）
	CS Courier Medium（Courier）
	CS Courier Bold（Courier Bold）
	CS Courier Bold Oblique（Courier Bold Italic）
	CS Courier Oblique（Courier Italic）
	CS Triumvirate（Arial）
	CS Triumvirate Bold（Arial Bold）
	CS Triumvirate Bold Italic（Arial Bold Italic）
	CS Triumvirate Italic（Arial Italic）
	CS Symbol（Symbol）

A.2　オプション品の紹介

主なオプション品は以下のとおりです。お買い上げの際には、販売店までご連絡ください。

- 商品の種類や型番は 2007 年 9 月現在のものです。
- 商品の種類や型番は変更されることがあります。
- 最新の情報については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

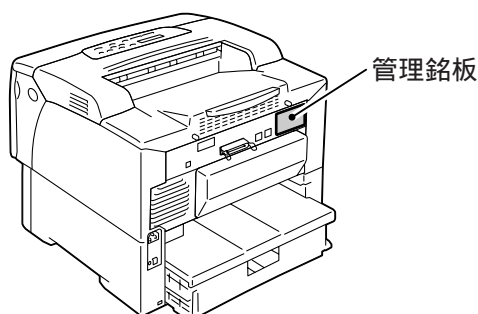
商 品 名	型番	備考
内蔵増設ハードディスク	PR-L2900C-HD	次の機能を使用する場合は、内蔵増設ハードディスクが必要です。 ・ セキュリティープリント ・ サンプルプリント ハードディスクの取り付けについては、「A.4 増設メモリの取り付け」(P. 249) を参照してください。
増設メモリ（256MB）	PR-L7600C-M2	メモリー容量を増やします。 増設メモリを必要とする機能や状況については、「A.4 増設メモリの取り付け」(P. 249) を参照してください。
増設メモリ（512MB）	PR-L7600C-M3	
用紙カセット（250 枚）	PR-L8500-04	標準紙（坪量 64g/m^2 の普通紙）を 250 枚までセットできる用紙カセットです。 250 枚用紙カセットが装備されている場合、差し替えて使用できます。
用紙カセット（550 枚）	PR-L8500-05	標準紙（坪量 64g/m^2 の普通紙）を 550 枚までセットできる用紙カセットです。 550 枚用紙カセットが装備されている場合、差し替えて使用できます。
増設ホッパ（250 枚）	PR-L8500-02	標準紙（坪量 64g/m^2 の普通紙）を 250 枚までセットできるホッパです。 プリンター本体に、MultiWriter 8500N/8400N では最大 3 段まで、MultiWriter 8200N/8200 では最大 2 段まで取り付けることができます。
増設ホッパ（550 枚）	PR-L8500-03	標準紙（坪量 64g/m^2 の普通紙）を 550 枚までセットできるホッパです。 プリンター本体に、MultiWriter 8500N/8400N では最大 3 段まで、MultiWriter 8200N/8200 では最大 2 段まで取り付けることができます。
両面印刷ユニット	PR-L8500-DL	MultiWriter 8500N/8200 で、自動で両面印刷する場合に必要です。
PostScript ソフトウエアキット （平成 2 書体）	PR-L8500-PSH	Adobe PostScript 3 で印刷できるキットです。 PostScript で、Macintosh からも印刷できるようになります。 使用するには、256MB 以上の増設メモリ（オプション）の取り付けを推奨します。
マルチプロトコル LAN カード	PR-L8500-MC	本機を、NetWare や SMB、IPP、EtherTalk、WSD[*1] 環境から使用する場合に必要です。 [*1] WSD プロトコルを使用できるのは、Windows Vista の場合だけです。
スキャナユニット (A3 スキャン対応)	PR-MW-SC50	本機の USB コネクターに接続して使用します。 本機にスキャナーを接続すると、コピー機能が使用できるようになります。
スキャナユニット (A4 スキャン対応)	PR-MW-SC40	

A.3 保証について

保証書について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NEC サービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

注記

- 本体の背面に製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

・契約保守
年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。

・出張修理
サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口 *1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング（株）
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料 *2	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*1　受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」もしくは、 インターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htm をご覧ください。

*2　本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

製品寿命は、次のとおりです。

・MultiWriter 8500N/8400N
印刷枚数が 100 万枚＊、または使用年数 5 年のいずれか早い方

・MultiWriter 8200N/8200
印刷枚数が 60 万枚＊、または使用年数 5 年のいずれか早い方

＊：MultiWriter 8500N/8400N/8200N/8200 は、有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換が必要です。有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換については、販売店または「NEC サービス網一覧表」にて記載のサービス窓口にご相談ください。

消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

■ 消耗品の寿命について

消耗品	印刷可能ページ数（参考値）
EP カートリッジ（6K）	約 6,000 ページ
EP カートリッジ（14K）	約 14,000 ページ

注記

・ EP カートリッジの印刷可能ページ数（参考値）は、A4 ヨコサイズの用紙を使用し、一度に印字するページ数を 2 枚、22 ℃、55% の温湿度環境、標準の濃度設定値で印刷した場合の印字可能ページ数です。実際の印字可能ページ数は、用紙サイズ、用紙種類、使用環境、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、印字品質保持の調整動作など、使用条件により変動し、参考値と大きく異なることがあります。

■ 有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

有寿命部品の交換時期になると、プリンターの操作パネルに次のようなメッセージが表示されます。

```
ﾎｯﾊﾟ1 A4ﾖｺ ﾎﾟｰﾄ
ｺｳｶﾝｼﾞｷ(***-***)
```

（***-***）にはエラーコードが表示されます。

次の表を参照して、必要な有寿命部品を確認し、販売店または「NEC サービス網一覧表」にて記載のサービス窓口にご相談ください。なお、有寿命部品（定期交換部品、有償）は、エンジニアが交換いたします。

MultiWriter 8500N/8400N

エラーコード	原因	部品名	推奨交換周期（寿命の目安）
010-421	フューザーユニットの交換時期です。	100K キット（8500）	約 100,000 ページ
094-422	転写ローラの交換時期です。	100K キット（8500）	約 100,000 ページ
042-401	ギアユニットの交換時期です。	600K キット（8500）	約 600,000 ページ
061-400	レーザユニットの交換時期です。	600K キット（8500）	約 600,000 ページ
077-401	レジユニットの交換時期です。	600K キット（8500）	約 600,000 ページ
07N-401（N：増設ホッパがあるとき、1～4 のホッパナンバーが表示）	ホッパ N のピックローラキットの交換時期です。	ピックローラキット（トレイ）	約 100,000 ページ
075-401	手差しトレイのピックローラキットの交換時期です。	ピックローラキット（手差し）	約 100,000 ページ
07N-410（N：増設ホッパがあるとき、1～4 のホッパナンバーが表示）	ホッパ N のカセットシュートキットの交換時期です。	カセットシュートキット	約 600,000 ページ

MultiWriter 8200N/8200

エラーコード	原因	部品名	推奨交換周期（寿命の目安）
010-421	フューザーユニットの交換時期です。	100K キット（8500）	約 100,000 ページ
094-422	転写ローラの交換時期です。	100K キット（8500）	約 100,000 ページ
07N-401（N：増設ホッパがあるとき、1～4 のホッパナンバーが表示）	ホッパ N のピックローラキットの交換時期です。	ピックローラキット（トレイ）	約 100,000 ページ
075-401	手差しトレイのピックローラキットの交換時期です。	ピックローラキット（手差し）	約 100,000 ページ

補足

・ 各有寿命部品（定期交換部品、有償）の推奨交換周期（寿命の目安）は、A4 ヨコサイズ（坪量 64g/m^2 の普通紙）の用紙を使用し、片面印字、一度に印刷するページ数を 2 枚、22 ℃、55% の温湿度環境で印字した場合の印字可能ページ数です。実際の印字可能ページ数は、用紙サイズ、用紙種類、使用環境、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、印字品質保持の調整動作など使用条件により変動し、参考値と大きく異なることがあります。

補修用性能部品および消耗品について

弊社は、消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記の PC マニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になります。あらかじめお調べのうえ、お申し込みください。

プリンターの型番

機種名	型番
MultiWriter 8500N	PR-L8500N
MultiWriter 8400N	PR-L8400N
MultiWriter 8200N	PR-L8200N
MultiWriter 8200	PR-L8200

NEC PC マニュアルセンター

URL： http://pcm.mepros.com/

電話： 03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00 〜 12：00/13：00 〜 16：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）

FAX： 03-5471-3996
24 時間受付。ただし、いただいた FAX に対する回答は翌営業日以降になります。

補足
- 製造終了後 7 年を経過した製品のマニュアルは販売しておりません。
- 一部取り扱いのないマニュアルがあります。

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報
  インターネット「NEC8 番街」 URL：http://nec8.com/
- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
  NEC 121 コンタクトセンター
  （電話番号、受付時間などについては、「NEC サービス網一覧表」をご覧ください。）

A.4　増設メモリの取り付け

本機では、次のような場合に、オプションの増設メモリを取り付ける必要があります。

- 印刷時に［メモリーブソク デス］といったエラーメッセージが頻繁に表示される場合 メモリーの増設をご検討ください。
- PostScript ソフトウエアキットを取り付ける場合（推奨）

また、プリンタードライバーの解像度の設定と印刷する用紙サイズによって、メモリーの増設が必要な場合があります。
必要なメモリー容量については、下表を参考にしてください。

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">解像度</th><th rowspan="2">用紙サイズ</th><th colspan="2">片面</th><th colspan="2">両面</th></tr>
<tr><th>出力可能</th><th>推奨容量</th><th>出力可能</th><th>推奨容量</th></tr>
<tr><td rowspan="17">NPDL
プリンター
ドライバー</td><td rowspan="6">400dpi</td><td>A3</td><td rowspan="6">標準
(64MB)</td><td rowspan="6">標準
(64MB)</td><td rowspan="5">標準
(64MB)</td><td rowspan="5">標準
(64MB)</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>A4</td></tr>
<tr><td>B5</td></tr>
<tr><td>A5</td></tr>
<tr><td>長尺
(297 × 900mm)</td><td>–</td><td>–</td></tr>
<tr><td rowspan="6">600dpi</td><td>A3</td><td rowspan="6">標準
(64MB)</td><td rowspan="6">標準
(64MB)</td><td rowspan="5">標準
(64MB)</td><td rowspan="5">標準
(64MB)</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>A4</td></tr>
<tr><td>B5</td></tr>
<tr><td>A5</td></tr>
<tr><td>長尺
(297 × 900mm)</td><td>–</td><td>–</td></tr>
<tr><td rowspan="5">1200dpi</td><td>A3</td><td rowspan="5">標準
(64MB)</td><td rowspan="2">320MB
(標準＋
256MB)</td><td rowspan="3">320MB
(標準＋
256MB)</td><td rowspan="4">320MB
(標準＋
256MB)</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>A4</td><td rowspan="3">標準
(64MB)</td></tr>
<tr><td>B5</td><td rowspan="2">標準
(64MB)</td></tr>
<tr><td>A5</td><td>標準
(64MB)</td></tr>
</table>

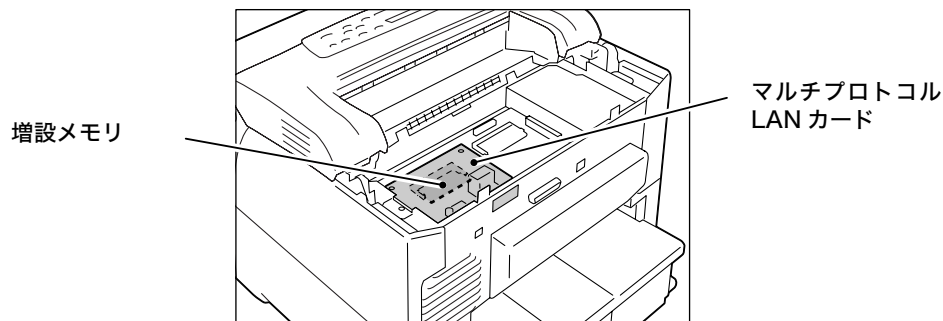
出力可能：　ほとんどのデータで印刷可能ですが、データの種類によって印刷できない場合や、両面印刷時の印刷速度が低下する場合があります。

推奨容量：　弊社で推奨するメモリー容量です。

必要なメモリー容量の数値は、本プリンターの使用環境などによっても異なります。

補足
- 長尺紙の場合、両面印刷および解像度 1200dpi での印刷はできません。
- 本機に取り付けられる増設メモリ、および増設メモリのご注文は、「A.2 オプション品の紹介」(P. 243) を参照してください。

取り付け手順

増設メモリは、マルチプロトコル LAN カード（オプション）と上下に重なるように取り付けます。すでにマルチプロトコル LAN カードを取り付けている場合は、いったん取り外す必要があります。マルチプロトコル LAN カードの取り外し / 取り付け手順の詳細は、マルチプロトコル LAN カードの設置手順書を参照してください。

次に、本機に増設メモリを取り付ける手順を説明します。

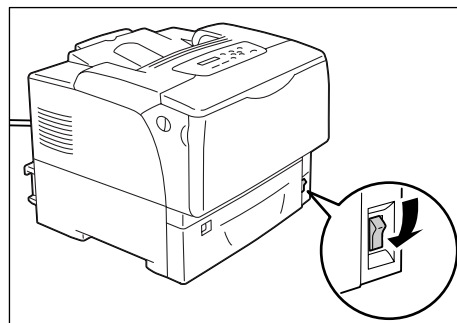
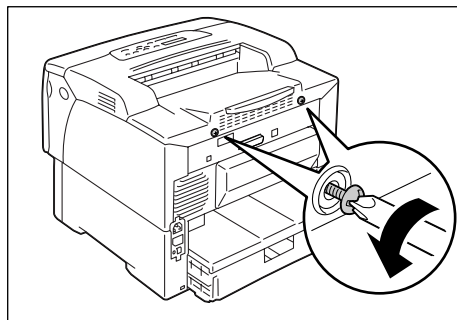
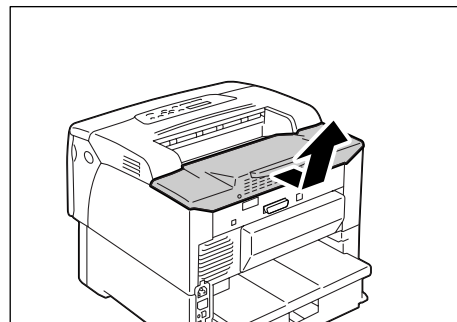
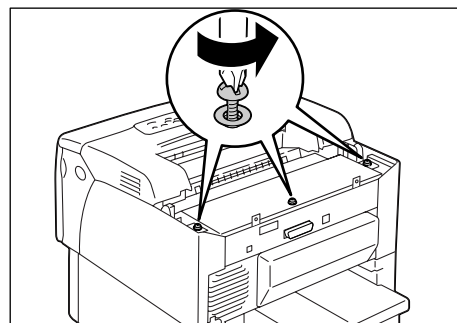
本機の増設メモリ用スロットは１つです。すでに増設メモリを取り付けている場合は、容量が大きい増設メモリと交換してください。

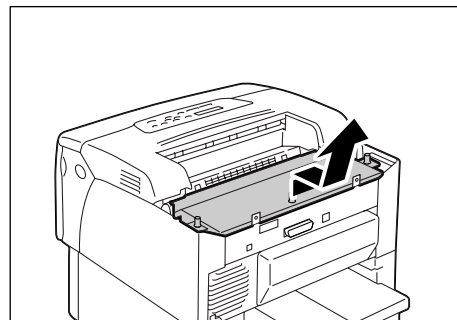
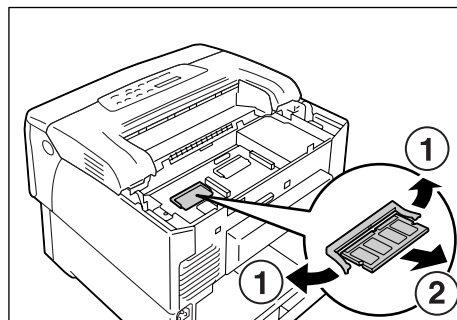
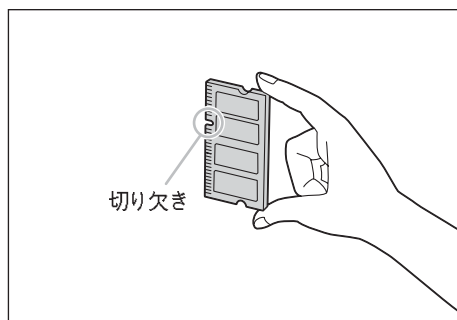
⚠ 警告

・ この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。

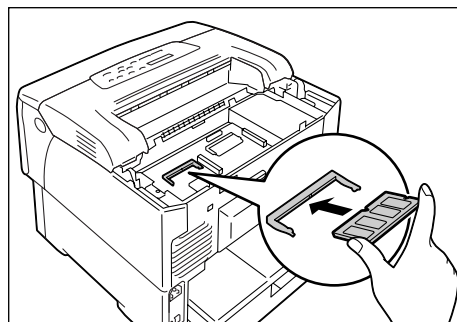
注記

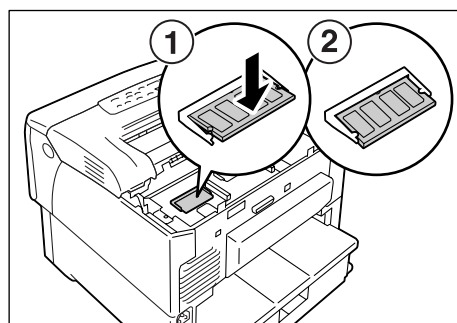
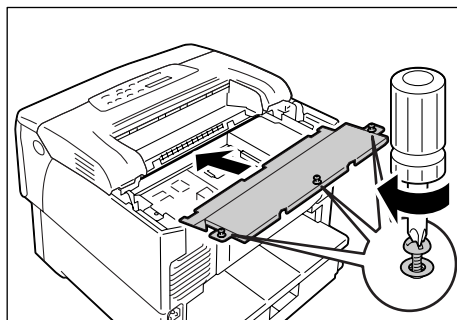
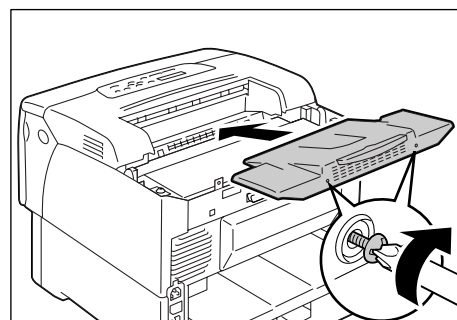
・ インターフェイスケーブルコネクターの抜き差しをする場合は､必ず電源スイッチを切るか、または電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。電源を接続したままの状態でコネクターの抜き差しを行うと故障の原因となるおそれがあります。

1. プリンターの前面右下にある、電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。
   電源コードを、コンセントおよびプリンター本体から抜きます。

2. プリンターの後部カバーの 2 か所のネジをドライバーで外します。

3. 後部カバーを、手前に引いて取り外します。

4. 内部にある金属板カバーの 3 か所のネジをドライバーで外します。

5. 金属板カバーを、手前に引いて取り外します。

6. マルチプロトコルLANカードを取り付けている場合は、いったん取り外します。手順の詳細は、マルチプロトコル LAN カードの設置手順書を参照してください。

7. すでに増設メモリが取り付けられている場合は、メモリーを固定している左右のツメを広げます。メモリーが斜めに持ち上がるので、そのまま斜め方向に引き抜きます。

8. 新たに取り付ける増設メモリを切り欠き部分が中央よりも上側にくるように持ちます。

9. 切り欠き部分を本体側の RAM 用スロット（コントローラーボードに「SDRAM op.」と印字されています）の凸部に正しく合わせて、斜めに差し込みます。

注記

- 増設メモリは、コントローラーボードの左側のスロットに取り付けます。右側のスロットは、PostScript ROM（オプション）用です。RAM を差し込む位置を間違えないように、右図で正しい位置を確認してください。

10. 増設メモリを図のように上から押します。正しく挿入されると、カチッという音がします。

11. マルチプロトコルLANカードを取り外した場合は、再度取り付けます。手順の詳細は、マルチプロトコルLANカードの設置手順書を参照してください。

12. 金属板カバーを戻し、3 か所のネジをドライバーで締めて固定します。

13. 後部カバーを戻し、2 か所のネジをドライバーで締めて固定します。

14. 電源コードを接続します。
本機の電源スイッチの〈 | 〉側を押し、電源を入れます。

これで、増設メモリの取り付けは完了です。

補足

- ［プリンター設定リスト］を印刷して、［一般］の中の［搭載メモリー］の欄を確認することで、増設メモリが正しく取り付けられたかどうかを、確認できます。［搭載メモリー］には、コントローラーボード上のメモリー 64MB に、ここで取り付けたメモリーの容量を足した数値が表示されます。リストの印刷方法は、「レポート / リストを印刷する」(P. 180) を参照してください。
- プリンターを使用中に、増設メモリを取り付けた場合は、設置後にプリンタードライバーでメモリー容量を変更してください。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

A.5　内蔵増設ハードディスクの取り付け

ハードディスクは、セキュリティープリント、サンプルプリントなどの機能を使用する場合に必要になります。

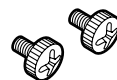
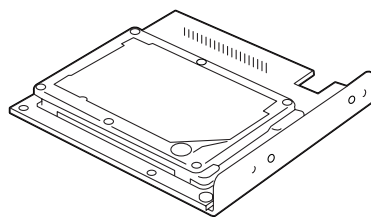
⚠ 警告
- この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。

注記
- インターフェイスケーブルコネクターの抜き差しをする場合は､必ず電源スイッチを切るか、または電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。電源を接続したままの状態でコネクターの抜き差しを行うと故障の原因となるおそれがあります。

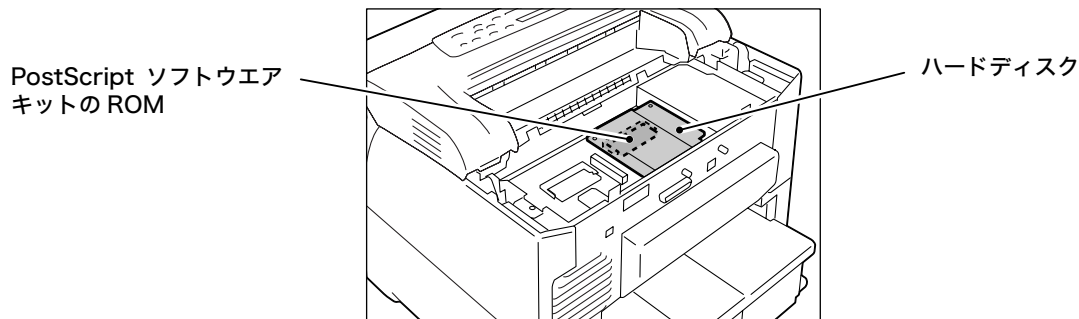
同梱品の確認

梱包箱の中には、次のものが入っています。万一、不足しているものがあるときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

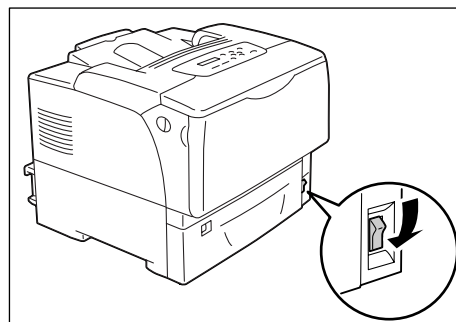
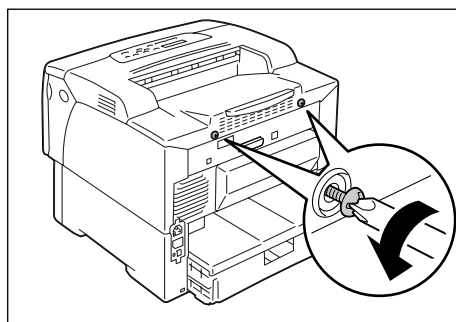
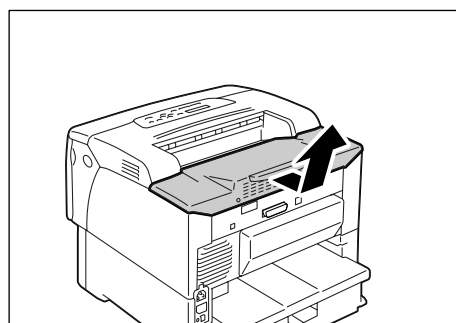
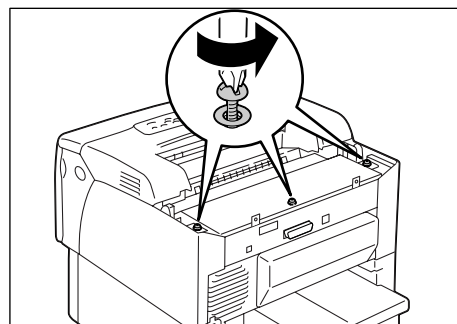
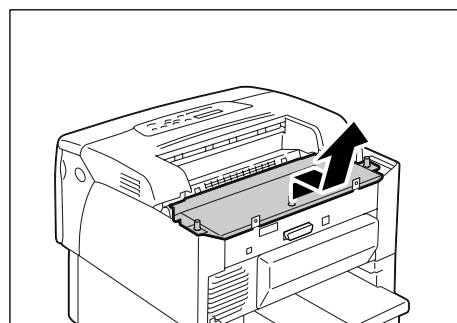
- ハードディスク

- ネジ２個

注記
- ハードディスクに触れる前に、必ず金属などに触れて、静電気を逃がしてください。

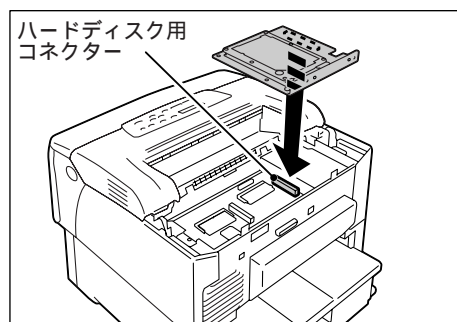
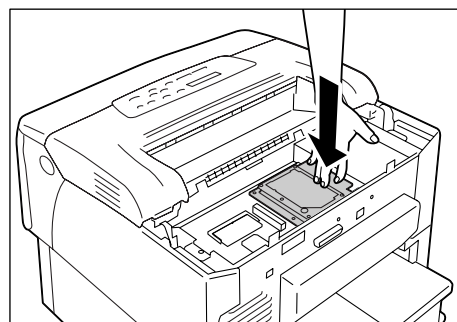
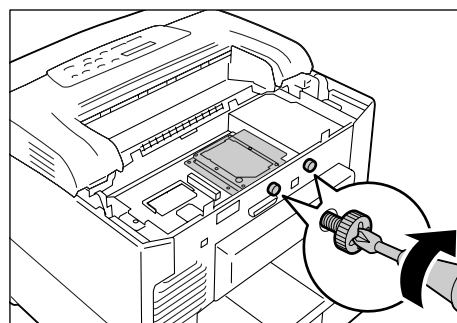
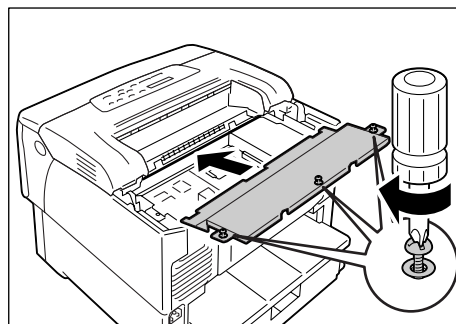
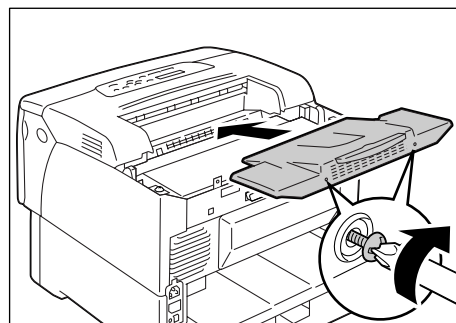
取り付け手順

ハードディスクは、PostScript ソフトウエアキット（オプション）の ROM の上に重なるように取り付けます。PostScript ソフトウエアキットを購入している場合は、ハードディスクよりも、先に取り付けてください。取り付け手順は、PostScript ソフトウエアキットの設置手順書を参照してください。

ここでは、ハードディスクを取り付ける手順を説明します。

取り外すときの手順については、ここで説明している手順と逆の流れで操作してください。

1. プリンターの左側面にある電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。
   電源コードを、コンセントおよびプリンター本体から抜きます。

2. プリンターの後部カバーの 2 か所のネジをドライバーで外します。

3. 後部カバーを、手前に引いて取り外します。

4. 内部にある金属板カバーの 3 か所のネジをドライバーで外します。

5. 金属板カバーを、手前に引いて取り外します。

6. ハードディスクのコネクターを本体側のハードディスク用コネクター（コントローラーボードの右側にあるコネクター）に合わせて、差し込みます。

注記

・ コントローラーボードの左側にあるコネクターは、マルチプロトコル LAN カード（オプション）用です。間違わないように注意してください。

7. 図の部分を上から押して、ハードディスクをしっかりと差し込みます。

8. 付属の 2 本のネジをドライバーで締めて、外側からハードディスクを固定します。

9. 金属板カバーを戻し、3 か所のネジをドライバーで締めて固定します。

10. 後部カバーを戻し、2 か所のネジをドライバーで締めて固定します。

11. 電源コードを接続します。
本機の電源スイッチの〈｜〉側を押して、電源を入れます。

これで、ハードディスクの取り付けは完了です。

補足
- ［プリンター設定リスト］を印刷すると、ハードディスクが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。リストの印刷方法は、リストの印刷方法は、「レポート / リストを印刷する」(P. 180) を参照してください。

A.6　注意 / 制限事項

本体の注意と制限

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

内蔵増設ハードディスク（オプション）について

- ハードディスクを取り付けている場合、本機の使用中に停電などで電源が切られると、ハードディスク内のデータが壊れることがあります。
- 節電モード時にハードディスクへアクセスがある場合には、〈節電解除〉ランプが点滅します。〈節電解除〉ランプが点滅中は、電源を切らないでください。

オプションについて

- セキュリティー / サンプルプリントを使用する場合は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が必要です。
- 本機を PostScript 対応プリンターとして使用する場合は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が必要です。PostScript ソフトウエアキットには、256MB 以上の増設メモリ（オプション）の取り付けを推奨します。

補足

- ページ印刷モードを使用する場合は、メモリー増設が必要です。ページ印刷モードを［する］に設定すると、プリンター本体の印刷処理方法が変更されます。印刷するデータが大きい場合や、印刷を指示してもなかなか出力されない場合には、［する］を選択して印刷を試してください。

両面印刷でのメーターのカウントについて

両面印刷で出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

A.7 用語集

【10BASE-T】

IEEE802.3 の規格の中で、10Mbps、ベースバンド、ツイストペアケーブルのことです。

【100BASE-TX】

10BASE-T の拡張版で、FastEthernet（ファーストイーサネット）とも呼ばれるものの一つです。通信速度が 100Mbps で、10BASE-T の 10Mbps から大幅に高速になっています。

【ART IV】

Advanced Rendering Tool の略で、富士ゼロックス株式会社がページプリンター用に開発したプリンター

制御言語です。IVはバージョンを表します。

【ART EX】

富士ゼロックス株式会社製のページ記述言語です。

【BOOTP】

BOOTstrap Protocol の略で、TCP/IP のネットワークに接続されたクライアントが、

サーバーから自動的にネットワーク設定を読み込むためのプロトコルです。

【CD-ROM】

コンパクトディスク（CD）にコンピューター用ソフトウエアや画像などのデータを記録したものです。

【DHCP】

Dynamic Host Configuration Protocol の略で、DHCP サーバーから DHCP クライアントに IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

【DNS】

Domain Name System の略で、インターネットでホスト名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【dpi】

Dot Per Inch の略で、1 インチ（約 25.4mm）幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使用します。

【EtherTalk】

Macintosh 専用のネットワークソフトウエア「AppleTalk®」の通信プロトコルの一つです。

【HTTP】

インターネット上で WWW サーバーと通信をするためのプロトコルのことです。

【Image Enhancement(イメージエンハンスメント)】

白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

【IPP】

HTTP を使用して印刷するためのプロトコルです。

【IP アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。

【IPsec】

データをパケット単位で暗号化して、改ざんなどから保護するセキュリティー技術です。

【IPv4 アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスのうち、ピリオド（.）で区切られた４つの数値（10 進数）で表すアドレスです。

【IPv6 アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスのうち、コロン（:）で区切られた８つの数値（16 進数）で表すアドレスです。現在、一般的に使用されている IPv4 の次の世代の IP アドレスとして使用が始まっています。

【NetWare】

Novell 社が開発したネットワーク OS です。

【NPDL】

NEC Printer Description Language の略で、NEC プリンター記述言語です。

【N アップ】

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する機能です。

【OS】

コンピューターのハードウエアとソフトウエアの基本的な動きを制御し、管理するソフトウエアで、Operating System の略です。アプリケーションソフトウエアなどが動作するための土台となります。

【PDF ファイル】

このマニュアルでは、米国 Adobe Systems 社が開発した Acrobat というソフトウエアで作成したオンラインドキュメントを「PDF ファイル」と呼びます。PDF ファイルを画面に表示するには、Adobe Acrobat Reader というソフトウエアをコンピューターにインストールする必要があります。

【Port9100】

Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista 上でデータを送信できる、ネットワーク通信方法です。

Windows 98/Windows Me の場合は、TCP/IP Direct Print Utility が必要です。Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista の場合は、標準 TCP/IP ポートモニター上で使用できます。

【ppm】

1 分間に印刷されるページ数を表す単位です。

【SMB】

Windows ネットワーク（Microsoft ネットワーク）上でデータを送信できるネットワーク通信方法で、Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista 上で使用できます。

【SNMP】

ネットワークに接続された機器を、ネットワークを経由して管理するプロトコルです。

管理する側には SNMP マネージャーというソフトウエアを、管理される側には SNMP エージェントというソフトウエアを組み込んで実行します。

【TCP/IP】

DARPANET（Defense Advanced Research Project Agency NetWork）で開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、パーソナルコンピューターから大型コンピューターまで、さまざまな機種で使用されています。

【USB】

Universal Serial Bus の略で、コンピューターと周辺機器との間のデータ転送方式の一つです。電源を入れたままで接続できる「ホットプラグ」機能に対応しており、コンピューターと周辺機器を簡単に接続できます。

【WINS】

Windows Internet Name Services の略で、TCP/IP 環境でコンピューター名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【WSD】

Web Services on Devices の略で、Windows Vista で使用できるプロトコルです。ネットワークに接続している機器（プリンターや複合機など）を検知し、データ通信を行うことができます。

【WWW】

World Wide Web の略です。インターネットでホームページを提供するしくみのことです。

【アドレス】

ネットワーク上のノード（各コンピューターや端末など）を識別するために割り当てられる情報（一意の識別子）のことです。また、メモリーに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

【アプリケーションソフトウエア】

コンピューター上で作業を行う道具となるソフトウエアのことです。ワープロ、表計算、グラフィックス、データベースなど、数多くのアプリケーションソフトウエアが販売されています。

【アンインストール】

コンピューターに組み込んだソフトウエアを削除することをいいます。

【印字領域】

用紙に対して実際に印字可能な領域です。

【インストール】

ソフトウエアやハードウエアをコンピューターや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。プリンタードライバーなどのソフトウエアをコンピューターのシステムに組み込むことや、ハードディスクをプリンターに組み込むことをいいます。

このマニュアルでは、主にコンピューターにソフトウエアを組み込むことを「インストール」と呼びます。

【インストーラー】

ソフトウエアをコンピューターにインストールするための専用ソフトウエアのことです。

【インターフェイス】

互いに異なるシステム（系）が接触する部分を指します。コンピューターとプリンターの間、人間と機械との間などを指す場合によく使用されます。

インターフェイスの仕様、特に電気的仕様のことを単にインターフェイスということもあります。

【インターフェイスケーブル】

複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。

プリンターとパーソナルコンピューターを直接接続するパラレルケーブルや USB ケーブル、プリンターをネットワークに接続するイーサネットケーブルなどがあります。

【エミュレーション】

他社のプリンターで印刷した場合と同等の印字結果を得ることができるように、プリンターを動作させることです。このモードをエミュレーションモードと呼びます。

【オンラインヘルプ】

コンピューターの画面に表示されるマニュアルです。

【解像度】

画像の細かさを表します。通常 1 インチあたりのドット数（単位は dpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といいます。

【クリック】

マウスボタンを 1 回、押して離すことです。このマニュアルでは、マウスの左ボタンをクリックすることを「クリック」と呼び、右ボタンをクリックすることを、「右クリック」と呼びます。

また、マウスのボタンをすばやく 2 回続けて押し、離すことを「ダブルクリック」と呼びます。

【サーバー】

ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことをいいます。

逆に、サーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【初期値】

工場出荷時、および NV メモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】

コンピューターが行う一連の処理を指します。たとえば、1 つのファイルを印刷する処理が 1 件の印刷ジョブになります。印刷の中止や排出は、このジョブ単位で行われます。

【双方向通信】

2 つの装置間で互いに情報を送信したり、受信したりする通信のことです。双方向通信によって、コンピューターから印刷データを送るだけでなく、プリンターからコンピューターに印刷状況などの情報を送ることができます。

【ソート】

複数部数を印刷したとき、1 部ごとに 1、2、3…1、2、3… の順で排出することを「ソート」と呼びます。

【ソフトウエア】

コンピューターを動かすためのプログラムです。OS もアプリケーションソフトウエアもソフトウエアの一種です。

【ネットワークプリンター】

このマニュアルでは、イーサネットケーブルでネットワークに接続したプリンターを「ネットワークプリンター」と呼びます。

【パラレルインターフェイス】

コンピューターと周辺機器との間のデータ伝送方式の一つです。複数ビットのデータを同時に転送します。代表的なものにセントロニクスがあり、プリンターなどの周辺機器との接続に使用します。

【フォント】

書体や字体のことです。統一性を持ったデザインでまとめられた文字の 1 セットを指します。

【ブラウザー】

インターネットで、WWW サーバーの情報をコンピューターに表示し、見るためのソフトウエアです。代表的なものには、Mozilla FirefoxやInternet Explorerなどがあります。

【プリンタードライバー】

アプリケーションで作成したデータをプリンターが解釈できるデータに変換するためのソフトウエアです。

【プロトコル】

複数の装置やコンピューターシステムが、互いに通信するための約束事です。ハードウエア間で情報を転送する場合の手順の取り決めや、2 つのコンピューターがネットワークを介して通信するための手順の取り決めのことです。

【ポート】

コンピューターが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

【メートル坪量】

$1m^2$ の用紙 1 枚の質量です。

【ローカルプリンター】

このマニュアルでは、パラレルケーブルまたは USB ケーブルでコンピューターと直接接続したプリンターを「ローカルプリンター」と呼びます。

【ログイン】

コンピューターシステムの資源（ネットワーク上のハードディスクやプリンターなど）にアクセスできる状態にすることです。また、ログインを終了することを「ログアウト」と呼びます。

索引

→【○○○○】の【 】内は、本書で使用している用語です。

記号・英数

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

操作パネルメニュー一覧

操作パネルの基本的な使い方

メニューの上下を切り替えるには　：〈▲〉または〈▼〉ボタン
メニューを選択、右に進むには　：〈▶〉ボタン
選択を取り消し、左に戻るには　：〈◀〉ボタン
値を確定するには　：**〈ストップ/排出〉**ボタン
メニューを終了するには　：**〈メニュー〉**ボタン

数値や文字の入力のしかた

値を切り替え（増減）は　：〈▲〉または〈▼〉ボタン
桁やフィールドの移動は　：〈▶〉または〈◀〉ボタン
初期値に戻すには　：〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押す

管理者メニューでの表記について

（濃い灰色の枠）：メインメニュー
（薄い灰色の枠）：本プリンターのオプション構成によって表示/非表示する項目
＊：初期値

プリントメニュー

プリントメニューは、オプションのハードディスクが必要です。

管理者メニュー

*1:増設ホッパ(オプション)を取り付けていない場合は、[ホッパ1]は[ホッパ]と表示
*2:1〜999ブ
*3:32文字
各桁0x20〜0x7d
*4:キホン ノ ヨウシサイズがA4の場合
*5:キホン ノ ヨウシサイズが8.5x11"の場合

ジョブリレキ レポート、エラーリレキ レポート、シュウケイ レポート、プリンター セッテイ リスト、パネル セッテイ リスト、フォント リスト、PCL フォント リスト、PSフォント リスト、ユーザーテイギ リスト、ART EX フォーム リスト、PCL マクロ リスト、201Hトウロク リスト、ESC/P トウロク リスト、HP-GL/2トウロク リスト、TIFFトウロク リスト、PS トウロク リスト、チクセキブンショ リスト

メーター カクニン — メーター1、メーター2、メーター3

ゲンゴ キリカエ — ニホンゴ*、English

★A

NPDL
テスト　メニュー
ステータスインサツジッコウ
レンゾクインサツジッコウ
LANステータスジッコウ
インサツ セッテイメニュー
コピーマイスウ
トナー　セツヤク
インジノウド
01＊
1〜20
OFF＊、
ON
フツウ＊、ヤヤコイ、
コイ、アワイ、ヤヤアワイ
ヨウシ メニュー
ホッパ　ショキセッテイ
ヨウシ　シュベツ
ホッパ1＊、ホッパ2、ホッパ3、
ホッパ4、テサシ
*1
ホッパ1
ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4
テサシ
*2
フツウシ＊、アツガミ1、アツガミ2、
OHP、1.ユーザー1〜5.ユーザー5
テイケイガイ　ヨウシ
OFF＊、
ON
ヨウシ　サイズ　セッテイ
LT＊、
テイケイガイ
リレーキュウシ　セッテイ
ジョブセパレートキノウ
ムコウ＊、
ユウコウ
インジイチセッテイメニュー
ホッパ1　ビチョウセイ
ホッパ2、ホッパ3、
ホッパ4　ビチョウセイ
テサシ　ビチョウセイ
オメテメン　ビチョウセイ
ウラメン　ビチョウセイ
TM、
LM
0mm
-3.9〜+3.9mm：0.3mm単位
*1：増設ホッパ（オプション）を取り付けていない場合は、
[ホッパ＊、テサシ]と表示
*2：増設ホッパ（オプション）を取り付けていない場合は、
[ホッパ]と表示

次ページ★Bへ→

前ページから ★B （NPDL つづき）

次ページ★Cへ→

前ページから ★C （NPDL つづき）

★D

ネットワーク/ポート セッテイ
パラレル
ポートノ キドウ
キドウ*、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
Adobe ツウシンプロトコル
ジドウ、ヒョウジュン、BCP、TBCP*、バイナリー
ソウホウコウ セッテイ
ニブル*、ECP、ナシ
LPD
ポートノ キドウ
キドウ*、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
NetWare
ポートノ キドウ
NetWare TCP/IP
キドウ*、テイシ
NetWare IPX/SPX
キドウ*、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
WSD
ポートノ キドウ
キドウ*、テイシ
SMB
ポートノ キドウ
SMB TCP/IP
キドウ*、テイシ
SMB NetBEUI
キドウ*、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
IPP
ポートノ キドウ
キドウ*、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
EtherTalk(ゴカン)
ポートノ キドウ
キドウ*、テイシ
USB
ポートノ キドウ
キドウ*、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
Adobe ツウシンプロトコル
ジドウ、ヒョウジュン、BCP、TBCP*、バイナリー
Port9100
ポートノ キドウ
キドウ*、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
Eメールプリント
ポートノ キドウ
キドウ*、テイシ

次ページ★Eへ→

前ページから ★E （ネットワーク/ポート セッテイ つづき）

★F

システム　セッテイ
オト　ノ　セッテイ
セイジョウ ニュウリョクオン
ナラサナイ、
ナラス*
イジョウ ニュウリョクオン
ナラサナイ、
ナラス*
ジュンビ　カンリョウオン
ナラサナイ、
ナラス*
セイジョウ シュウリョウオン
ナラサナイ、
ナラス*
イジョウ シュウリョウオン
ナラサナイ、
ナラス*
イジョウ　ケイコクオン
ナラサナイ、
ナラス*
ヨウシギレ　ケイコクオン
ナラサナイ、
ナラス*
トナーザンリョウ ケイコクオン
ナラサナイ、
ナラス*
キテンオン
ナラサナイ*、
ナラス
ソウサパネル　セッテイ
ソウサパネル　セイゲン
シナイ*、
スル
アンショウバンゴウ
セッテイ
ゲンザイノ　バンゴウ
[0000]
アタラシイバンゴウ
[0000]
もう一度入力し、
2回入力した番号が一致
したら、[アンショウバン
ゴウ　セッテイ]に戻る
テイデンリョクイコウジカン
3フンゴ*
1～60分後：1分単位
スリープ　モード
ユウコウ*、
ムコウ
スリープモードイコウジカン
5フンゴ*
1～120分後：1分単位
タイムアウト
30ビョウ*、
オフ
5～300秒：1秒単位
ジドウ　ジョブリレキ
プリント　シナイ*、
プリント　スル
レポートリョウメンプリント
カタメン*、
リョウメン
バナーシート　セッテイ
バナーシート　シュツリョク
シュツリョクシナイ*、
スタートシート、 エンドシート、
スタート+エンドシート
バナーシート　トレイ
トレイ1*、
トレイ2、 トレイ3、 トレイ4、
テザシトレイ
ミリ/インチ　キリカエ
ミリ(mm)*、
インチ(")
HDDノ　ウワガキ　ショウキョ
3カイ*、 1カイ、 シナイ
ホンタイ　ニンショウ
シナイ*、
スル

次ページ★Gへ→

前ページから★G (システム セッテイ つづき)

- スキャナー
  - ポート ワリコミ
    - シナイ*、スル
  - ワリコミ インサツ *1
    - シナイ、スル*
- セキュリティー プリント
  - セキュリティープリントソウサ
    - ユウコウ*、ムコウ
  - ワリコミ インサツ
    - シナイ、スル*
- ワリコミ ユウセン
  - ムコウ*、ユウコウ

*1: [ポート ワリコミ]が[スル]のとき表示し、割り込み印刷の設定ができる

★H

- プリント セッテイ
  - インジ ノウド
    - フツウ*、ヤヤコイ、コイ、アワイ、ヤヤアワイ
  - ヨウシノ オキカエ
    - シナイ*、 オオキイサイズヲ センタク、 チカイサイズヲ センタク、テザシトレイ カラ キュウシ
  - ヘンコウ ガメン ヒョウジ
    - テザシ トレイ
      - スル*、シナイ
    - ヨウシ トレイ
      - スル、シナイ*
  - テザシ セッテイ モード
    - ソウサ パネル カラ シテイ、ドライバーセッテイユウセン*
  - ヨウシ シュルイ
    - トレイ1
      - フツウシ*、 OHPフィルム、 アツガミ1、アツガミ2、 1. ユーザー1 ～ 5. ユーザー5
    - トレイ2、トレイ3、 トレイ4
      - フツウシ*、 OHPフィルム、 アツガミ1、アツガミ2、 1. ユーザー1 ～ 5. ユーザー5
    - テザシ トレイ
      - フツウシ*、 OHPフィルム、 アツガミ1、アツガミ2、 1. ユーザー1 ～ 5. ユーザー5
  - ヨウシノ ユウセン ジュンイ
    - フツウシ
      - 1バンメ*、 2～6バンメ、セッテイシナイ
    - 1. ユーザー1 ～ 5. ユーザー5
      - 1～6バンメ、セッテイシナイ*
  - トレイノ ユウセン ジュンイ
    - 1バンメ
      - トレイ1*、トレイ2、 トレイ3、 トレイ4
    - 2バンメ
      - トレイ2*、1バンメに設定したトレイ以外
    - 3バンメ
      - トレイ3*、1、2バンメに設定したトレイ以外
  - ヨウシ サイズ
    - トレイ1、 トレイ2、トレイ3、 トレイ4
      - ☆a 参照
      - テイケイガイ
        - タテ(Y)ホウコウ ノ サイズ
        - ヨコ(X)ホウコウ ノ サイズ
    - テザシ
      - ☆b 参照
      - テイケイガイ
        - タテ(Y)ホウコウ ノ サイズ
        - ヨコ(X)ホウコウ ノ サイズ

☆a

11x17"、 8.5x13"、 8.5x14"、 7.2x10.5"、 5.5x8.5"、 8.5x11"*、 フウトウ #10、フウトウ モナーク、 フウトウ DL、 フウトウ C5、 ハガキ、 オウフクハガキ、 ナガガタ3、 ヨウガタ4

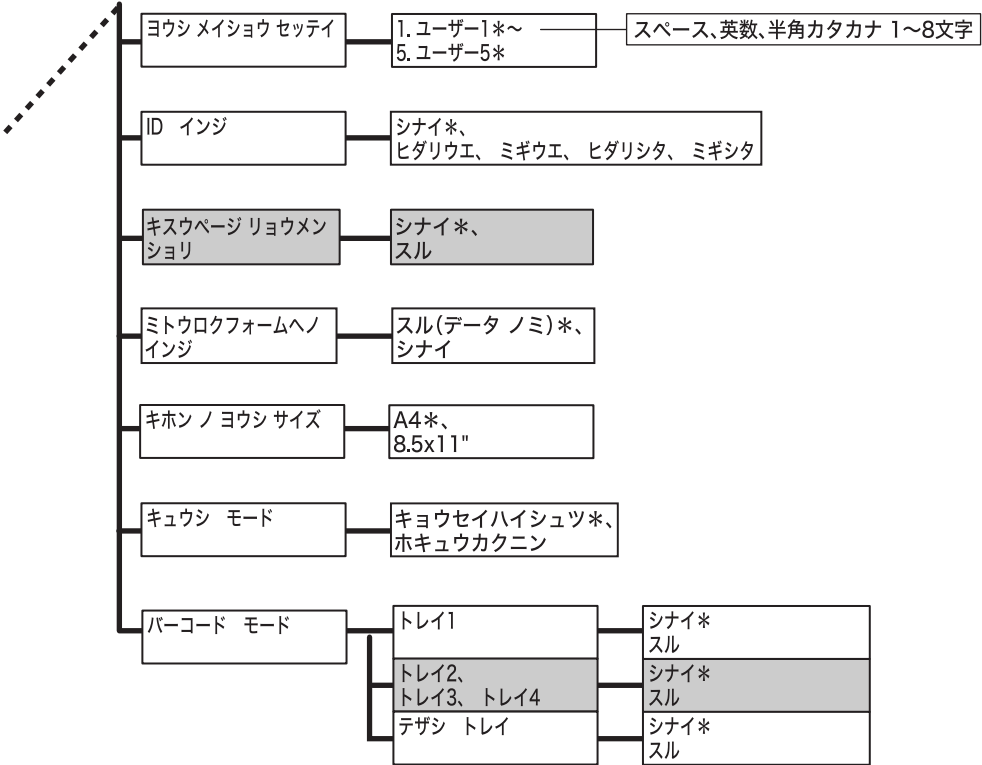
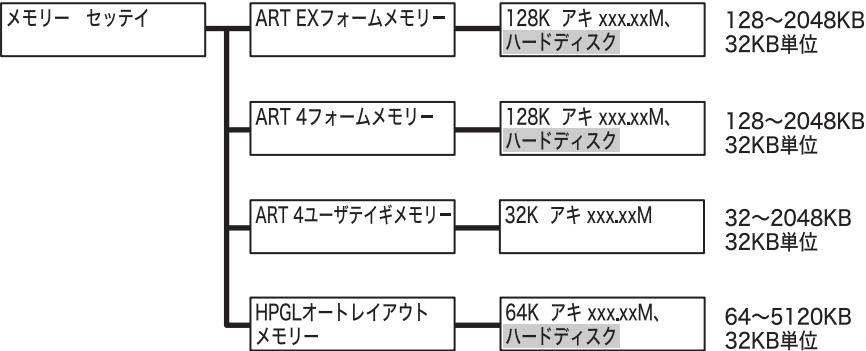
☆b

A3、 B4、 A4 タテ、 A4 ヨコ、 ドライバー*、 B5、 A5、 11x17"、 8.5x13"、 8.5x14"、 7.2x10.5"、5.5x8.5"、 8.5x11" 、 フウトウ #10、 フウトウ モナーク、 フウトウ DL、 フウトウ C5、 ハガキ、オウフクハガキ、 ナガガタ3、 ヨウガタ4

次ページ★Iへ→

前ページから★I (プリント セッテイ つづき)

★J

★L

MultiWriter 8500N/8400N/8200N/8200 活用マニュアル

発行者 ― 日本電気株式会社　　発行年月―2007 年 9 月 第 1 版

（管理番号 : ME3805J9-3）